

行橋市高齢者実態調査 報告書

令和2年3月

行 橋 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計と回収状況	1
3. 調査結果利用上の注意	2
第2章 調査結果の概要	3
1. 回答者の基本属性	3
2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について	7
3. 社会参加や生きがいづくりについて	8
4. 日常生活等、地域での支え合いについて	8
4. 住まいについて	10
5. 介護保険サービス、施設サービス等について	10
6. 在宅医療や在宅介護について	11
7. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について	12
8. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）	14
第3章 一般高齢者用調査	16
1. 回答者の基本属性	16
2. 健康について	19
3. 介護予防について	24
4. 認知症について	29
5. 社会参加や生きがいづくりについて	32
6. 日常生活上の不安や困りごとについて	44
7. 地域での支えあいについて	48
8. 住まいについて	52
9. 在宅医療や介護等について	56
10. 高齢者福祉制度全般について	61

第4章 在宅要介護認定者用調査	66
1. 回答者の基本属性	66
2. 介護保険サービスについて	74
3. 介護保険制度について	84
4. 在宅医療について	89
5. 日常生活上等について	91
6. 住まいについて	99
7. 高齢者福祉施策全般について	103
8. 主な介護者の基本属性	105
9. 主な介護者の勤務形態について	109
10. 介護について	114
第5章 施設・居住系サービス利用者用調査	123
1. 回答者の基本属性	123
2. 今後の介護希望について	127
3. 施設等でのサービスについて	129
4. 介護保険制度について	134
5. 高齢者福祉施策全般について	138
参考資料	140
1. 一般高齢者用調査票	140
2. 在宅要介護認定者用調査票	152
3. 施設・居住系サービス利用者用調査票	167

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和2年度に実施する「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しのための基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等を把握するために実施した。

2. 調査の設計と回収状況

	一般高齢者用 調査	在宅要介護認定者用 調査	施設・居住系サービス 利用者用調査
調査対象者	要介護認定を受けていない第1号被保険者 (65歳以上)	在宅で生活している 要介護認定者	介護保険施設や居住系 サービスを利用している 要介護認定者
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
対象抽出数	1,500人	2,500人	500人
送付数	1,495人	2,469人	490人
回収数 (回収率)	994人 (66.5%)	1,430人 (57.9%)	226人 (47.2%)
有効回収数 (有効回収率)※	983人 (65.8%)	991人 (40.1%)	130人 (26.5%)
調査期間	令和2年1月14日～2月21日(回収予備期間を含む)		

※ 有効回収率は、回収数から調査不能者数(調査時に病院へ入院中、施設へ入所中、転居・転出、死亡等の理由により実質的な回答ができなかった者)を除いた数。

3. 調査結果利用上の注意

- 各調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表している。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 本文または図表中に引用した質問文や選択肢は省略して表記している場合があるため、詳細は巻末「参考資料」中の「調査票」参照。
- クロス集計の表側に使用する「性別」「圏域別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計結果等において、基数（N）となる調査数が概ね30人未満と少数のものについては、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意を要する。

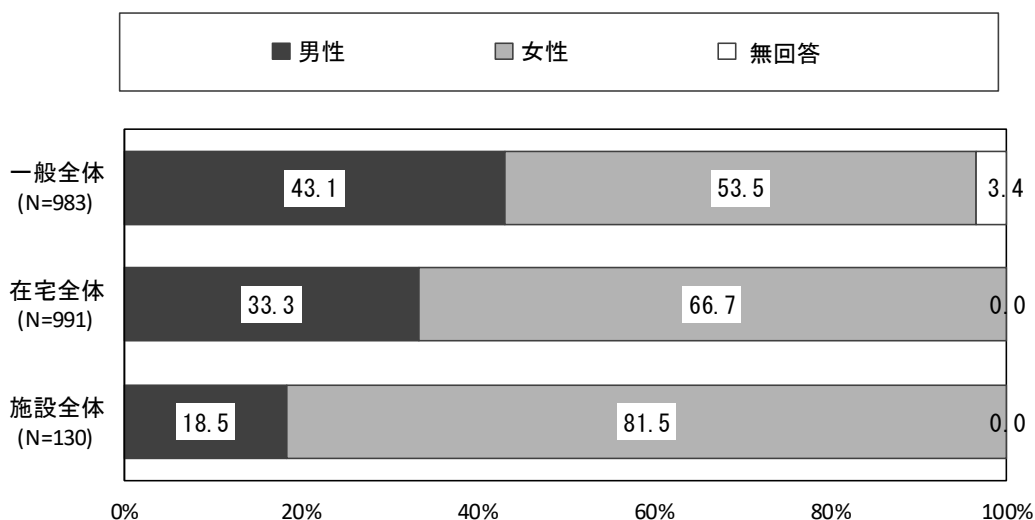
第2章 調査結果の概要

1. 回答者の基本属性

(1) 性別

- 一般高齢者、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「女性」が過半数を占め、男性を上回っている。特に、施設・居住系サービス利用者の81.5%が「女性」と高くなっている。

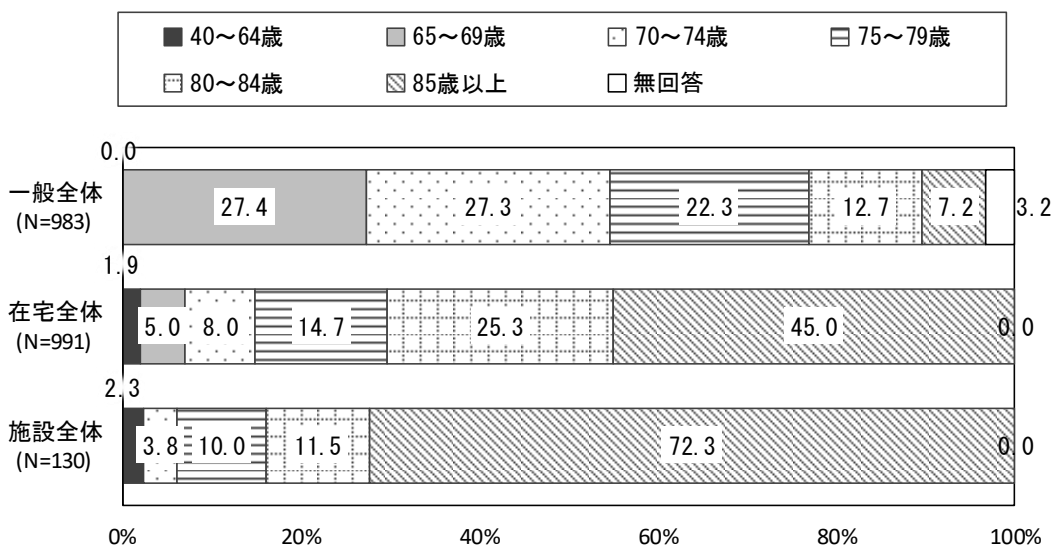
【性別】



(2) 年齢

- 一般高齢者では、74歳以下の前期高齢者が54.7%と半数を占めている。
- 在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者は、75歳以上の後期高齢者が大多数を占めており、在宅要介護認定者では85.0%、施設・居住系サービス利用者では93.8%となっている。また、40~64歳も2%程度みられる。

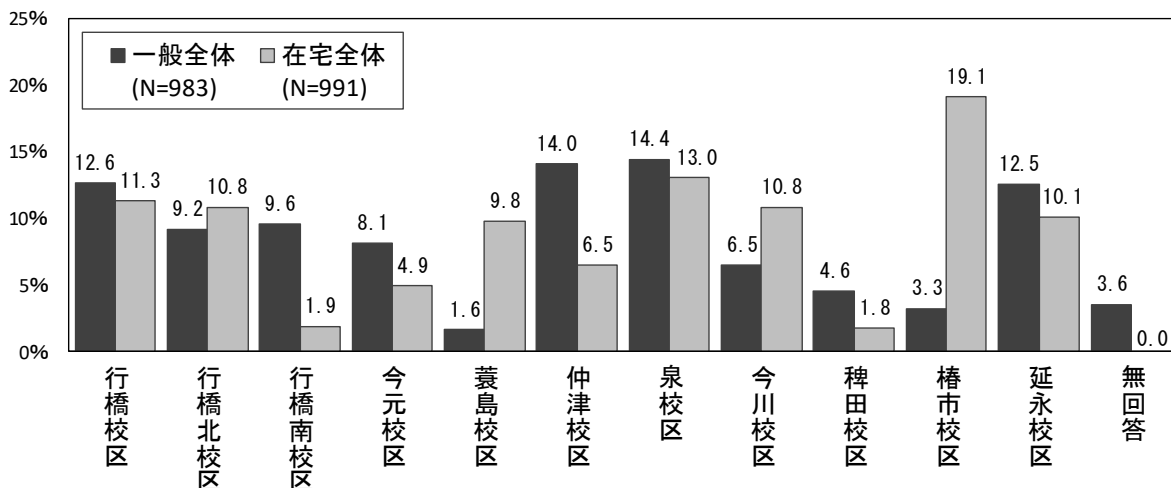
【年齢階層】



(3) 居住地区（小学校区・圏域）

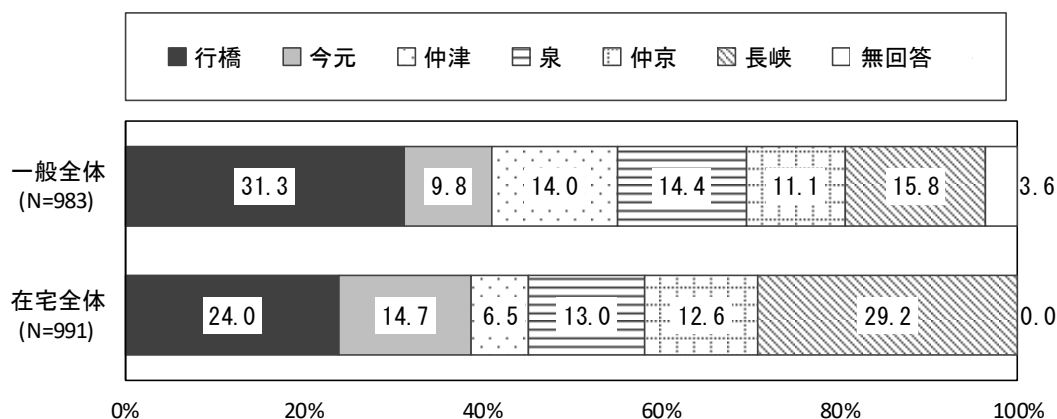
- 小学校区別で見ると、一般高齢者では「泉校区」（14.4%）、「仲津校区」（14.0%）、「行橋校区」（12.6%）、「延永校区」（12.5%）の順に高い。（※回答者の選択に基づく構成比）
- 在宅要介護認定者では「椿市校区」（19.1%）、「泉校区」（13.0%）、「行橋校区」（11.3%）、「行橋北校区」「今川校区」（10.8%）の順に高い。（※被保険者情報に基づく構成比）

【小学校区】



- 圏域別で見ると、一般高齢者では「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（31.3%）、「長峡（椿市校区、延永校区）」（15.8%）、「泉（泉校区）」（14.4%）の順に高い。
- 在宅要介護認定者では「長峡（椿市校区、延永校区）」（29.2%）、「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（24.0%）、「今元（今元校区、菟島校区）」（14.7%）の順に高い。

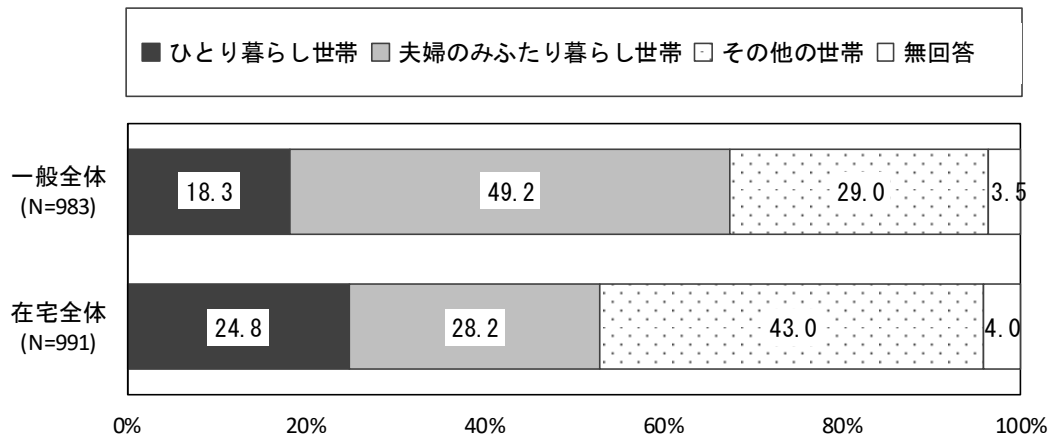
【圏域】



(4) 世帯構成

- 一般高齢者では「夫婦のみふたり暮らし世帯」(49.2%)、在宅要介護認定者では「その他の世帯」(43.0%) がそれぞれ最も高くなっている。「夫婦ふたり暮らし世帯」は、一般高齢者が在宅要介護認定者より高く、「ひとり暮らし世帯」は在宅要介護認定者が一般高齢者より高い。

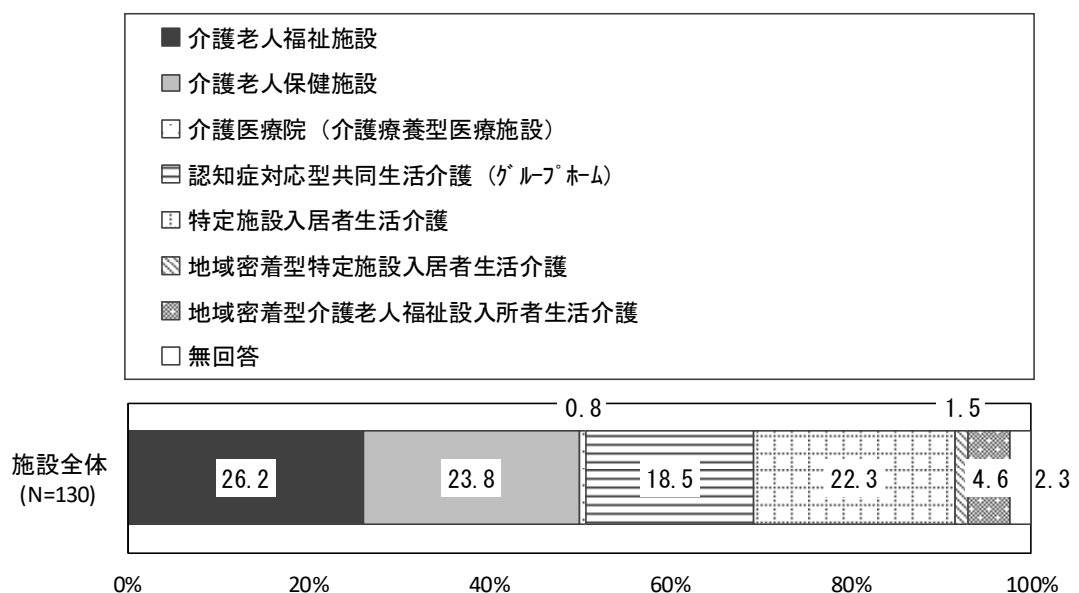
【世帯構成】



(5) 入所・入居施設の種類

- 施設・居住系サービス利用者では「介護老人福祉施設」が 26.2%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」(23.8%)、「特定施設入居者生活介護」(22.3%)、「認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)」(18.5%) の順に高くなっている。

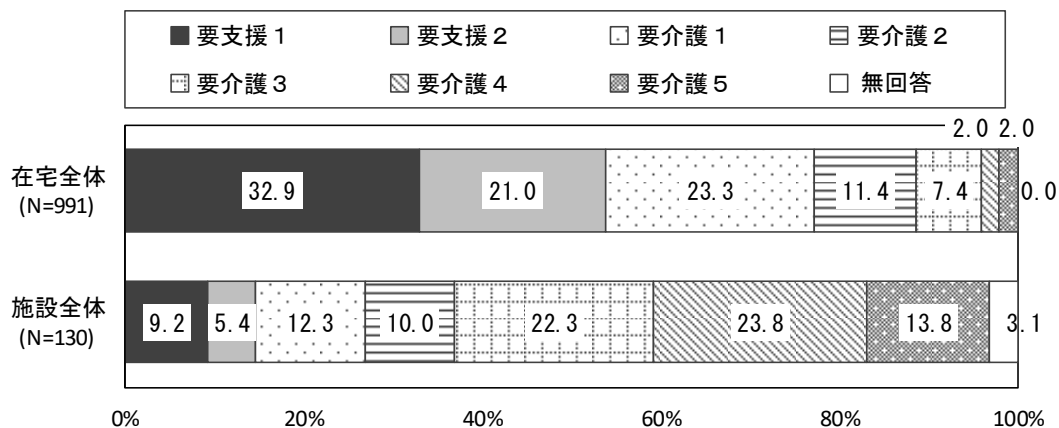
【入所・入居施設の種類】



(5) 要介護度

- 在宅要介護認定者では「要支援1」が32.9%と最も高く、次いで「要介護1」(23.3%)、「要支援2」(21.0%)の順に高い。
- 在宅要介護認定者では「要介護4」が23.8%と最も高く、次いで「要介護3」(22.3%)、「要介護5」(13.8%)の順に高く、中重度の認定者が60%程度を占めている。
- 在宅要介護認定者では要支援1・2の要支援認定者が53.9%と半数を占めているが、施設・居住系サービス利用者では要介護1以上の要介護認定者が82.2%を占めている。

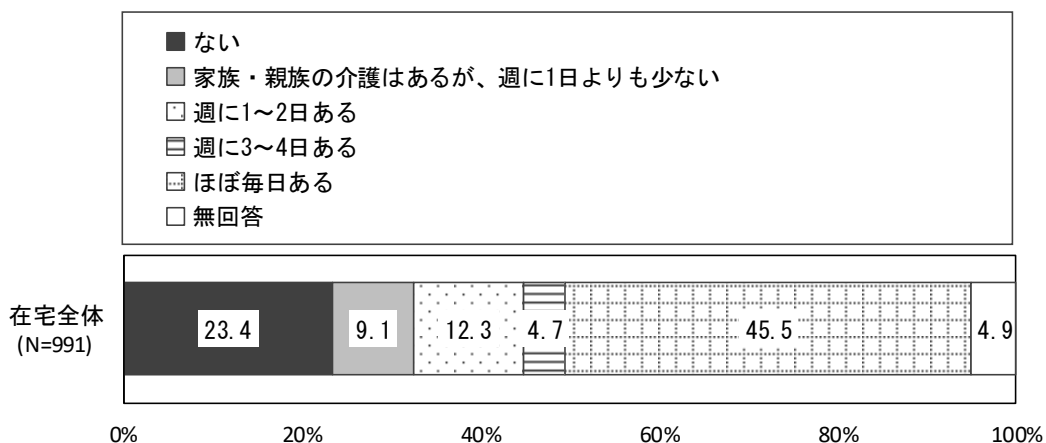
【要介護度】



(6) 家族・親族等からの介護の頻度

- 在宅要介護認定者の家族・親族等からの介護は「ほぼ毎日ある」が45.5%と最も高く、次いで「ない」(23.4%)、「週に1～2日ある」(12.3%)の順に高く、「週に1～2日ある」から「ほぼ毎日ある」を合わせた『週に1日以上』が62.5%と高くを占めている。

【家族・親族等からの介護の頻度】



2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について

(1) 健康状態について

- 現在抱えている怪我、病気について、一般高齢者では「高血圧」(40.8%)、在宅要介護認定者では「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(25.2%)、施設・居住系サービス利用者では「認知症」(53.8%)がそれぞれ最も高い。
- 一般高齢者、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「糖尿病」が上位にあがっている。

【抱えている怪我や病気】

	一般高齢者 (N=983)	在宅要介護認定者 (N=991)	施設・居住系サービス (N=130)
1位	高血圧 (40.8%)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等 (25.2%)	認知症 (53.8%)
2位	特になし (17.1%)	認知症 (24.1%)	その他 (22.3%)
3位	目の病気 (14.9%)	その他 (21.7%)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) (18.5%)
4位	糖尿病 (13.5%)	糖尿病 (18.2%)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等 (15.4%)
5位	高脂血症(脂質異常) (12.4%)	心臓病 (17.7%)	糖尿病 (14.6%)

(2) 介護予防について

- 一般高齢者が健康づくりや介護予防のために、日常生活の中で取り組んでいることは「歩く(散歩や買い物等)」が55.5%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」(52.4%)、「十分な休養や睡眠をとる」(47.0%)、「規則正しい生活をする」(45.9%)となっており、「特に取り組んでいない」は6.0%程度に留まっている。
- 一般高齢者が健康づくりや介護予防で関心があることは「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」が49.1%と最も高く、次いで「認知症の予防について」(46.3%)、「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」(44.4%)、「運動等による体力づくりや肥満の予防について」(33.8%)の順に高くなっている。

(3) 認知症について

- 一般高齢者の認知症に関する知識については、認知症はふだんから頭を使うことで予防できると思うかについて「予防できると思う」が61.6%、認知症はふだんから運動をすることで予防できると思うかについて「予防できると思う」が53.3%となっている。また、早期治療が必要な病気であると思うかについて「そう思う」が78.7%となっている。
- 一般高齢者が認知症について関心があることは「認知症の予防」が73.9%と最も高く、次いで「認知症の医学的な情報」(40.0%)、「認知症の介護のしかた」(32.1%)の順に高い。

3. 社会参加や生きがいづくりについて

(1) 地域活動について

- 一般高齢者の地域活動への参加は「参加していない」が37.3%となっており、参加している人の活動内容は「町内会・自治」が23.1%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(18.5%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(17.1%)、「老人クラブ」(13.4%)、「いきいきサロン」(12.8%)の順に高く、その他の活動については10%未満となっている。また、「参加していない」と回答した人の理由は、「一人の方が楽だから」が37.9%と最も高く、次いで「家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから」(25.3%)、「参加するきっかけがないから」(23.4%)の順に高くなっている。
- 一般高齢者が今後やりたいことは「特にない」は5.6%に留まっており、やりたいことの内容は「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」が49.0%と最も高く、次いで「これまでの友人や知人と交流すること」(47.7%)、「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(31.0%)、「家族と一緒に過ごすこと」(30.7%)、「サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(28.3%)の順に高くなっている。

(2) 働くことについて

- 一般高齢者では現在「働いている」が30.6%となっており、働いている人の職業は「パート・アルバイト等(シルバー人材センターへの登録等含む)」が36.2%と最も高く、次いで「その他」(14.6%)、「会社員・公務員等」(14.3%)、「農林漁業自営」(13.6%)の順に高い。
- 一般高齢者で現在働いていない人の21.4%が今後働きたいと考えており、働く際に重視する条件は「体力的に負担が軽い仕事であること」が46.6%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(39.8%)、「やりがいがあること」(28.6%)の順に高い。また、希望する業種は「生活関連サービス業、娯楽業」(12.8%)、や「介護・高齢者支援関連業」(11.3%)が高い。

4. 日常生活等、地域での支え合いについて

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「健康や病気、介護」が40%を超えて最も高い。また、「急病などの緊急時の対応」も共通して上位にあがっている。在宅要介護認定者では「買い物」や「外出」、「家事」など、日頃の生活に欠かせない動作や活動に不安や困りごとを抱えている人が多い。

【日常生活上の不安や困りごと】

	一般高齢者 (N=983)	在宅要介護認定者 (N=991)
1位	健康や病気、介護 (40.3%)	健康や病気、介護 (45.9%)
2位	急病などの緊急時の対応 (20.9%)	買い物 (31.6%)
3位	庭の手入れ (16.7%)	外出 (手段、送迎、付き添い等) (30.6%)
4位	高齢者のみの生活 (13.5%)	家事 (掃除・洗濯・ごみ出し等) (27.4%)
5位	災害時の手助け (情報伝達・避難・消火等) (11.8%)	急病などの緊急時の対応 (27.2%)

- 日常生活上の不安や困りごとの相談相手・機関は、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「家族や親族」や「かかりつけ医の医師・看護師等」が高くなっている。また、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が39.6%と2番目に高い。

(2) 在宅要介護認定者への支援・サービスについて

- 在宅要介護認定者の介護保険サービス以外の支援・サービスの利用について、「特に利用していない」が51.3%となっており、利用している人の支援・サービスは「配食」(12.5%)、「掃除・洗濯」(10.9%)、「外出同行 (通院、買い物など)」(10.3%)、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」(8.8%)、「ごみ出し」(7.8%)が上位にあがっている。
- 在宅要介護認定者の不安や困りごとについて、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「健康や病気、介護」が12.0%と最も高く、次いで「災害時の手助け (情報伝達・避難・消火等)」(11.9%)、「庭の手入れ」(10.2%)、「急病などの緊急時の対応」(10.0%)、「高齢者のみの生活」(9.3%)が上位にあがっている。

(3) 地域での支え合いについて

- 一般高齢者が、日常生活で支援が必要になった場合に身近な地域の人にしてほしい支援は「急病などの緊急時の手助け」が37.2%と最も高く、次いで「災害時の手助け」(33.7%)、「外出時の送迎」(30.5%)の順に高い。
- 一般高齢者が、となり近所の人に対してできる支援は「定期的な声かけや見守り」が45.5%と最も高く、次いで「ごみ出し」(37.9%)、「急病などの緊急時の手助け」(29.7%)の順に高い。

【地域の人にしてもらいたい支援、できる支援】 (一般高齢者(N=983))

	身近な地域の人にしてほしいこと	近所の高齢者や障がいのある人にできる支援
1位	急病などの緊急時の手助け (37.2%)	定期的な声かけや見守り (45.5%)
2位	災害時の手助け (33.7%)	ごみ出し (37.9%)
3位	外出時の送迎 (30.5%)	急病などの緊急時の手助け (29.7%)
4位	買い物 (26.2%)	買い物、災害時の手助け (同率 29.3%)
5位	庭の手入れ (24.9%)	外出時の送迎 (18.2%)

4. 住まいについて

(1) 住居に関する不便さや困りごと

- 住居に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では47.3%、在宅要介護認定者では39.6%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」「古くなって安全性に不安がある」が上位にあがっている。

【住居の困りごと】

	一般高齢者 (N=983)	在宅要介護認定者 (N=991)
1位	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(25.5%)	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(27.7%)
2位	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(19.4%)	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(23.6%)
3位	古くなって安全性に不安がある (18.2%)	古くなって安全性に不安がある (15.4%)

- 住んでいる環境・地域に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では36.3%、在宅要介護認定者では33.4%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」「役所等の公共機関が近くにない」の順に高くなっている。

【環境・地域の困りごと】

	一般高齢者 (N=983)	在宅要介護認定者 (N=991)
1位	交通の便が悪い (32.1%)	交通の便が悪い (35.2%)
2位	商業施設が近くにない(銀行、スーパー等) (26.4%)	商業施設が近くにない(銀行、スーパー等) (33.0%)
3位	役所等の公共機関が近くにない (24.5%)	役所等の公共機関が近くにない (28.9%)

5. 介護保険サービス、施設サービス等について

(1) 介護保険サービスの利用について

- 在宅要介護認定者では、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用している人が78.0%となっており、利用したことにより、「生活が維持できている」(53.3%)、や「穏やかに毎日を過ごせている」(32.9%)等の効果を感じている。
- 介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者の介護保険サービスの利用満足度は「まあ満足」が36.1%と最も高く、「満足」(29.9%)を合わせた『満足』が66.0%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は4.3%となっており、不満の理由について42.9%が「サービスの量（回数や時間）が足りない」と回答している。
- 在宅要介護認定者では、現在の介護保険サービス利用の有無に関わらず、今後利用したい（利用し続けたい）在宅サービスは「通所リハビリテーション」(14.8%)、「福祉用具貸与（レンタル）・購入」(14.7%)、「訪問介護（生活援助中心）」(7.9%)、「通所介護」(7.8%)、「訪問介護（身体的介護中心）」(6.3%)が上位にあがっている。

(2) 施設サービスの利用について

- 施設・居住系サービス利用者が施設等に入所している期間は「2～3年未満」が28.5%と最も高く、次いで「5年以上」(25.4%)、「3～5年未満」(21.5%)となっており、『2年以上』が79.3%と高くを占めている。
- 施設・居住系サービス利用者の施設サービスの利用満足度は「満足」が33.8%と最も高く、「まあ満足」(27.7%)を合わせた『満足』が61.5%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は4.6%となっている。

6. 在宅医療や在宅介護について

(1) 在宅医療について

- 一般高齢者では在宅医療サービスについて「知らない」は14.1%に留まっており、知っているサービス内容は「訪問看護」(62.3%)や「通所リハビリテーション(デイケア)」(58.2%)、「訪問診療」(52.0%)が高い。
- 在宅要介護認定者が利用している在宅医療サービスは「通所リハビリテーション(デイケア)」が42.0%と最も高い。また、在宅医療サービスが必要となった理由(状態、病気、処置)について「その他」(26.6%)が最も高く、その内容は筋力や歩行能力の低下となっている。次いで「認知症」(18.7%)、「脳梗塞などの後遺症」(13.1%)となっており、「たんの吸引」「腹膜透析・人工透析」「在宅酸素」等の高度な医療処置を必要とする人は2%以下となっている。

(2) 今後の介護希望について

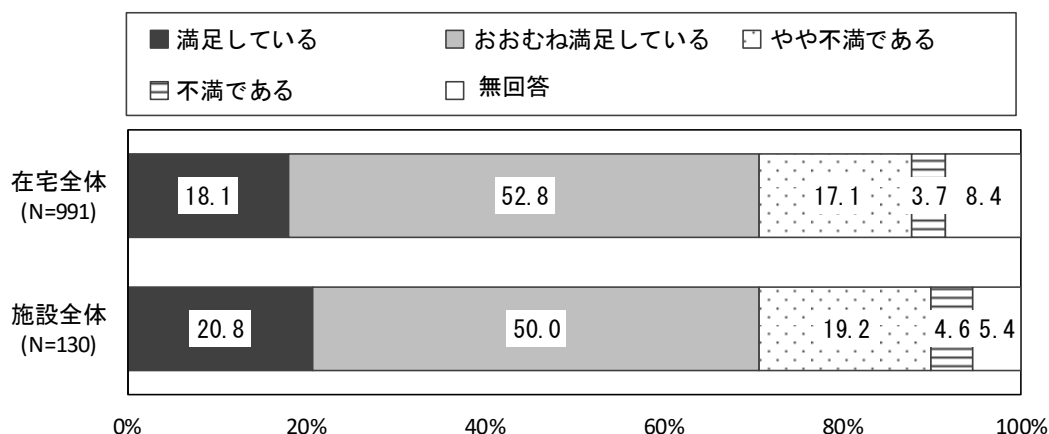
- 一般高齢者では、将来、自分自身に介護が必要になった場合、希望する介護は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が30.1%と最も高く、これに「自宅で家族だけで介護してほしい」(6.9%)と「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(11.5%)を合わせた『在宅希望』が48.5%と半数近くとなっている。
- 一般高齢者では、人生の最期をどこで迎えたいかについて「自宅」が53.3%と半数を占め、次いで「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」(26.2%)となっている。
- 施設・居住系サービス利用者が今後希望する介護は「現在のグループホーム・特定施設等(居住系サービス)で引き続き生活したい」が46.2%と最も高く、これに「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」(45.4%)を合わせた91.6%が現在入所中の施設等への継続入所を希望している。

7. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について

(1) 介護保険制度について

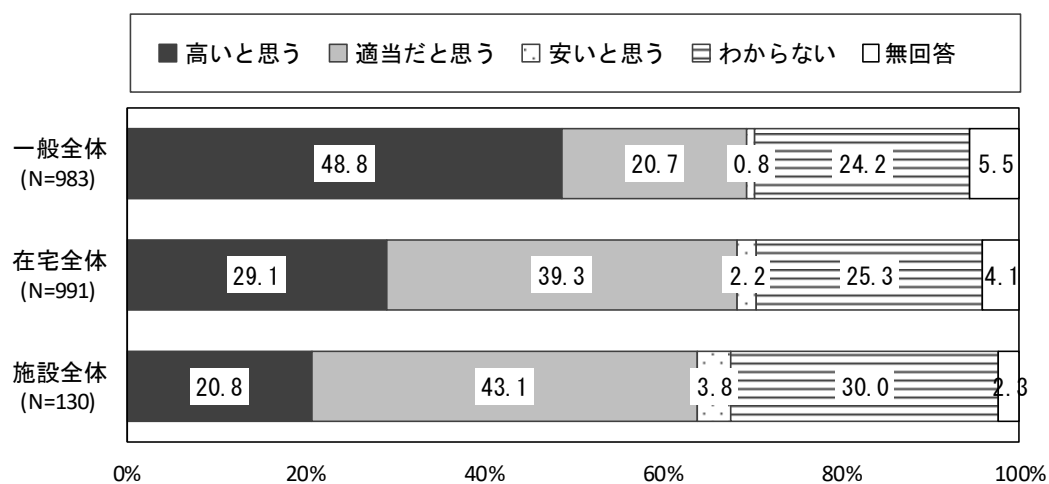
- 介護保険制度の満足度では、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに、「おおむね満足している」が過半数を占めて最も高い。また、「満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足』は、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに70%以上を占めている。

【介護保険制度の満足度】



- 介護保険料と介護サービスのあり方について、在宅要介護認定者では、一般高齢者や施設・居住系サービスに比べて「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」が23.9%とやや多い。
- 介護保険料の負担感は、一般高齢者では「高いと思う」が48.8%と半数程度を占めているが、実際に介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者や施設・居住系サービス利用者では「適当だと思う」が最も高くなっている。

【介護保険料の負担感】



(2) 高齢者施策について

- 高齢者に対する施策や支援で特に大切だと思うものは、一般高齢者、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「高齢者に配慮したまちづくり」「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」が上位にあがっている。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】

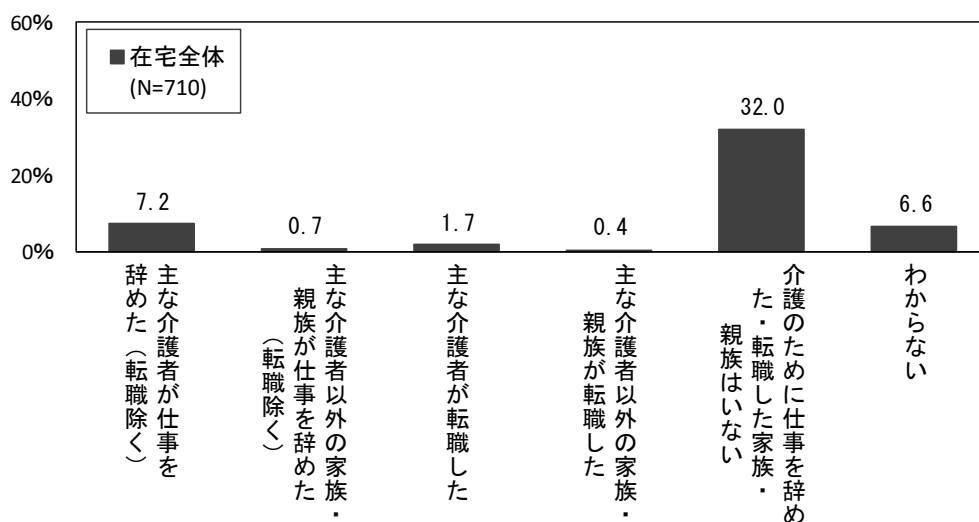
	一般高齢者 (N=983)	在宅要介護認定者 (N=991)	施設・居住系サービス (N=130)
1位	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (44.5%)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど) (37.3%)	介護保険施設等の施設サービスの充実 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
2位	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (40.1%)	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (28.4%)	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (同率 41.5%)
3位	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど) (37.9%)	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (28.3%)	
4位	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (34.4%)	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど) (26.8%)	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援 (36.2%)
5位	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援 (32.9%)	地震、火災、風水害などに対する防災対策 (26.6%)	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化) (30.8%)

8. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）

（1）主な介護者について

- 在宅要介護認定者を介護されているご家族やご親族等について、調査対象者との続柄は、「子」（44.6%）や「配偶者」（33.0%）で70%以上を占める。
- 主な介護者の性別は「女性」が57.3%、「男性」が31.5%となっている。
- 主な介護者の年齢は「60歳代」（29.9%）、「50歳代」（20.4%）、「70歳代」（17.9%）、「80歳以上」（15.1%）の順に高い。
- 調査対象者と主な介護者は「同居」が66.5%と多くを占め、「別居（行橋市内）」が15.9%、「別居（行橋市外）」が7.6%となっている。
- 調査対象者の介護を主な理由として、過去1年間に離職・転職した家族・親族について「主な介護者が仕事を辞めた」が7.2%、「主な介護者が転職した」が1.7%となっている。

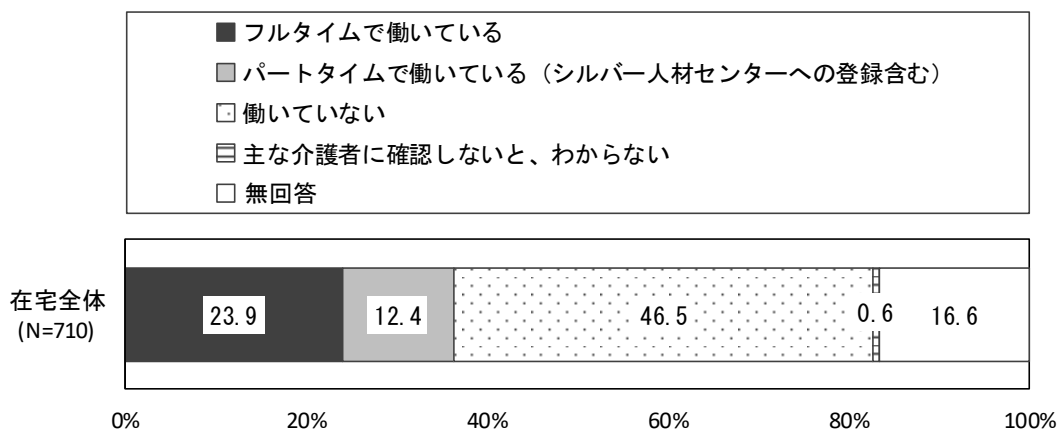
【家族・親族等の介護を理由とした離職状況】



（2）仕事と介護の両立について

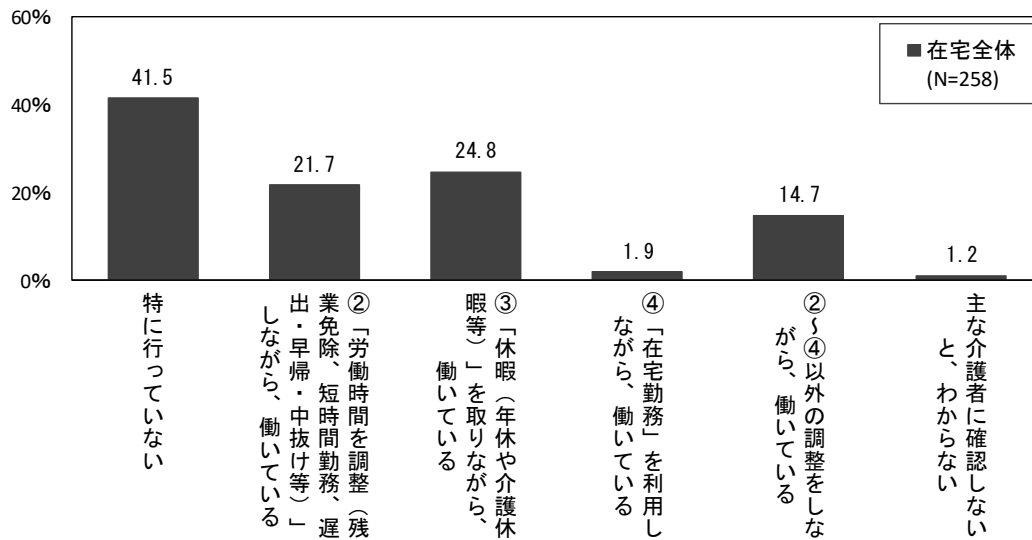
- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が46.5%と半数近くを占め、「フルタイムで働いている」が23.9%、「パートタイムで働いている」が12.4%となっており、36.3%が働きながら介護を行っている。

【主な介護者の勤務形態】



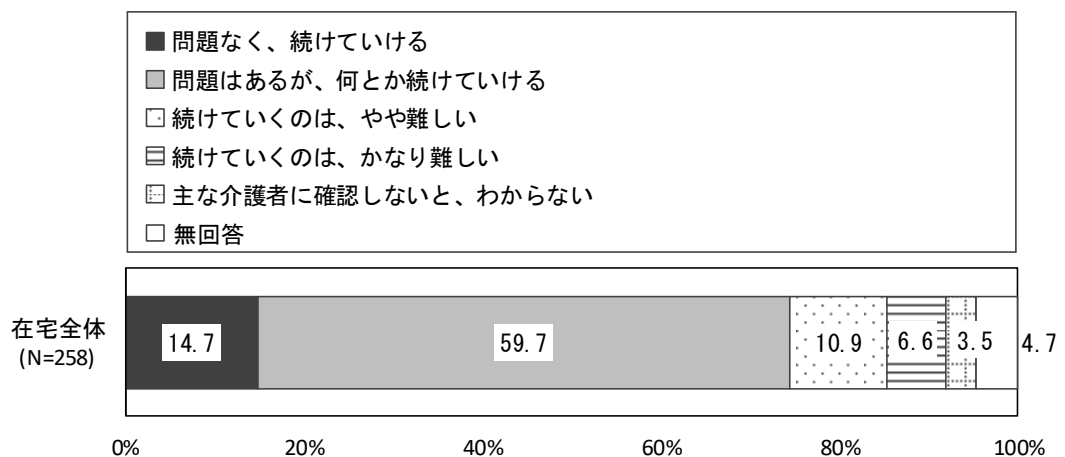
- フルタイム又はパートタイムで働きながら介護を行う介護者の働き方の調整等について、41.5%が「特に行っていない」としている。調整等を行う人では、「③休暇を取りながら、働いている」(24.8%)、「②労働時間を調整しながら、働いている」(21.7%)、「②～④以外の調整をしながら、働いている」(14.7%)が高い。

【介護をするにあたって行う働き方についての調整等】



- 働きながら介護を行う従業員に勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは「特にない」が24.0%となっている。次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(22.5%)、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(17.8%)の順に高い。
- 今後も介護をしながら就労継続が見込めるかについて「問題はあるが、何とか続けていける」が59.7%と最も高く、「問題なく、続けていける」(14.7%)を合わせた74.4%が『就労継続可能』となる。一方、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『就労継続困難』は17.5%となっている。就労継続可能な期間を維持できるよう、支援していく必要がある。

【就労継続見込み】



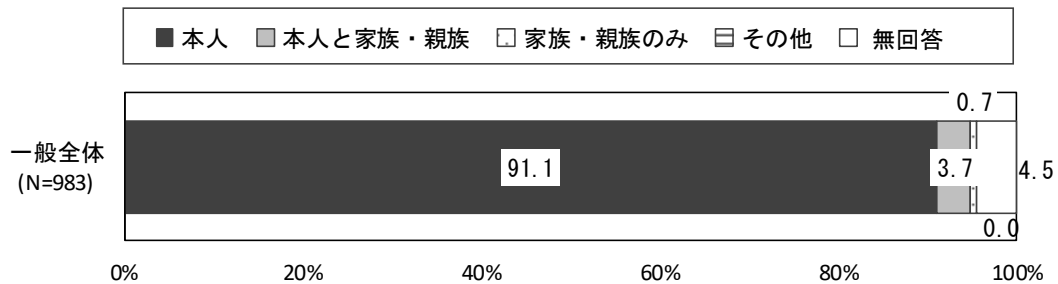
第3章 一般高齢者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が91.1%となっている。

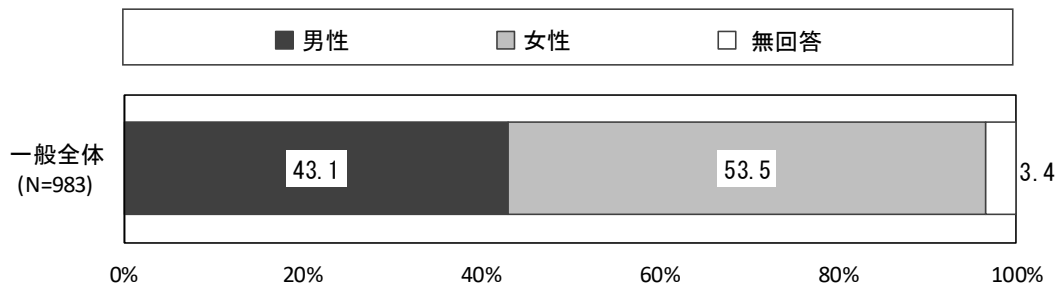
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が53.5%を占め、「男性」(43.1%)を10.4ポイント上回っている。

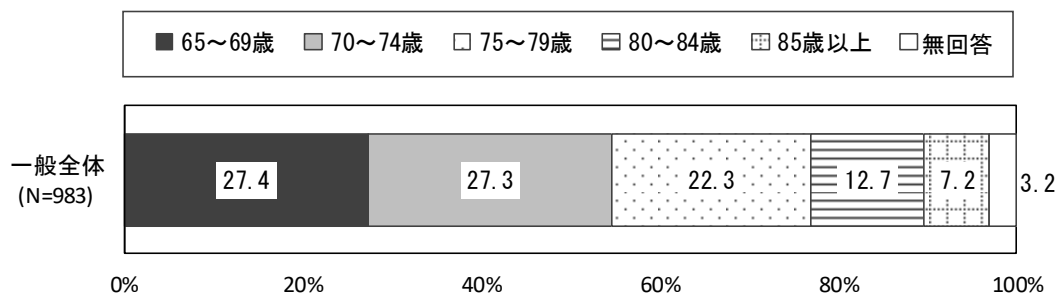
【性別】



(3) 年齢

- 「65～69歳」が27.4%と最も高く、「70～74歳」(27.3%)を合わせた前期高齢者が54.7%と半数以上を占める。75歳以上の後期高齢者は42.2%となっている。

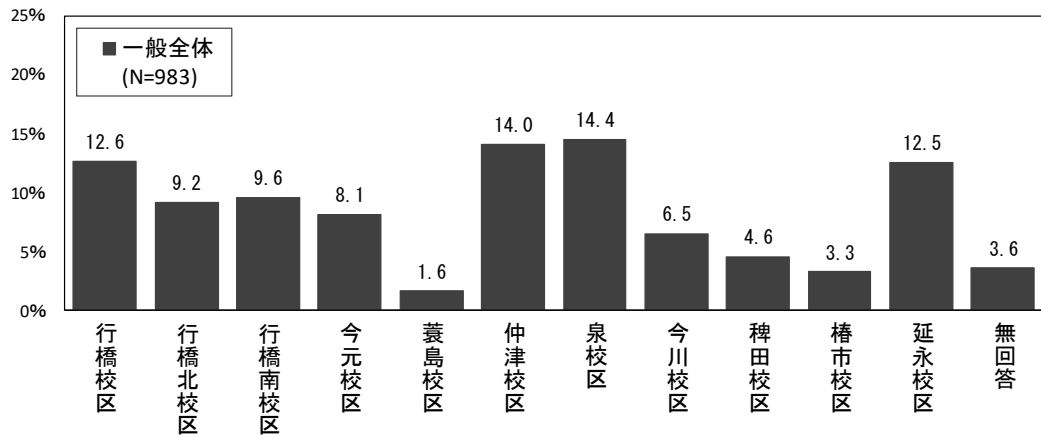
【年齢】



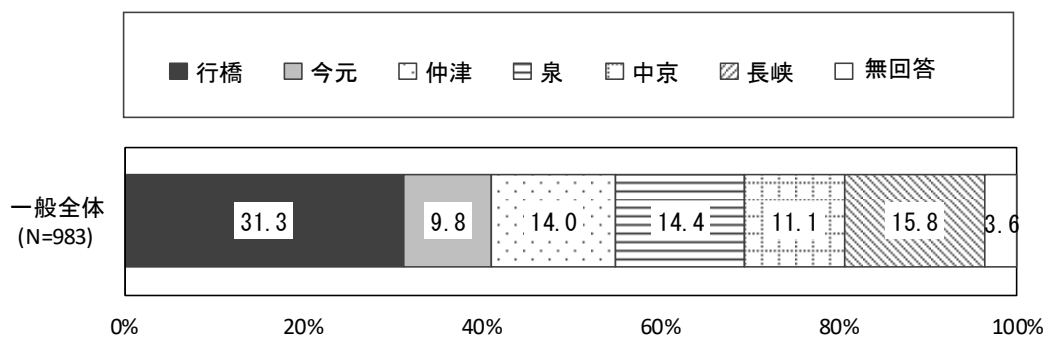
(4) 居住地区

- 「泉校区」が14.4%と最も高く、次いで「仲津校区」(14.0%)、「行橋校区」(12.6%)の順に続く。

【居住地区(小学校区)】



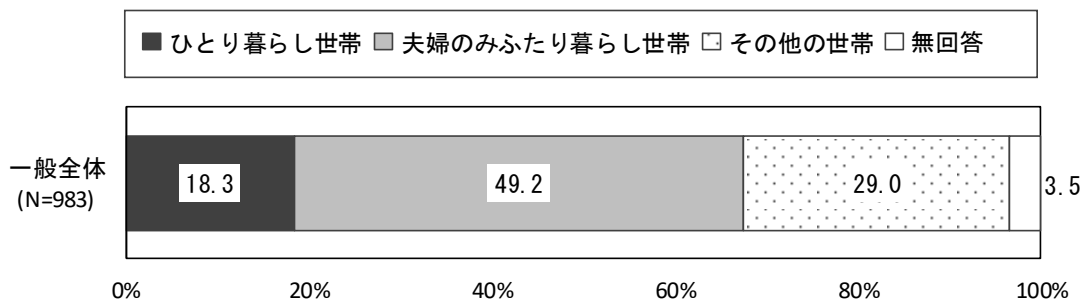
【居住地区(圏域)】



(5) 世帯構成

- 「夫婦のみふたり暮らし世帯」が49.2%と最も高く、次いで「その他の世帯」(29.0%)、「ひとり暮らし世帯」(18.3%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が25.3%と男性を上回っている。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が61.6%を占めている。
- 年齢別にみると年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高まり、85歳以上になると31.0%を占める。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、行橋校区が29.8%と最も高く、次いで「行橋北校区」(23.3%)、「行橋南校区」(22.3%)、「延永校区」(22.0%)が20%を超えている。

【世帯構成】



【世帯構成(性別・年齢別・居住地区別)】

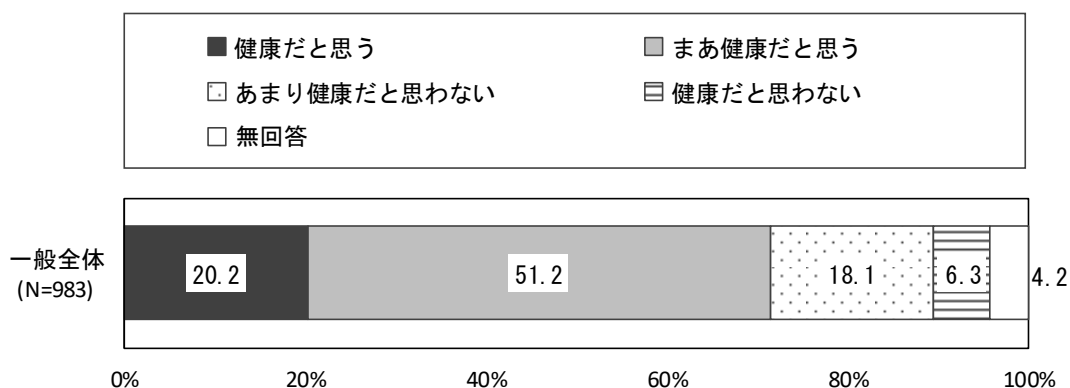
	調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	18.3	49.2	29.0	3.5	
性別	男性	424	10.8	61.6	27.4	0.2
	女性	526	25.3	42.0	32.1	0.6
	無回答	33	3.0	6.1	0.0	90.9
年齢別	65～69歳	269	14.9	54.3	30.5	0.4
	70～74歳	268	16.0	56.7	27.2	0.0
	75～79歳	219	20.5	49.8	29.2	0.5
	80～84歳	125	24.0	45.6	29.6	0.8
	85歳以上	71	31.0	26.8	40.8	1.4
	無回答	31	0.0	3.2	0.0	96.8
小学校区別	行橋校区	124	29.8	46.8	23.4	0.0
	行橋北校区	90	23.3	46.7	28.9	1.1
	行橋南校区	94	22.3	43.6	33.0	1.1
	今元校区	80	15.0	55.0	30.0	0.0
	葦島校区	16	12.5	50.0	37.5	0.0
	仲津校区	138	15.9	47.8	35.5	0.7
	泉校区	142	10.6	58.5	30.3	0.7
	今川校区	64	14.1	54.7	31.3	0.0
	稗田校区	45	17.8	53.3	28.9	0.0
	椿市校区	32	15.6	46.9	37.5	0.0
	延永校区	123	22.0	55.3	22.8	0.0
	無回答	35	2.9	0.0	11.4	85.7

2. 健康について

(1) 主体的健康感

- 自分の健康状態について「まあ健康だと思う」が 51.2%と半数以上を占め、これに「健康だと思う」(20.2%)を合わせた 71.4%が『健康だと思う』と回答している。一方、「あまり健康だと思わない」(18.1%)と「健康だと思わない」(6.3%)を合わせた『健康だと思わない』は 24.4%となっている。
- 性別にみると、『健康だと思う』が、男性では 73.1%、女性では 73.8%と大きな差はない。
- 年齢別にみると、『健康だと思う』は 80～84 歳では 68.0%と 70%を下回っており、『健康だと思わない』が 31.2%となっている。

【主体的健康感】



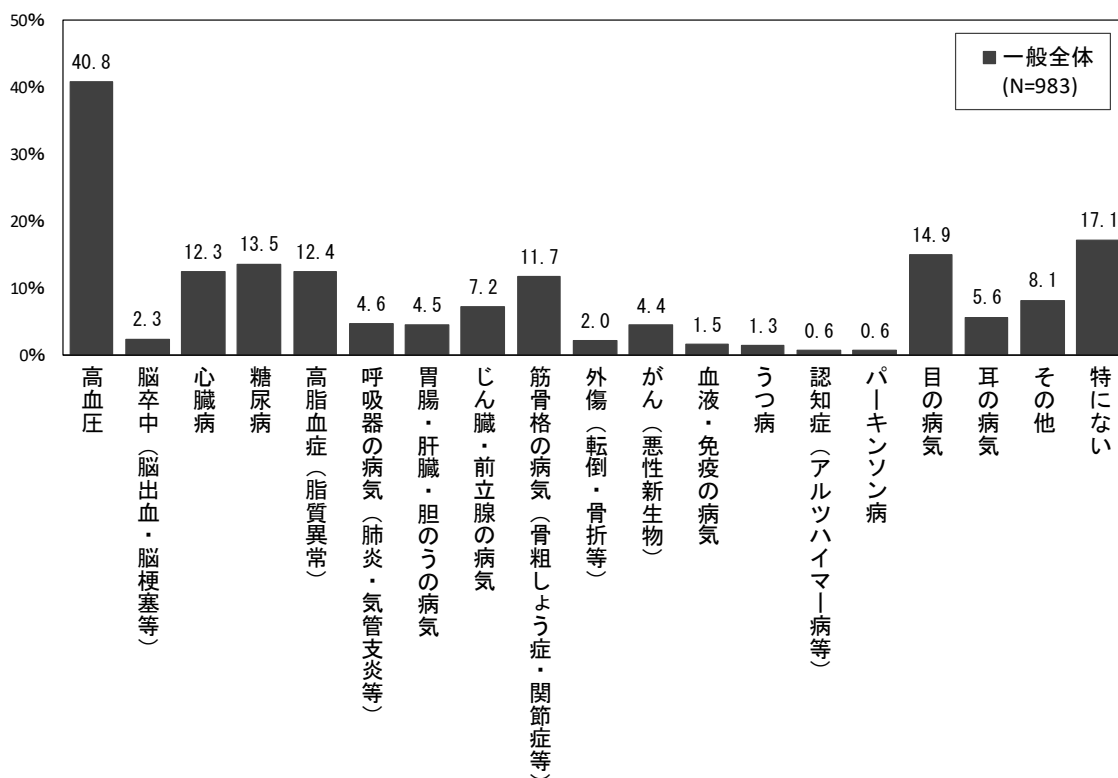
【主体的健康感(性別・年齢別)】

	調査数	健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康だと思わない	健康だと思わない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	983	20.2	51.2	18.1	6.3	4.2	
性別	男性	424	25.0	48.1	20.0	5.4	1.4
	女性	526	17.1	56.7	17.5	7.2	1.5
	無回答	33	9.1	3.0	3.0	3.0	81.8
年齢別	65～69歳	269	25.7	53.2	16.4	3.3	1.5
	70～74歳	268	20.1	51.9	19.0	7.1	1.9
	75～79歳	219	18.7	53.9	18.7	7.8	0.9
	80～84歳	125	16.8	51.2	21.6	9.6	0.8
	85歳以上	71	16.9	53.5	19.7	7.0	2.8
	無回答	31	6.5	3.2	3.2	0.0	87.1

(2) 治療中、生活に支障がある怪我、病気

- 怪我、病気は「高血圧」が 40.8%と最も高く、次いで「目の病気」(14.9%)、「糖尿病」(13.5%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.4%)、「心臓病」(12.3%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は「心臓病」(17.2%)や「糖尿病」(18.2%)、「じん臓・前立腺の病気」(13.7%)が女性に比べて高い。女性は男性に比べて「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(18.4%)が14.4ポイント上回っている。
- 年齢別にみると、65～69歳では「特にない」が24.5%みられたが、年齢が上がるにつれて「特にない」は20%を下回っており、高齢になるほど病気にかかる人が高くなっている。また、75歳を境に、「心臓病」や「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」、「目の病気」の割合が高まる。

【治療中、生活に支障がある怪我、病気】



【治療中、生活に支障がある怪我、病気(性別・年齢別)】

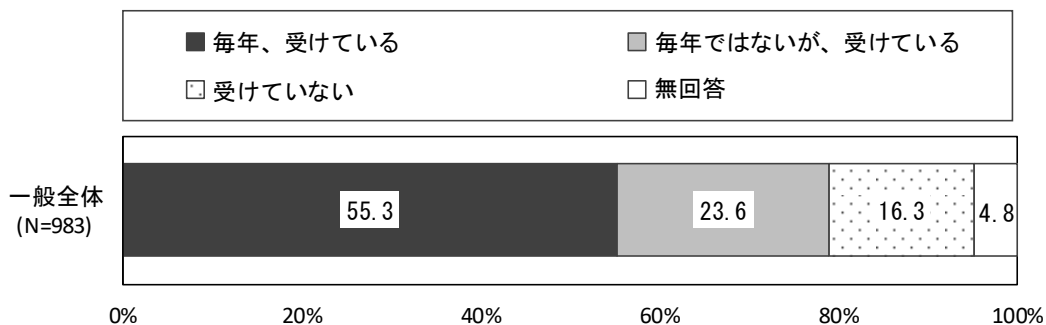
		調査数	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	じん臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	40.8	2.3	12.3	13.5	12.4	4.6	4.5	7.2	11.7	2.0
性別	男性	424	42.0	3.5	17.2	18.2	10.6	5.4	4.5	13.7	4.0	1.2
	女性	526	42.2	1.3	8.9	10.5	14.6	4.2	4.8	2.3	18.4	2.9
	無回答	33	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0
年齢別	65～69歳	269	31.2	0.7	7.1	11.9	16.4	3.7	4.1	4.5	7.1	1.1
	70～74歳	268	44.4	2.6	7.5	13.4	12.7	3.7	6.3	9.3	10.8	0.7
	75～79歳	219	47.5	2.3	15.1	17.4	16.0	5.0	4.1	7.3	15.1	4.6
	80～84歳	125	45.6	6.4	22.4	12.8	6.4	6.4	5.6	8.8	18.4	0.8
	85歳以上	71	52.1	1.4	28.2	14.1	1.4	8.5	0.0	8.5	15.5	5.6
	無回答	31	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0

		調査数	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	特 に な い
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	4.4	1.5	1.3	0.6	0.6	14.9	5.6	8.1	17.1
性別	男性	424	5.4	1.2	0.5	0.7	0.7	14.9	6.6	5.7	18.2
	女性	526	3.8	1.9	2.1	0.6	0.6	15.8	4.8	10.6	17.3
	無回答	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	269	4.8	1.9	1.5	0.4	0.4	11.2	4.5	9.3	24.5
	70～74歳	268	5.6	1.1	1.1	0.4	0.7	10.8	3.4	7.5	17.5
	75～79歳	219	5.0	2.3	1.4	0.5	0.5	19.2	6.8	8.2	12.8
	80～84歳	125	1.6	1.6	2.4	0.0	0.8	20.8	10.4	6.4	13.6
	85歳以上	71	1.4	0.0	0.0	4.2	0.0	26.8	7.0	12.7	14.1
	無回答	31	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0

(3) 健康診断の受診状況

- 健康診断の受診状況は「毎年、受けている」が 55.3%と半数以上を占め、これに「毎年ではないが、受けている」(23.6%)を合わせた 78.9%が『受けている』と回答している。一方、「受けていない」は 16.3%となっている。
- 性別にみると、『受けている』は、男性 (82.7%) が女性 (80.0%) をやや上回っている。
- 年齢別にみると、『受けている』は年齢が上がるにつれて減少し、85歳以上では「受けていない」が 26.8%となっている。
- 主体的健康感別にみると、「受けていない」の割合は、健康だと思わない人では 30%を超えている。

【健康診断の受診状況】



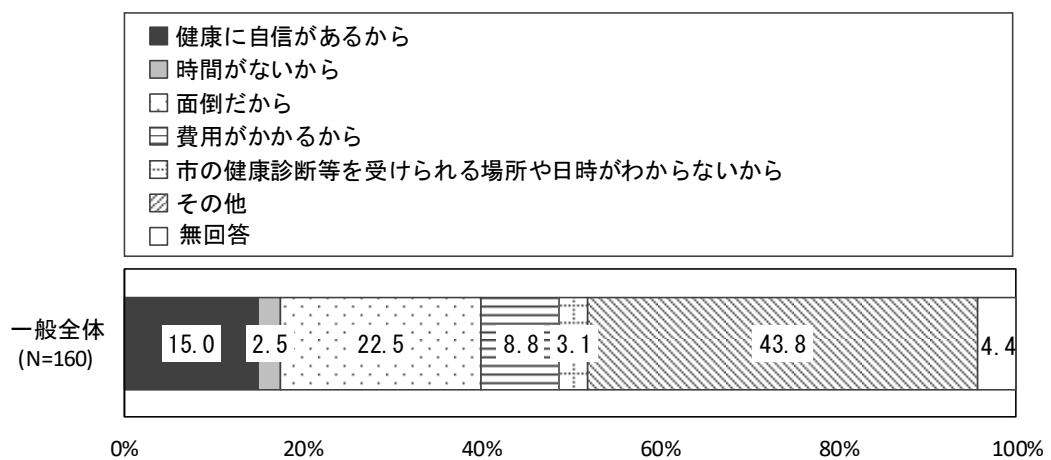
【健康診断の受診状況(性別・年齢別・主体的健康感別)】

		調査数	毎年、受けている	毎年ではないが、受けている	受けていない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	55.3	23.6	16.3	4.8
性別	男性	424	60.8	21.9	15.6	1.7
	女性	526	53.8	26.2	17.5	2.5
	無回答	33	9.1	3.0	6.1	81.8
年齢別	65～69歳	269	65.4	21.6	12.3	0.7
	70～74歳	268	63.1	21.6	14.2	1.1
	75～79歳	219	48.4	30.1	18.7	2.7
	80～84歳	125	44.8	28.8	22.4	4.0
	85歳以上	71	47.9	19.7	26.8	5.6
	無回答	31	9.7	0.0	3.2	87.1
主体的健康感別	健康だと思う	199	63.3	18.6	17.1	1.0
	まあ健康だと思う	503	59.4	24.5	13.7	2.4
	あまり健康だと思わない	178	50.6	27.5	19.1	2.8
	健康だと思わない	62	35.5	32.3	30.6	1.6
	無回答	41	17.1	7.3	9.8	65.9

(4) 健康診断を受けていない理由

- 健康診断を受けていない理由は「その他」が43.8%と最も高く、次いで「面倒だから」(22.5%)となっている。「その他」は、「病院に通っている」とする回答が多い。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「時間がないから」(3.3%)や「費用がかかるから」(9.8%)が高い。
- 年齢別にみると、70～74歳では「面倒だから」(28.9%)が他の年齢に比べて高い。85歳以上では「健康に自信があるから」が30%を超えている。
- 主体的健康感別にみると、健康だと思う人では「健康に自信があるから」が50%を超えている。健康だと思わない人では「費用がかかるから」が15.8%と市全体の割合を7.0ポイント上回っている。

【健康診断を受けていない理由】



【健康診断を受けていない理由(性別・年齢別・主体的健康感別)】

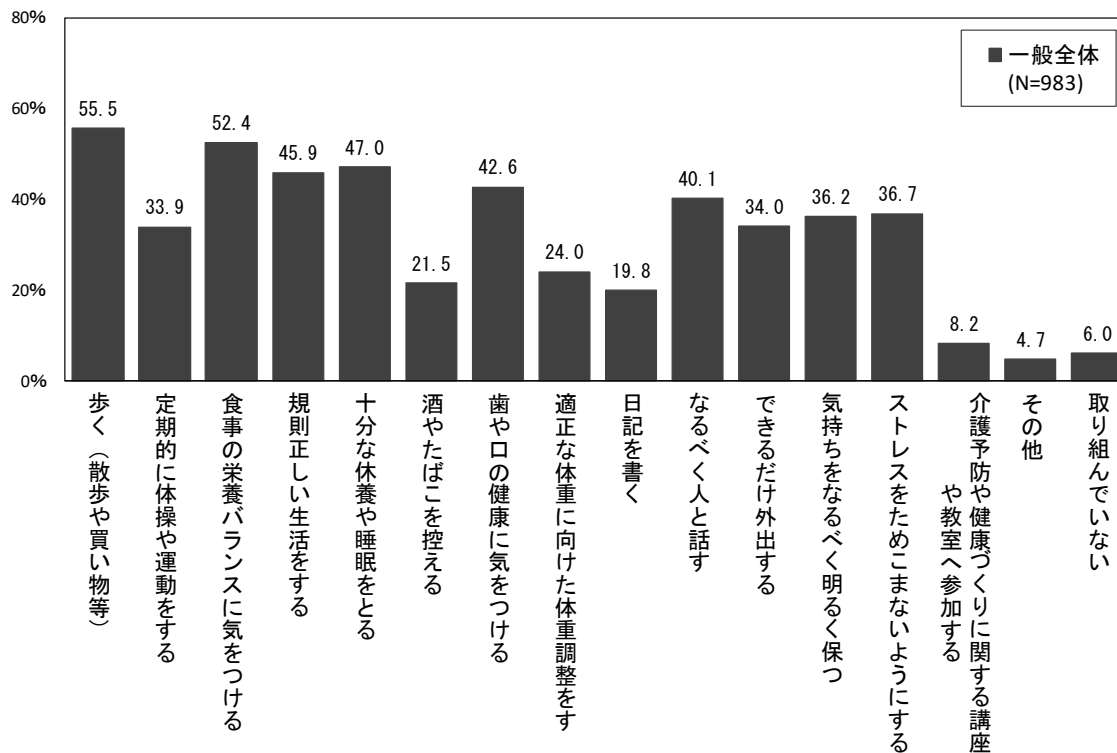
	調査数	健康に自信があるから	時間がないから	面倒だから	費用がかかるから	市の健康診断等を受けられないから	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	160	15.0	2.5	22.5	8.8	3.1	43.8	4.4	
性別	男性	66	15.2	1.5	24.2	7.6	4.5	45.5	1.5
	女性	92	15.2	3.3	21.7	9.8	2.2	41.3	6.5
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	65～69歳	33	21.2	0.0	24.2	15.2	3.0	33.3	3.0
	70～74歳	38	18.4	5.3	28.9	5.3	2.6	39.5	0.0
	75～79歳	41	2.4	2.4	26.8	4.9	2.4	53.7	7.3
	80～84歳	28	10.7	3.6	14.3	14.3	3.6	42.9	10.7
	85歳以上	19	31.6	0.0	10.5	5.3	5.3	47.4	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
主体的健康感別	健康だと思う	34	52.9	2.9	14.7	0.0	2.9	26.5	0.0
	まあ健康だと思う	69	8.7	1.4	29.0	11.6	2.9	42.0	4.3
	あまり健康だと思わない	34	0.0	5.9	23.5	5.9	5.9	55.9	2.9
	健康だと思わない	19	0.0	0.0	5.3	15.8	0.0	68.4	10.5
	無回答	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0

3. 介護予防について

(1) 健康づくりや介護予防のために取り組んでいること

- 健康づくりや介護予防のために取り組んでいることは「取り組んでいない」は6.0%に留まり、多くの人が取り組んでいる。その内容は「歩く（散歩や買い物等）」が55.5%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」（52.4%）、「十分な休養や睡眠をとる」（47.0%）、「規則正しい生活をする」（45.9%）、「歯や口の健康に気をつける」（42.6%）の順に続く。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「食事の栄養バランスに気をつける」（60.5%）や「歯や口の健康に気をつける」（50.2%）のほか、「なるべく人と話す」（47.1%）、「気持ちをなるべく明るく保つ」（43.3%）等の精神面での健康づくりに関する項目が顕著に高い。また、「介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する」という項目についても、男性（5.7%）より女性（10.5%）の方が高い。
- 年齢別にみると、「歩く（散歩や買い物等）」は65～69歳では50%を下回っており、他の年齢層では60%程度と高い。75～79歳では「なるべく人と話す」（47.0%）や「できるだけ外出をする」（42.0%）等の精神面での健康づくりに関する項目が他の年齢層に比べて高い。「介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する」は、85歳以上が15.5%と他の年齢層に比べて高い。

【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること】



【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること(性別・年齢別)】

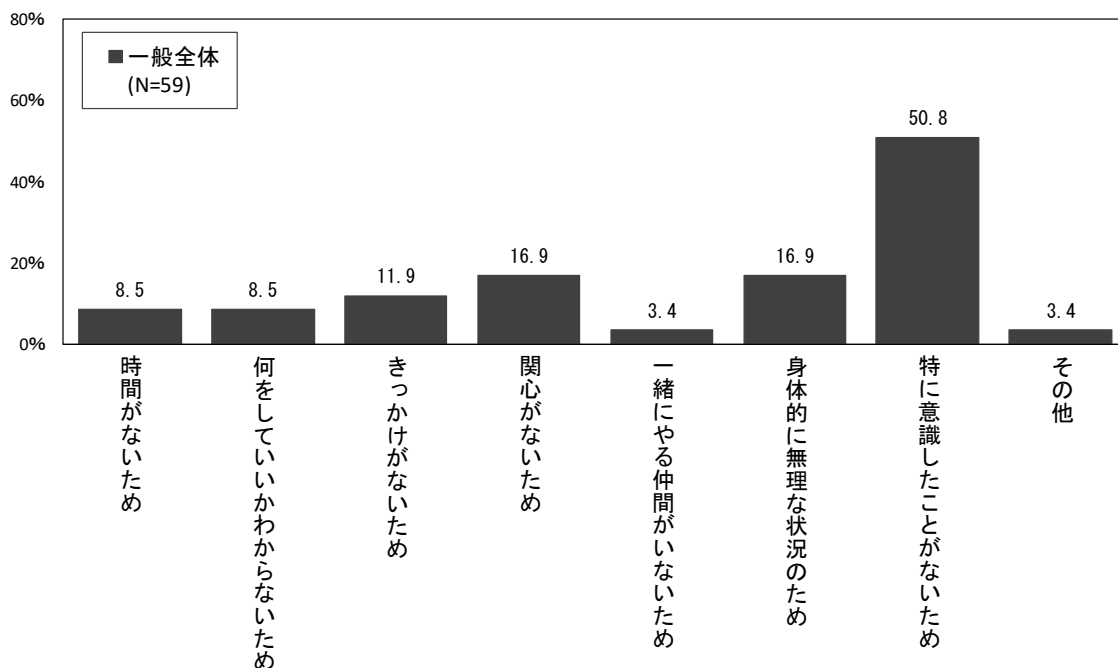
		調査数	歩く(散歩や買い物等)	定期的に体操や運動をする	食事の栄養バランスに気をつける	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	酒やたばこを控える	歯や口の健康に気をつける	適正な体重に向けた体重調整をす	日記を書く
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	55.5	33.9	52.4	45.9	47.0	21.5	42.6	24.0	19.8
性別	男性	424	61.1	34.7	43.2	45.8	49.3	30.0	33.7	21.2	17.5
	女性	526	51.7	33.3	60.5	46.0	45.6	14.1	50.2	26.4	21.5
	無回答	33	45.5	33.3	42.4	45.5	39.4	30.3	36.4	21.2	24.2
年齢別	65～69歳	269	48.3	37.9	51.3	44.6	46.1	24.9	44.2	30.1	14.1
	70～74歳	268	59.3	32.5	53.4	44.8	45.9	18.7	37.7	23.9	13.1
	75～79歳	219	59.4	32.4	51.6	46.6	47.0	20.5	47.9	23.7	26.5
	80～84歳	125	57.6	30.4	55.2	44.0	52.0	19.2	41.6	16.8	24.0
	85歳以上	71	57.7	35.2	54.9	56.3	49.3	19.7	42.3	14.1	38.0
	無回答	31	45.2	32.3	41.9	45.2	38.7	35.5	38.7	25.8	22.6

		調査数	なるべく人と話す	できるだけ外出する	気持ちをなるべく明るく保つ	ストレスをためこまないようにする	介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する	その他	取り組んでいない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	40.1	34.0	36.2	36.7	8.2	4.7	6.0
性別	男性	424	30.4	32.5	26.9	30.2	5.7	5.7	6.1
	女性	526	47.1	34.2	43.3	41.6	10.5	3.6	6.1
	無回答	33	51.5	48.5	42.4	42.4	6.1	9.1	3.0
年齢別	65～69歳	269	34.9	29.7	37.5	42.8	5.2	3.3	5.9
	70～74歳	268	36.6	30.6	34.7	36.2	8.2	3.4	6.3
	75～79歳	219	47.0	42.0	36.5	32.9	10.0	5.5	5.9
	80～84歳	125	44.8	32.0	32.8	36.8	8.0	6.4	8.8
	85歳以上	71	36.6	35.2	38.0	26.8	15.5	7.0	1.4
	無回答	31	54.8	48.4	45.2	38.7	6.5	9.7	3.2

(2) 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由

- 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由は「特に意識したことがないため」が50.8%と最も高く、次いで「関心がないため」「身体的に無理な状況のため」(16.9%)、「きっかけがないため」(11.9%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「関心がないため」(26.9%)が顕著に高い。一方、女性は「時間がないため」(12.5%)が男性に比べて高い。
- 年齢別にみると、「特に意識したことがないため」は、70～74歳と75～79歳で60%を超えている。

【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由】



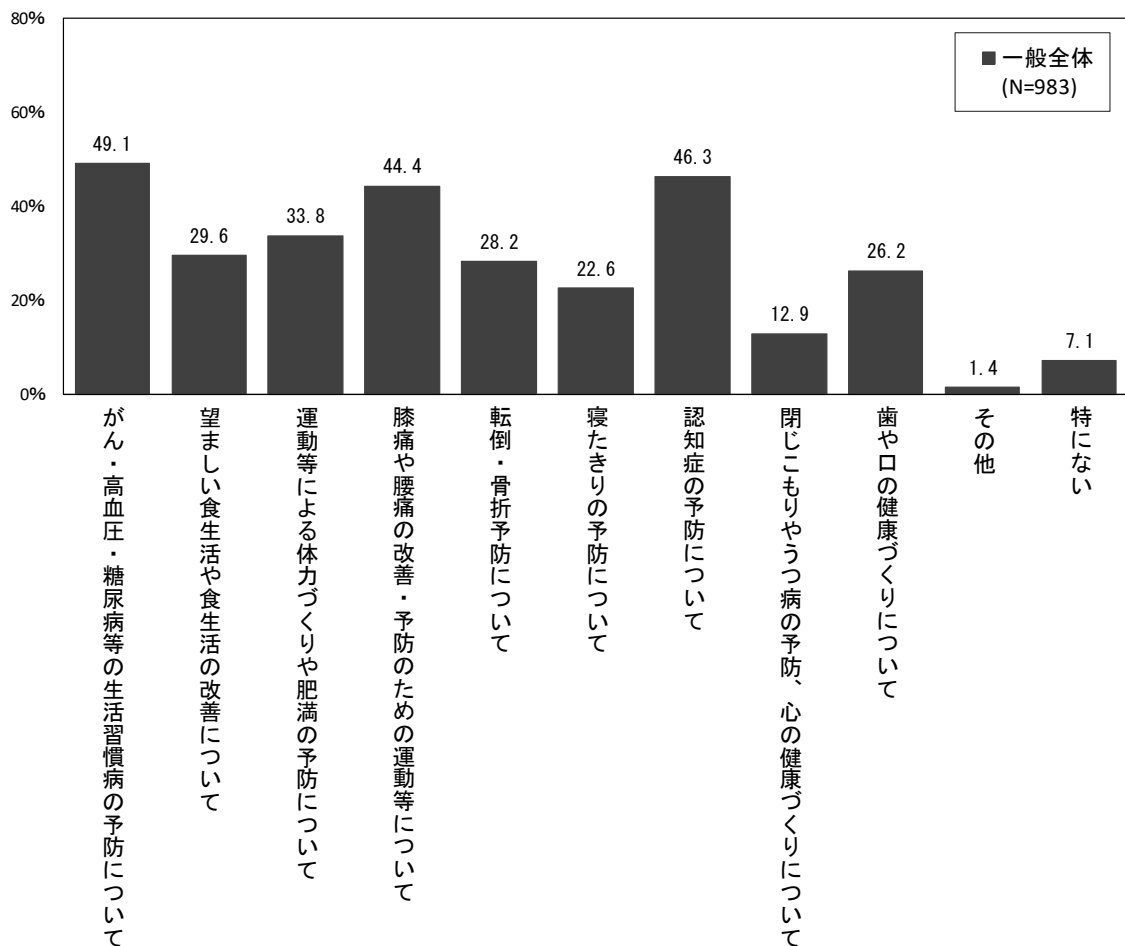
【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由(性別・年齢別)】

	調査数	時間がないため	何をしたいかわからないため	きっかけがないため	関心がないため	一緒にやる仲間がないため	身体的に無理な状況のため	特に意識したことがないため	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	59	8.5	8.5	11.9	16.9	3.4	16.9	50.8	3.4	
性別	男性	26	3.8	7.7	15.4	26.9	3.8	15.4	57.7	0.0
	女性	32	12.5	9.4	9.4	9.4	3.1	15.6	46.9	6.3
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	16	12.5	12.5	12.5	25.0	6.3	0.0	50.0	0.0
	70～74歳	17	11.8	11.8	11.8	23.5	0.0	5.9	64.7	5.9
	75～79歳	13	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	61.5	0.0
	80～84歳	11	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	45.5	27.3	9.1
	85歳以上	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(3) 健康づくりや介護予防で関心があること

- 健康づくりや介護予防で関心があることは「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」が49.1%と最も高く、次いで「認知症の予防について」(46.3%)、「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」(44.4%)、「運動等による体力づくりや肥満の予防について」(33.8%)、「望ましい食生活や食生活の改善について」(29.6%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」(57.5%)、女性は「認知症の予防について」(53.4%)がそれぞれ最も高い。また、女性は男性に比べて「転倒・骨折予防について」(35.4%)や「寝たきりの予防について」(27.6%)、「認知症の予防について」(53.4%)等の要介護状態につながる項目の割合が高い。
- 年齢別にみると、「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」や「運動等による体力づくりや肥満の予防について」は、年齢が若いほど割合が高い。また、年齢が高いほど「転倒・骨折予防について」や「寝たきりの予防について」の割合が高い。

【健康づくりや介護予防で関心があること】



【健康づくりや介護予防で関心があること(性別・年齢別)】

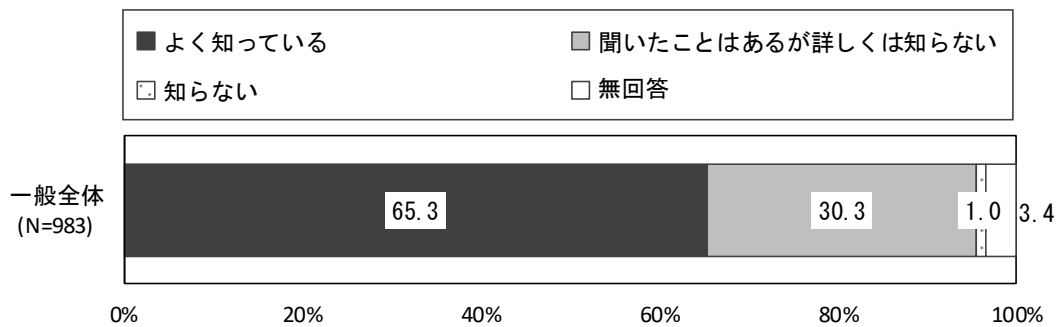
		調査数	がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について	望ましい食生活や食生活の改善について	運動等による体力づくりや肥満の予防について	膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について	転倒・骨折予防について	寝たきりの予防について	認知症の予防について	閉じこもりやうつ病の予防、心の健康づくりについて	歯や口の健康づくりについて	その他	特にない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	49.1	29.6	33.8	44.4	28.2	22.6	46.3	12.9	26.2	1.4	7.1
性別	男性	424	57.5	26.4	38.9	41.5	18.9	15.6	38.0	9.7	24.1	1.2	7.8
	女性	526	42.4	31.9	30.2	46.6	35.4	27.6	53.4	14.6	28.1	1.5	6.8
	無回答	33	48.5	33.3	24.2	45.5	33.3	33.3	39.4	27.3	24.2	3.0	3.0
年齢別	65～69歳	269	50.9	30.1	38.3	46.1	23.0	17.5	46.8	7.8	27.5	1.5	7.1
	70～74歳	268	50.7	31.0	34.3	41.4	24.3	23.9	48.1	10.4	22.0	0.7	7.5
	75～79歳	219	52.1	33.3	33.3	45.2	28.8	21.0	49.3	18.3	31.1	1.4	5.9
	80～84歳	125	44.0	25.6	32.8	43.2	37.6	31.2	44.8	17.6	22.4	2.4	8.0
	85歳以上	71	38.0	18.3	21.1	47.9	40.8	23.9	32.4	11.3	31.0	1.4	9.9
	無回答	31	45.2	29.0	25.8	45.2	35.5	29.0	41.9	25.8	22.6	3.2	3.2

4. 認知症について

(1) 認知症の認知度

- 認知症の認知度は「よく知っている」が65.3%と最も高く、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(30.3%)を合わせると95.6%が、認知症という病気を知っている。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられない。

【認知症の認知度】



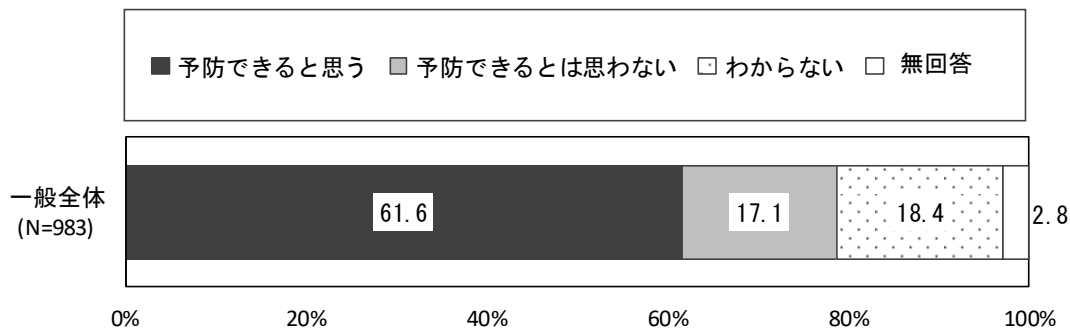
【認知症の認知度(性別・年齢別)】

		調査数	よく知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	65.3	30.3	1.0	3.4
性別	男性	424	62.5	34.2	1.2	2.1
	女性	526	68.1	27.9	1.0	3.0
	無回答	33	57.6	18.2	0.0	24.2
年齢別	65～69歳	269	66.9	30.5	1.1	1.5
	70～74歳	268	67.9	29.1	0.4	2.6
	75～79歳	219	65.3	31.5	0.5	2.7
	80～84歳	125	59.2	33.6	3.2	4.0
	85歳以上	71	63.4	31.0	1.4	4.2
	無回答	31	58.1	16.1	0.0	25.8

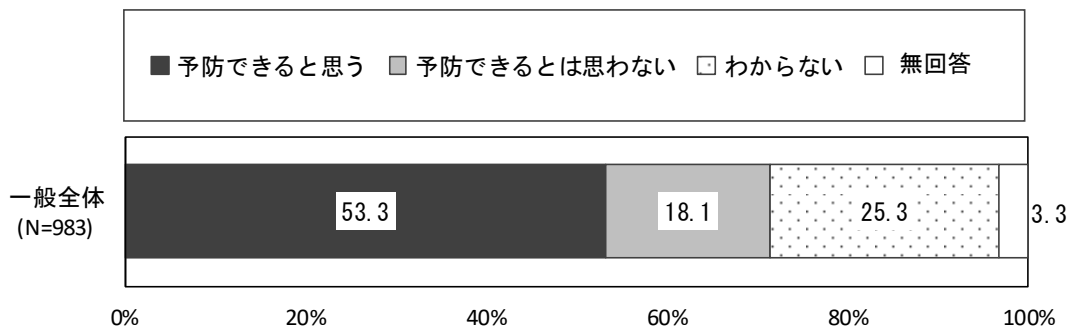
(2) 認知症に関する知識

- 認知症はふだんから頭を使うことで予防できると思うかについて「予防できると思う」が61.6%となっている。
- 認知症はふだんから運動をすることで予防できると思うかについて「予防できると思う」が53.3%となっている。
- 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うかについて「そう思う」が78.7%となっている。

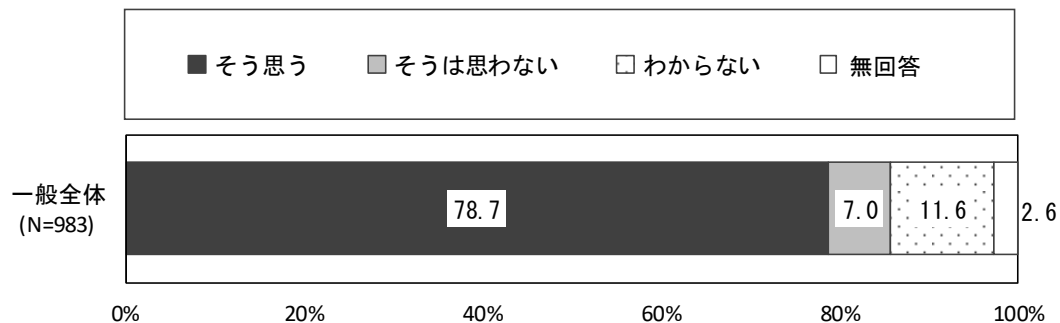
【認知症に関する知識 (1) 認知症は頭を使うことで予防できると思うか】



【認知症に関する知識 (2) 認知症は運動をすることで予防できると思うか】



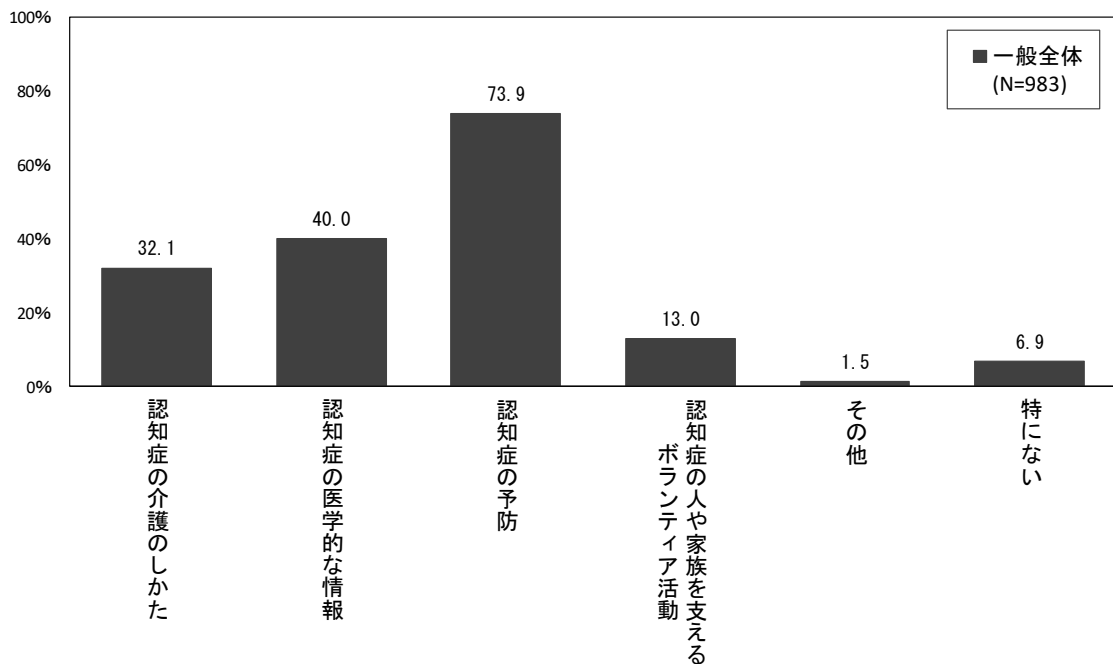
【認知症に関する知識 (3) 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うか】



(3) 認知症について関心があること

- 認知症について関心があることは「認知症の予防」が73.9%と最も高く、次いで「認知症の医学的な情報」(40.0%)、「認知症の介護のしかた」(32.1%)の順に続く。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～79歳では「認知症の予防」の割合が75%を超えており、特に65～69歳では79.6%と他の年齢層に比べて高い。

【認知症について関心があること】



【認知症について関心があること(性別・年齢別)】

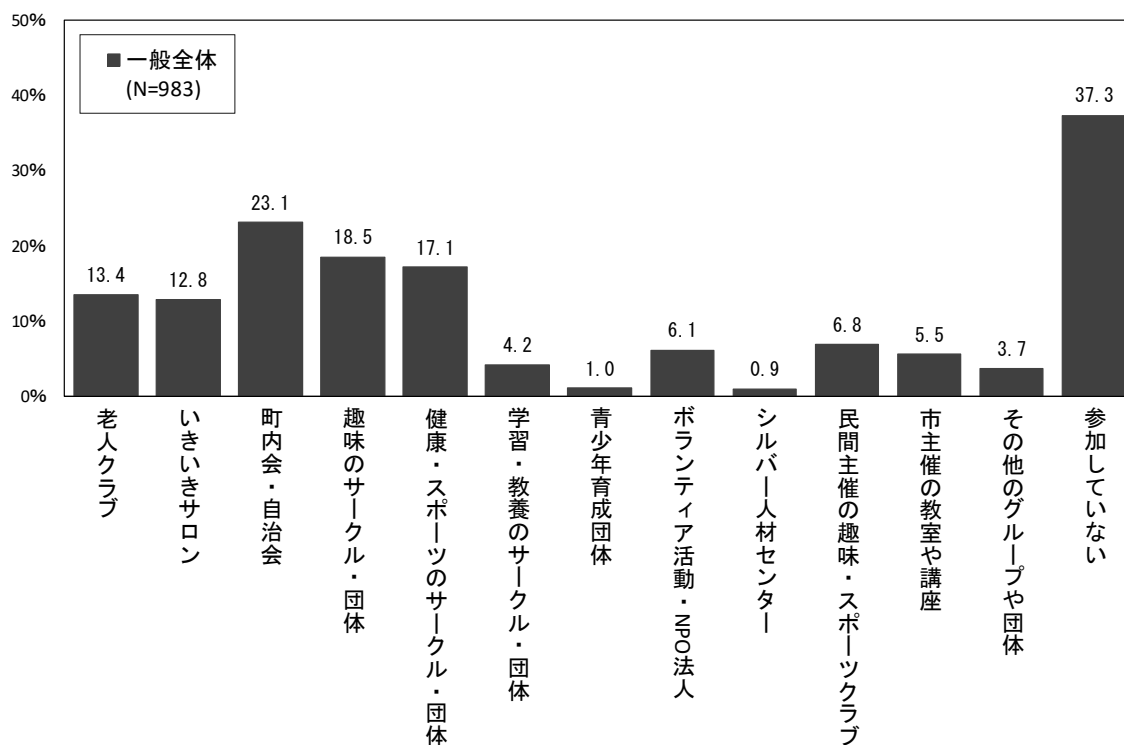
		調査数 (人)	認知症の介護のしかた	認知症の医学的な情報	認知症の予防	認知症の人や家族を支えるボランティア活動	その他	特にない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	32.1	40.0	73.9	13.0	1.5	6.9
性別	男性	424	31.4	39.9	73.6	11.1	1.4	7.5
	女性	526	33.3	39.9	75.1	14.4	1.5	6.5
	無回答	33	24.2	42.4	57.6	15.2	3.0	6.1
年齢別	65～69歳	269	32.7	43.1	79.6	16.4	0.4	5.6
	70～74歳	268	34.7	42.2	75.7	15.3	2.2	7.1
	75～79歳	219	31.5	38.4	75.8	10.0	1.4	6.4
	80～84歳	125	32.0	34.4	66.4	9.6	2.4	8.8
	85歳以上	71	25.4	35.2	60.6	7.0	1.4	9.9
	無回答	31	25.8	38.7	54.8	12.9	3.2	6.5

5. 社会参加や生きがいくりについて

(1) 地域活動への参加状況

- 地域のグループや団体等の活動について「参加していない」が 37.3%、参加している人の活動内容は「町内会・自治会」が 23.1%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(18.5%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(17.1%)、「老人クラブ」(13.4%)の順に続く。
- 性別にみると、「参加していない」という割合は女性の方が高い。また、男性は女性に比べて「町内会・自治会」(31.6%)の割合が特に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人クラブ」や「いきいきサロン」の割合が高い。また、65～69歳の41.3%が「参加していない」と回答している。
- 小学校区別にみると、「老人クラブ」の参加は今川校区(31.3%)や稗田校区(31.1%)で高く、最も低い延永校区(7.3%)とは20ポイント以上差がみられる。「いきいきサロン」は行橋南校区(19.1%)が最も高く、椿市校区(3.1%)が最も低い。「町内会・自治会」は稗田校区(33.3%)が最も高く、養島校区(12.5%)が最も低い。

【地域活動への参加状況】



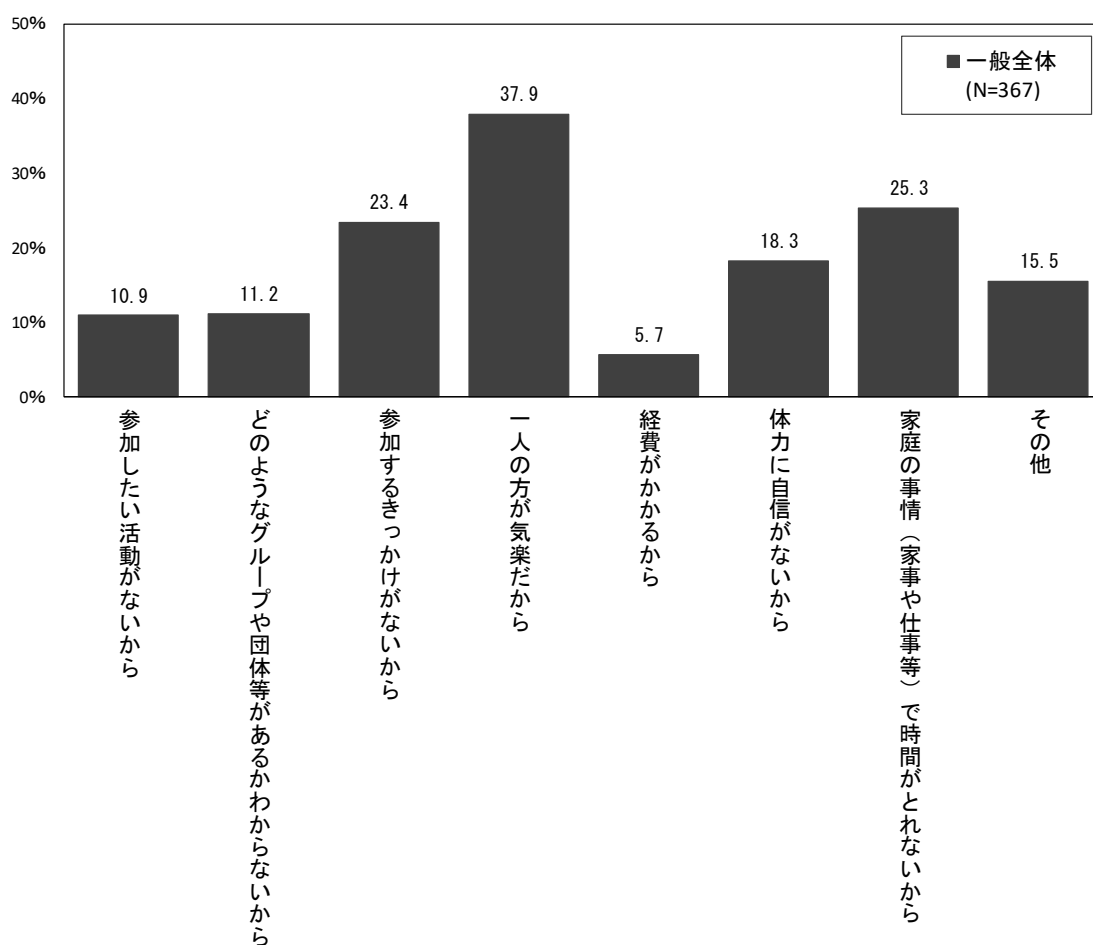
【地域活動への参加状況(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	老人クラブ	いきいきサロン	町内会・自治会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル・団体	青少年育成団体	ボランティア活動・NPO法人	シルバー人材センター	民間主催の趣味・スポーツクラブ	市主催の教室や講座	その他のグループや団体	参加していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	13.4	12.8	23.1	18.5	17.1	4.2	1.0	6.1	0.9	6.8	5.5	3.7	37.3	
性別	男性	424	15.6	11.3	31.6	15.8	17.0	2.6	1.9	5.9	1.4	5.7	5.2	4.2	34.9
	女性	526	11.6	13.7	16.3	20.5	17.9	5.3	0.4	6.7	0.6	7.6	5.9	3.0	39.4
	無回答	33	15.2	18.2	21.2	21.2	6.1	6.1	0.0	0.0	0.0	9.1	3.0	6.1	36.4
年齢別	65～69歳	269	4.8	4.5	20.4	11.2	18.6	3.7	0.4	7.4	0.4	8.6	4.5	3.7	41.3
	70～74歳	268	12.3	10.8	25.7	21.6	17.9	6.0	0.4	4.5	0.4	6.3	4.9	3.7	38.1
	75～79歳	219	14.6	17.4	25.6	24.2	21.0	2.7	1.8	7.8	1.8	7.8	7.8	2.7	32.0
	80～84歳	125	20.8	18.4	16.8	13.6	10.4	3.2	3.2	4.0	2.4	7.2	6.4	5.6	38.4
	85歳以上	71	32.4	25.4	26.8	23.9	12.7	4.2	0.0	8.5	0.0	0.0	4.2	1.4	33.8
	無回答	31	16.1	19.4	22.6	22.6	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	6.5	38.7
小学校区別	行橋校区	124	9.7	14.5	16.9	12.9	13.7	4.8	0.0	7.3	0.0	12.1	5.6	2.4	53.2
	行橋北校区	90	12.2	11.1	20.0	25.6	23.3	5.6	1.1	5.6	0.0	10.0	5.6	3.3	36.7
	行橋南校区	94	14.9	19.1	27.7	20.2	16.0	4.3	2.1	6.4	1.1	5.3	8.5	2.1	33.0
	今元校区	80	16.3	8.8	22.5	12.5	18.8	3.8	1.3	5.0	1.3	3.8	3.8	6.3	40.0
	葦島校区	16	18.8	6.3	12.5	18.8	25.0	0.0	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0
	仲津校区	138	8.7	11.6	16.7	20.3	12.3	4.3	2.2	5.8	0.0	5.8	5.1	3.6	42.0
	泉校区	142	11.3	14.8	21.8	16.9	19.7	2.8	0.0	7.0	2.1	7.0	7.0	3.5	33.8
	今川校区	64	31.3	10.9	32.8	25.0	21.9	4.7	0.0	0.0	0.0	10.9	1.6	0.0	20.3
	稗田校区	45	31.1	15.6	33.3	31.1	22.2	13.3	0.0	11.1	2.2	6.7	8.9	4.4	26.7
	椿市校区	32	9.4	3.1	31.3	15.6	9.4	0.0	0.0	3.1	3.1	6.3	3.1	0.0	37.5
	延永校区	123	7.3	11.4	27.6	13.8	17.9	1.6	1.6	7.3	1.6	3.3	5.7	6.5	36.6
	無回答	35	14.3	17.1	22.9	20.0	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	5.7	37.1

(2) 地域活動に参加していない理由

- 地域活動に参加していない理由は「一人の方が気楽だから」が 37.9%と最も高く、次いで「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」（25.3%）、「参加するきっかけがないから」（23.4%）の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「一人の方が気楽だから」（43.9%）や「参加するきっかけがないから」（30.4%）が 10 ポイント以上高い。女性は男性より「体力に自信がないから」（22.7%）や「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」（29.5%）が高い。
- 年齢別にみると、75～79 歳、85 歳以上では「一人の方が気楽だから」が 40%を超えている。また、年齢が若いほど「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」という割合が高く、65～69 歳では 36.9%となっている。

【地域活動に参加していない理由】



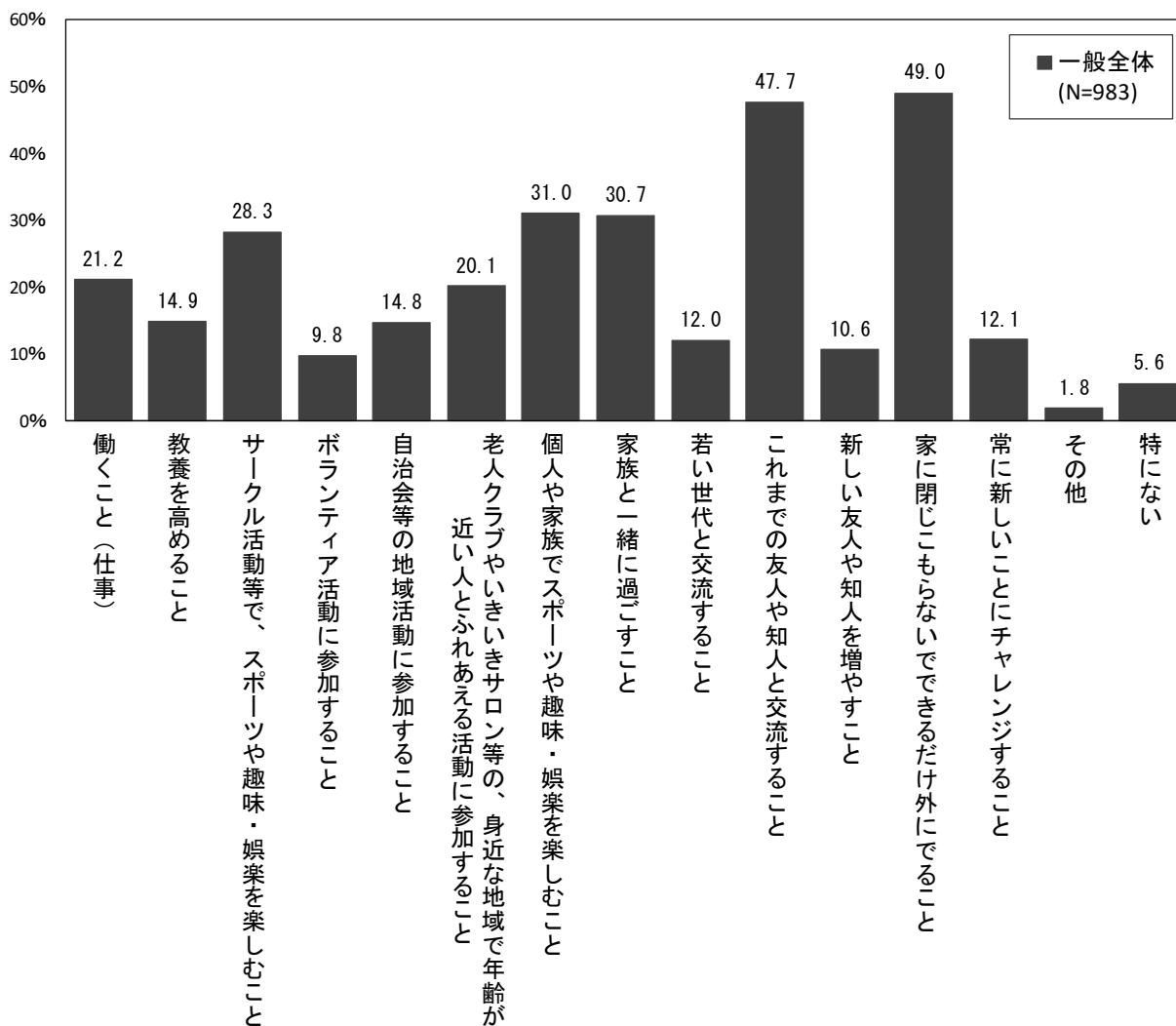
【地域活動に参加していない理由(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	参加したい活動がないから	どのようなグループや団体等があるかわからないから	参加するきっかけがないから	一人の方が気楽だから	経費がかかるから	体力に自信がないから	家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	367	10.9	11.2	23.4	37.9	5.7	18.3	25.3	15.5	
性別	男性	148	15.5	14.2	30.4	43.9	5.4	12.2	20.3	12.8
	女性	207	8.2	9.2	17.9	33.8	5.8	22.7	29.5	17.4
	無回答	12	0.0	8.3	33.3	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7
年齢別	65～69歳	111	8.1	11.7	24.3	37.8	3.6	14.4	36.9	13.5
	70～74歳	102	14.7	12.7	24.5	36.3	5.9	10.8	29.4	14.7
	75～79歳	70	12.9	12.9	22.9	44.3	10.0	24.3	18.6	14.3
	80～84歳	48	10.4	6.3	16.7	29.2	4.2	35.4	12.5	18.8
	85歳以上	24	8.3	8.3	25.0	45.8	4.2	20.8	4.2	25.0
	無回答	12	0.0	8.3	33.3	33.3	8.3	8.3	16.7	16.7
小学校区別	行橋校区	66	18.2	12.1	25.8	43.9	7.6	13.6	27.3	18.2
	行橋北校区	33	9.1	12.1	21.2	36.4	6.1	18.2	21.2	12.1
	行橋南校区	31	12.9	9.7	16.1	38.7	3.2	22.6	22.6	9.7
	今元校区	32	3.1	9.4	9.4	31.3	3.1	21.9	28.1	15.6
	菟島校区	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	仲津校区	58	6.9	10.3	24.1	37.9	3.4	24.1	24.1	15.5
	泉校区	48	12.5	16.7	27.1	29.2	8.3	18.8	29.2	12.5
	今川校区	13	0.0	7.7	15.4	30.8	0.0	30.8	30.8	23.1
	稗田校区	12	0.0	0.0	8.3	41.7	8.3	8.3	33.3	16.7
	樺市校区	12	16.7	8.3	50.0	16.7	0.0	16.7	33.3	8.3
	延永校区	45	17.8	11.1	28.9	48.9	8.9	15.6	22.2	15.6
	無回答	13	0.0	15.4	38.5	38.5	7.7	7.7	15.4	15.4

(3) 今後やりたいこと

- 今後やりたいことは「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」(49.0%)や「これまでの友人や知人と交流すること」(47.7%)が半数程度と多くなっている。次いで「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(31.0%)、「家族と一緒に過ごすこと」(30.7%)、「サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(28.3%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「働くこと(仕事)」(29.5%)や「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(37.5%)が高く、女性は男性より「これまでの友人や知人と交流すること」(54.9%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること」の割合が高い。70～79歳では「家に閉じこもらないでできるだけ外に出ること」が50%を超えている。
- 小学校区別にみると、「自治会等の地域活動に参加すること」は稗田校区(20.0%)、蓑島校区、今川校区(18.8%)が高い。

【今後やりたいこと】



【今後やりたいこと(性別・年齢別・小学校区別)】

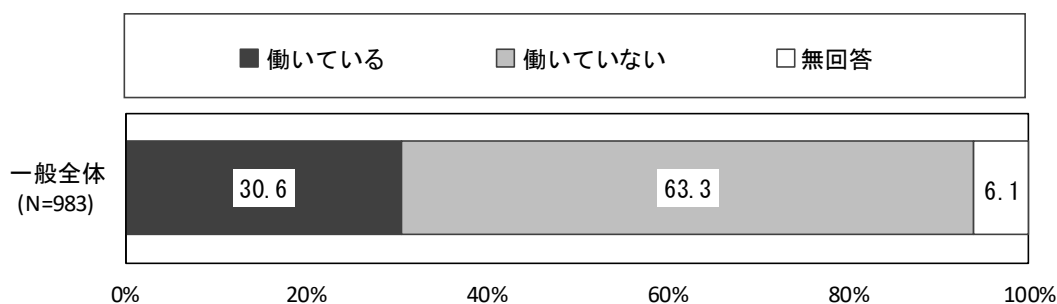
	調査数	働くこと(仕事)	教養を高めること	サークル活動等、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと	ボランティア活動に参加すること	自治会等の地域活動に参加すること	老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること	個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	21.2	14.9	28.3	9.8	14.8	20.1	31.0	
性別	男性	424	29.5	11.8	30.9	10.4	19.6	18.4	37.5
	女性	526	13.3	17.3	25.9	9.5	11.0	21.1	25.9
	無回答	33	39.4	15.2	33.3	6.1	12.1	27.3	30.3
年齢別	65～69歳	269	35.7	19.0	27.9	12.3	11.9	10.0	42.8
	70～74歳	268	20.1	13.8	29.5	9.7	15.3	19.0	34.3
	75～79歳	219	14.6	16.4	35.6	11.4	19.6	24.2	24.7
	80～84歳	125	8.8	10.4	20.0	4.8	14.4	27.2	17.6
	85歳以上	71	2.8	7.0	16.9	5.6	8.5	35.2	18.3
	無回答	31	41.9	12.9	29.0	6.5	16.1	25.8	29.0
小学校区別	行橋校区	124	16.1	19.4	21.8	11.3	13.7	17.7	35.5
	行橋北校区	90	22.2	14.4	38.9	13.3	14.4	20.0	25.6
	行橋南校区	94	17.0	20.2	29.8	11.7	18.1	22.3	33.0
	今元校区	80	16.3	10.0	27.5	7.5	17.5	21.3	30.0
	葦島校区	16	31.3	18.8	18.8	18.8	18.8	6.3	25.0
	仲津校区	138	23.2	16.7	30.4	9.4	12.3	21.0	29.7
	泉校区	142	26.1	14.1	28.2	9.2	13.4	20.4	34.5
	今川校区	64	14.1	9.4	39.1	4.7	18.8	26.6	32.8
	稗田校区	45	24.4	15.6	33.3	11.1	20.0	31.1	24.4
	樺市校区	32	18.8	6.3	9.4	3.1	12.5	15.6	31.3
	延永校区	123	21.1	13.8	22.0	10.6	13.0	13.8	29.3
	無回答	35	37.1	11.4	31.4	5.7	11.4	22.9	31.4

	調査数	家族と一緒に過ごすこと	若い世代と交流すること	これまでの友人や知人と交流すること	新しい友人や知人を増やすこと	家に閉じこもらないでできるだけ外にでること	常に新しいことにチャレンジすること	その他	特になし	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	30.7	12.0	47.7	10.6	49.0	12.1	1.8	5.6	
性別	男性	424	33.3	12.3	39.2	9.9	49.3	10.6	1.2	6.1
	女性	526	28.5	11.4	54.9	10.1	49.0	12.7	2.3	5.3
	無回答	33	33.3	18.2	42.4	27.3	45.5	21.2	3.0	3.0
年齢別	65～69歳	269	32.3	12.6	46.5	12.6	46.8	16.0	0.7	3.0
	70～74歳	268	27.2	13.4	45.5	11.2	52.2	10.4	2.6	6.0
	75～79歳	219	32.9	10.0	53.0	10.5	52.5	10.5	1.4	4.6
	80～84歳	125	26.4	9.6	48.8	3.2	45.6	8.8	1.6	8.8
	85歳以上	71	36.6	12.7	45.1	5.6	42.3	9.9	4.2	12.7
	無回答	31	35.5	16.1	41.9	29.0	45.2	22.6	3.2	3.2
小学校区別	行橋校区	124	34.7	13.7	50.0	11.3	49.2	13.7	4.0	4.0
	行橋北校区	90	36.7	13.3	46.7	8.9	54.4	4.4	1.1	7.8
	行橋南校区	94	27.7	13.8	52.1	16.0	53.2	12.8	2.1	3.2
	今元校区	80	35.0	16.3	42.5	10.0	52.5	15.0	0.0	7.5
	葦島校区	16	18.8	18.8	50.0	0.0	56.3	0.0	6.3	12.5
	仲津校区	138	29.7	10.9	56.5	8.0	46.4	13.8	0.7	5.8
	泉校区	142	28.2	7.0	43.7	9.9	46.5	10.6	2.1	4.2
	今川校区	64	35.9	10.9	42.2	7.8	54.7	15.6	1.6	3.1
	稗田校区	45	22.2	15.6	44.4	11.1	46.7	15.6	2.2	6.7
	樺市校区	32	28.1	9.4	40.6	6.3	40.6	9.4	0.0	3.1
	延永校区	123	27.6	9.8	48.8	8.9	46.3	10.6	1.6	8.9
	無回答	35	34.3	17.1	40.0	31.4	42.9	20.0	2.9	2.9

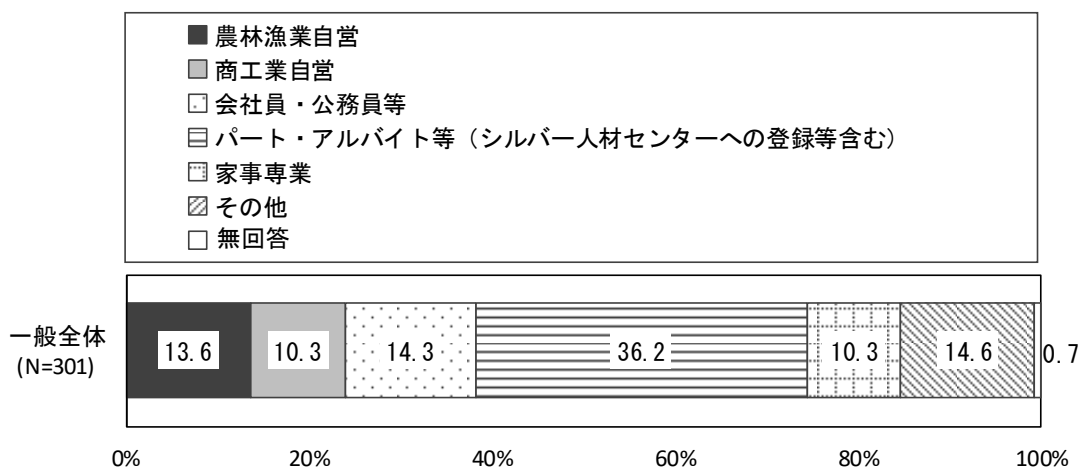
(4) 就労状況・職業

- 現在の就労状況は「働いている」が 30.6%、「働いていない」が 63.3%となっている。また、「働いている」と回答した人の職業は、「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」が 36.2%と最も高く、次いで「その他」（14.6%）、「会社員・公務員等」（14.3%）、「農林漁業自営」（13.6%）の順に高い。
- 性別にみると、「働いている」という割合は、男性（37.5%）が女性（23.2%）より高い。男女ともに「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」が最も高く、また、男性では「農林漁業自営」（18.2%）や「会社員・公務員等」（22.6%）が女性より顕著に高い。
- 年齢別にみると、「働いている」という割合は、65～69歳が 42.0%、70～74歳で 32.1%となっており、75歳以上になると全体の割合を下回るようになる。
- 小学校区別にみると、「働いている」という割合は、椿市校区が 43.8%と最も高く、今川校区（23.4%）が最も低い。

【就労状況】



【職業】



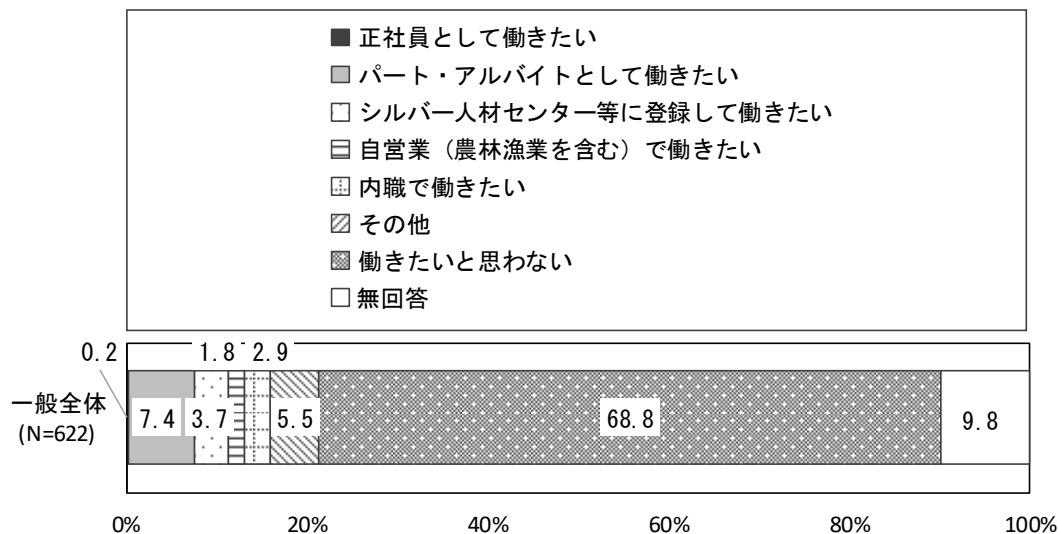
【就労状況・職業(性別・年齢別・小学校区別)】

		調査数	働いている	働いていない	無回答	調査数	農林漁業 自営	商工業 自営	会社員・ 公務員等	パート・ ターナル への登録等 (シルバー 人)	家事専 業	その他	無回 答
			(人)	(%)	(%)		(%)	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	30.6	63.3	6.1	301	13.6	10.3	14.3	36.2	10.3	14.6	0.7
性別	男性	424	37.5	56.6	5.9	159	18.2	8.8	22.6	30.8	1.9	17.0	0.6
	女性	526	23.2	70.9	5.9	122	7.4	12.3	3.3	45.9	21.3	9.0	0.8
	無回答	33	60.6	27.3	12.1	20	15.0	10.0	15.0	20.0	10.0	30.0	0.0
年齢別	65～69歳	269	42.0	54.3	3.7	113	8.8	7.1	21.2	46.9	2.7	12.4	0.9
	70～74歳	268	32.1	63.4	4.5	86	12.8	14.0	14.0	39.5	10.5	8.1	1.2
	75～79歳	219	21.5	70.8	7.8	47	14.9	14.9	6.4	34.0	10.6	19.1	0.0
	80～84歳	125	19.2	72.8	8.0	24	33.3	4.2	4.2	4.2	33.3	20.8	0.0
	85歳以上	71	14.1	76.1	9.9	10	20.0	10.0	0.0	0.0	40.0	30.0	0.0
	無回答	31	67.7	19.4	12.9	21	14.3	9.5	14.3	23.8	9.5	28.6	0.0
小学校区別	行橋校区	124	25.8	71.0	3.2	32	9.4	15.6	15.6	28.1	12.5	15.6	3.1
	行橋北校区	90	30.0	62.2	7.8	27	3.7	22.2	18.5	37.0	3.7	14.8	0.0
	行橋南校区	94	24.5	71.3	4.3	23	4.3	13.0	17.4	30.4	21.7	13.0	0.0
	今元校区	80	30.0	63.8	6.3	24	4.2	8.3	4.2	58.3	8.3	16.7	0.0
	菟島校区	16	31.3	68.8	0.0	5	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	仲津校区	138	28.3	64.5	7.2	39	17.9	5.1	10.3	41.0	10.3	15.4	0.0
	泉校区	142	31.7	64.1	4.2	45	13.3	8.9	11.1	46.7	11.1	8.9	0.0
	今川校区	64	23.4	65.6	10.9	15	26.7	6.7	13.3	33.3	6.7	13.3	0.0
	稗田校区	45	37.8	62.2	0.0	17	29.4	0.0	23.5	35.3	5.9	0.0	5.9
	椿市校区	32	43.8	46.9	9.4	14	35.7	7.1	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
	延永校区	123	30.9	62.6	6.5	38	10.5	10.5	18.4	31.6	7.9	21.1	0.0
	無回答	35	62.9	20.0	17.1	22	13.6	13.6	13.6	18.2	13.6	27.3	0.0

(5) 働いていない人の今後の就労意向

- 現在働いていない人の今後の就労意向は「働きたいと思わない」が68.8%と多くを占める。一方、「正社員として働きたい」から「その他」までを合わせた『就労意向あり』とする割合は21.5%となっている。
- 性別にみると、『就労意向あり』の割合は男性が28.3%と女性（16.1%）より10ポイント以上高い。
- 年齢別にみると、『就労意向あり』の割合は、年齢が若いほど高く、65～69歳では31.5%となっている。

【就労意向】



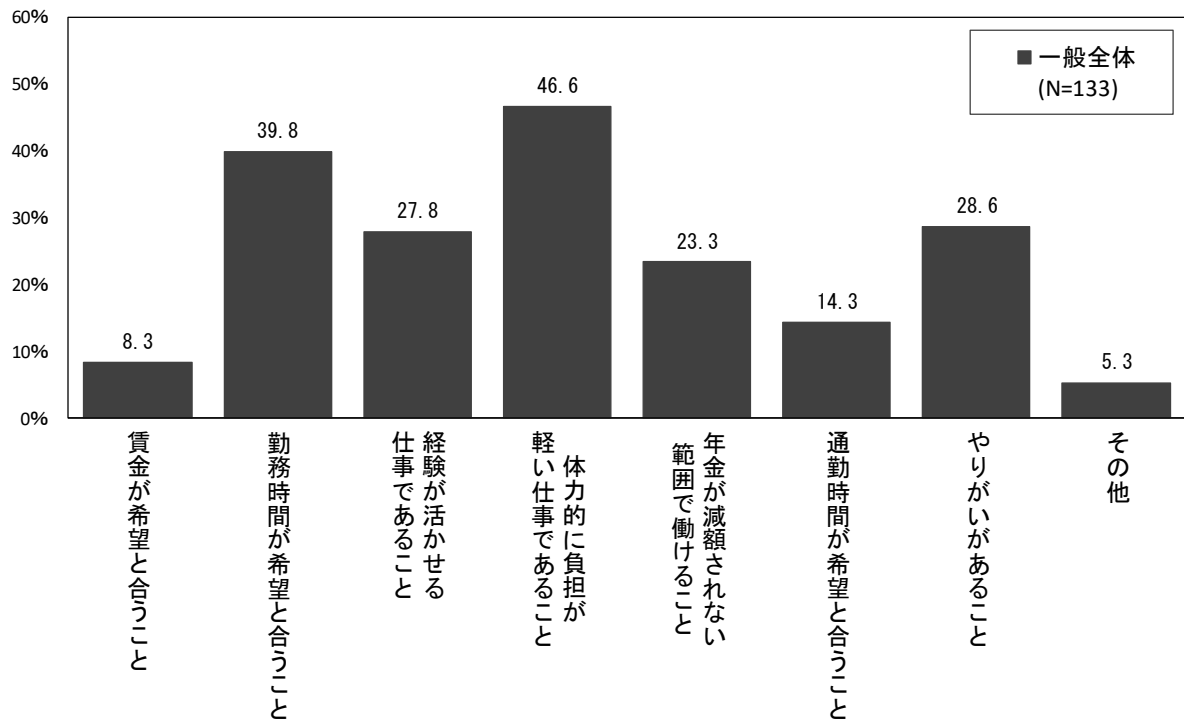
【就労意向(性別・年齢別)】

		調査数 (人)	正社員として働きたい	パート・アルバイトとして働きたい	シルバー人材センター等に登録して働きたい	自営業（農林漁業を含む）で働きたい	内職で働きたい	その他	働きたいと思わない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		622	0.2	7.4	3.7	1.8	2.9	5.5	68.8	9.8
性別	男性	240	0.4	12.1	5.8	2.9	1.3	5.8	66.7	5.0
	女性	373	0.0	4.3	2.1	1.1	3.8	4.8	71.0	12.9
	無回答	9	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	33.3	11.1
年齢別	65～69歳	146	0.0	15.8	5.5	3.4	2.7	4.1	64.4	4.1
	70～74歳	170	0.6	7.6	4.1	2.4	4.1	6.5	68.8	5.9
	75～79歳	155	0.0	5.2	3.2	0.0	2.6	3.9	74.2	11.0
	80～84歳	91	0.0	2.2	2.2	1.1	2.2	6.6	67.0	18.7
	85歳以上	54	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.4	72.2	18.5
	無回答	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7

(6) 働く場合に重視する条件

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に重視する条決は「体力的に負担が軽い仕事であること」が46.6%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(39.8%)、「やりがいがあること」(28.6%)の順に続く。
- 性別によって大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～69歳では「勤務時間が希望と合うこと」(58.7%)、「体力的に負担が軽い仕事であること」(52.2%)が50%を超えている。

【働く場合に重視する条件】



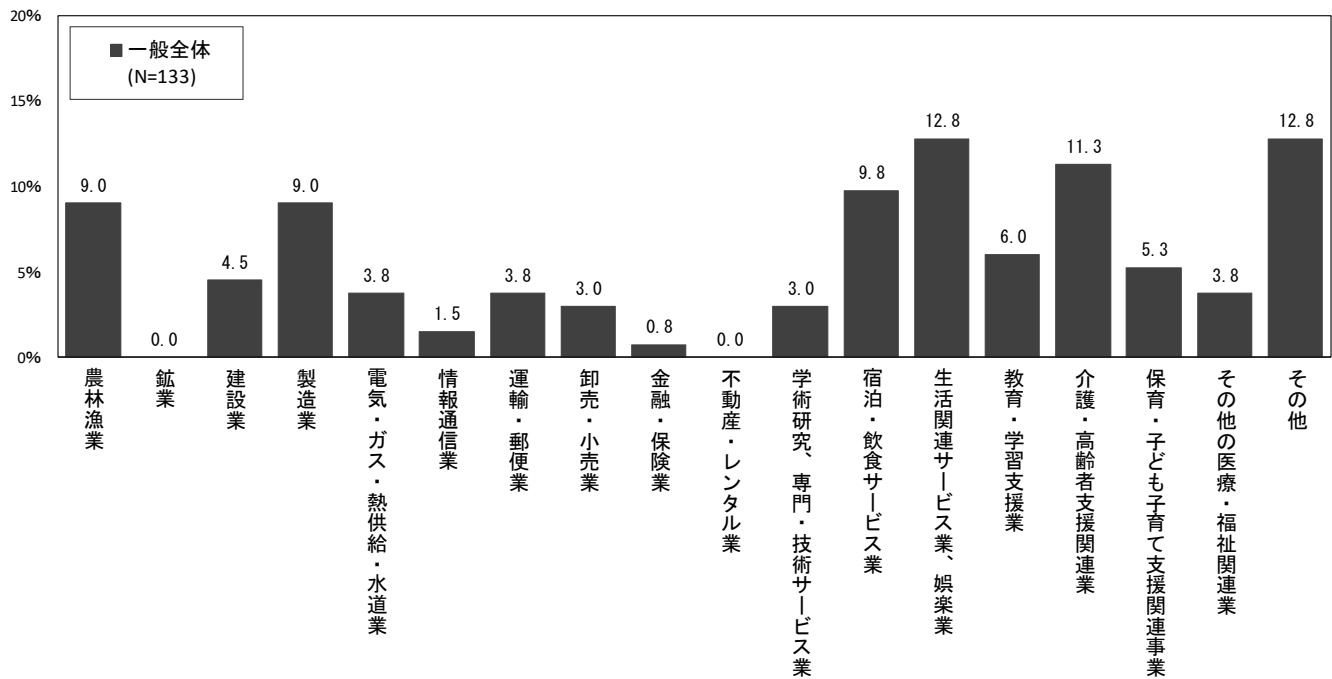
【働く場合に重視する条件(性別・年齢別)】

		調査数 (人)	賃金が希望と合うこと	勤務時間が希望と合うこと	経験が活かせる仕事であること	体力的に負担が軽い仕事であること	年金が減額されない範囲で働けること	通勤時間が希望と合うこと	やりがいがあること	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		133	8.3	39.8	27.8	46.6	23.3	14.3	28.6	5.3
性別	男性	68	13.2	41.2	33.8	47.1	23.5	13.2	29.4	4.4
	女性	60	3.3	38.3	21.7	46.7	23.3	16.7	26.7	6.7
	無回答	5	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
年齢別	65～69歳	46	15.2	58.7	30.4	52.2	37.0	19.6	32.6	4.3
	70～74歳	43	4.7	23.3	30.2	46.5	18.6	16.3	23.3	9.3
	75～79歳	23	0.0	52.2	26.1	47.8	17.4	13.0	17.4	0.0
	80～84歳	13	7.7	23.1	23.1	30.8	7.7	0.0	46.2	7.7
	85歳以上	5	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0

(7) 働く場合に希望する業種

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に希望する業種は「生活関連サービス業、娯楽業」が12.8%と最も高く、次いで「介護・高齢者支援関連業」(11.3%)、「農林漁業」「製造業」(9.0%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「製造業」「生活関連サービス業、娯楽業」(12.2%)、女性は「介護・高齢者支援関連業」(17.4%)がそれぞれ最も高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「宿泊・飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」(14.3%)が最も高い。

【働く場合に希望する業種】



【働く場合に希望する業種(性別・年齢別)】

	調査数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・レンタル業	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	133	9.0	0.0	4.5	9.0	3.8	1.5	3.8	3.0	0.8	0.0	
性別	男性	82	9.8	0.0	6.1	12.2	6.1	2.4	4.9	2.4	1.2	0.0
	女性	46	6.5	0.0	2.2	4.3	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0
	無回答	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	56	8.9	0.0	7.1	12.5	0.0	0.0	3.6	5.4	0.0	0.0
	70～74歳	41	9.8	0.0	4.9	7.3	7.3	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0
	75～79歳	21	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0
	80～84歳	10	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	85歳以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

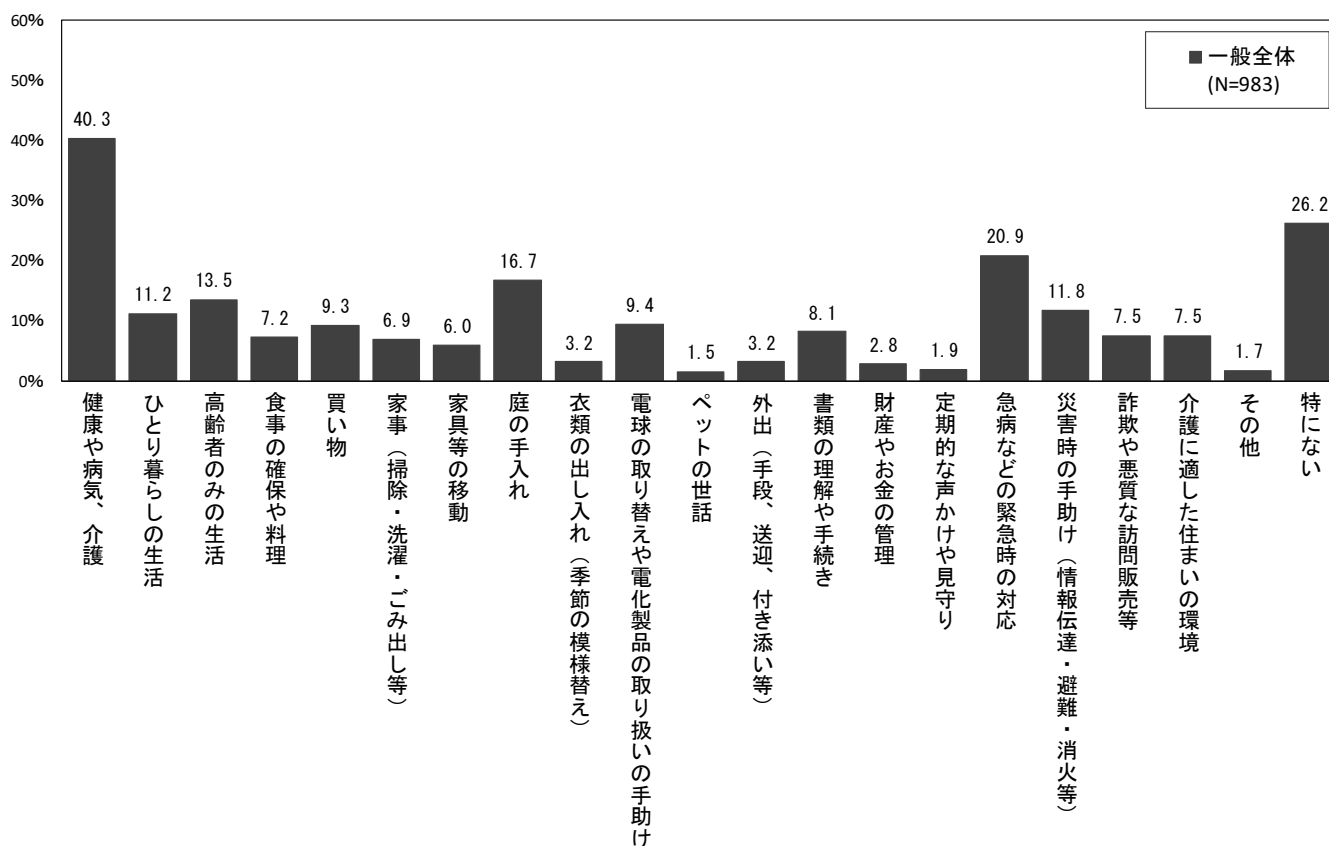
	調査数	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育・学習支援業	介護・高齢者支援関連業	保育・子ども子育て支援関連事業	その他の医療・福祉関連業	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	133	3.0	9.8	12.8	6.0	11.3	5.3	3.8	12.8	
性別	男性	82	4.9	9.8	12.2	7.3	7.3	1.2	2.4	9.8
	女性	46	0.0	8.7	15.2	4.3	17.4	13.0	6.5	17.4
	無回答	5	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
年齢別	65～69歳	56	3.6	14.3	14.3	3.6	7.1	5.4	7.1	7.1
	70～74歳	41	4.9	7.3	14.6	9.8	9.8	2.4	0.0	14.6
	75～79歳	21	0.0	4.8	14.3	9.5	19.0	4.8	0.0	19.0
	80～84歳	10	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	20.0
	85歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

6. 日常生活上の不安や困りごとについて

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」が26.2%を占めている。不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が40.3%と最も高く、次いで「急病などの緊急時の対応」(20.9%)、「庭の手入れ」(16.7%)、「高齢者のみの生活」(13.5%)、「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(11.8%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「買い物」(12.4%)や「庭の手入れ」(19.6%)、「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」(14.4%)等の割合が5ポイント以上高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「ひとり暮らしの生活」「買い物」「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」「衣類の出し入れ(季節の模様替え)」「書類の理解や手続き」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「家具等の移動」(12.8%)、「庭の手入れ」(25.6%)、「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」(16.7%)、「急病などの緊急時の対応」(36.1%)、「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(18.3%)等が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「買い物」は蓑島校区(25.0%)や今川校区(17.2%)が他の校区に比べて高い。また、行橋南校区では「急病などの緊急時の対応」、蓑島校区では「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」がそれぞれ30%を超え、他の校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



【日常生活上の不安や困りごと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

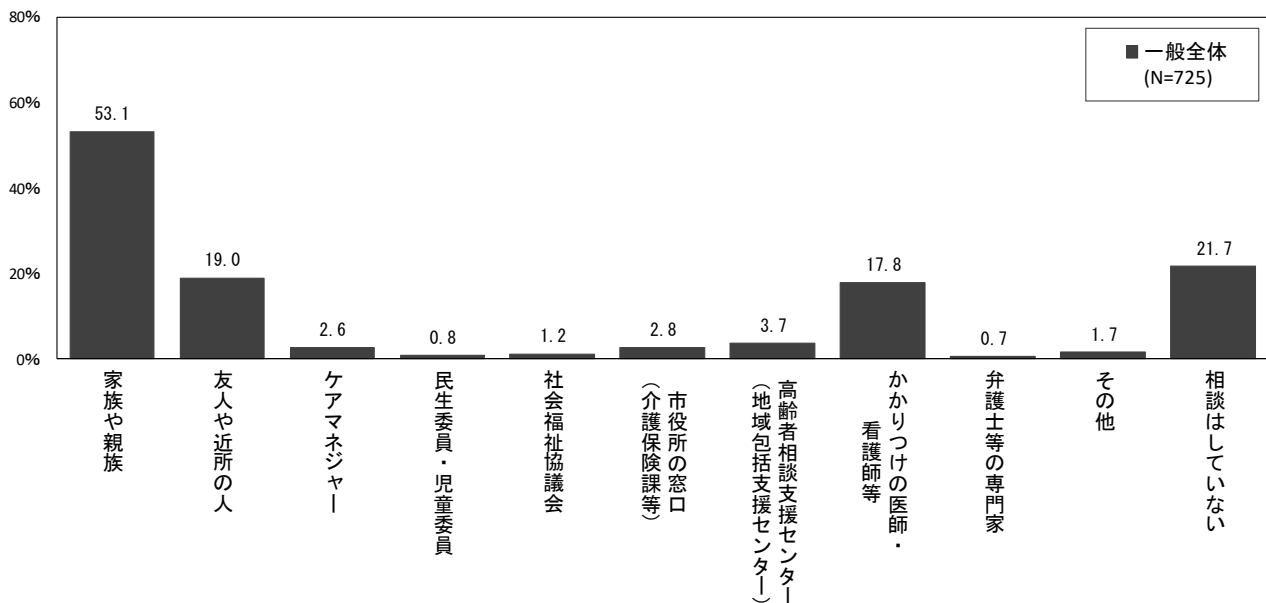
	調査数	健康や病氣、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	983	40.3	11.2	13.5	7.2	9.3	6.9	6.0	16.7	3.2	9.4	
性別	男性	424	41.0	10.1	14.6	9.4	5.7	6.8	3.8	13.2	2.1	2.6
	女性	526	40.1	11.8	12.4	5.1	12.4	6.7	7.8	19.6	3.4	14.4
	無回答	33	33.3	15.2	18.2	12.1	6.1	12.1	6.1	15.2	12.1	15.2
年齢別	65～69歳	269	35.3	7.4	8.6	4.5	4.1	3.3	4.1	10.8	1.5	6.7
	70～74歳	268	39.9	9.7	10.8	4.9	10.1	4.9	4.9	16.0	1.5	9.0
	75～79歳	219	44.7	13.2	16.9	9.1	10.5	6.4	9.1	15.5	4.1	11.9
	80～84歳	125	49.6	13.6	20.8	11.2	13.6	11.2	5.6	27.2	4.8	7.2
	85歳以上	71	35.2	18.3	18.3	9.9	15.5	19.7	8.5	26.8	7.0	15.5
	無回答	31	29.0	16.1	16.1	16.1	6.5	12.9	6.5	16.1	9.7	12.9
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	40.6	38.3	12.2	9.4	12.8	9.4	12.8	25.6	2.8	16.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	43.8	5.8	19.4	7.0	10.1	7.2	5.0	15.1	3.1	7.2
	その他の世帯	285	35.4	2.8	3.9	5.6	6.0	4.6	3.5	13.7	2.8	8.1
	無回答	34	29.4	14.7	17.6	11.8	5.9	8.8	5.9	17.6	8.8	11.8
小学校区別	行橋校区	124	41.1	13.7	11.3	8.1	8.1	5.6	10.5	15.3	1.6	12.9
	行橋北校区	90	37.8	14.4	11.1	7.8	3.3	6.7	10.0	13.3	4.4	6.7
	行橋南校区	94	42.6	13.8	14.9	4.3	6.4	5.3	7.4	18.1	7.4	16.0
	今元校区	80	36.3	5.0	11.3	6.3	8.8	6.3	5.0	12.5	1.3	11.3
	養鳥校区	16	25.0	6.3	12.5	6.3	25.0	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3
	仲津校区	138	42.0	11.6	14.5	8.7	13.0	4.3	5.1	23.2	2.2	10.1
	泉校区	142	45.8	8.5	12.0	4.2	8.5	4.2	3.5	15.5	2.1	4.9
	今川校区	64	45.3	12.5	15.6	6.3	17.2	6.3	3.1	18.8	1.6	12.5
	稗田校区	45	44.4	8.9	11.1	6.7	8.9	8.9	4.4	17.8	4.4	6.7
	樺市校区	32	34.4	9.4	15.6	6.3	9.4	9.4	6.3	15.6	3.1	6.3
	延永校区	123	35.8	11.4	17.1	9.8	8.1	13.8	4.9	16.3	2.4	4.9
無回答	35	31.4	14.3	17.1	14.3	8.6	11.4	5.7	14.3	11.4	14.3	

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り、付き添い等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の手助け(火情等)の伝達・避難・消火	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	983	1.5	3.2	8.1	2.8	1.9	20.9	11.8	7.5	7.5	1.7	26.2	
性別	男性	424	1.4	1.9	6.8	4.0	1.4	17.9	9.2	5.9	7.1	1.9	30.2
	女性	526	1.5	4.0	9.1	1.9	1.9	22.6	13.7	8.6	7.6	1.3	23.6
	無回答	33	3.0	6.1	9.1	3.0	9.1	30.3	15.2	12.1	12.1	6.1	18.2
年齢別	65～69歳	269	1.1	2.2	4.8	4.5	0.7	17.8	10.0	5.6	5.9	0.7	34.9
	70～74歳	268	0.4	1.5	6.7	2.2	1.1	16.8	10.4	7.8	6.7	0.4	28.0
	75～79歳	219	3.2	3.7	8.2	2.3	3.2	24.7	13.7	7.8	7.8	2.7	25.1
	80～84歳	125	0.8	5.6	12.0	2.4	2.4	28.8	15.2	9.6	10.4	4.8	13.6
	85歳以上	71	2.8	5.6	18.3	1.4	2.8	21.1	11.3	7.0	9.9	1.4	15.5
	無回答	31	3.2	6.5	9.7	3.2	6.5	22.6	12.9	12.9	9.7	3.2	19.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	1.7	3.9	7.8	2.2	2.2	36.1	18.3	7.8	4.4	2.8	12.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	1.4	2.7	8.1	3.3	2.3	21.3	10.1	7.6	8.9	1.4	28.1
	その他の世帯	285	1.4	3.2	8.4	2.5	0.7	10.5	10.5	6.7	7.0	1.4	32.6
	無回答	34	2.9	5.9	8.8	2.9	5.9	20.6	11.8	11.8	8.8	2.9	17.6
小学校区別	行橋校区	124	1.6	3.2	7.3	2.4	1.6	21.0	19.4	5.6	8.1	3.2	22.6
	行橋北校区	90	0.0	2.2	4.4	2.2	1.1	27.8	14.4	7.8	10.0	2.2	26.7
	行橋南校区	94	1.1	4.3	10.6	3.2	0.0	30.9	16.0	8.5	8.5	2.1	22.3
	今元校区	80	0.0	5.0	11.3	1.3	1.3	21.3	20.0	8.8	10.0	1.3	23.8
	養鳥校区	16	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	31.3	12.5	6.3	0.0	37.5
	仲津校区	138	0.7	5.1	8.0	2.9	2.2	18.8	8.7	6.5	5.8	2.9	21.7
	泉校区	142	2.1	2.8	7.7	2.8	2.1	14.1	2.8	11.3	5.6	0.7	35.2
	今川校区	64	0.0	3.1	7.8	0.0	1.6	10.9	9.4	6.3	9.4	0.0	28.1
	稗田校区	45	6.7	0.0	4.4	4.4	2.2	26.7	11.1	6.7	6.7	2.2	33.3
	樺市校区	32	3.1	3.1	6.3	6.3	0.0	12.5	3.1	0.0	3.1	0.0	31.3
	延永校区	123	2.4	0.8	8.9	4.9	4.1	22.0	8.9	5.7	7.3	0.8	23.6
無回答	35	2.9	5.7	11.4	2.9	5.7	22.9	11.4	11.4	8.6	2.9	22.9	

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」が21.7%を占めている。不安や困りごとの相談先がある人では、「家族や親族」が53.1%と半数を超え、次いで「友人や近所の人」(19.0%)、「かかりつけの医師・看護師等」(17.8%)の順に続く。「ケアマネジャー」「市役所の窓口」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」等は3%前後と少ない。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「家族や親族」(59.0%)や「友人や近所の人」(22.1%)が高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「かかりつけの医師・看護師等」の割合が高い。また、75歳以上になると「家族や親族」のほか、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」(29.3%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「市役所の窓口(介護保険課等)」は行橋南校区(6.8%)や今元校区(6.6%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」は行橋北校区(7.6%)が他の校区に比べてやや高い。

【不安や困りごとの相談先】



【不安や困りごとの相談先(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

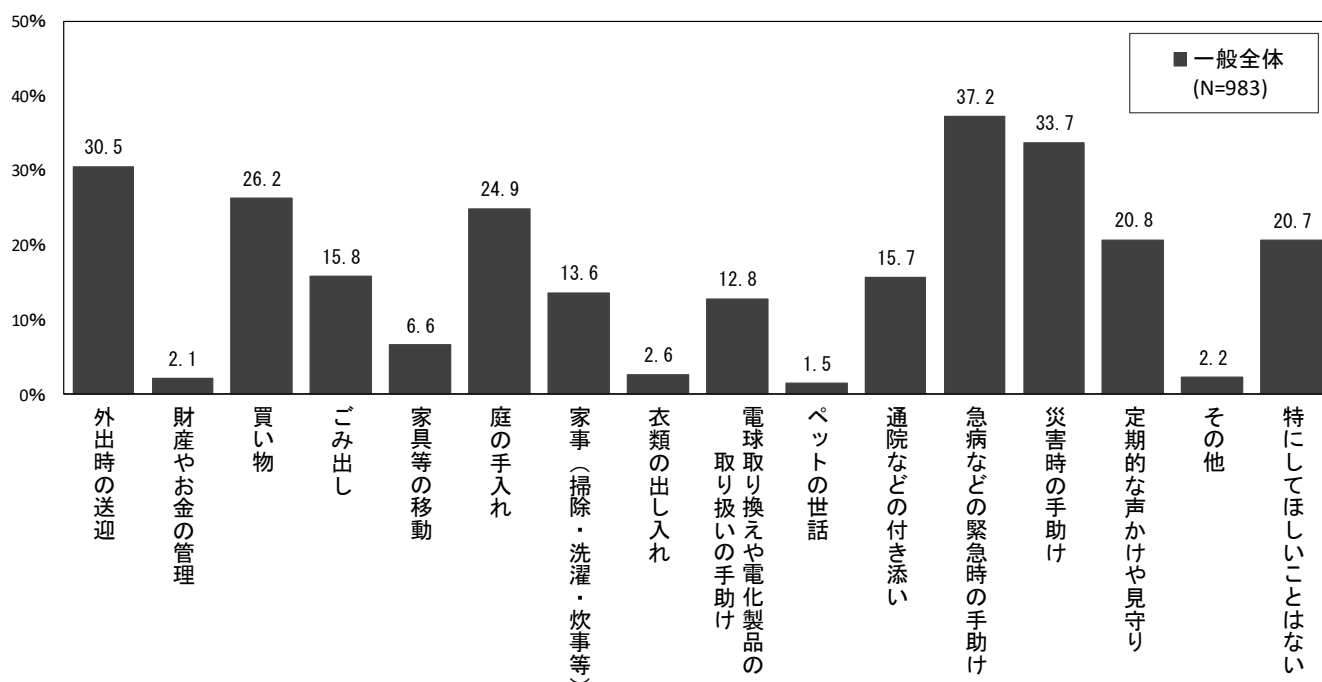
	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	725	53.1	19.0	2.6	0.8	1.2	2.8	3.7	17.8	0.7	1.7	21.7	
性別	男性	296	45.6	14.9	1.7	0.7	1.7	2.7	4.7	19.6	1.4	2.4	26.0
	女性	402	59.0	22.1	3.0	0.7	0.7	3.0	3.0	17.2	0.2	1.2	18.7
	無回答	27	48.1	18.5	7.4	3.7	3.7	0.0	3.7	7.4	0.0	0.0	18.5
年齢別	65～69歳	175	50.3	20.0	2.3	0.0	1.1	3.4	1.7	12.0	0.6	1.1	28.0
	70～74歳	193	49.7	19.2	4.1	1.0	0.0	2.1	0.5	15.0	0.5	1.6	21.2
	75～79歳	164	56.7	16.5	2.4	0.0	1.2	2.4	5.5	22.0	0.6	1.8	22.6
	80～84歳	108	55.6	21.3	1.9	2.8	2.8	3.7	8.3	22.2	0.9	2.8	18.5
	85歳以上	60	61.7	18.3	0.0	0.0	1.7	3.3	6.7	28.3	1.7	1.7	8.3
	無回答	25	44.0	20.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0	20.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	157	59.9	29.3	1.3	1.9	0.6	2.5	4.5	18.5	0.6	2.5	18.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	348	49.7	17.5	2.9	0.6	1.1	2.3	2.9	19.5	0.9	1.4	24.4
	その他の世帯	192	53.6	13.0	3.1	0.0	1.6	4.2	4.7	15.1	0.5	1.6	20.3
	無回答	28	53.6	21.4	3.6	3.6	3.6	0.0	3.6	10.7	0.0	0.0	14.3
小学校区別	行橋校区	96	51.0	19.8	1.0	1.0	4.2	2.1	4.2	16.7	0.0	0.0	26.0
	行橋北校区	66	53.0	24.2	4.5	1.5	0.0	1.5	7.6	21.2	3.0	1.5	19.7
	行橋南校区	73	60.3	21.9	1.4	0.0	1.4	6.8	4.1	17.8	0.0	4.1	20.5
	今元校区	61	54.1	16.4	3.3	1.6	0.0	6.6	1.6	24.6	1.6	0.0	19.7
	養島校区	10	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	仲津校区	108	50.0	19.4	5.6	0.0	2.8	4.6	5.6	15.7	0.0	1.9	23.1
	泉校区	92	56.5	19.6	2.2	0.0	0.0	0.0	3.3	22.8	1.1	0.0	17.4
	今川校区	46	52.2	8.7	2.2	0.0	0.0	4.3	2.2	17.4	0.0	0.0	26.1
	稗田校区	30	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	26.7	0.0	0.0	23.3
	椿市校区	22	50.0	18.2	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	22.7
	延永校区	94	53.2	19.1	1.1	2.1	0.0	1.1	2.1	11.7	1.1	6.4	20.2
	無回答	27	44.4	18.5	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	7.4	0.0	0.0	18.5

7. 地域での支えあいについて

(1) 支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいこと

- 日常生活で支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいことは「急病などの緊急時の手助け」が37.2%と最も高く、次いで「災害時の手助け」(33.7%)、「外出時の送迎」(30.5%)、「買い物」(26.2%)、「庭の手入れ」(24.9%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「外出時の送迎」(35.4%)や「買い物」(30.4%)、「庭の手入れ」(28.1%)、「急病などの緊急時の手助け」(40.1%)、「災害時の手助け」(37.8%)の割合が高い。
- 年齢別にみると、80～84歳では「庭の手入れ」(33.6%)と他の年齢層に比べて高い。また、「外出時の送迎」や「急病などの緊急時の手助け」は年齢が若いほど高くなっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「急病などの緊急時の手助け」(43.3%)や「災害時の手助け」(38.3%)が他の世帯構成に比べて高い。また、夫婦のみふたり暮らし世帯では「外出時の送迎」(33.1%)や「買い物」(29.1%)、「通院などの付き添い」(17.8%)など、外出の際の手助けに関する項目の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は椿市校区(43.8%)や稗田校区(42.2%)が40%を超えている。「買い物」は仲津校区(38.4%)や今川校区(34.4%)が30%を超えている。「急病などの緊急時の手助け」は、稗田校区(48.9%)や行橋校区(45.2%)が他の校区に比べて高い。

【支援が必要になった場合にしてほしいこと】



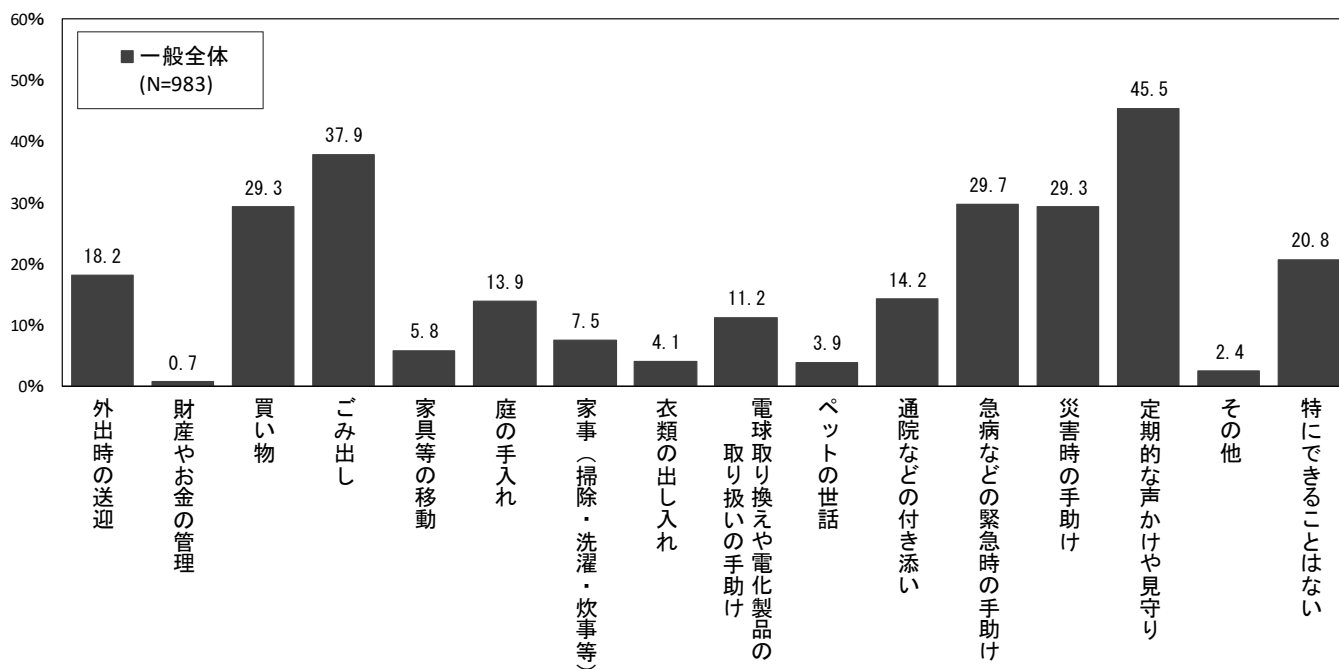
【支援が必要になった場合にしてほしいこと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの 手助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にしてほしいことはない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	30.5	2.1	26.2	15.8	6.6	24.9	13.6	2.6	12.8	1.5	15.7	37.2	33.7	20.8	2.2	20.7	
性別	男性	424	24.3	2.8	20.5	13.0	4.2	21.5	15.3	2.1	6.1	1.9	12.3	33.7	28.5	19.8	2.8	25.9
	女性	526	35.4	1.7	30.4	18.3	8.6	28.1	12.5	3.0	18.6	1.3	18.1	40.1	37.8	21.5	1.9	16.2
	無回答	33	33.3	0.0	33.3	12.1	6.1	18.2	9.1	3.0	6.1	0.0	21.2	36.4	33.3	21.2	0.0	24.2
年齢別	65～69歳	269	32.3	2.6	22.7	16.4	6.3	24.9	13.4	1.9	11.5	1.1	15.6	41.6	40.5	23.0	2.2	19.0
	70～74歳	268	29.5	1.5	28.0	15.7	5.6	22.8	13.8	2.2	14.2	1.5	16.0	36.6	30.6	19.0	2.6	24.3
	75～79歳	219	32.9	2.7	27.9	14.6	8.2	23.7	15.1	2.7	15.1	3.2	17.8	34.2	29.7	23.3	2.3	18.7
	80～84歳	125	26.4	2.4	26.4	17.6	6.4	33.6	12.8	3.2	10.4	0.0	12.0	36.8	29.6	19.2	2.4	17.6
	85歳以上	71	26.8	1.4	25.4	16.9	7.0	23.9	12.7	5.6	12.7	1.4	12.7	33.8	39.4	14.1	1.4	21.1
	無回答	31	32.3	0.0	32.3	9.7	6.5	19.4	9.7	3.2	6.5	0.0	19.4	35.5	32.3	19.4	0.0	29.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	29.4	2.2	26.1	18.3	11.1	27.8	14.4	0.6	16.1	1.7	12.8	43.3	38.3	17.2	1.7	16.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	33.1	2.9	29.1	17.1	6.2	26.2	15.3	4.3	13.4	1.7	17.8	38.6	34.9	24.8	2.1	20.0
	その他の世帯	285	26.7	1.1	21.1	12.6	4.6	21.4	10.9	1.1	10.5	1.1	13.7	30.9	28.4	15.8	3.2	23.9
	無回答	34	32.4	0.0	29.4	8.8	5.9	20.6	8.8	2.9	5.9	2.9	17.6	38.2	35.3	23.5	0.0	23.5
小学校区別	行橋校区	124	25.0	5.6	20.2	14.5	9.7	20.2	17.7	2.4	15.3	0.0	16.1	45.2	40.3	21.0	4.0	21.8
	行橋北校区	90	26.7	1.1	22.2	11.1	8.9	18.9	14.4	4.4	8.9	0.0	13.3	36.7	28.9	24.4	3.3	26.7
	行橋南校区	94	25.5	1.1	23.4	12.8	7.4	16.0	9.6	4.3	14.9	1.1	13.8	39.4	42.6	25.5	1.1	14.9
	今元校区	80	25.0	0.0	25.0	8.8	2.5	27.5	8.8	1.3	12.5	0.0	17.5	37.5	35.0	21.3	0.0	23.8
	菟島校区	16	37.5	0.0	25.0	25.0	6.3	18.8	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	31.3	50.0	18.8	0.0	18.8
	仲津校区	138	37.7	1.4	38.4	26.1	5.8	28.3	13.0	0.7	15.9	2.2	15.9	37.0	36.2	19.6	1.4	18.8
	泉校区	142	29.6	1.4	19.0	16.9	6.3	28.9	16.2	4.2	14.1	3.5	14.1	32.4	29.6	21.1	3.5	18.3
	今川校区	64	39.1	3.1	34.4	23.4	9.4	29.7	18.8	4.7	21.9	0.0	26.6	40.6	39.1	20.3	1.6	26.6
	稗田校区	45	42.2	6.7	28.9	15.6	8.9	33.3	15.6	2.2	13.3	4.4	20.0	48.9	31.1	22.2	4.4	17.8
	樺市校区	32	43.8	0.0	21.9	0.0	0.0	15.6	3.1	0.0	6.3	0.0	12.5	31.3	18.8	9.4	3.1	25.0
	延永校区	123	26.8	2.4	27.6	14.6	4.9	30.9	14.6	0.8	4.9	3.3	13.0	30.9	26.0	18.7	1.6	17.9
	無回答	35	28.6	0.0	31.4	11.4	5.7	17.1	8.6	2.9	8.6	0.0	17.1	34.3	28.6	17.1	0.0	25.7

(2) 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援

- 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援は「定期的な声かけや見守り」が 45.5%と最も高く、次いで「ごみ出し」(37.9%)、「急病などの緊急時の手助け」(29.7%)、「買い物」「災害時の手助け」(29.3%) が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「外出時の送迎」(23.6%) や「家具等の移動」(10.8%)、「庭の手入れ」(19.3%)、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(22.2%) など日常生活のちょっとした困りごとに関する項目が高いほか、「急病などの緊急時の手助け」(37.0%) や「災害時の手助け」(40.8%) も顕著に高い。
- 年齢別にみると、「外出時の送迎」「買い物」「ごみ出し」「庭の手入れ」等は、若い年齢ほど高い。また、「定期的な声かけや見守り」は 65～79 歳では 50%前後となっている。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯では「定期的な声かけや見守り」が 50%を超えているほか、「急病などの緊急時の手助け」(35.3%) や「災害時の手助け」(35.1%) が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は仲津校区 (23.9%)、泉校区 (22.5%)、今川校区 (21.9%)、稗田校区 (20.0%) が 20%を超えている。「定期的な声かけや見守り」は今元校区 (56.3%) や行橋南校区 (53.2%) が 50%を超えている。

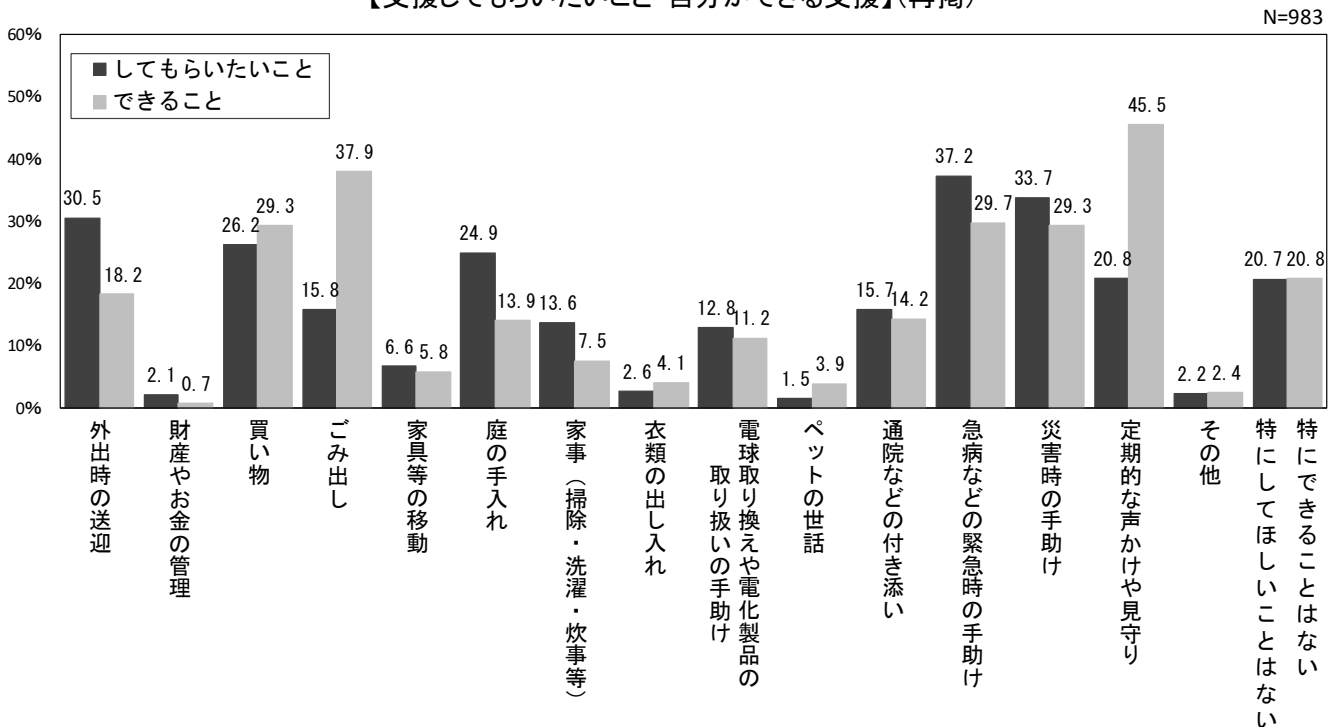
【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援】



【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にできることはない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	18.2	0.7	29.3	37.9	5.8	13.9	7.5	4.1	11.2	3.9	14.2	29.7	29.3	45.5	2.4	20.8	
性別	男性	424	23.6	1.2	23.6	35.1	10.8	19.3	2.8	2.1	22.2	4.0	13.7	37.0	40.8	42.9	1.9	17.7
	女性	526	14.1	0.4	33.8	41.1	1.7	9.7	11.0	5.7	2.7	3.6	14.4	24.5	20.9	47.7	2.9	23.2
	無回答	33	15.2	0.0	30.3	24.2	6.1	12.1	12.1	3.0	6.1	6.1	18.2	18.2	15.2	42.4	3.0	21.2
年齢別	65～69歳	269	22.3	0.7	34.2	44.6	8.6	18.2	10.0	5.2	14.5	5.2	14.5	37.2	42.0	51.7	1.5	13.8
	70～74歳	268	21.3	0.7	36.6	42.5	5.2	14.2	10.1	5.2	13.4	3.4	16.8	35.4	31.7	49.3	1.9	16.8
	75～79歳	219	21.0	0.5	31.5	40.2	5.9	15.5	5.5	4.1	9.6	5.0	16.0	29.7	27.9	50.2	3.2	18.3
	80～84歳	125	7.2	1.6	12.8	27.2	4.0	8.0	1.6	0.8	9.6	2.4	8.8	16.0	14.4	30.4	4.8	32.0
	85歳以上	71	2.8	0.0	5.6	12.7	0.0	4.2	4.2	1.4	0.0	0.0	7.0	8.5	8.5	21.1	1.4	49.3
	無回答	31	16.1	0.0	29.0	25.8	6.5	9.7	9.7	3.2	6.5	3.2	16.1	19.4	16.1	41.9	3.2	22.6
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	18.9	0.6	30.0	33.3	5.6	13.3	10.6	6.1	8.3	3.9	16.1	20.0	18.3	32.2	2.2	29.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	19.6	1.0	30.2	40.5	6.8	14.5	6.0	2.7	14.5	3.5	14.0	35.3	35.1	50.8	2.7	17.1
	その他の世帯	285	16.1	0.4	27.4	37.9	4.2	13.7	8.1	5.3	8.1	4.6	13.3	27.4	27.7	45.6	2.1	21.1
	無回答	34	11.8	0.0	29.4	26.5	5.9	11.8	8.8	2.9	5.9	2.9	14.7	20.6	17.6	38.2	2.9	23.5
小学校区別	行橋校区	124	8.1	0.0	27.4	37.9	5.6	14.5	6.5	2.4	10.5	4.0	15.3	28.2	29.8	45.2	5.6	26.6
	行橋北校区	90	18.9	1.1	33.3	33.3	3.3	16.7	3.3	3.3	10.0	2.2	15.6	31.1	28.9	45.6	3.3	24.4
	行橋南校区	94	17.0	1.1	33.0	39.4	5.3	9.6	9.6	5.3	10.6	6.4	14.9	34.0	41.5	53.2	1.1	12.8
	今元校区	80	17.5	0.0	30.0	33.8	0.0	8.8	6.3	2.5	8.8	3.8	11.3	30.0	25.0	56.3	2.5	25.0
	葦島校区	16	18.8	0.0	31.3	50.0	0.0	12.5	6.3	6.3	12.5	0.0	12.5	31.3	31.3	43.8	0.0	18.8
	仲津校区	138	23.9	0.7	29.7	39.9	9.4	13.0	8.0	6.5	13.0	3.6	16.7	34.8	29.7	43.5	1.4	20.3
	泉校区	142	22.5	2.1	28.9	44.4	7.0	14.1	8.5	4.9	12.7	5.6	13.4	27.5	27.5	44.4	3.5	16.2
	今川校区	64	21.9	0.0	32.8	37.5	1.6	14.1	10.9	4.7	9.4	1.6	14.1	26.6	28.1	45.3	0.0	26.6
	稗田校区	45	20.0	2.2	35.6	44.4	15.6	22.2	13.3	4.4	13.3	4.4	15.6	40.0	33.3	44.4	4.4	17.8
	榑市校区	32	12.5	0.0	15.6	21.9	3.1	18.8	0.0	0.0	12.5	3.1	9.4	31.3	18.8	40.6	0.0	18.8
	延永校区	123	18.7	0.0	25.2	37.4	6.5	16.3	7.3	3.3	12.2	3.3	13.0	24.4	30.1	41.5	0.8	19.5
	無回答	35	11.4	0.0	25.7	25.7	5.7	8.6	8.6	2.9	5.7	2.9	14.3	17.1	14.3	34.3	2.9	22.9

【支援してもらいたいこと・自分ができる支援】(再掲)

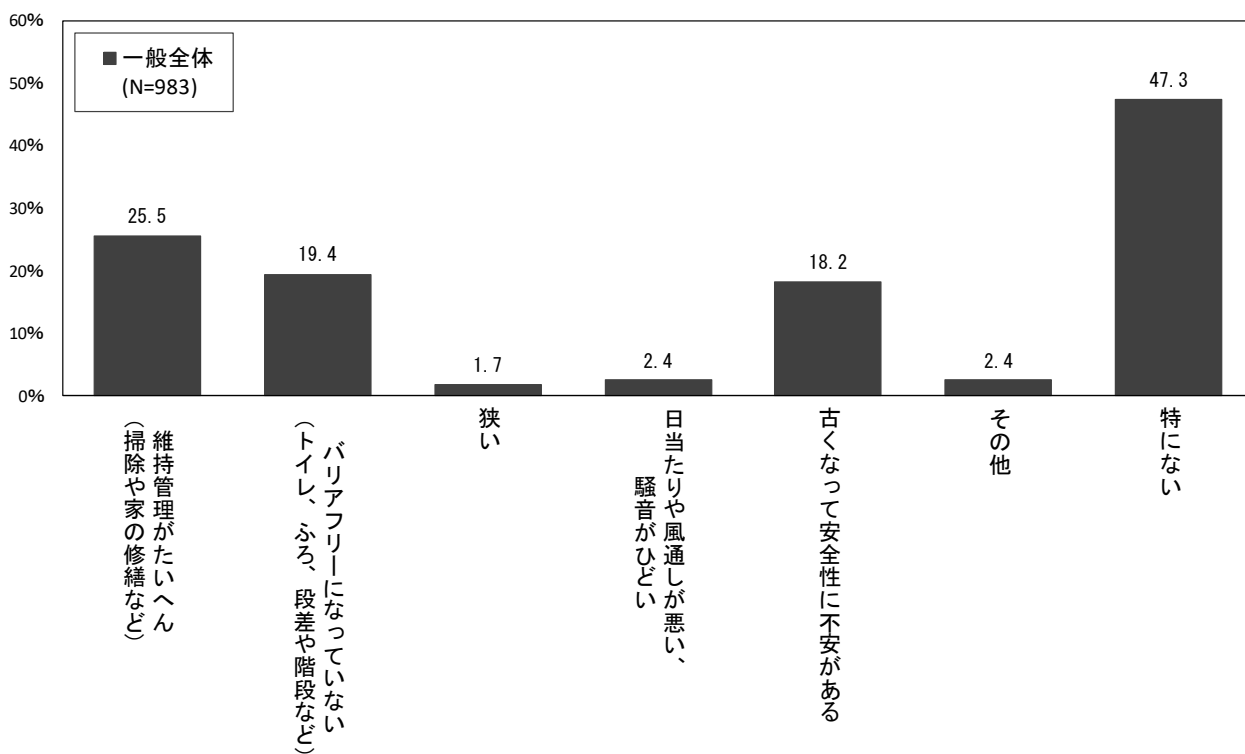


8. 住まいについて

(1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が 47.3%と約半数を占めている。困っていることがある人では「維持管理がたいへん（掃除や家の修理など）」が 25.5%と最も高く、次いで「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」（19.4%）、「古くなって安全性に不安がある」（18.2%）の順に続く。
- 年齢別にみると、75歳～84歳では「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」が 20%を超えている。
- 小学校区別にみると、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」は今川校区（31.3%）や稗田校区（31.1%）、延永校区（30.9%）が 30%を超えている。「日当たりや風通しが悪い、騒音がひどい」は仲津校区で 5.8%と他の校区に比べて高い。「古くなって安全性に不安がある」は、行橋北校区が 25.6%と最も高い。

【住居で困っていること】



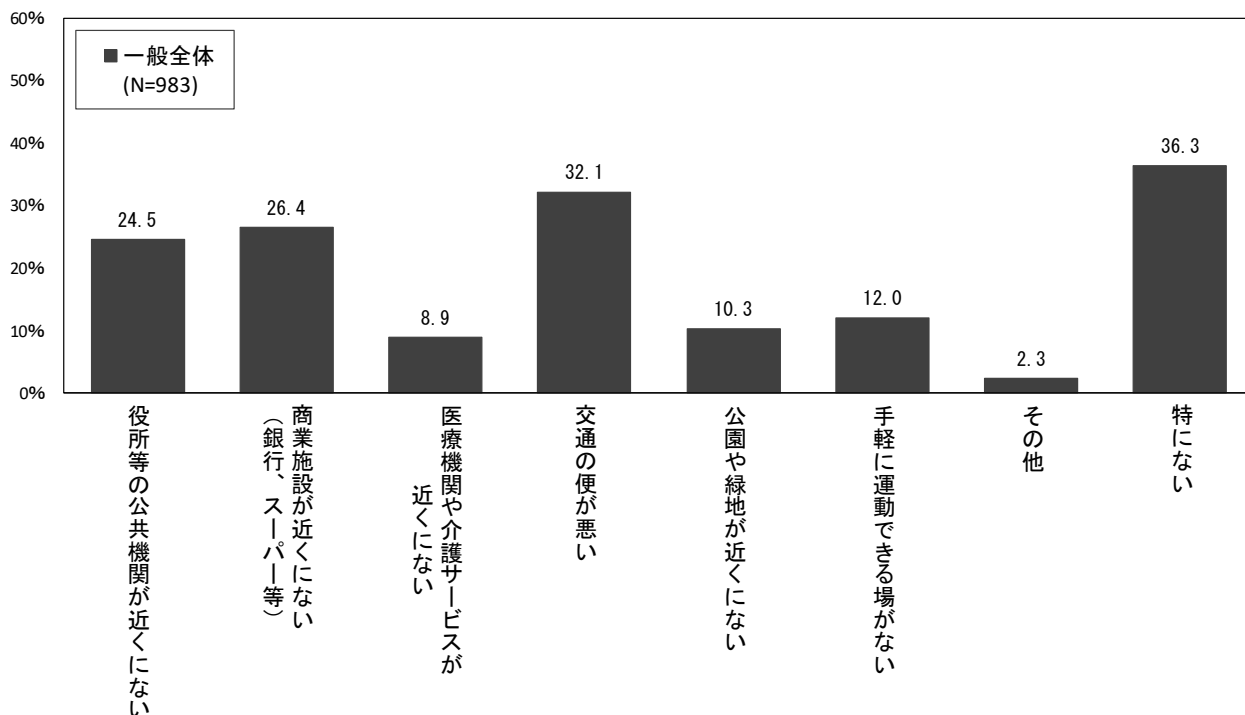
【住居で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数	維持管理がたいへん (掃除や家の修繕など)	バリアフリーになっていない (トイレ、ふる、段差や階段など)	狭い	騒音がひどい	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	25.5	19.4	1.7	2.4	18.2	2.4	47.3
性別	男性	424	28.3	17.7	0.5	2.4	17.2	2.8	50.0
	女性	526	23.4	20.9	2.7	2.1	18.6	1.9	45.8
	無回答	33	24.2	18.2	3.0	9.1	24.2	6.1	36.4
年齢別	65～69歳	269	26.0	16.7	3.0	3.3	16.4	3.7	50.2
	70～74歳	268	26.1	18.7	1.9	2.2	17.5	2.2	48.5
	75～79歳	219	27.4	21.9	0.9	1.4	26.9	1.8	42.5
	80～84歳	125	22.4	25.6	0.0	2.4	11.2	1.6	44.0
	85歳以上	71	22.5	15.5	1.4	0.0	11.3	0.0	54.9
	無回答	31	22.6	16.1	3.2	9.7	22.6	6.5	41.9
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	28.3	21.1	2.2	1.7	24.4	2.8	38.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	25.2	18.8	1.2	2.9	15.7	1.9	52.9
	その他の世帯	285	24.2	19.3	2.1	1.4	17.9	2.8	44.2
	無回答	34	26.5	20.6	2.9	8.8	23.5	5.9	41.2
小学校区別	行橋校区	124	21.0	17.7	4.0	1.6	19.4	3.2	49.2
	行橋北校区	90	24.4	23.3	3.3	3.3	25.6	4.4	44.4
	行橋南校区	94	25.5	27.7	3.2	2.1	22.3	3.2	42.6
	今元校区	80	22.5	15.0	0.0	1.3	17.5	2.5	47.5
	菟島校区	16	25.0	12.5	0.0	0.0	18.8	0.0	62.5
	仲津校区	138	24.6	21.7	1.4	5.8	11.6	0.0	49.3
	泉校区	142	24.6	15.5	0.7	0.7	14.1	2.1	54.2
	今川校区	64	31.3	17.2	0.0	1.6	20.3	3.1	43.8
	稗田校区	45	31.1	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	48.9
	樺市校区	32	28.1	15.6	0.0	0.0	18.8	6.3	40.6
	延永校区	123	30.9	18.7	1.6	2.4	17.1	1.6	43.9
	無回答	35	20.0	20.0	2.9	8.6	22.9	5.7	40.0

(2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「特にない」が 36.3%と最も高く、困っていることがある人では「交通の便が悪い」が 32.1%と最も高く、次いで「商業施設が近くにならない（銀行、スーパー等）」(26.4%)、「役所等の公共機関が近くにならない」(24.5%)となっている。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「役所等の公共機関が近くにならない」(27.2%)、「商業施設が近くにならない（銀行、スーパー等）」(30.0%)、「交通の便が悪い」(36.3%)の割合が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が若いほど「公園や緑地が近くにならない」「手軽に運動できる場がない」の割合が高く、10%を超えている。
- 小学校区別にみると、「役所等の公共機関が近くにならない」は仲津校区が 50.0%を超え、他の校区に比べて顕著に高い。そのほか、今川校区(37.5%)、稗田校区(35.6%)、椿市校区(34.4%)においても 30%を超えている。「商業施設が近くにならない（銀行、スーパー等）」は、仲津校区(63.8%)や菘島校区(62.5%)が 60%を超えて高い。「交通の便が悪い」は、菘島校区(75.0%)、稗田校区(62.2%)、椿市校区(59.4%)、今元校区(51.3%)が 50%を超えている一方、行橋圏域（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）や泉校区は、10~20%程度と比較的低い。

【環境・地域で困っていること】



【環境・地域で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

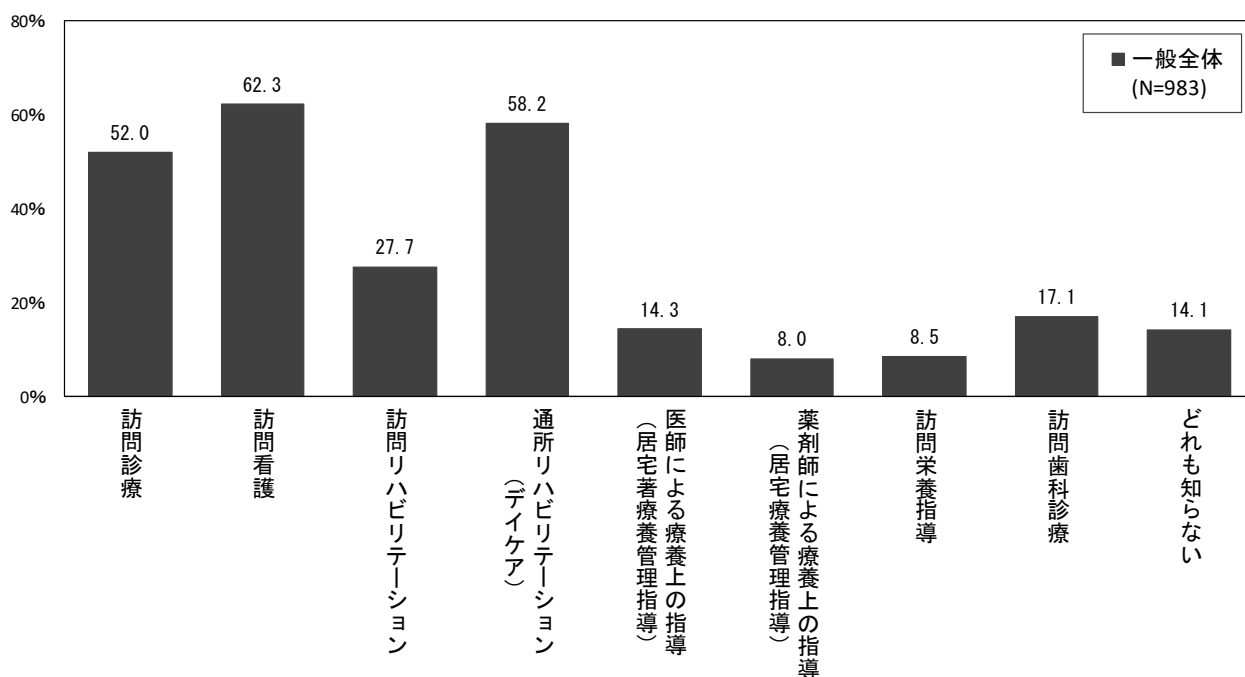
		調査数	役所等の公共機関が近くにない	(商業施設が近くにない (銀行、スーパー等))	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特 に ない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	24.5	26.4	8.9	32.1	10.3	12.0	2.3	36.3
性別	男性	424	21.2	22.2	7.5	26.9	11.8	15.3	1.2	41.7
	女性	526	27.2	30.0	9.9	36.3	9.1	9.7	3.4	31.9
	無回答	33	24.2	24.2	9.1	33.3	9.1	6.1	0.0	36.4
年齢別	65～69歳	269	22.7	27.5	9.3	32.3	11.2	11.2	3.7	41.3
	70～74歳	268	23.9	25.4	9.0	31.7	11.6	14.9	1.9	36.9
	75～79歳	219	22.8	26.9	7.8	32.4	10.5	15.1	2.7	35.2
	80～84歳	125	30.4	27.2	8.0	33.6	9.6	8.0	1.6	25.6
	85歳以上	71	31.0	28.2	11.3	31.0	2.8	4.2	0.0	35.2
	無回答	31	19.4	16.1	9.7	29.0	9.7	6.5	0.0	41.9
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	27.8	24.4	6.1	26.1	7.8	8.9	1.7	36.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	24.4	27.9	11.0	35.3	11.4	13.8	2.9	36.2
	その他の世帯	285	23.5	26.7	7.0	30.9	9.8	11.6	2.1	36.1
	無回答	34	17.6	14.7	8.8	29.4	11.8	5.9	0.0	41.2
小学校区別	行橋校区	124	12.9	8.9	3.2	11.3	9.7	12.1	2.4	54.8
	行橋北校区	90	16.7	6.7	4.4	22.2	10.0	16.7	2.2	45.6
	行橋南校区	94	2.1	10.6	6.4	10.6	9.6	19.1	4.3	50.0
	今元校区	80	20.0	42.5	16.3	51.3	12.5	11.3	2.5	28.8
	菟島校区	16	18.8	62.5	37.5	75.0	6.3	0.0	6.3	18.8
	仲津校区	138	50.0	63.8	9.4	43.5	12.3	10.1	2.2	15.2
	泉校区	142	19.7	11.3	2.1	17.6	11.3	12.0	2.1	45.8
	今川校区	64	37.5	32.8	6.3	48.4	14.1	12.5	0.0	28.1
	稗田校区	45	35.6	44.4	24.4	62.2	8.9	6.7	0.0	24.4
	樺市校区	32	34.4	37.5	25.0	59.4	6.3	12.5	0.0	25.0
	延永校区	123	28.5	22.0	9.8	37.4	6.5	9.8	3.3	30.9
	無回答	35	17.1	14.3	8.6	28.6	11.4	8.6	2.9	40.0

9. 在宅医療や介護等について

(1) 在宅医療サービスの認知度

- 在宅医療サービスで知っていることは「訪問看護」が62.3%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」(58.2%)、「訪問診療」(52.0%)の順に続く。「どれも知らない」という割合は14.1%となっている。
- 性別にみると大きな差はみられないが、「訪問診療」「どれも知らない」を除いた全ての項目で女性の方が男性より高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「どれも知らない」という割合が高くなっており、若いほど在宅医療サービスの認知度は高い。

【在宅医療サービスの認知度】



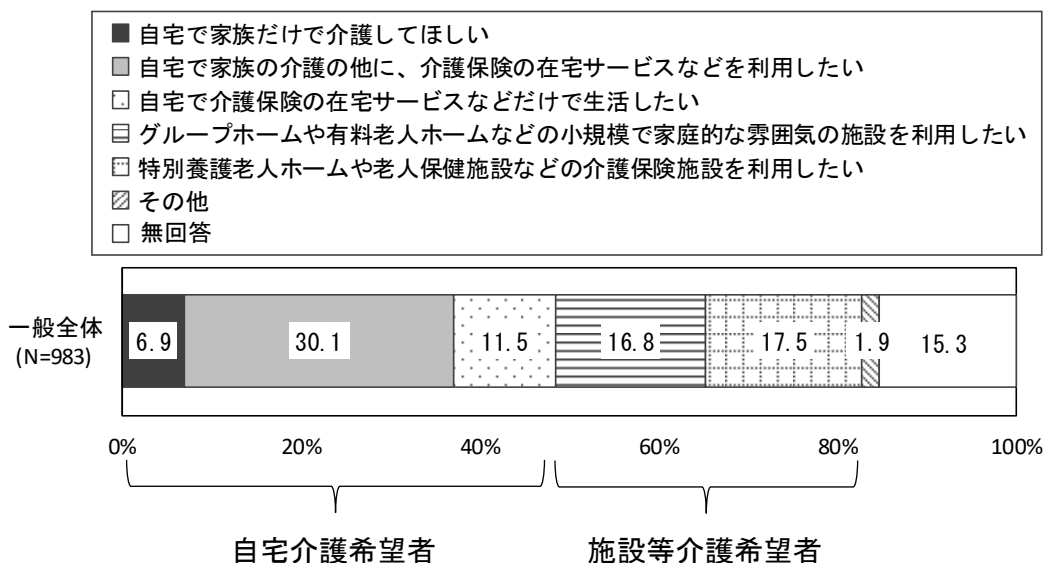
【在宅医療サービスの認知度(性別・年齢別)】

		調査数	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション(デイケア)	医師による療養上の指導(居宅著療養管理指導)	薬剤師による療養上の指導(居宅療養管理指導)	訪問栄養指導	訪問歯科診療	どれも知らない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	52.0	62.3	27.7	58.2	14.3	8.0	8.5	17.1	14.1
性別	男性	424	52.1	58.7	26.7	52.8	13.0	7.3	6.8	13.2	15.8
	女性	526	52.1	64.8	28.5	62.7	15.2	8.9	9.7	20.9	13.3
	無回答	33	48.5	66.7	27.3	54.5	18.2	3.0	12.1	6.1	6.1
年齢別	65～69歳	269	61.0	70.3	30.5	65.1	17.8	11.2	9.7	25.3	12.3
	70～74歳	268	56.0	64.2	33.6	64.6	14.6	8.6	10.4	17.5	13.4
	75～79歳	219	50.7	63.5	22.8	53.0	10.5	5.5	8.7	15.1	14.2
	80～84歳	125	34.4	44.8	20.8	50.4	12.8	7.2	4.8	9.6	18.4
	85歳以上	71	39.4	50.7	21.1	38.0	14.1	5.6	2.8	8.5	19.7
	無回答	31	48.4	64.5	29.0	58.1	16.1	3.2	9.7	6.5	6.5

(2) 自分に介護が必要になった場合の介護希望

- 自分に介護が必要になった場合の介護希望は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が30.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」(17.5%)、「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」(16.8%)の順に続く。「自宅で家族だけで介護してほしい」から「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」を合わせた『自宅介護希望者』の割合は48.5%、また、「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」と「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」を合わせた『施設等介護希望者』の割合は34.3%となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」(35.1%)が7.9ポイント高く、『自宅介護希望者』は男性が53.3%、女性が45.3%となっている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「自宅で家族だけで介護してほしい」が高く、80歳以上では10%以上となる。一方、年齢が若いほど「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」が高く、65～69歳では24.5%となっている。また、『自宅介護希望者』は、75～79歳(51.1%)と85歳以上(57.8%)と50%を超え、『施設等介護希望者』は、年齢が若いほど高く、65～69歳では41.6%となっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」(21.7%)、夫婦のみふたり暮らし世帯やその他の世帯では「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」という割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、『自宅介護希望者』は、蓑島校区(62.6%)や行橋北校区(55.6%)、『施設等介護希望者』は、今元校区(40.0%)や仲津校区(39.1%)が、他の小学校区に比べて高い。

【自分に介護が必要になった場合の介護希望】



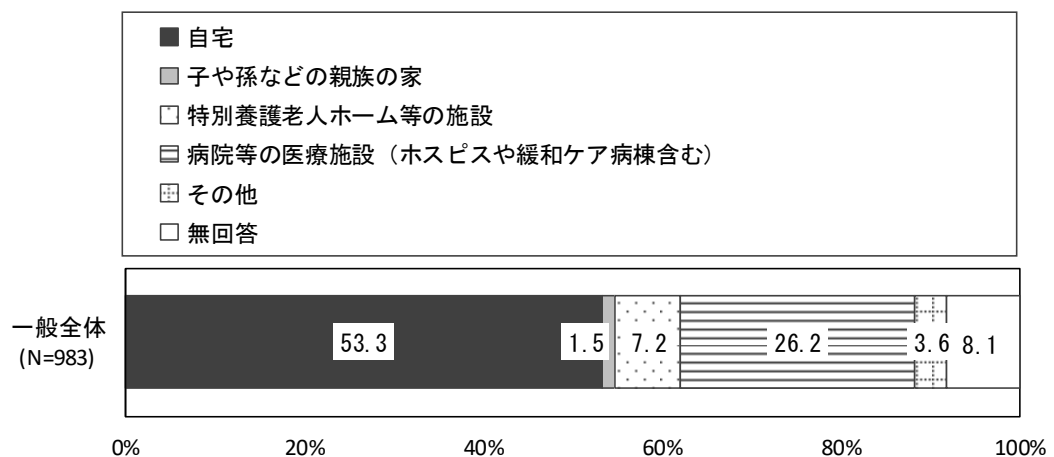
【自分に介護が必要になった場合の介護希望(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数	自宅で家族だけで介護してほしい	自宅で家族の介護の他に、サービスなどを利用したい	自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい	グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい	その他	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	6.9	30.1	11.5	16.8	17.5	1.9	15.3
性別	男性	424	9.9	35.1	8.3	15.1	17.2	1.7	12.7
	女性	526	4.6	27.2	13.5	18.8	17.9	2.1	16.0
	無回答	33	6.1	12.1	21.2	6.1	15.2	3.0	36.4
年齢別	65～69歳	269	3.7	32.7	12.3	24.5	17.1	1.5	8.2
	70～74歳	268	6.3	31.7	10.1	16.4	18.3	2.2	14.9
	75～79歳	219	8.2	30.6	12.3	14.2	18.3	1.4	15.1
	80～84歳	125	10.4	23.2	8.0	13.6	16.8	3.2	24.8
	85歳以上	71	11.3	33.8	12.7	7.0	15.5	1.4	18.3
	無回答	31	6.5	9.7	22.6	6.5	16.1	3.2	35.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	2.8	18.3	19.4	21.7	18.3	1.7	17.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	7.2	34.1	8.3	17.6	17.4	1.2	14.3
	その他の世帯	285	9.1	33.3	10.9	13.3	17.5	3.2	12.6
	無回答	34	5.9	8.8	20.6	8.8	14.7	2.9	38.2
小学校区別	行橋校区	124	7.3	29.0	8.9	21.8	15.3	2.4	15.3
	行橋北校区	90	5.6	34.4	15.6	14.4	17.8	2.2	10.0
	行橋南校区	94	7.4	37.2	6.4	13.8	13.8	1.1	20.2
	今元校区	80	10.0	23.8	8.8	22.5	17.5	2.5	15.0
	菟島校区	16	6.3	43.8	12.5	6.3	25.0	0.0	6.3
	仲津校区	138	8.0	27.5	10.9	17.4	21.7	0.0	14.5
	泉校区	142	5.6	33.1	9.9	16.9	20.4	2.1	12.0
	今川校区	64	7.8	28.1	17.2	17.2	17.2	4.7	7.8
	稗田校区	45	6.7	26.7	15.6	15.6	20.0	0.0	15.6
	樺市校区	32	9.4	31.3	12.5	6.3	21.9	0.0	18.8
	延永校区	123	4.1	31.7	12.2	18.7	11.4	3.3	18.7
	無回答	35	8.6	11.4	20.0	5.7	17.1	2.9	34.3

(3) 人生の最期に対する意向

- 人生の最期に対する意向は「自宅」が 53.3%と半数を占めており、次いで「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(26.2%)、「特別養護老人ホーム等の施設」(7.2%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅」(62.5%)が 16.3 ポイント高い。一方、女性は男性に比べて「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(30.8%)が 9.8 ポイント高い。
- 年齢別にみると、65～69 歳では「自宅」(49.1%)が他の年齢層に比べて低く、「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(31.6%)が高い。「特別養護老人ホーム等の施設」は 65～79 歳にやや高くみられる。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「特別養護老人ホーム等の施設」が 8.9%と他の世帯構成に比べて高くなっているが、「自宅」(43.3%)も 40%を超えている。
- 小学校区別にみると、「自宅」は、葦島校区 (68.8%)と椿市校区 (65.6%)が 60%を超えている。「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」は、行橋校区 (33.9)と今川校区 (32.8%)が 30%を超えている。行橋北校区では「特別養護老人ホーム等の施設」が 11.1%と 11 校区の中で唯一 10%を超えている。

【人生の最期に対する意向】



【人生の最期に対する意向(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

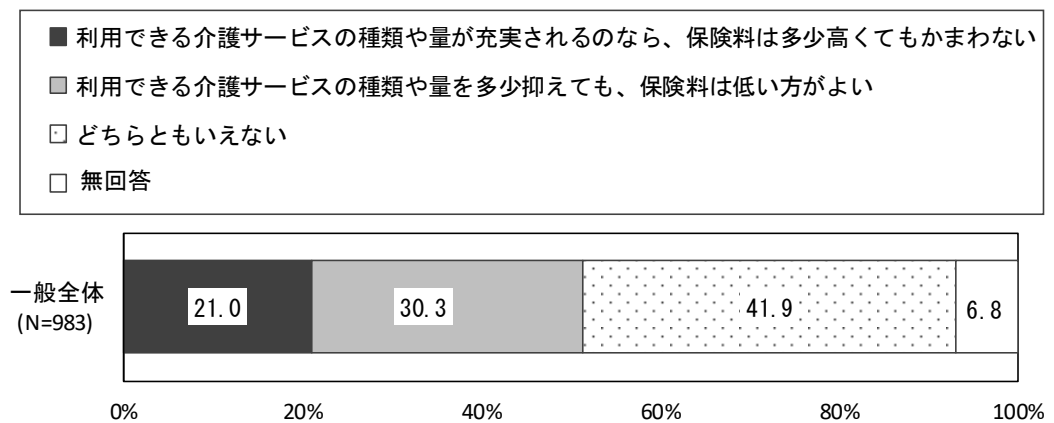
		調査数	自宅	子や孫などの親族の家	特別養護老人ホーム等の施設	病院等の医療施設 (ホスピスや緩和ケア病棟含む)	その他	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	53.3	1.5	7.2	26.2	3.6	8.1
性別	男性	424	62.5	1.9	5.7	21.0	3.3	5.7
	女性	526	46.2	1.3	8.6	30.8	3.8	9.3
	無回答	33	48.5	0.0	6.1	21.2	3.0	21.2
年齢別	65～69歳	269	49.1	2.2	8.2	31.6	4.5	4.5
	70～74歳	268	56.7	0.7	7.1	25.0	4.9	5.6
	75～79歳	219	55.3	1.4	9.1	24.7	1.4	8.2
	80～84歳	125	55.2	0.0	4.8	21.6	3.2	15.2
	85歳以上	71	50.7	5.6	2.8	25.4	2.8	12.7
	無回答	31	45.2	0.0	6.5	22.6	3.2	22.6
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	43.3	3.3	8.9	28.9	5.0	10.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	57.6	1.0	7.0	24.2	2.7	7.4
	その他の世帯	285	52.6	1.4	6.3	29.1	4.2	6.3
	無回答	34	50.0	0.0	8.8	17.6	2.9	20.6
小学校区別	行橋校区	124	44.4	1.6	6.5	33.9	5.6	8.1
	行橋北校区	90	53.3	0.0	11.1	27.8	1.1	6.7
	行橋南校区	94	53.2	2.1	7.4	27.7	3.2	6.4
	今元校区	80	51.3	2.5	8.8	25.0	2.5	10.0
	葦島校区	16	68.8	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3
	仲津校区	138	55.1	2.2	8.7	23.2	4.3	6.5
	泉校区	142	52.1	1.4	8.5	24.6	3.5	9.9
	今川校区	64	53.1	1.6	7.8	32.8	1.6	3.1
	稗田校区	45	55.6	2.2	4.4	28.9	6.7	2.2
	椿市校区	32	65.6	0.0	3.1	28.1	0.0	3.1
	延永校区	123	59.3	1.6	4.1	20.3	4.1	10.6
	無回答	35	45.7	0.0	5.7	20.0	2.9	25.7

10. 高齢者福祉制度全般について

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が41.9%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(30.3%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(21.0%)の順に続く。
- 性別、年齢別、世帯別にみても大きな差はみられない。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は施設等介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(34.8%)が5.4ポイント高い。一方、施設等介護希望者は自宅介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(27.3%)が9.1ポイント高くなっており、希望する介護形態によって考え方にやや差がみられる。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



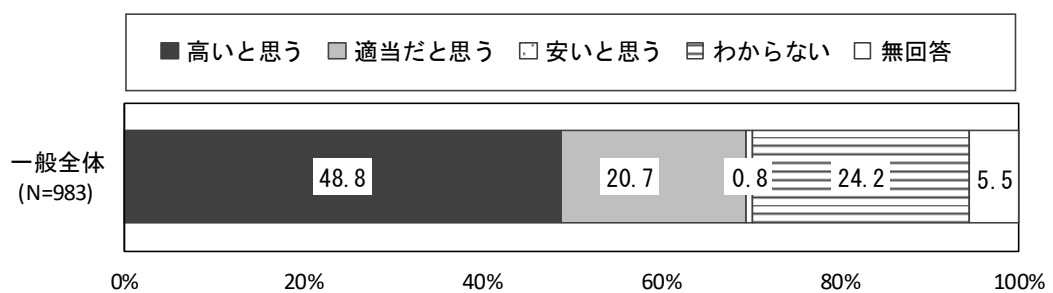
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	ても充利用多	利用多	どちらともいえない	無回答
			もか実少抑	用でさける介護サ一ビスの種類や量が多かまされるのなら、保険料は種類や量が	少抑えても、保険料は低い方がよい	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	21.0	30.3	41.9	6.8
性別	男性	424	23.8	32.8	38.7	4.7
	女性	526	19.2	27.9	45.1	7.8
	無回答	33	12.1	36.4	33.3	18.2
年齢別	65～69歳	269	20.1	28.3	48.3	3.3
	70～74歳	268	23.1	32.5	39.9	4.5
	75～79歳	219	19.6	32.4	42.9	5.0
	80～84歳	125	20.8	25.6	38.4	15.2
	85歳以上	71	25.4	29.6	31.0	14.1
	無回答	31	9.7	35.5	35.5	19.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	21.7	28.3	41.7	8.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	22.1	27.7	44.8	5.4
	その他の世帯	285	19.3	35.8	38.2	6.7
	無回答	34	14.7	32.4	32.4	20.6
介護希望別	自宅介護希望者	477	18.2	34.8	44.9	2.1
	施設等介護希望者	337	27.3	29.4	40.7	2.7
	その他	19	5.3	26.3	57.9	10.5
	無回答	150	17.3	18.7	33.3	30.7

(2) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「高いと思う」が 48.8%と最も高く、次いで「わからない」(24.2%)、「適当だと思う」(20.7%) となっている。
- 年齢別にみると、65～69歳、70～74歳では「高いと思う」が50%を超えており、年齢が若いほど介護保険料の負担が重いと感じている。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯やその他の世帯では「高いと思う」が50%を超えている。一方、ひとり暮らし世帯では「適当だと思う」「わからない」(29.4%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は「高いと思う」が56.0%と施設等介護希望者より12.1ポイント高い。一方、施設等介護希望者では「適当だと思う」という割合が25.2%みられる。

【介護保険料の負担感】



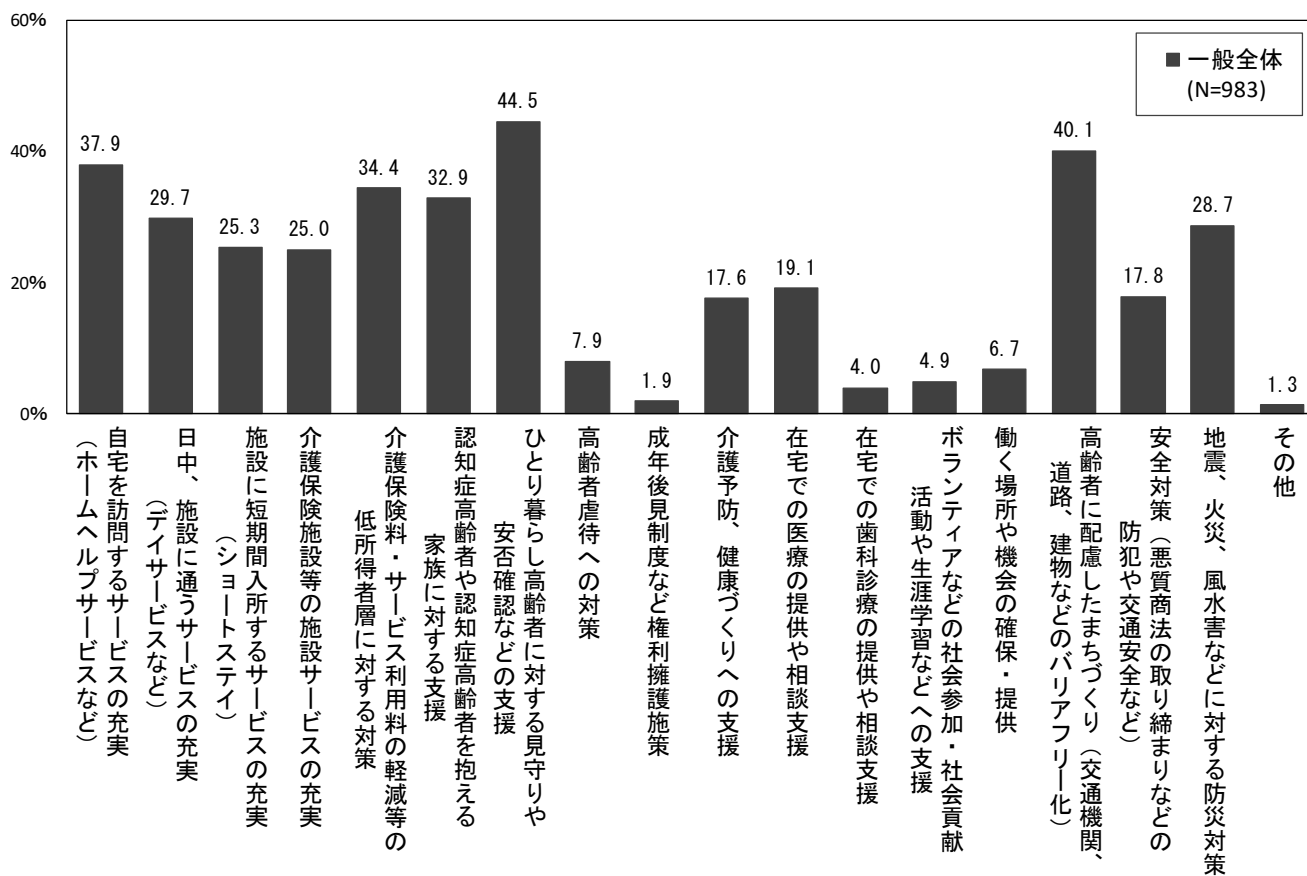
【介護保険料の負担感(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	高いと思う	適当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		983	48.8	20.7	0.8	24.2	5.5
性別	男性	424	53.3	21.7	1.2	19.6	4.2
	女性	526	45.2	20.5	0.6	27.9	5.7
	無回答	33	48.5	9.1	0.0	24.2	18.2
年齢別	65～69歳	269	51.7	19.0	0.4	26.8	2.2
	70～74歳	268	53.0	20.5	0.4	21.6	4.5
	75～79歳	219	49.8	20.5	1.4	24.7	3.7
	80～84歳	125	38.4	22.4	0.8	26.4	12.0
	85歳以上	71	39.4	28.2	2.8	19.7	9.9
	無回答	31	45.2	12.9	0.0	22.6	19.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	33.9	29.4	1.7	29.4	5.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	53.5	18.6	0.8	22.3	4.8
	その他の世帯	285	50.9	19.6	0.4	23.9	5.3
	無回答	34	44.1	11.8	0.0	26.5	17.6
介護希望別	自宅介護希望者	477	56.0	19.7	0.6	22.6	1.0
	施設等介護希望者	337	43.9	25.2	0.9	28.8	1.2
	その他	19	47.4	10.5	0.0	36.8	5.3
	無回答	150	37.3	14.7	1.3	17.3	29.3

(3) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が44.5%と最も高く、次いで「高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）」(40.1%)、「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(37.9%)、「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(34.4%)、「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」(32.9%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(41.7%)、女性は「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(47.1%)が最も高い。
- 年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者は「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」「日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）」「施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）」「介護保険施設等の施設サービスの充実」等の介護サービスの充実に関する項目の割合が高い。「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」や「在宅での医療の提供や相談支援」「高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）」は65～79歳まで高く、80歳を境に低くなる。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が60.6%と高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(性別・年齢別・世帯構成別)】

	調査数 (人)	自宅を訪問するサービス (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充 実(デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービ スの充実(ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービ スの充実	介護保険料・サービス利用料の 軽減等の低所得者層に対する対 策	認知症高齢者や認知症高齢者 を抱える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見 守りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	983	37.9	29.7	25.3	25.0	34.4	32.9	44.5	7.9	1.9	
性別	男性	424	41.7	26.7	22.9	26.7	34.4	30.4	41.3	6.6	2.4
	女性	526	35.6	32.5	27.6	24.1	34.4	35.6	47.1	8.7	1.7
	無回答	33	27.3	24.2	21.2	18.2	33.3	21.2	42.4	12.1	0.0
年齢別	65～69歳	269	42.4	34.6	26.4	29.7	35.3	37.9	46.1	9.7	2.6
	70～74歳	268	40.3	34.0	30.2	26.1	36.2	37.3	43.3	6.3	1.5
	75～79歳	219	35.2	25.6	24.2	25.6	41.1	30.1	50.2	8.2	2.3
	80～84歳	125	32.0	23.2	18.4	20.8	26.4	28.0	34.4	7.2	1.6
	85歳以上	71	36.6	22.5	21.1	11.3	19.7	16.9	46.5	7.0	1.4
	無回答	31	25.8	22.6	19.4	19.4	29.0	25.8	35.5	9.7	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	34.4	24.4	23.3	22.8	39.4	23.9	60.6	6.1	2.2
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	40.9	30.2	25.4	26.0	30.6	34.3	44.0	8.5	1.7
	その他の世帯	285	36.1	32.6	27.0	25.3	38.6	37.2	36.1	8.1	2.1
	無回答	34	29.4	26.5	20.6	20.6	26.5	23.5	35.3	8.8	2.9

	調査数 (人)	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談 支援	ボランティアなどの社会参加への 社会貢献活動や生涯学習などの 支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などの バリアフリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まり などの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対す る防災対策	その他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	983	17.6	19.1	4.0	4.9	6.7	40.1	17.8	28.7	1.3
性別	男性	424	18.9	18.4	3.5	6.6	8.7	36.8	26.2	2.1
	女性	526	16.2	20.0	4.4	3.6	4.9	43.0	31.0	0.6
	無回答	33	24.2	15.2	3.0	3.0	9.1	36.4	24.2	3.0
年齢別	65～69歳	269	20.1	19.3	3.3	7.8	14.1	40.1	32.3	1.1
	70～74歳	268	14.9	20.9	4.1	4.9	6.7	42.2	28.7	0.7
	75～79歳	219	15.5	20.5	4.6	3.2	2.7	45.7	27.9	0.9
	80～84歳	125	16.8	14.4	4.0	4.8	0.8	33.6	21.6	1.6
	85歳以上	71	21.1	19.7	4.2	0.0	0.0	28.2	32.4	4.2
	無回答	31	29.0	9.7	3.2	3.2	9.7	35.5	22.6	3.2
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	180	15.0	18.3	6.1	2.8	3.9	33.9	35.6	1.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	484	19.0	21.3	3.7	5.4	7.2	41.7	26.9	0.4
	その他の世帯	285	16.1	17.2	3.2	5.6	7.4	41.8	28.4	2.8
	無回答	34	23.5	8.8	2.9	2.9	8.8	35.3	20.6	2.9

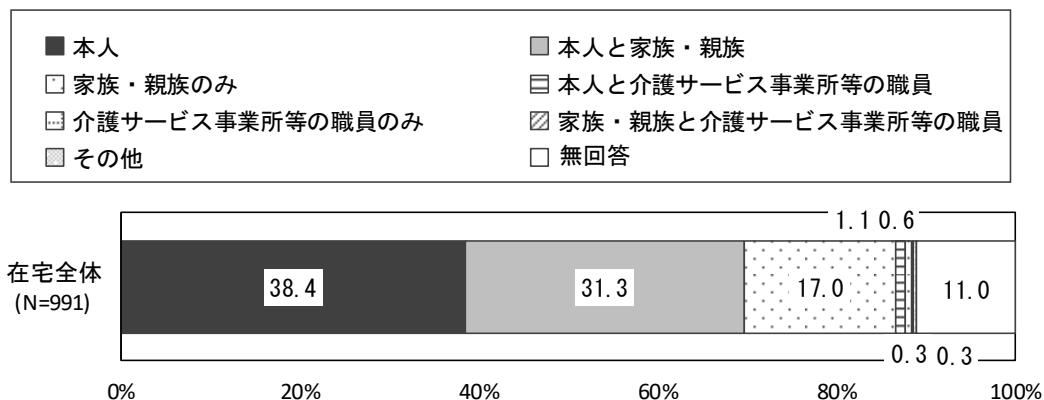
第4章 在宅要介護認定者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が38.4%、「本人と家族・親族」による回答が31.3%、家族・親族のみの回答が17.0%となっている。

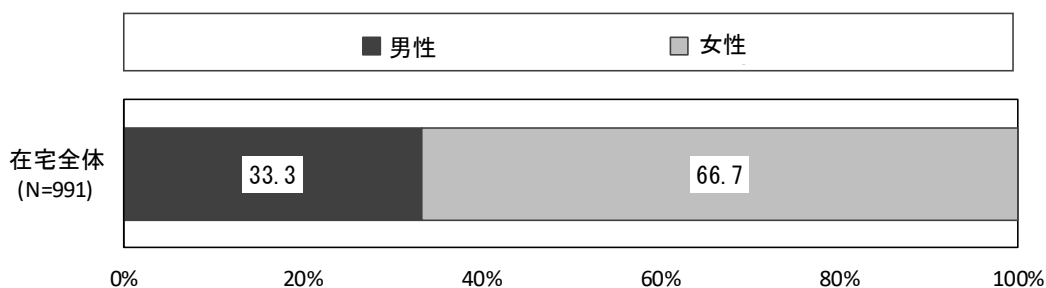
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が66.7%を占め、「男性」(33.3%)を33.4ポイント上回っている。

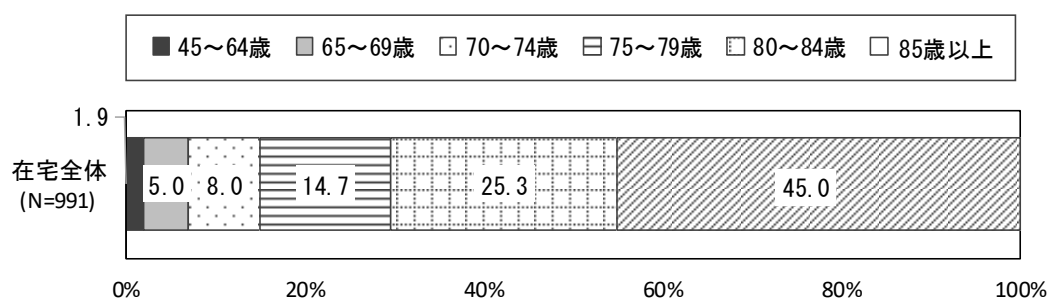
【性別】



(3) 年齢

- 「85歳以上」が45.0%と最も高く、次いで「80～84歳」(25.3%)、「75～79歳」(14.7%)と年齢が若いほど少なくなっており、75歳以上が85.0%を占めている。

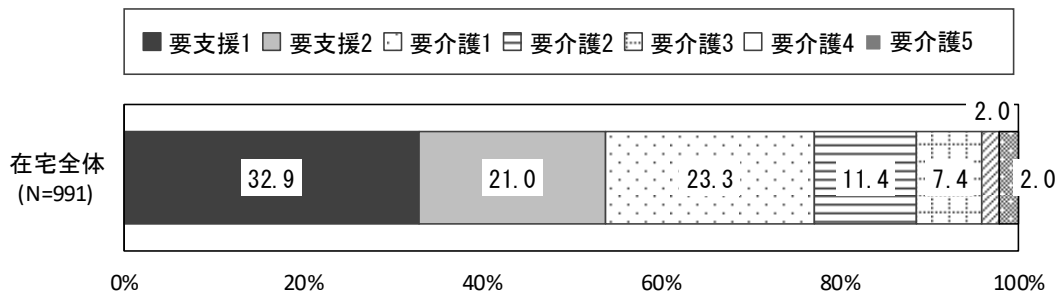
【年齢】



(4) 要介護度

- 「要支援1」が32.9%と最も高く、次いで「要介護1」(23.3%)となっている。「要支援1」と「要支援2」(21.0%)を合わせると、『要支援認定者』が53.9%と半数以上を占めている。
- 性別にみると、大きな差はみられないが、男性は女性に比べて『要介護認定者』(50.6%)が6.7ポイント高い。

【要介護度】



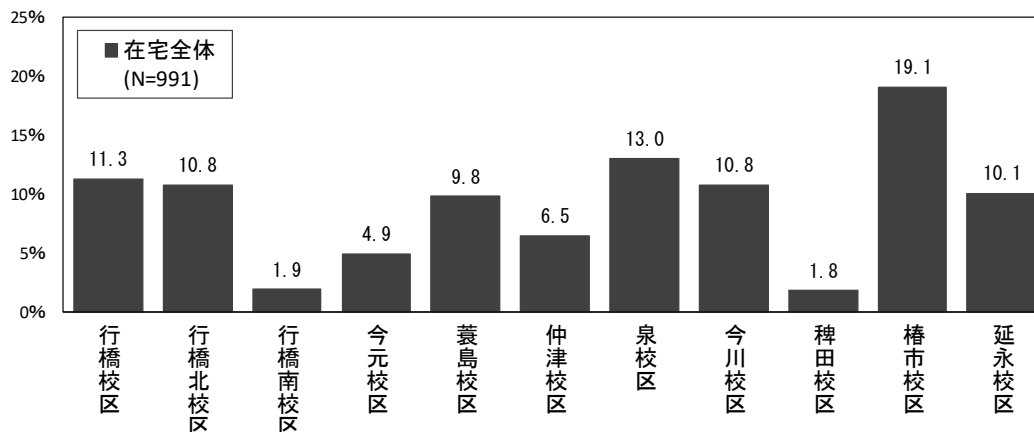
【要介護度(性別・年齢別)】

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	32.9	21.0	23.3	11.4	7.4	2.0	2.0	
性別	男性	330	29.7	19.7	27.3	12.7	6.4	2.1	2.1
	女性	661	34.5	21.6	21.3	10.7	7.9	2.0	2.0
年齢別	40～64歳	19	15.8	26.3	21.1	21.1	5.3	5.3	5.3
	65～69歳	50	22.0	10.0	28.0	16.0	16.0	2.0	6.0
	70～74歳	79	24.1	15.2	30.4	15.2	8.9	1.3	5.1
	75～79歳	146	37.7	26.0	15.8	8.9	6.2	4.1	1.4
	80～84歳	251	39.8	20.7	23.1	10.0	4.4	0.8	1.2
	85歳以上	446	30.9	21.5	24.2	11.4	8.3	2.0	1.6

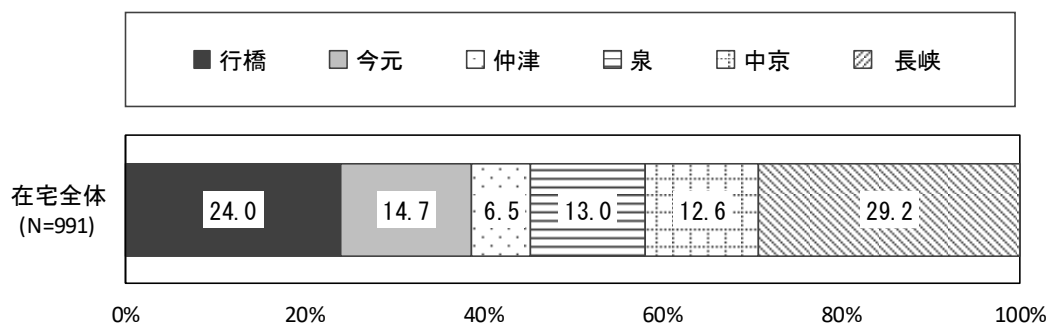
(5) 居住地区

- 「樺市校区」が19.1%と最も高く、次いで「泉校区」(13.0%)、「行橋校区」(11.3%)の順に続く。

【居住地区(小学校区)】



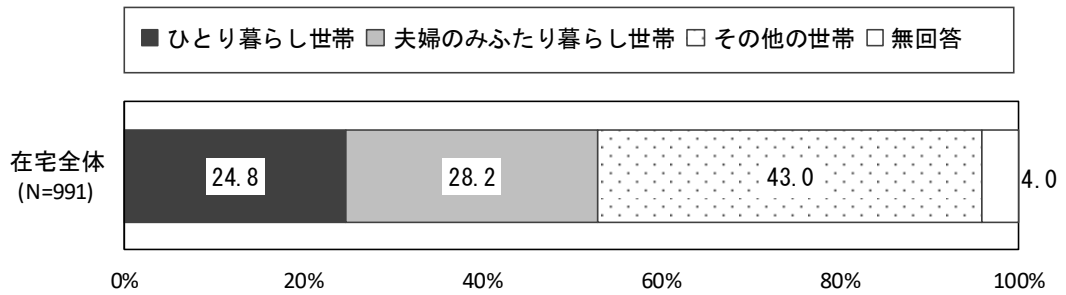
【居住地区(圏域)】



(6) 世帯構成

- 「その他の世帯」が43.0%と最も高く、次いで「夫婦のみふたり暮らし世帯」(28.2%)、「ひとり暮らし世帯」(24.8%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が30.0%と男性より15.5ポイント高い。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が47.0%を占めている。
- 年齢別にみると、65歳以上では、年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高まり、80歳以上では30%程度を占める。
- 要介護度別にみると、「ひとり暮らしの世帯」は『要支援認定者』が30%前後と高い。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、行橋北校区が39.3%と他の小学校区に比べて顕著に高い。また、「夫婦のみふたり暮らし世帯」は、延永校区(33.0%)と仲津校区(32.8%)が30%を超えている。

【世帯構成】



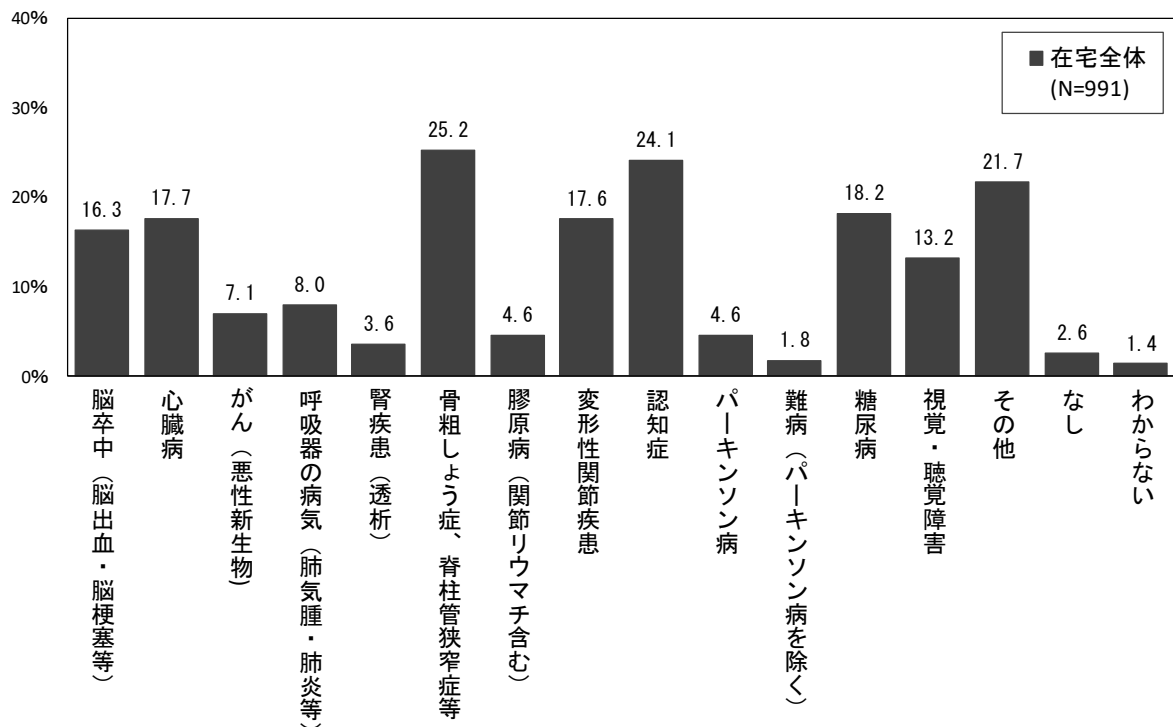
【世帯構成(性別・年齢別・要介護度別・小学校区別)】

		調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	24.8	28.2	43.0	4.0
性別	男性	330	14.5	47.0	33.6	4.8
	女性	661	30.0	18.8	47.7	3.6
年齢別	40～64歳	19	15.8	31.6	52.6	0.0
	65～69歳	50	10.0	52.0	36.0	2.0
	70～74歳	79	19.0	31.6	43.0	6.3
	75～79歳	146	19.2	43.8	35.6	1.4
	80～84歳	251	29.1	30.7	35.9	4.4
	85歳以上	446	27.4	18.2	49.8	4.7
要介護度別	要支援1	326	28.2	28.5	39.3	4.0
	要支援2	208	31.7	27.4	38.0	2.9
	要介護1	231	21.6	29.9	43.7	4.8
	要介護2	113	19.5	26.5	54.0	0.0
	要介護3	73	15.1	24.7	56.2	4.1
	要介護4	20	20.0	25.0	45.0	10.0
	要介護5	20	5.0	35.0	35.0	25.0
小学校区別	行橋校区	112	23.2	28.6	42.0	6.3
	行橋北校区	107	39.3	28.0	29.9	2.8
	行橋南校区	19	10.5	26.3	57.9	5.3
	今元校区	49	16.3	28.6	51.0	4.1
	菟島校区	97	25.8	27.8	45.4	1.0
	仲津校区	64	26.6	32.8	39.1	1.6
	泉校区	129	20.9	27.1	47.3	4.7
	今川校区	107	28.0	29.0	40.2	2.8
	稗田校区	18	11.1	16.7	72.2	0.0
	椿市校区	189	23.3	25.4	46.0	5.3
	延永校区	100	23.0	33.0	38.0	6.0

(7) 現在、抱えている怪我、病気

- 怪我、病気は「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」が 25.2%と最も高く、次いで「認知症」(24.1%)、「糖尿病」(18.2%)、「心臓病」(17.7%)、「変形性関節疾患」(17.6%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(26.1%)や「糖尿病」(23.3%)等が高く、女性は男性に比べて「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(29.5%)や「変形性関節疾患」(22.1%)等が高い。
- 年齢別にみると「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」は年齢が若いほど高く、40～64歳、65～69歳では40%前後となっている。「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」は、80歳以上になるとその割合は30%近くまで上昇する。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「心臓病」や「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」の割合が高い。「認知症」は要介護1(41.6%)、要介護2(40.7%)、要介護4(40.0%)が40%以上となっている。

【現在、抱えている怪我、病気】



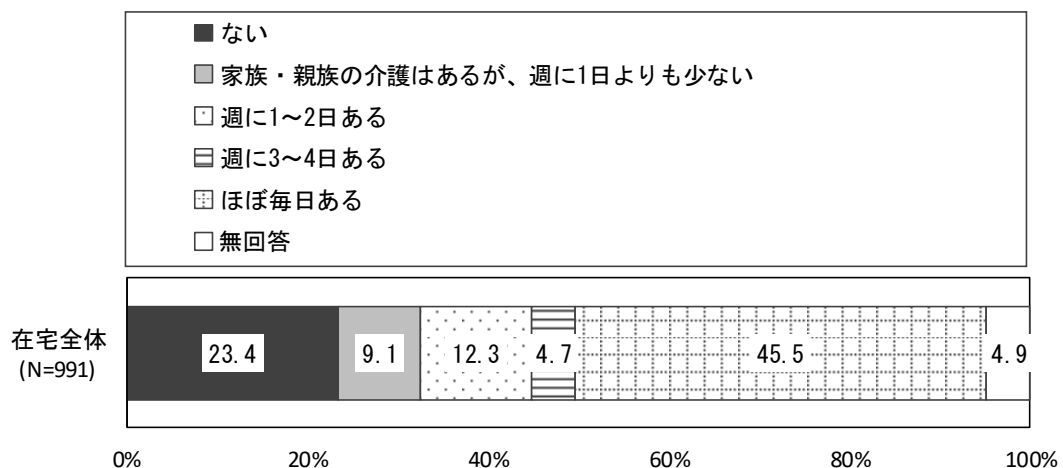
【現在、抱えている怪我、病気(性別・年齢別・要介護度別)】

	調査数	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	腎疾患 (透析)	骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	16.3	17.7	7.1	8.0	3.6	25.2	4.6	17.6	24.1	4.6	1.8	18.2	13.2	21.7	2.6	1.4	
性別	男性	330	26.1	19.1	9.1	10.3	3.6	16.7	2.7	8.5	23.3	7.3	2.4	23.3	13.0	19.4	2.1	1.2
	女性	661	11.5	16.9	6.1	6.8	3.6	29.5	5.6	22.1	24.5	3.3	1.5	15.6	13.3	22.8	2.9	1.5
年齢別	40～64歳	19	42.1	5.3	26.3	5.3	5.3	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	15.8	0.0	5.3	5.3	0.0
	65～69歳	50	38.0	10.0	6.0	2.0	6.0	12.0	10.0	6.0	18.0	12.0	6.0	28.0	6.0	26.0	0.0	0.0
	70～74歳	79	32.9	6.3	11.4	7.6	6.3	12.7	3.8	5.1	17.7	11.4	1.3	21.5	5.1	25.3	0.0	1.3
	75～79歳	146	19.9	18.5	6.8	12.3	2.7	20.5	4.1	16.4	17.8	5.5	2.7	24.0	13.0	24.0	2.7	4.1
	80～84歳	251	15.1	17.9	7.2	4.8	4.8	29.1	6.0	20.3	24.3	4.8	2.0	19.1	13.9	21.1	0.8	1.6
	85歳以上	446	9.4	20.6	5.6	9.2	2.5	28.9	3.1	20.6	28.9	2.5	0.2	14.1	15.7	20.9	4.3	0.7
要介護度別	要支援1	326	11.3	21.8	6.7	6.1	3.7	29.4	4.9	23.3	9.2	1.5	1.5	20.6	15.0	25.8	2.8	1.8
	要支援2	208	10.6	18.3	6.7	8.2	5.3	32.2	7.2	21.6	11.1	5.3	1.9	11.5	13.9	25.5	4.3	1.4
	要介護1	231	18.2	15.2	8.2	9.1	2.6	22.1	3.9	11.7	41.6	3.5	2.2	20.8	11.3	21.6	2.2	1.3
	要介護2	113	28.3	15.0	7.1	7.1	2.7	15.9	3.5	15.9	40.7	9.7	1.8	16.8	13.3	11.5	0.9	0.0
	要介護3	73	30.1	11.0	8.2	12.3	4.1	23.3	2.7	11.0	39.7	8.2	2.7	23.3	9.6	12.3	1.4	1.4
	要介護4	20	20.0	15.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	15.0	15.0	15.0	5.0	5.0
要介護5	20	15.0	15.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	35.0	15.0	0.0	10.0	10.0	15.0	0.0	0.0	

(8) 家族・親族から介護を受けている頻度

- 家族・親族から介護を受けている頻度は「ほぼ毎日ある」が45.5%を占め、次いで「ない」(23.4%)、「週に1～2日ある」(12.3%)となっている。「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」までを合わせた71.6%が家族・親族から介護を受けている。
- 性別にみると、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「ほぼ毎日ある」は若いほど高く、65～69歳では70.0%となっている。
- 要介護度別にみると、年齢が高くなるにつれて「ない」という割合が低く、要介護2以上になると「ほぼ毎日ある」が60～70%と高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ない」(36.2%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。「ほぼ毎日ある」は、夫婦のみふたり暮らし世帯(45.9%)やその他の世帯(61.7%)が高い。
- 小学校区にみると、「ほぼ毎日ある」の割合は行橋南校区(63.2%)や泉校区(50.4%)、稗田校区(50.0%)が50%以上と高い。

【家族・親族から介護を受けている頻度】



【家族・親族から介護を受けている頻度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

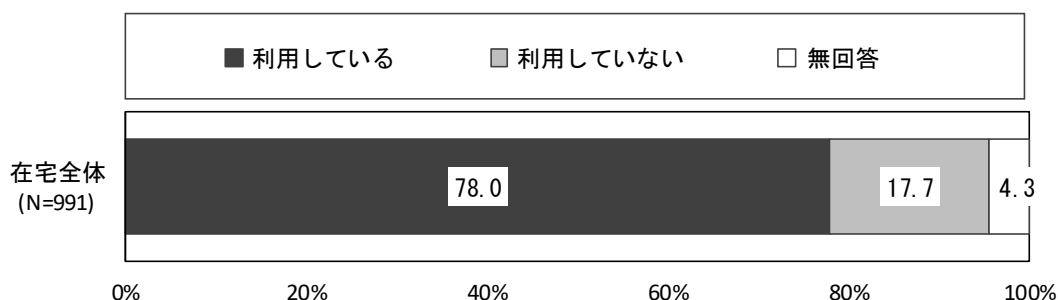
		調査数	ない	少ない	家族・親族の介護はあ るが、週に1日よりも	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	23.4	9.1	12.3	4.7	45.5	4.9	
性別	男性	330	25.2	9.4	10.9	3.3	46.7	4.5	
	女性	661	22.5	8.9	13.0	5.4	44.9	5.1	
年齢別	40～64歳	19	21.1	10.5	5.3	0.0	63.2	0.0	
	65～69歳	50	12.0	6.0	6.0	0.0	70.0	6.0	
	70～74歳	79	22.8	8.9	3.8	2.5	58.2	3.8	
	75～79歳	146	34.9	9.6	11.6	1.4	39.0	3.4	
	80～84歳	251	25.5	12.0	15.5	7.2	34.7	5.2	
	85歳以上	446	20.0	7.6	13.2	5.6	48.0	5.6	
要介護度別	要支援1	326	33.7	11.0	16.9	3.7	27.9	6.7	
	要支援2	208	28.8	12.0	15.9	4.3	34.1	4.8	
	要介護1	231	16.9	8.7	8.7	5.2	57.6	3.0	
	要介護2	113	11.5	4.4	7.1	8.0	69.0	0.0	
	要介護3	73	11.0	4.1	6.8	5.5	68.5	4.1	
	要介護4	20	5.0	5.0	5.0	0.0	75.0	10.0	
	要介護5	20	5.0	0.0	0.0	5.0	65.0	25.0	
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	36.2	15.4	17.9	7.3	20.7	2.4	
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	24.7	10.0	12.2	5.4	45.9	1.8	
	その他の世帯	426	16.2	5.6	10.1	3.3	61.7	3.1	
	無回答	40	12.5	0.0	2.5	0.0	22.5	62.5	
小学校区別	行橋校区	112	17.9	8.9	15.2	1.8	48.2	8.0	
	行橋北校区	107	30.8	10.3	14.0	3.7	37.4	3.7	
	行橋南校区	19	5.3	15.8	5.3	5.3	63.2	5.3	
	今元校区	49	32.7	6.1	10.2	4.1	44.9	2.0	
	菟島校区	97	18.6	11.3	14.4	7.2	46.4	2.1	
	仲津校区	64	28.1	7.8	10.9	6.3	40.6	6.3	
	泉校区	129	22.5	9.3	9.3	3.1	50.4	5.4	
	今川校区	107	23.4	5.6	12.1	8.4	46.7	3.7	
	稗田校区	18	27.8	11.1	5.6	5.6	50.0	0.0	
	椿市校区	189	20.6	10.6	14.3	5.8	43.9	4.8	
	延永校区	100	28.0	7.0	10.0	2.0	45.0	8.0	

2. 介護保険サービスについて

(1) 介護保険サービスの利用有無

- 介護保険サービスの利用有無について「利用している」が78.0%を占め、「利用していない」は17.7%となっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「利用している」(79.4%)が高い。
- 年齢別にみると、「利用している」は85歳以上が80.7%と高い。
- 要介護別にみると、「利用している」は要介護認定者に高く、特に要介護4(90.0%)、要介護2(89.4%)では90%前後を占める。
- 世帯構成別にみると、その他の世帯は「利用している」(81.7%)が他の世帯構成に比べて高い。

【介護保険サービスの利用有無】



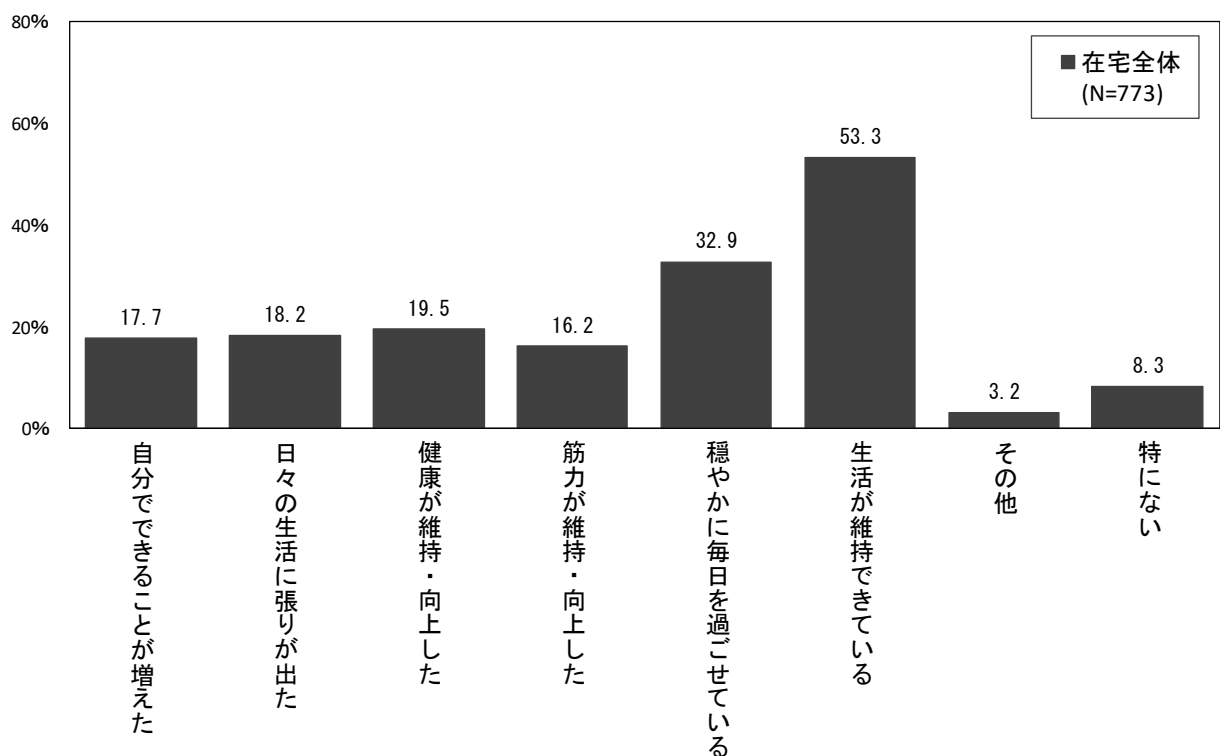
【介護保険サービスの利用有無(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	利用している	利用していない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	78.0	17.7	4.3
性別	男性	330	75.2	20.3	4.5
	女性	661	79.4	16.3	4.2
年齢別	40～64歳	19	63.2	36.8	0.0
	65～69歳	50	78.0	18.0	4.0
	70～74歳	79	79.7	15.2	5.1
	75～79歳	146	73.3	23.3	3.4
	80～84歳	251	76.5	16.7	6.8
	85歳以上	446	80.7	15.9	3.4
要介護度別	要支援1	326	71.2	23.6	5.2
	要支援2	208	76.0	20.7	3.4
	要介護1	231	80.1	15.6	4.3
	要介護2	113	89.4	8.8	1.8
	要介護3	73	86.3	9.6	4.1
	要介護4	20	90.0	5.0	5.0
	要介護5	20	80.0	5.0	15.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	77.6	17.9	4.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	75.3	20.8	3.9
	その他の世帯	426	81.7	15.5	2.8
	無回答	40	60.0	17.5	22.5

(2) 介護保険サービス利用による生活の変化

- 介護保険サービスを利用したことにより、生活の中で良くなったと感じることは「生活が維持できている」が53.3%と最も高く、次いで「穏やかに毎日を過ごせている」(32.9%)、「健康が維持・向上した」(19.5%)の順に続く。
- 性別にみると、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「自分でできることが増えた」は40～64歳では58.3%と半数を超えているが、65歳以上になると20%を下回る。
- 要介護度別にみると、「自分でできることが増えた」は要支援認定者で20%前後となっている。「筋力が維持・向上した」は要支援2(20.3%)が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯では「生活が維持できている」が46.7%と他の世帯構成に比べて低い。

【介護保険サービス利用による生活の変化】



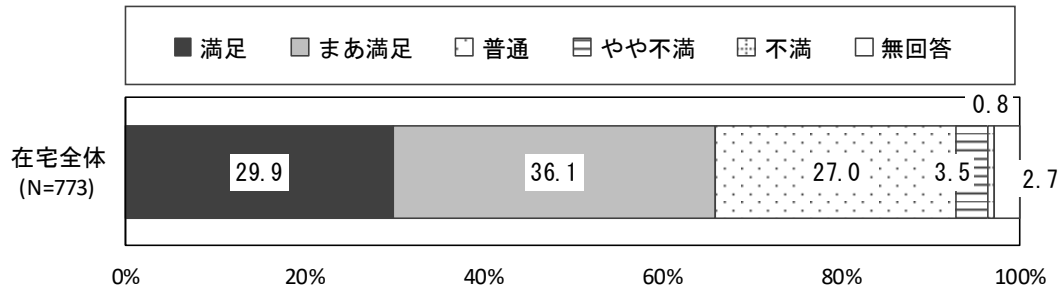
【介護保険サービス利用による生活の変化(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	自分でできることが増えた	日々の生活に張りが出た	健康が維持・向上した	筋力が維持・向上した	穏やかに毎日を過ごしている	生活が維持できている	その他	特にな
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		773	17.7	18.2	19.5	16.2	32.9	53.3	3.2	8.3
性別	男性	248	18.1	17.3	19.8	18.1	29.0	51.6	4.4	9.3
	女性	525	17.5	18.7	19.4	15.2	34.7	54.1	2.7	7.8
年齢別	40～64歳	12	58.3	16.7	8.3	25.0	33.3	58.3	0.0	8.3
	65～69歳	39	15.4	20.5	20.5	17.9	30.8	56.4	5.1	7.7
	70～74歳	63	17.5	12.7	17.5	22.2	28.6	57.1	3.2	4.8
	75～79歳	107	17.8	15.0	16.8	12.1	27.1	52.3	2.8	12.1
	80～84歳	192	17.2	15.6	16.7	14.6	31.3	51.0	4.2	10.9
	85歳以上	360	16.9	21.4	22.5	16.7	36.4	53.6	2.8	6.4
要介護度別	要支援1	232	18.5	19.4	16.8	12.1	31.5	56.5	3.0	9.5
	要支援2	158	22.8	20.9	20.9	20.3	27.8	50.6	1.9	7.0
	要介護1	185	15.7	18.9	23.8	17.3	33.5	49.2	3.8	7.6
	要介護2	101	16.8	15.8	13.9	18.8	29.7	55.4	5.0	7.9
	要介護3	63	12.7	14.3	22.2	19.0	50.8	58.7	1.6	9.5
	要介護4	18	11.1	11.1	16.7	11.1	33.3	61.1	5.6	16.7
	要介護5	16	12.5	6.3	25.0	0.0	43.8	37.5	6.3	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	191	19.9	18.3	15.2	11.5	36.6	57.1	1.0	8.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	210	21.9	17.6	24.3	18.6	27.6	46.7	4.3	8.6
	その他の世帯	348	14.4	18.1	17.5	17.2	32.5	56.9	3.4	8.0
	無回答	24	12.5	25.0	41.7	16.7	54.2	29.2	8.3	4.2

(3) 介護保険サービスの満足度

- 介護保険サービスの満足度は、「まあ満足」が 36.1%と最も高く、これに「満足」(29.9%)を合わせた『満足』の割合は 66.0%となっている。これに対して「やや不満」(3.5%)と「不満」(0.8%)を合わせた『不満』の割合は 4.3%となっている。
- 性別にみると、女性に比べて男性は『不満』の割合が 7.7%と高い。
- 年齢別にみると、『不満』の割合は 65～69歳が 10.3%と他の年齢層に比べて高い。70歳以上では『満足』の割合が 60%以上となる。
- 要介護度別にみると、『満足』の割合は要支援2 (70.9%)と要介護1 (70.2%)が 70%を超えて高く、一方、『不満』の割合は要介護5が 12.6%と他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯で大きな差はみられない。

【介護保険サービスの満足度】



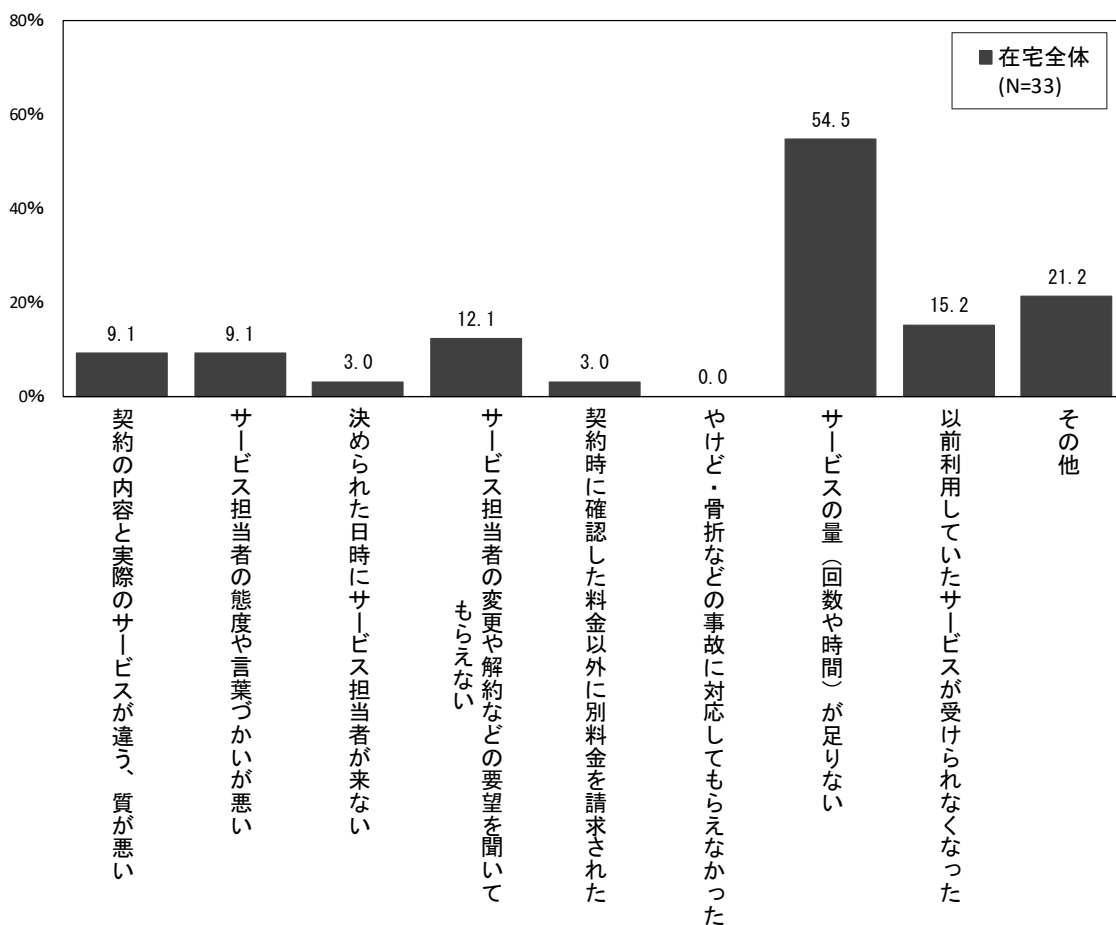
【介護保険サービスの満足度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		773	29.9	36.1	27.0	3.5	0.8	2.7
性別	男性	248	28.2	32.7	29.4	6.9	0.8	2.0
	女性	525	30.7	37.7	25.9	1.9	0.8	3.0
年齢別	40～64歳	12	25.0	33.3	25.0	8.3	0.0	8.3
	65～69歳	39	23.1	33.3	30.8	10.3	0.0	2.6
	70～74歳	63	34.9	33.3	28.6	1.6	1.6	0.0
	75～79歳	107	32.7	30.8	28.0	5.6	0.9	1.9
	80～84歳	192	26.6	36.5	30.2	2.1	1.0	3.6
	85歳以上	360	30.8	38.3	24.4	3.1	0.6	2.8
要介護度別	要支援1	232	30.6	32.3	29.7	3.0	0.9	3.4
	要支援2	158	31.0	39.9	21.5	5.7	0.6	1.3
	要介護1	185	32.4	37.8	24.3	2.7	0.0	2.7
	要介護2	101	32.7	31.7	31.7	3.0	0.0	1.0
	要介護3	63	19.0	39.7	30.2	3.2	3.2	4.8
	要介護4	18	16.7	38.9	38.9	0.0	0.0	5.6
	要介護5	16	18.8	43.8	18.8	6.3	6.3	6.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	191	30.9	33.5	26.2	4.7	1.6	3.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	210	27.1	37.6	27.6	5.2	0.5	1.9
	その他の世帯	348	31.3	36.5	27.0	1.7	0.6	2.9
	無回答	24	25.0	37.5	29.2	4.2	0.0	4.2

(4) 介護保険サービスに不満な理由

- 介護保険サービスに不満がある人の理由は、「サービスの量（回数や時間）が足りない」が54.5%と最も高く、次いで「以前利用していたサービスが受けられなくなった」（15.2%）となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない」（21.1%）、「サービスの量が足りない」（63.2%）が顕著に高い。
- 年齢別にみると、『不満』の割合が最も高かった65～69歳は、「サービスの量が足りない」（75.0%）が最も高い。
- 要介護度別にみると、要支援2と要介護1では「サービスの量が足りない」が60%となっている。

【介護保険サービスに不満な理由】



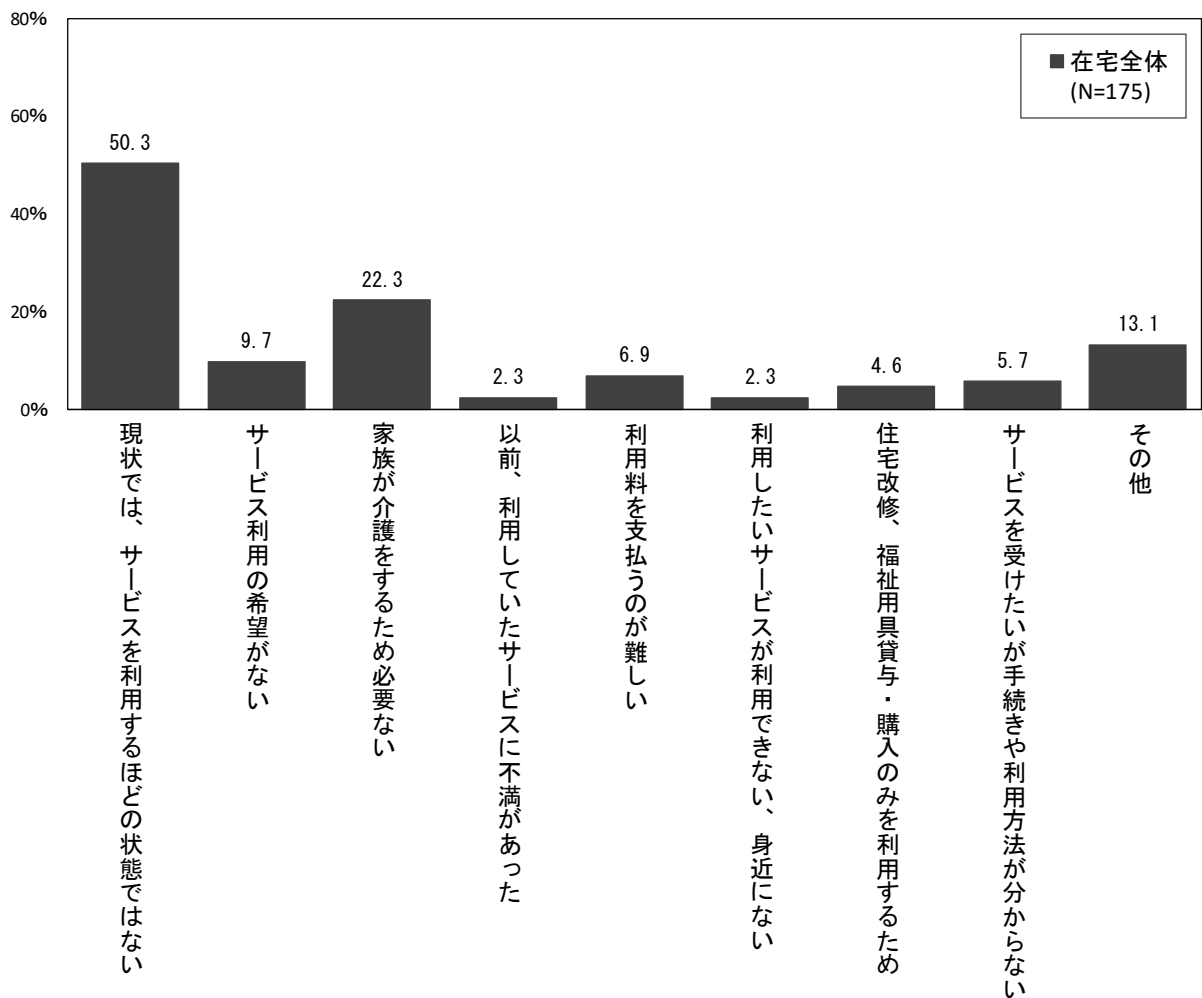
【介護保険サービスに不満な理由(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	契約の内容と実際のサービスが違	サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い	決められた日時にサービス担当者が来ない	サービスを聞いてもらえない	契約時に確認した料金以外に別料金を請求された	やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった	サービスの量(回数や時間)が足りない	以前利用していたサービスが受けられなくなった	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		33	9.1	9.1	3.0	12.1	3.0	0.0	54.5	15.2	21.2
性別	男性	19	5.3	10.5	5.3	21.1	5.3	0.0	63.2	15.8	15.8
	女性	14	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6
年齢別	40～64歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	65～69歳	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	70～74歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	75～79歳	7	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	42.9	14.3	42.9
	80～84歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7
	85歳以上	13	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	53.8	7.7	23.1
要介護度別	要支援1	9	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	55.6	11.1	22.2
	要支援2	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	10.0	20.0
	要介護1	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	要介護2	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	要介護3	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	要介護4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	12	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	58.3	8.3	16.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	12	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	50.0	25.0	25.0
	その他の世帯	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	25.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(5) 介護保険サービスを利用していない理由

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.3%と最も高く半数を占めている。次いで「家族が介護をするため必要ない」(22.3%)、「サービス利用の希望がない」(9.7%)となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(53.7%)、女性は男性に比べて「家族が介護をするため必要ない」(25.9%)の割合がそれぞれ5ポイント以上高い。
- 年齢別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40～64歳(57.1%)、と85歳以上(54.9%)が全体の割合を超えている。また、69歳未満では「利用料を支払うのが難しい」「利用したいサービスが利用できない、身近にない」の割合が高い。
- 要介護度別にみると、要介護4・5は介護保険サービスを利用していない人は少なくそれぞれ1人となっている。要介護1では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(63.9%)と60%を超えている。

【介護保険サービスを利用していない理由】



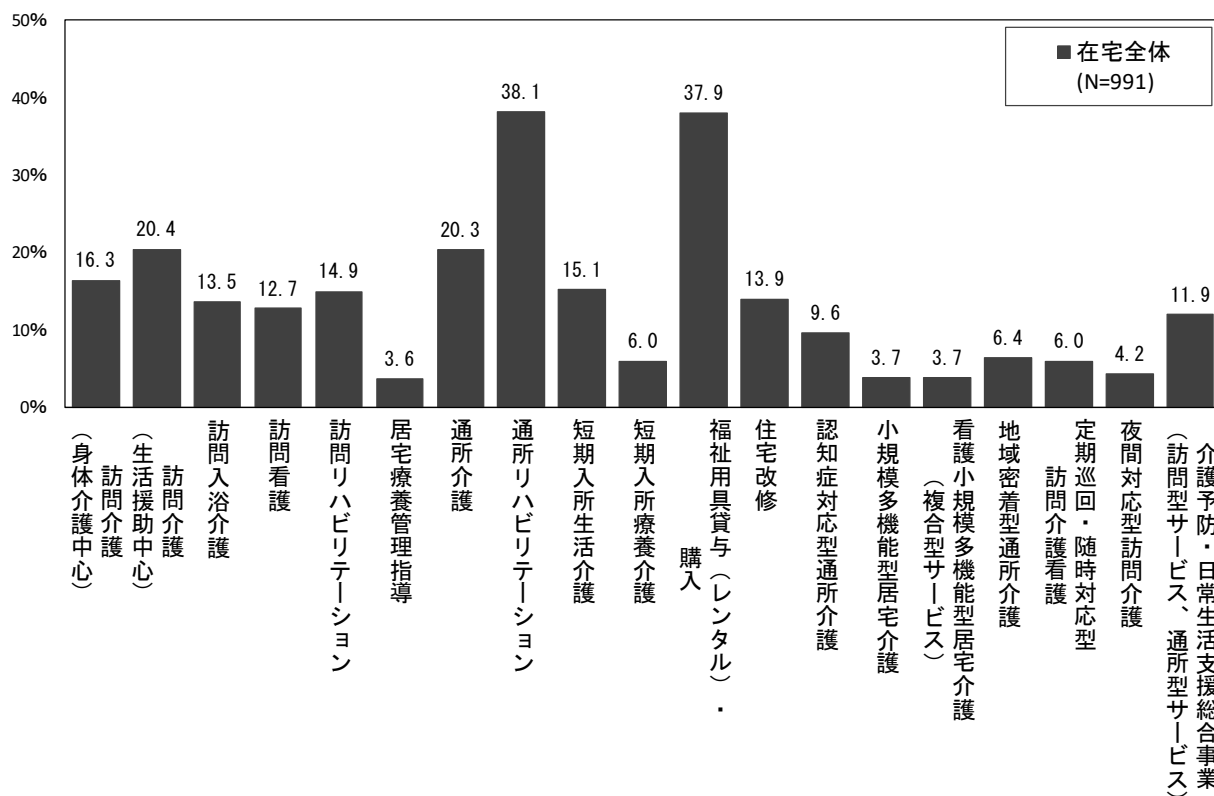
【介護保険サービスを利用していない理由(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があつた	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		175	50.3	9.7	22.3	2.3	6.9	2.3	4.6	5.7	13.1
性別	男性	67	53.7	7.5	16.4	3.0	9.0	3.0	7.5	6.0	16.4
	女性	108	48.1	11.1	25.9	1.9	5.6	1.9	2.8	5.6	11.1
年齢別	40～64歳	7	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	9	44.4	0.0	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2
	70～74歳	12	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7
	75～79歳	34	44.1	5.9	23.5	5.9	2.9	0.0	5.9	0.0	14.7
	80～84歳	42	50.0	2.4	26.2	2.4	11.9	2.4	7.1	9.5	14.3
	85歳以上	71	54.9	16.9	22.5	0.0	4.2	0.0	1.4	5.6	11.3
要介護度別	要支援1	77	53.2	10.4	15.6	2.6	7.8	2.6	7.8	5.2	7.8
	要支援2	43	41.9	11.6	30.2	2.3	7.0	2.3	2.3	7.0	14.0
	要介護1	36	63.9	2.8	25.0	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	16.7
	要介護2	10	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	30.0
	要介護3	7	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	要介護4	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(6) 在宅サービスの利用意向

- 今後利用したい(利用し続けたい)在宅サービスの利用意向は、「通所リハビリテーション」が38.1%と最も高く、次いで「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(37.9%)、「訪問介護(生活援助中心)」(20.4%)、「通所介護」(20.3%)、「訪問介護(身体介護中心)」(16.3%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、40～74歳では「通所リハビリテーション」の割合が40%を超えている。70歳以上では「訪問介護(生活援助中心)」の割合が20%前後と69歳以下に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「訪問介護(生活援助中心)」の割合が高く、20%を超えている。一方、要介護認定者は要支援認定者に比べて「通所介護」の割合が高く、20%を超えている。要介護4は「福祉用具貸与(レンタル)・購入」が70.0%と他の要介護度に比べて高い。「認知症対応型通所介護」は要介護1～3、「夜間対応型訪問介護」は要介護3(15.1%)と他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「訪問介護(生活援助中心)」が39.8%と他の世帯構成に比べて顕著に高い。また、その他の世帯では「通所介護」(26.5%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 現在の介護保険サービスの利用状況別にみると、介護保険サービス利用者は未利用者に比べてほとんどの項目の割合が上回っており、特に「通所リハビリテーション」(41.3%)、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(43.2%)の割合が40%を超えている。また、介護保険サービス未利用者は「通所リハビリテーション」(26.9%)と「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(20.0%)の利用意向が20%以上となっている。

【在宅サービスの利用意向】



【在宅サービスの利用意向(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	訪問介護(身体介護)	訪問介護(生活援助)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	991	16.3	20.4	13.5	12.7	14.9	3.6	20.3	38.1	15.1	6.0	
性別	男性	330	14.8	18.2	13.0	13.3	16.1	3.9	17.3	39.4	13.9	6.1
	女性	661	17.1	21.5	13.8	12.4	14.4	3.5	21.8	37.5	15.7	5.9
年齢別	40～64歳	19	15.8	15.8	21.1	26.3	36.8	0.0	10.5	42.1	10.5	0.0
	65～69歳	50	18.0	10.0	8.0	20.0	24.0	8.0	20.0	42.0	12.0	6.0
	70～74歳	79	21.5	20.3	13.9	15.2	15.2	2.5	17.7	44.3	11.4	2.5
	75～79歳	146	18.5	24.0	12.3	10.3	13.7	2.7	17.8	32.9	8.9	4.8
	80～84歳	251	15.9	22.3	12.0	9.2	10.8	2.8	18.7	35.5	13.5	5.2
	85歳以上	446	14.8	19.5	15.0	13.7	15.7	4.3	22.9	39.7	19.3	7.6
要介護度別	要支援1	326	10.4	23.9	8.6	8.9	10.7	3.7	14.1	38.0	7.4	3.4
	要支援2	208	13.0	24.5	13.0	10.6	16.8	2.9	13.5	38.9	8.7	4.8
	要介護1	231	16.0	16.5	12.6	12.6	13.4	3.0	27.7	41.1	21.2	5.2
	要介護2	113	27.4	16.8	20.4	15.0	20.4	2.7	26.5	36.3	23.0	14.2
	要介護3	73	32.9	17.8	23.3	24.7	20.5	2.7	30.1	35.6	31.5	9.6
	要介護4	20	25.0	10.0	30.0	15.0	25.0	5.0	35.0	30.0	35.0	10.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	18.7	39.8	15.9	11.8	10.6	4.1	17.1	33.7	10.6	4.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	17.2	18.3	10.0	12.2	16.1	5.0	14.7	36.9	12.2	4.7
	その他の世帯	426	15.0	11.3	14.1	12.9	16.9	2.3	26.5	42.5	20.7	8.2
	無回答	40	10.0	12.5	17.5	20.0	12.5	5.0	12.5	27.5	5.0	2.5
状況別	介護保険サービス利用者	773	17.5	22.4	13.8	13.7	15.5	3.9	21.3	41.3	16.4	6.5
	介護保険サービス未利用者	175	11.4	14.3	12.6	9.7	13.1	2.9	16.6	26.9	10.9	4.6
	無回答	43	16.3	9.3	11.6	7.0	11.6	2.3	16.3	27.9	9.3	2.3

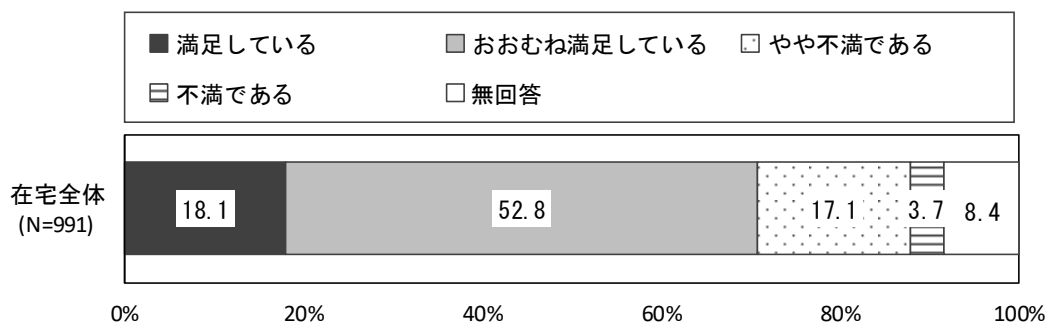
	調査数	福祉用具貸与(レンタル)・購入	住宅改修	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	地域密着型通所介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	991	37.9	13.9	9.6	3.7	3.7	6.4	6.0	4.2	11.9	
性別	男性	330	33.3	12.7	10.6	2.7	2.4	6.4	6.7	4.2	10.0
	女性	661	40.2	14.5	9.1	4.2	4.4	6.4	5.6	4.2	12.9
年齢別	40～64歳	19	52.6	26.3	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	15.8	5.3
	65～69歳	50	34.0	14.0	10.0	6.0	6.0	4.0	4.0	2.0	6.0
	70～74歳	79	40.5	15.2	8.9	2.5	6.3	3.8	6.3	3.8	15.2
	75～79歳	146	37.0	14.4	6.8	1.4	2.1	6.8	4.1	2.1	7.5
	80～84歳	251	34.3	13.9	9.6	4.4	4.4	7.6	5.6	4.8	13.9
	85歳以上	446	39.7	13.0	11.0	4.3	3.1	6.1	7.0	4.5	12.6
要介護度別	要支援1	326	33.4	13.2	4.3	2.8	2.8	4.6	6.7	3.7	15.3
	要支援2	208	33.7	13.9	3.4	2.4	4.3	7.7	4.3	2.9	12.0
	要介護1	231	35.1	12.6	16.9	6.5	3.5	9.1	3.9	3.9	13.0
	要介護2	113	51.3	19.5	15.0	4.4	4.4	5.3	8.0	2.7	6.2
	要介護3	73	49.3	13.7	21.9	1.4	6.8	5.5	11.0	15.1	5.5
	要介護4	20	70.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	40.7	13.0	4.9	4.5	3.7	7.3	8.9	5.3	16.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	33.0	14.7	9.0	1.8	3.2	7.5	3.9	4.3	11.1
	その他の世帯	426	40.8	14.3	13.4	4.9	4.0	5.2	5.2	3.5	10.6
	無回答	40	25.0	10.0	2.5	0.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0
状況別	介護保険サービス利用者	773	43.2	14.4	9.8	3.9	3.4	6.6	5.6	4.8	13.2
	介護保険サービス未利用者	175	20.0	13.7	9.7	2.9	5.7	5.1	5.7	2.3	8.6
	無回答	43	16.3	7.0	4.7	4.7	2.3	7.0	14.0	2.3	2.3

3. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が 52.8%と最も高く、「満足している」(18.1%)を合わせると70.9%が『満足』と回答している一方、「やや不満である」(17.1%)と「不満である」(3.7%)を合わせた『不満』の割合は20.8%となっている。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられないが、65～69歳は『満足』(62.0%)の割合が他の年齢層に比べて低い。
- 要介護度別にみると、要介護1～4は『満足』の割合が70%を超えているが、要介護5では55.0%と低い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、『満足』の割合は利用者(73.9%)が未利用者(60.6%)に比べて13.3ポイント高い。

【介護保険制度の満足度】



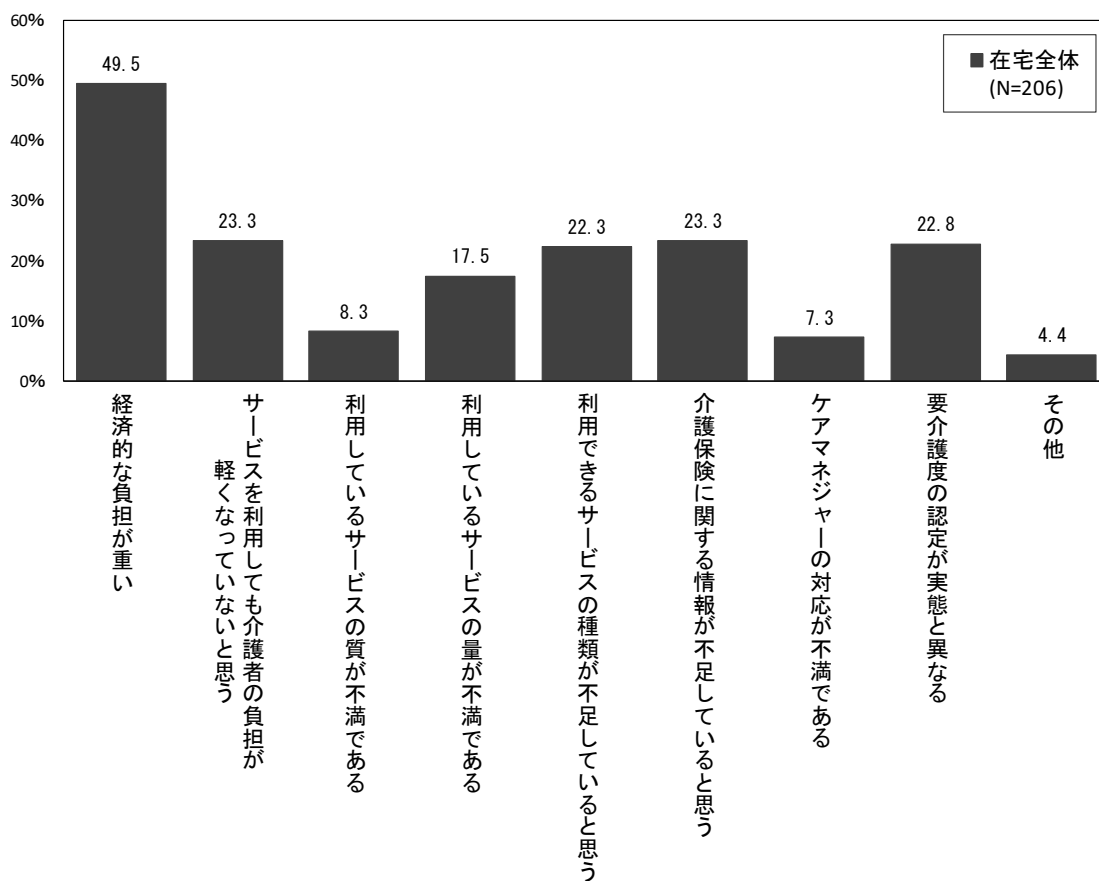
【介護保険制度の満足度(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	991	18.1	52.8	17.1	3.7	8.4	
性別	男性	330	18.2	50.9	19.7	3.6	7.6
	女性	661	18.0	53.7	15.7	3.8	8.8
年齢別	40～64歳	19	21.1	47.4	15.8	10.5	5.3
	65～69歳	50	18.0	44.0	24.0	8.0	6.0
	70～74歳	79	16.5	54.4	13.9	5.1	10.1
	75～79歳	146	21.9	47.3	18.5	3.4	8.9
	80～84歳	251	20.3	48.2	17.5	2.4	11.6
	85歳以上	446	15.7	58.1	16.1	3.6	6.5
要介護度別	要支援1	326	19.3	47.2	18.1	4.9	10.4
	要支援2	208	15.9	53.8	15.9	4.3	10.1
	要介護1	231	18.6	57.1	16.9	1.3	6.1
	要介護2	113	15.9	60.2	16.8	3.5	3.5
	要介護3	73	19.2	54.8	19.2	4.1	2.7
	要介護4	20	25.0	45.0	15.0	5.0	10.0
	要介護5	20	15.0	40.0	10.0	5.0	30.0
状況利用別	介護保険サービス利用者	773	18.9	55.0	17.2	3.4	5.6
	介護保険サービス未利用者	175	14.3	46.3	17.7	5.7	16.0
	無回答	43	18.6	39.5	11.6	2.3	27.9

(2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が49.5%と約半数を占めて最も高く、次いで「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」「介護保健に関する情報が不足していると思う」(23.3%)、「要介護度の認定が実態と異なる」(22.8%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「ケアマネジャーの対応が不満である」(13.0%)が約10ポイント高い。
- 年齢別にみると、70～74歳では「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」(46.7%)が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護度が重くなるにつれて「経済的な負担が重い」の割合が高い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「介護保健に関する情報が不足していると思う」(29.3%)、「ケアマネジャーの対応が不満である」(14.6%)等の割合が特に高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



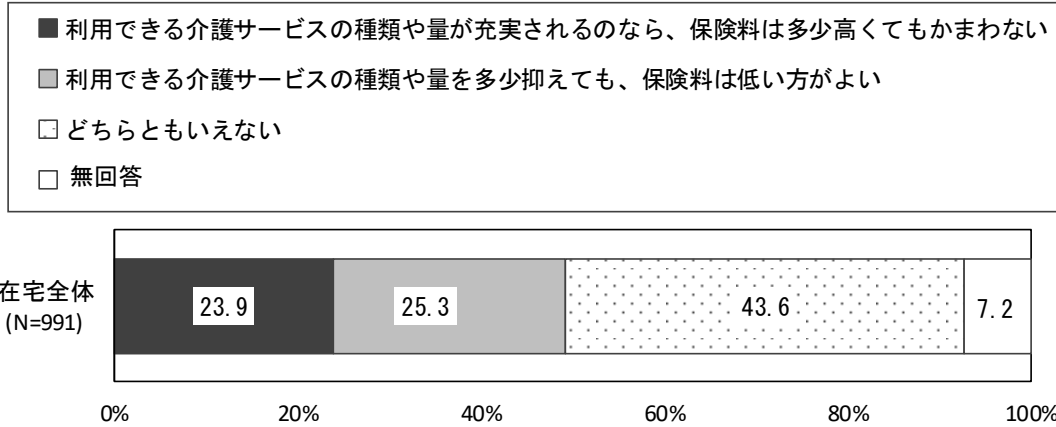
【介護保険制度に満足していない理由(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	経済的な負担が重い	サービスが軽くなつていないと思ふ	利用しているサービスの質が不満足である	利用できるサービスの種類が不足していると思ふ	介護保険に関する情報が不足していると思ふ	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他		
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	206	49.5	23.3	8.3	17.5	22.3	23.3	7.3	22.8	4.4	
性別	男性	77	46.8	23.4	11.7	20.8	18.2	27.3	13.0	27.3	3.9
	女性	129	51.2	23.3	6.2	15.5	24.8	20.9	3.9	20.2	4.7
年齢別	40～64歳	5	80.0	20.0	0.0	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	65～69歳	16	56.3	37.5	6.3	18.8	18.8	25.0	6.3	31.3	6.3
	70～74歳	15	60.0	46.7	6.7	20.0	33.3	6.7	6.7	20.0	0.0
	75～79歳	32	56.3	21.9	12.5	9.4	21.9	21.9	9.4	25.0	3.1
	80～84歳	50	44.0	26.0	8.0	18.0	20.0	18.0	6.0	22.0	6.0
	85歳以上	88	45.5	15.9	8.0	19.3	20.5	28.4	5.7	21.6	4.5
要介護度別	要支援1	75	34.7	21.3	8.0	22.7	24.0	21.3	1.3	28.0	2.7
	要支援2	42	47.6	14.3	9.5	14.3	21.4	26.2	11.9	21.4	7.1
	要介護1	42	57.1	35.7	7.1	16.7	19.0	28.6	9.5	21.4	7.1
	要介護2	23	60.9	21.7	4.3	8.7	13.0	13.0	8.7	21.7	4.3
	要介護3	17	64.7	23.5	11.8	17.6	29.4	29.4	11.8	11.8	0.0
	要介護4	4	100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	要介護5	3	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
状況別	介護保険サービス利用者	159	50.9	22.0	7.5	21.4	22.0	22.0	5.7	24.5	4.4
	介護保険サービス未利用者	41	46.3	24.4	9.8	4.9	17.1	29.3	14.6	17.1	4.9
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が43.6%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(25.3%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(23.9%)の順に続く。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられない。
- 要介護度別にみると、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」の割合は、要介護3が31.5%と他の要介護度に比べて高い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、大きな差はみられないが、利用者は未利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(25.1%)が6.2ポイント高く、未利用者は利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(29.7%)が5.4ポイント高い。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



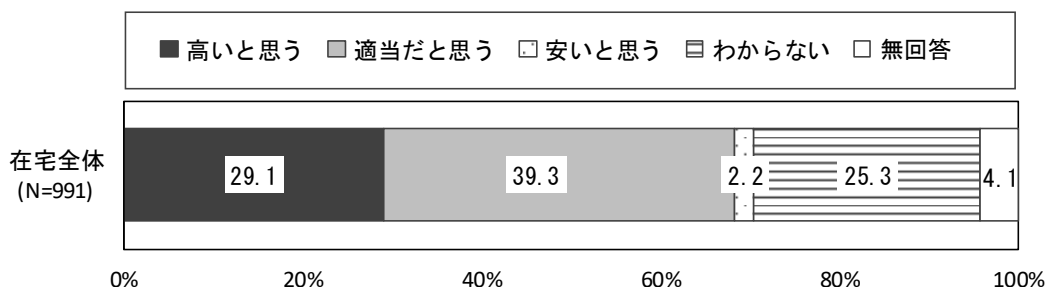
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービスの利用状況別)】

		調査数	ても充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない (%)	利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい (%)	どちらともいえない (%)	無回答 (%)
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	23.9	25.3	43.6	7.2
性別	男性	330	21.2	27.3	46.4	5.2
	女性	661	25.3	24.4	42.2	8.2
年齢別	40～64歳	19	21.1	21.1	57.9	0.0
	65～69歳	50	26.0	24.0	48.0	2.0
	70～74歳	79	20.3	26.6	40.5	12.7
	75～79歳	146	18.5	30.8	44.5	6.2
	80～84歳	251	20.7	27.9	44.6	6.8
	85歳以上	446	28.0	22.2	42.2	7.6
要介護度別	要支援1	326	26.1	23.0	41.1	9.8
	要支援2	208	19.2	27.9	44.2	8.7
	要介護1	231	26.4	25.1	43.3	5.2
	要介護2	113	19.5	33.6	44.2	2.7
	要介護3	73	31.5	24.7	42.5	1.4
	要介護4	20	15.0	10.0	70.0	5.0
	要介護5	20	15.0	10.0	55.0	20.0
状況別 利用	介護保険サービス利用者	773	25.1	24.3	45.0	5.6
	介護保険サービス未利用者	175	18.9	29.7	41.1	10.3
	無回答	43	23.3	25.6	27.9	23.3

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「相当だと思う」が39.3%と最も高く、次いで「高いと思う」(29.1%)、「わからない」(25.3%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「高いと思う」(33.9%)がやや高い。
- 年齢別にみると、65～69歳、70～74歳では「高いと思う」が30%を超えている。
- 要介護度別にみると、要支援1や要介護3では「高いと思う」が30%を超えている。一方、要介護1・2、要介護4では「相当だと思う」が40%を超えている。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「高いと思う」(32.0%)がやや高い。一方、利用者は「相当だと思う」が40%を超えている。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

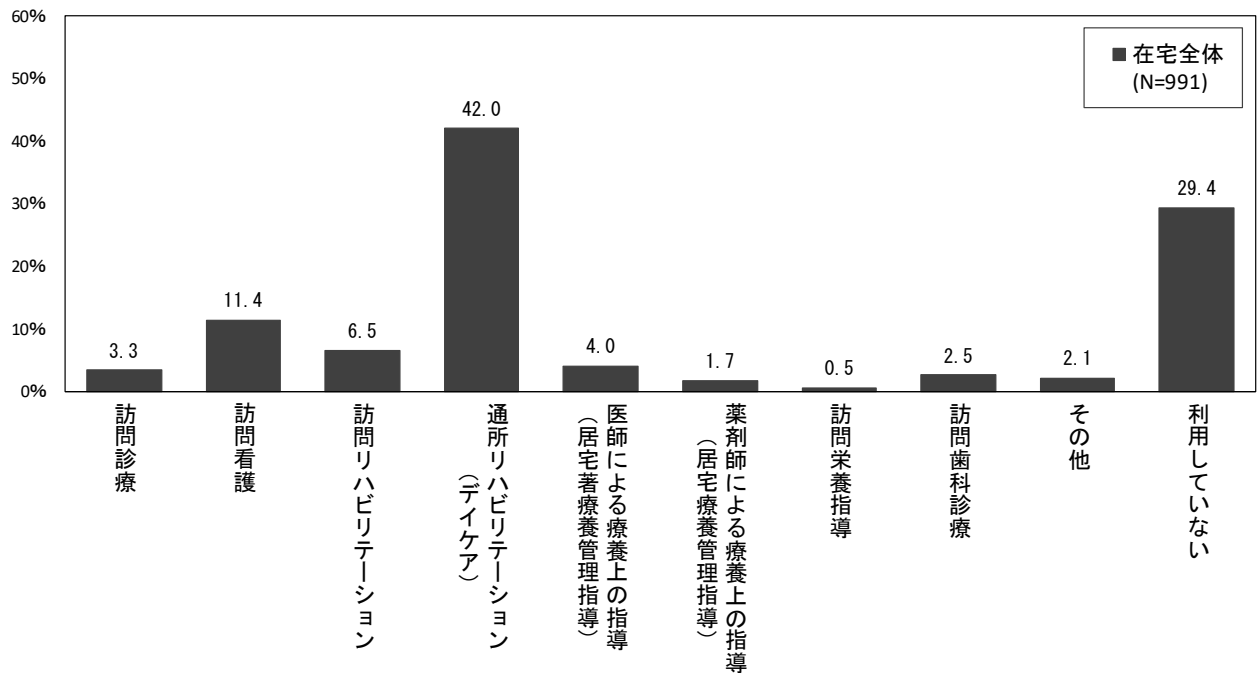
		調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	29.1	39.3	2.2	25.3	4.1
性別	男性	330	33.9	35.5	1.8	25.5	3.3
	女性	661	26.6	41.1	2.4	25.3	4.5
年齢別	40～64歳	19	26.3	31.6	0.0	42.1	0.0
	65～69歳	50	34.0	34.0	2.0	28.0	2.0
	70～74歳	79	39.2	27.8	0.0	25.3	7.6
	75～79歳	146	29.5	34.2	2.7	30.1	3.4
	80～84歳	251	26.7	36.7	3.6	29.5	3.6
	85歳以上	446	28.0	45.3	1.8	20.4	4.5
要介護度別	要支援1	326	30.1	37.1	2.5	25.2	5.2
	要支援2	208	28.4	35.6	1.4	30.3	4.3
	要介護1	231	29.0	45.9	1.7	20.8	2.6
	要介護2	113	29.2	40.7	3.5	24.8	1.8
	要介護3	73	31.5	39.7	2.7	23.3	2.7
	要介護4	20	25.0	40.0	5.0	25.0	5.0
	要介護5	20	15.0	25.0	0.0	40.0	20.0
状況別	介護保険サービス利用者	773	28.7	41.1	2.2	25.0	3.0
	介護保険サービス未利用者	175	32.0	34.3	1.7	25.7	6.3
	無回答	43	23.3	25.6	4.7	30.2	16.3

4. 在宅医療について

(1) 在宅医療サービスの利用状況

- 在宅医療サービスの利用状況は「通所リハビリテーション（デイケア）」が42.0%と最も高く、次いで「訪問看護」（11.4%）、「訪問リハビリテーション」（6.5%）の順に続く。「利用していない」は29.4%となっている。
- 年齢別にみると大きな差はみられないが、40～64歳、65～69歳では「訪問診療」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」の割合が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護度が重くなるにつれて「訪問診療」「訪問看護」「訪問歯科診療」の割合が高い。

【在宅医療サービスの利用状況】



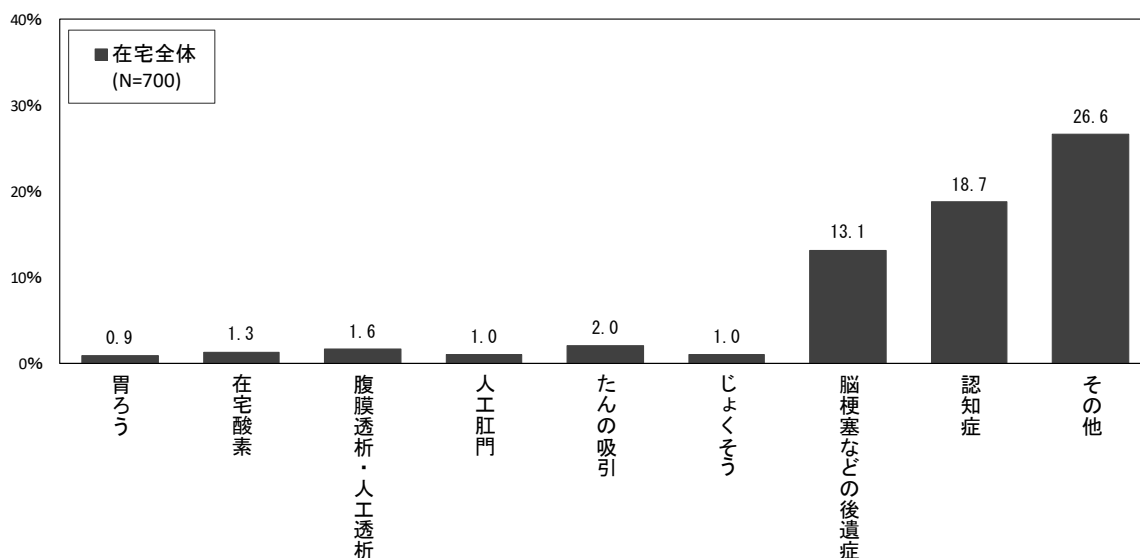
【在宅医療サービスの利用状況(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数 (人)	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	通所リハビリ (デイケア)	医師による療 養上の指導 (居宅著療養 管理指導)	薬剤師による 療養上の指導 (居宅療養管 理指導)	訪問栄養指導	訪問歯科診療	その他	利用して いない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		991	3.3	11.4	6.5	42.0	4.0	1.7	0.5	2.5	2.1	29.4
性別	男性	330	5.5	12.4	7.0	41.8	5.2	2.4	0.6	2.4	1.2	27.9
	女性	661	2.3	10.9	6.2	42.1	3.5	1.4	0.5	2.6	2.6	30.1
年齢別	40～64歳	19	5.3	21.1	21.1	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.1
	65～69歳	50	8.0	20.0	14.0	52.0	8.0	4.0	0.0	4.0	2.0	24.0
	70～74歳	79	3.8	16.5	8.9	46.8	7.6	2.5	0.0	1.3	1.3	21.5
	75～79歳	146	2.1	11.6	6.8	39.0	2.1	0.7	0.7	1.4	0.7	32.2
	80～84歳	251	3.2	9.2	6.0	36.7	3.6	1.6	1.2	2.4	1.6	29.5
	85歳以上	446	3.1	10.3	4.7	44.4	4.0	1.8	0.2	3.1	3.1	29.8
要介護度別	要支援1	326	0.6	4.9	2.5	36.2	2.1	1.2	0.3	0.3	1.2	37.7
	要支援2	208	2.4	10.6	6.3	37.5	3.4	1.0	0.0	1.0	2.9	29.3
	要介護1	231	3.5	13.0	7.8	48.5	4.8	3.0	1.7	3.5	2.2	25.1
	要介護2	113	6.2	13.3	8.0	49.6	4.4	1.8	0.0	3.5	1.8	22.1
	要介護3	73	2.7	21.9	13.7	46.6	4.1	1.4	0.0	5.5	1.4	27.4
	要介護4	20	15.0	25.0	20.0	50.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	15.0
	要介護5	20	30.0	45.0	10.0	40.0	30.0	5.0	0.0	25.0	10.0	5.0

(2) 在宅医療サービスが必要となった理由

- 何らかの在宅医療サービスを利用している人のうち、在宅医療サービスが必要となった理由は「その他」(26.6%)を除くと、「認知症」が18.7%と最も高く、次いで「脳梗塞などの後遺症」(13.1%)となっており、他の項目は2.0%以下とかなり低い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳梗塞などの後遺症」(21.4%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、若いほど「脳梗塞などの後遺症」が高い。
- 要介護度別にみると、要介護5は「たんの吸引」(26.3%)、「胃ろう」(21.1%)、「在宅酸素」「腹膜透析・人工透析」(5.3%)の割合が他の要介護度に比べて高い。要介護1・3は「認知症」の割合が30%を超えている。

【在宅医療サービスが必要となった理由】



【在宅医療サービスが必要となった理由(性別・年齢別・要介護度別)】

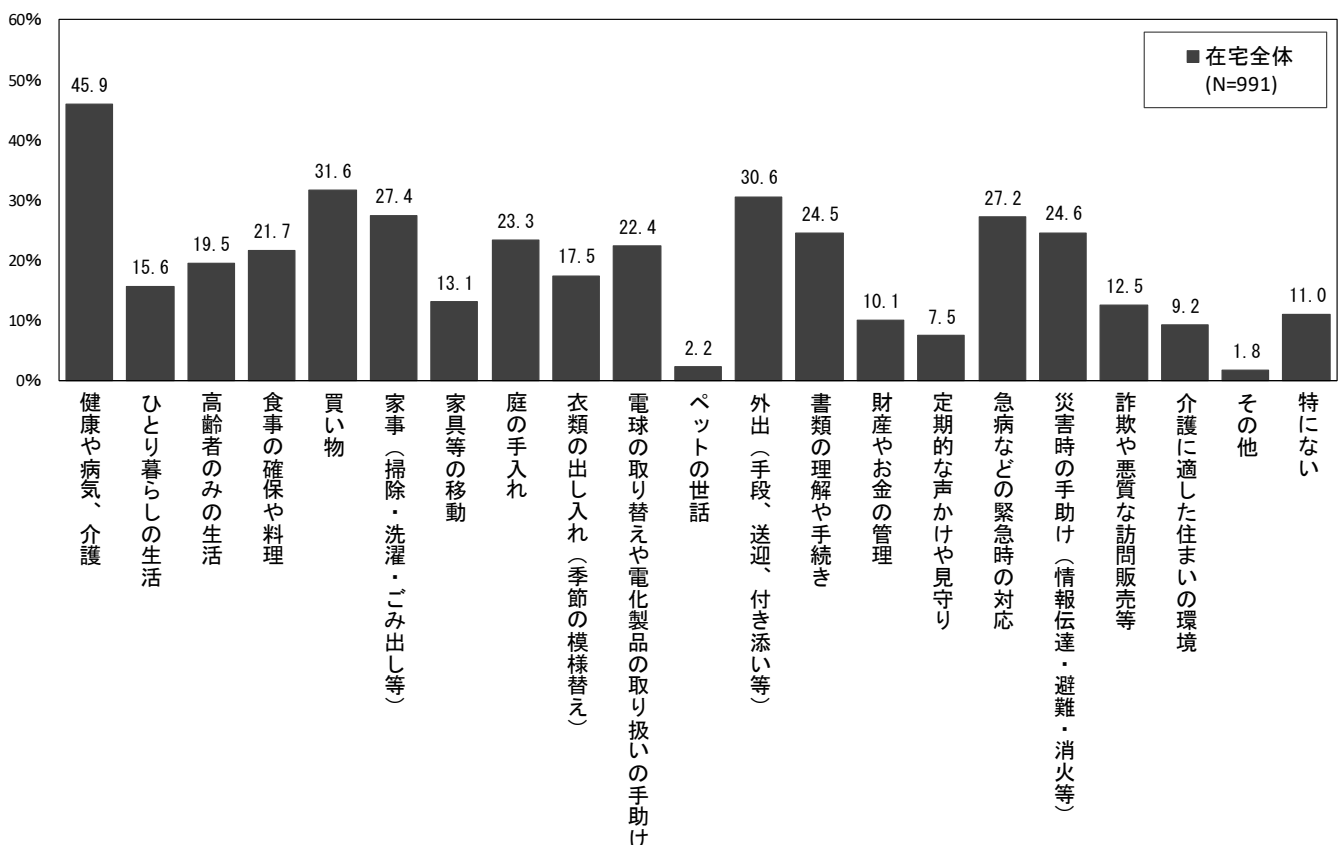
	調査数	胃ろう	在宅酸素	工腹膜透析・人	人工肛門	たんの吸引	じょくそう	後脳梗塞などの	認知症	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	700	0.9	1.3	1.6	1.0	2.0	1.0	13.1	18.7	26.6	
性別	男性	238	1.7	2.9	2.1	0.8	2.1	0.8	21.4	17.6	21.8
	女性	462	0.4	0.4	1.3	1.1	1.9	1.1	8.9	19.3	29.0
年齢別	40～64歳	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	18.2
	65～69歳	38	5.3	2.6	2.6	0.0	5.3	0.0	28.9	13.2	23.7
	70～74歳	62	3.2	0.0	0.0	0.0	4.8	1.6	21.0	17.7	25.8
	75～79歳	99	1.0	2.0	3.0	1.0	2.0	2.0	14.1	11.1	27.3
	80～84歳	177	0.0	1.1	1.7	2.3	1.1	0.0	11.3	17.5	28.2
	85歳以上	313	0.3	1.3	1.3	0.6	1.6	1.3	9.3	23.3	26.2
要介護度別	要支援1	203	0.5	2.0	1.0	0.5	0.5	0.0	11.3	6.4	27.1
	要支援2	147	0.0	0.7	1.4	1.4	2.0	0.0	9.5	7.5	29.9
	要介護1	173	0.0	1.2	1.2	0.6	0.0	0.0	11.0	34.1	23.7
	要介護2	88	1.1	0.0	2.3	1.1	0.0	4.5	19.3	26.1	26.1
	要介護3	53	0.0	1.9	3.8	3.8	7.5	3.8	22.6	32.1	24.5
	要介護4	17	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	23.5	23.5	29.4
	要介護5	19	21.1	5.3	5.3	0.0	26.3	0.0	15.8	21.1	26.3

5. 日常生活上等について

(1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」は11.0%に留まっており、不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が45.9%と最も高く、次いで「買い物」(31.6%)、「外出(手段、送迎、付き添い等)」(30.6%)、「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」(27.4%)、「急病などの緊急時の対応」(27.2%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、「ひとり暮らしの生活」や「高齢者のみの生活」「買い物」「家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)」「家具等の移動」「庭の手入れ」「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」等は、おおむね要支援認定者の割合の方が高い。「急病などの緊急時の対応」や「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」は要介護3の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」が53.3%と半数を超えている。
- 小学校区別にみると、「買い物」は行橋南校区(42.1%)や今元校区(40.8%)が40%を超えている。「外出(手段、送迎、付き添い等)」は、養島校区(36.1%)、延永校区(35.0%)、椿市校区(32.8%)が30%を超えている。「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」は延永校区(32.0%)と行橋北校区(31.8%)が30%を超え、他の小学校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【日常生活上の不安や困りごと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

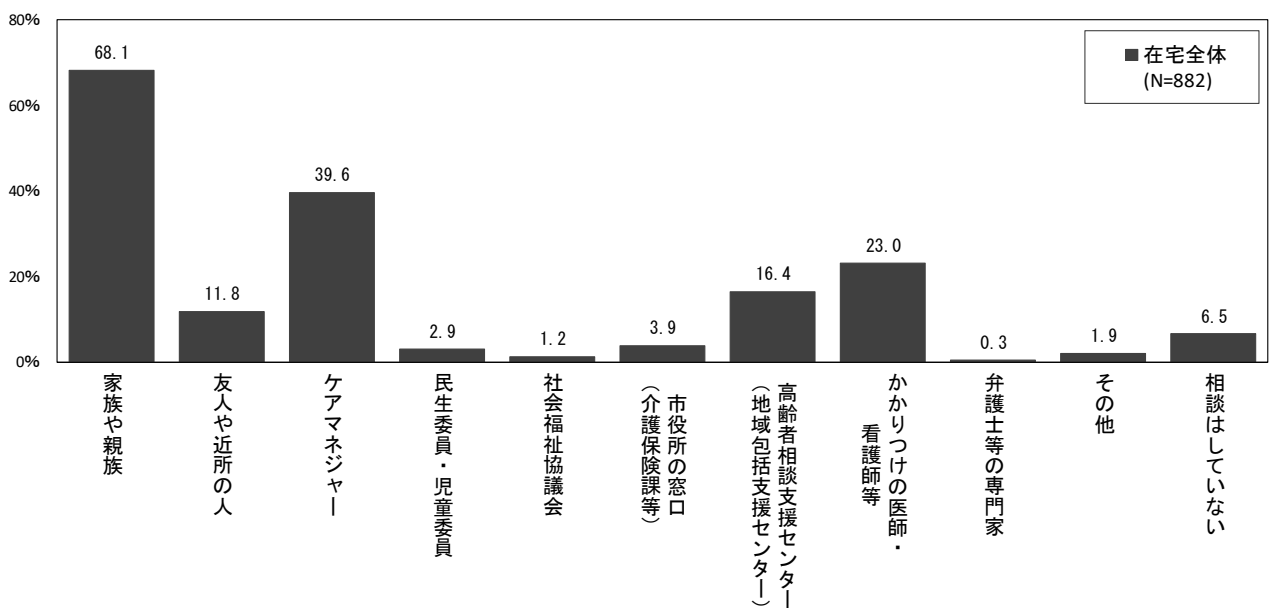
	調査数	健康や病気、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電化製品の取り扱いの電	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	45.9	15.6	19.5	21.7	31.6	27.4	13.1	23.3	17.5	22.4	
要介護度別	要支援1	326	39.3	17.5	19.9	18.7	37.1	32.2	16.0	28.5	15.3	28.5
	要支援2	208	46.2	17.3	19.7	20.7	35.6	31.3	15.9	29.3	18.8	26.0
	要介護1	231	48.5	17.3	21.2	27.3	32.9	26.4	10.0	17.7	19.9	18.6
	要介護2	113	61.1	13.3	17.7	24.8	21.2	19.5	8.8	19.5	19.5	14.2
	要介護3	73	46.6	6.8	17.8	21.9	21.9	20.5	11.0	13.7	19.2	19.2
	要介護4	20	55.0	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	要介護5	20	25.0	5.0	15.0	10.0	5.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	44.7	53.3	21.5	28.5	43.1	41.5	14.2	30.5	19.1	34.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	44.4	1.8	42.7	19.7	34.4	26.9	16.8	25.4	17.6	27.2
	その他の世帯	426	50.0	3.3	3.8	19.2	23.5	20.0	9.6	18.1	16.2	12.4
	無回答	40	20.0	12.5	12.5	20.0	27.5	25.0	17.5	20.0	20.0	22.5
小学校区別	行橋校区	112	49.1	15.2	17.0	15.2	33.0	28.6	14.3	17.9	20.5	15.2
	行橋北校区	107	44.9	22.4	18.7	22.4	29.9	31.8	17.8	22.4	15.0	26.2
	行橋南校区	19	57.9	5.3	15.8	15.8	42.1	26.3	10.5	26.3	15.8	15.8
	今元校区	49	44.9	12.2	14.3	22.4	40.8	24.5	12.2	28.6	16.3	28.6
	菟島校区	97	42.3	23.7	28.9	23.7	33.0	30.9	12.4	25.8	17.5	23.7
	仲津校区	64	48.4	9.4	17.2	25.0	31.3	31.3	15.6	31.3	21.9	28.1
	泉校区	129	46.5	16.3	15.5	26.4	27.1	23.3	9.3	24.8	17.1	18.6
	今川校区	107	45.8	15.0	22.4	22.4	29.9	24.3	10.3	20.6	17.8	24.3
	稗田校区	18	38.9	5.6	16.7	16.7	22.2	22.2	5.6	0.0	22.2	11.1
	樺市校区	189	45.0	13.8	19.6	21.2	33.3	28.0	11.6	24.3	15.3	21.2
	延永校区	100	46.0	14.0	21.0	20.0	30.0	26.0	19.0	23.0	18.0	27.0

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り、付き添い等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	等報伝達時の避難手助け(消火情)	詐欺や悪質な訪問販売	介護に適した住まいの環境	その他	特にな
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	991	2.2	30.6	24.5	10.1	7.5	27.2	24.6	12.5	9.2	1.8	11.0
要介護度別	要支援1	326	3.1	29.4	27.6	7.7	5.2	27.9	25.2	15.3	6.4	9.5
	要支援2	208	0.5	35.1	23.6	9.1	9.1	24.0	23.6	9.1	10.6	14.4
	要介護1	231	2.6	29.0	22.9	13.0	7.8	27.3	22.9	14.3	7.8	11.3
	要介護2	113	1.8	32.7	25.7	10.6	8.8	28.3	28.3	14.2	18.6	8.8
	要介護3	73	2.7	32.9	23.3	19.2	12.3	39.7	30.1	6.8	9.6	12.3
	要介護4	20	5.0	15.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0
	要介護5	20	0.0	15.0	15.0	0.0	5.0	15.0	10.0	5.0	10.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	2.8	32.1	28.0	11.0	15.4	36.2	29.3	15.4	11.8	6.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	2.2	31.2	21.9	7.5	2.5	28.0	25.4	10.4	6.5	7.9
	その他の世帯	426	1.9	29.3	24.9	11.7	6.3	21.8	21.8	12.2	10.3	16.2
	無回答	40	2.5	30.0	17.5	5.0	5.0	25.0	20.0	12.5	0.0	7.5
小学校区別	行橋校区	112	1.8	25.9	20.5	10.7	5.4	26.8	21.4	8.0	9.8	10.7
	行橋北校区	107	1.9	29.9	20.6	6.5	14.0	29.0	31.8	14.0	6.5	16.8
	行橋南校区	19	5.3	21.1	31.6	5.3	0.0	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3
	今元校区	49	2.0	28.6	26.5	16.3	2.0	26.5	14.3	12.2	6.1	12.2
	菟島校区	97	6.2	36.1	21.6	10.3	17.5	32.0	26.8	14.4	16.5	9.3
	仲津校区	64	0.0	25.0	32.8	14.1	4.7	23.4	25.0	14.1	7.8	6.3
	泉校区	129	0.8	28.7	27.1	6.2	5.4	29.5	27.9	13.2	10.9	12.4
	今川校区	107	2.8	31.8	23.4	13.1	3.7	24.3	23.4	9.3	8.4	14.0
	稗田校区	18	0.0	27.8	33.3	11.1	5.6	27.8	22.2	11.1	5.6	5.6
	樺市校区	189	2.1	32.8	24.9	8.5	6.3	25.4	19.0	11.1	4.8	10.6
	延永校区	100	2.0	35.0	24.0	13.0	8.0	29.0	32.0	18.0	14.0	7.0

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」は6.5%に留まっており、相談先がある人では、「家族や親族」が68.1%を占めて最も高く、次いで「ケアマネジャー」(39.6%)、「かかりつけの医師・看護師等」(23.0%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」(16.4%)の順に続く。
- 要介護度別にみると、要介護度が軽くなるにつれて「友人や近所の人」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」(19.5%)のほか、「民生委員・児童委員」(4.8%)、「社会福祉協議会」(2.2%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」(24.2%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「市役所の窓口(介護保険課等)」は行橋南校区(11.1%)や稗田校区(11.8%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」は椿市校区(23.1%)が他の校区に比べて高い。また、稗田校区は「ケアマネジャー」が11.8%と他の小学校区に比べて極めて低い。

【不安や困りごとの相談先】



第4章 在宅要介護認定者用調査

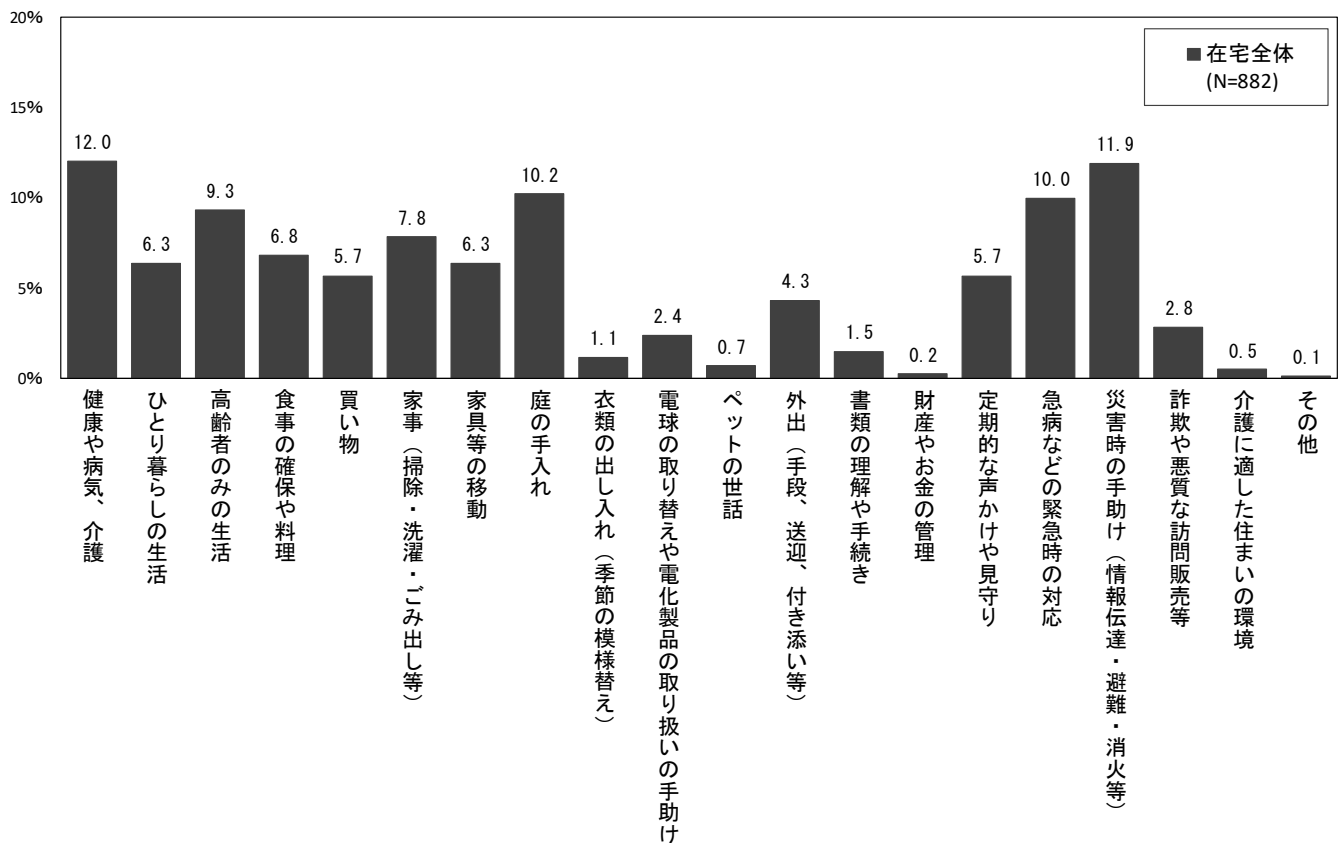
【不安や困りごとの相談先(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	882	68.1	11.8	39.6	2.9	1.2	3.9	16.4	23.0	0.3	1.9	6.5	
要介護度別	要支援1	295	64.1	16.6	25.1	3.1	1.4	3.7	23.4	19.7	0.3	1.0	7.8
	要支援2	178	73.0	12.4	37.6	6.2	1.7	2.2	21.9	24.2	1.1	2.2	2.8
	要介護1	205	71.2	10.2	46.8	1.5	2.0	3.9	11.7	22.9	0.0	2.0	8.3
	要介護2	103	70.9	7.8	51.5	1.0	0.0	5.8	7.8	25.2	0.0	3.9	6.8
	要介護3	64	71.9	4.7	65.6	3.1	0.0	6.3	4.7	29.7	0.0	1.6	4.7
	要介護4	18	61.1	0.0	44.4	0.0	0.0	5.6	0.0	27.8	0.0	0.0	5.6
	要介護5	19	31.6	5.3	47.4	0.0	0.0	0.0	10.5	26.3	0.0	5.3	5.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	231	68.4	19.5	37.2	4.8	2.2	4.3	24.2	18.2	0.4	2.2	4.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	257	63.8	9.3	42.4	3.1	0.8	4.3	13.2	22.2	0.4	1.9	8.9
	その他の世帯	357	74.2	8.4	40.3	1.7	0.6	2.8	14.3	26.9	0.3	2.0	5.0
	無回答	37	37.8	13.5	27.0	2.7	5.4	8.1	10.8	21.6	0.0	0.0	13.5
小学校区別	行橋校区	100	71.0	12.0	37.0	1.0	1.0	4.0	15.0	24.0	0.0	5.0	4.0
	行橋北校区	89	64.0	18.0	33.7	3.4	2.2	5.6	18.0	21.3	0.0	5.6	5.6
	行橋南校区	18	72.2	0.0	38.9	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	今元校区	43	79.1	11.6	46.5	4.7	0.0	2.3	9.3	32.6	0.0	0.0	4.7
	菟島校区	88	63.6	12.5	40.9	2.3	0.0	2.3	18.2	21.6	0.0	2.3	15.9
	仲津校区	60	66.7	15.0	41.7	5.0	3.3	3.3	13.3	28.3	0.0	0.0	8.3
	泉校区	113	66.4	10.6	36.3	1.8	1.8	1.8	15.0	28.3	0.0	0.0	8.8
	今川校区	92	60.9	8.7	39.1	7.6	3.3	7.6	13.0	18.5	2.2	0.0	5.4
	稗田校区	17	58.8	17.6	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	17.6	0.0	0.0	5.9
	椿市校区	169	73.4	7.7	40.8	1.2	0.0	1.2	23.1	18.3	0.0	1.8	5.3
	延永校区	93	69.9	16.1	49.5	4.3	1.1	5.4	18.3	22.6	1.1	2.2	2.2

(3) 不安や困りごとについて、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと

- 不安や困りごとがある人のうち、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「健康や病気、介護」が12.0%と最も高く、次いで「災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）」（11.9%）、「庭の手入れ」（10.2%）、「急病などの緊急時の対応」（10.0%）、「高齢者のみの生活」（9.3%）が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、要介護3は「定期的な声かけや見守り」（15.6%）、「急病などの緊急時の対応」（17.2%）、「災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）」（20.3%）が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」（12.1%）のほか、「食事の確保や料理」（10.0%）、「買い物」（8.2%）、「外出（手段、送迎、付き添い等）」（5.6%）、「定期的な声かけや見守り」（7.4%）、「介護に適した住まいの環境」（0.9%）が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出（手段、送迎、付き添い等）」は今元校区（9.3%）が他の小学校区に比べて高い。

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

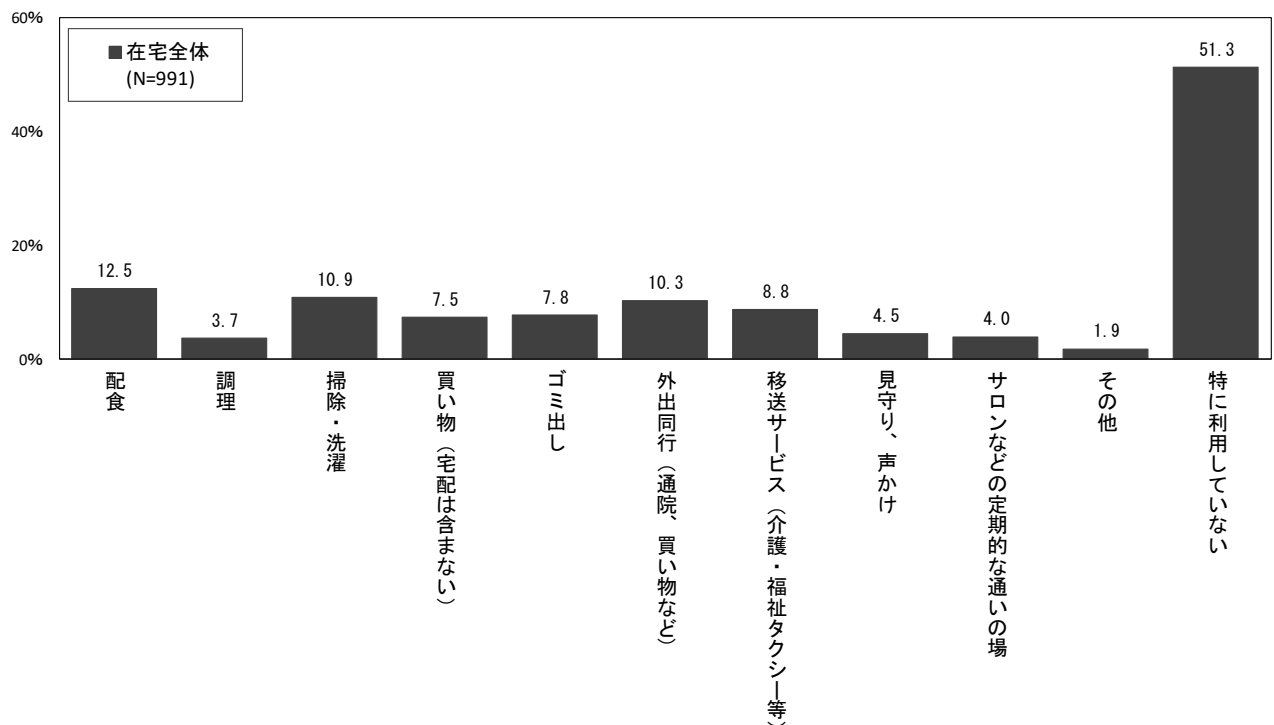
	調査数	健康や病気、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電化製品の取り扱ひの手助け	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	882	12.0	6.3	9.3	6.8	5.7	7.8	6.3	10.2	1.1	2.4	
要介護度別	要支援1	295	10.8	9.2	8.8	6.1	6.1	6.1	7.5	9.8	1.0	2.4
	要支援2	178	14.0	3.9	8.4	6.2	5.1	7.3	7.3	11.8	0.6	2.8
	要介護1	205	9.8	4.9	7.3	7.3	6.3	9.8	2.9	8.3	1.0	2.4
	要介護2	103	16.5	7.8	12.6	5.8	4.9	10.7	6.8	9.7	1.9	1.9
	要介護3	64	15.6	4.7	14.1	10.9	6.3	7.8	10.9	20.3	3.1	3.1
	要介護4	18	11.1	5.6	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	19	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	231	10.8	12.1	6.5	10.0	8.2	9.1	4.8	11.3	0.9	2.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	257	14.0	5.1	14.4	5.1	6.2	9.3	9.3	11.3	0.4	4.3
	その他の世帯	357	11.2	3.6	7.0	5.6	3.6	5.9	5.6	9.0	1.4	0.6
	無回答	37	13.5	5.4	13.5	10.8	5.4	8.1	2.7	8.1	5.4	5.4
小学校区別	行橋校区	100	9.0	6.0	9.0	6.0	7.0	7.0	8.0	11.0	1.0	3.0
	行橋北校区	89	14.6	10.1	9.0	7.9	4.5	10.1	5.6	10.1	0.0	3.4
	行橋南校区	18	11.1	5.6	5.6	11.1	16.7	11.1	0.0	16.7	0.0	0.0
	今元校区	43	9.3	9.3	7.0	11.6	9.3	4.7	9.3	11.6	2.3	4.7
	菟島校区	88	10.2	6.8	6.8	5.7	6.8	9.1	5.7	6.8	2.3	1.1
	仲津校区	60	11.7	3.3	6.7	3.3	3.3	6.7	3.3	8.3	0.0	0.0
	泉校区	113	9.7	7.1	8.0	6.2	6.2	7.1	5.3	10.6	1.8	2.7
	今川校区	92	12.0	6.5	9.8	10.9	3.3	9.8	8.7	8.7	1.1	1.1
	稗田校区	17	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9
	樺市校区	169	16.6	5.9	11.8	7.1	5.3	9.5	5.3	10.7	0.6	1.8
	延永校区	93	10.8	3.2	12.9	4.3	4.3	3.2	9.7	12.9	2.2	4.3

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り、送り先等)の追加	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の避難・消火・情報伝達等の手助け	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適切な住まいの環境	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	882	0.7	4.3	1.5	0.2	5.7	10.0	11.9	2.8	0.5	0.1	
要介護度別	要支援1	295	0.7	4.4	1.7	0.3	5.1	9.5	11.5	3.1	0.0	0.0
	要支援2	178	0.6	3.9	1.7	0.0	3.4	10.1	9.6	1.7	0.6	0.0
	要介護1	205	0.5	5.4	2.0	0.5	6.8	10.2	12.2	3.4	1.0	0.5
	要介護2	103	1.0	3.9	1.0	0.0	4.9	9.7	12.6	4.9	1.0	0.0
	要介護3	64	1.6	4.7	0.0	0.0	15.6	17.2	20.3	1.6	0.0	0.0
	要介護4	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	要介護5	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	231	0.4	5.6	1.3	0.0	7.4	11.3	12.1	2.6	0.9	0.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	257	0.4	3.9	1.2	0.0	3.9	12.1	11.3	3.9	0.4	0.0
	その他の世帯	357	0.8	3.4	2.0	0.6	6.4	7.8	13.2	2.5	0.3	0.3
	無回答	37	2.7	8.1	0.0	0.0	0.0	8.1	2.7	0.0	0.0	0.0
小学校区別	行橋校区	100	0.0	3.0	1.0	0.0	7.0	8.0	8.0	2.0	1.0	0.0
	行橋北校区	89	1.1	4.5	2.2	0.0	9.0	12.4	16.9	5.6	0.0	0.0
	行橋南校区	18	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	11.1	5.6	5.6	0.0
	今元校区	43	0.0	9.3	0.0	0.0	2.3	14.0	11.6	2.3	0.0	0.0
	菟島校区	88	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1	13.6	14.8	5.7	0.0	1.1
	仲津校区	60	0.0	1.7	1.7	0.0	1.7	8.3	10.0	1.7	1.7	0.0
	泉校区	113	0.0	2.7	4.4	1.8	3.5	11.5	12.4	1.8	0.0	0.0
	今川校区	92	0.0	1.1	0.0	0.0	6.5	6.5	8.7	2.2	1.1	0.0
	稗田校区	17	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	樺市校区	169	1.2	6.5	1.2	0.0	7.1	9.5	11.2	2.4	0.0	0.0
	延永校区	93	1.1	6.5	2.2	0.0	2.2	7.5	15.1	2.2	0.0	0.0

(4) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「特に利用していない」が51.3%と半数を超えて高い。利用している人では「配食」(12.5%)、「掃除・洗濯」(10.9%)、「外出同行(通院、買い物など)」(10.3%)の順に続く。
- 要介護度別で見ると、「買い物(宅配は含まない)」や「ゴミ出し」、「外出同行(通院、買い物など)」「サロンなどの定期的な通いの場」は、要介護認定者に比べて要支援認定者の割合の方が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は多くの項目で、他の世帯構成に比べて高くなっており、特に「配食」(22.8%)の割合が高い。
- 小学校区別にみると、「外出同行(通院、買い物など)」は行橋南校区(21.1%)、「サロンなどの定期的な通いの場」は仲津校区(12.5%)が、それぞれ他の小学校区に比べて高い。

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

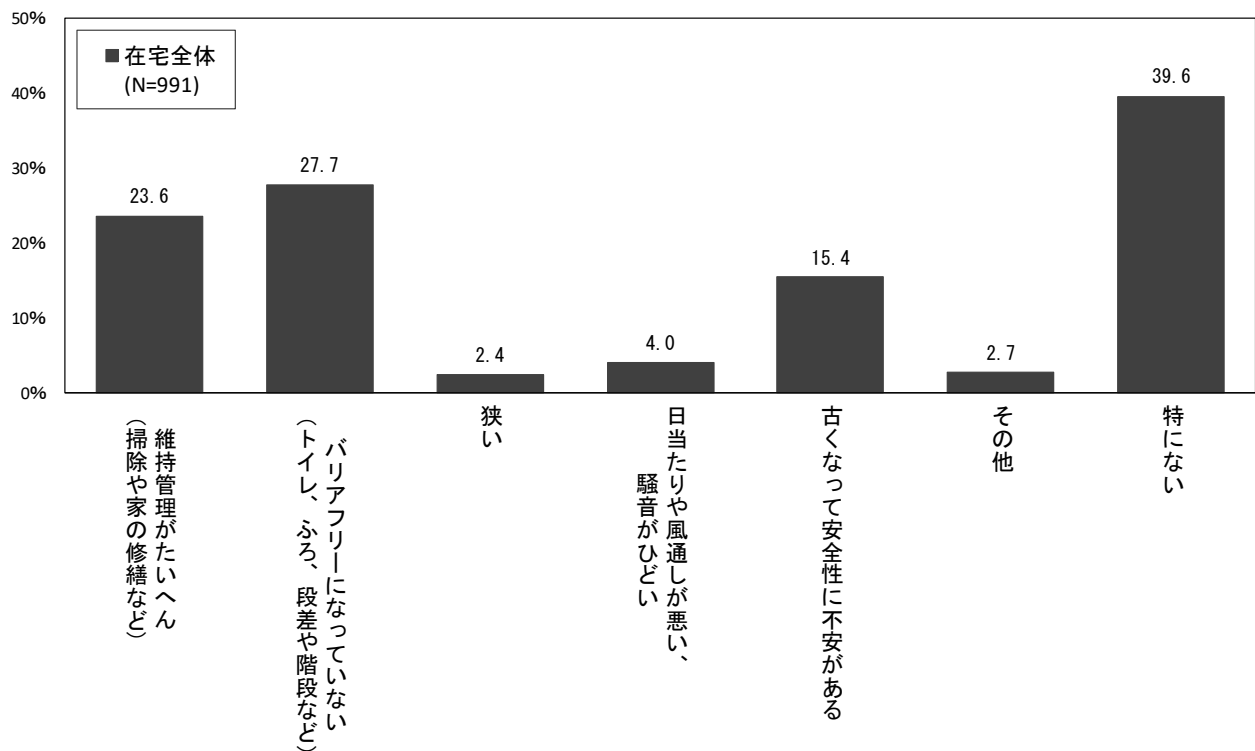
	調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特に利用していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	12.5	3.7	10.9	7.5	7.8	10.3	8.8	4.5	4.0	1.9	51.3	
要介護度別	要支援1	326	9.8	3.1	10.4	9.5	8.6	12.0	8.0	3.7	5.8	1.5	52.1
	要支援2	208	12.5	3.8	13.0	11.5	10.6	11.5	10.1	4.3	3.4	3.8	48.6
	要介護1	231	16.9	3.9	10.0	5.2	5.6	8.7	7.8	4.8	3.5	0.9	50.2
	要介護2	113	10.6	4.4	12.4	3.5	6.2	8.8	7.1	3.5	3.5	0.9	59.3
	要介護3	73	17.8	5.5	11.0	4.1	8.2	9.6	11.0	11.0	2.7	1.4	53.4
	要介護4	20	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	20.0	5.0	0.0	0.0	50.0
	要介護5	20	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0	10.0	25.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	22.8	5.3	15.9	11.4	12.2	11.0	8.5	6.1	4.9	2.4	40.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	11.5	2.9	11.1	9.7	8.6	12.9	10.0	3.2	5.0	2.5	49.1
	その他の世帯	426	8.0	3.5	6.6	3.8	4.2	7.7	8.0	4.7	3.3	1.4	60.6
	無回答	40	5.0	2.5	25.0	7.5	12.5	15.0	10.0	2.5	0.0	0.0	32.5
小学校区別	行橋校区	112	11.6	0.9	13.4	6.3	6.3	7.1	6.3	3.6	3.6	3.6	52.7
	行橋北校区	107	9.3	3.7	10.3	4.7	7.5	5.6	9.3	2.8	3.7	2.8	57.0
	行橋南校区	19	5.3	5.3	15.8	15.8	15.8	21.1	0.0	10.5	0.0	5.3	47.4
	今元校区	49	16.3	6.1	18.4	12.2	12.2	14.3	14.3	4.1	4.1	0.0	46.9
	叢島校区	97	11.3	2.1	10.3	9.3	10.3	10.3	9.3	6.2	1.0	1.0	52.6
	仲津校区	64	12.5	6.3	12.5	6.3	7.8	12.5	9.4	3.1	12.5	1.6	35.9
	泉校区	129	11.6	3.1	7.0	3.9	3.9	6.2	11.6	3.9	3.1	0.8	56.6
	今川校区	107	15.0	6.5	14.0	11.2	9.3	17.8	7.5	3.7	4.7	2.8	50.5
	稗田校区	18	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	72.2
	櫛市校区	189	16.9	4.8	12.2	10.1	9.0	11.6	6.3	5.8	3.2	1.6	49.2
	延永校区	100	9.0	2.0	5.0	4.0	5.0	10.0	12.0	6.0	6.0	2.0	49.0

6. 住まいについて

(1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が39.6%と最も高く、困っていることがある人では「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」(27.7%)、「維持管理がたいへん（掃除や家の修理など）」(23.6%)、「古くなって安全性に不安がある」(15.4%)の順に続く。
- 要介護別にみると、「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」は要介護2・3が30%を超えている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」(29.3%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」は今元校区(32.7%)、「バリアフリーになっていない（トイレ、ふろ、段差や階段など）」は、蓑島校区(33.0%)、泉校区(31.8%)、稗田校区(38.9%)の割合がそれぞれ30%を超えている。「日当たりや風通しが悪い、騒音がひどい」は仲津校区(6.3%)と蓑島校区(6.2%)が他の小学校区に比べて高い。

【住居で困っていること】



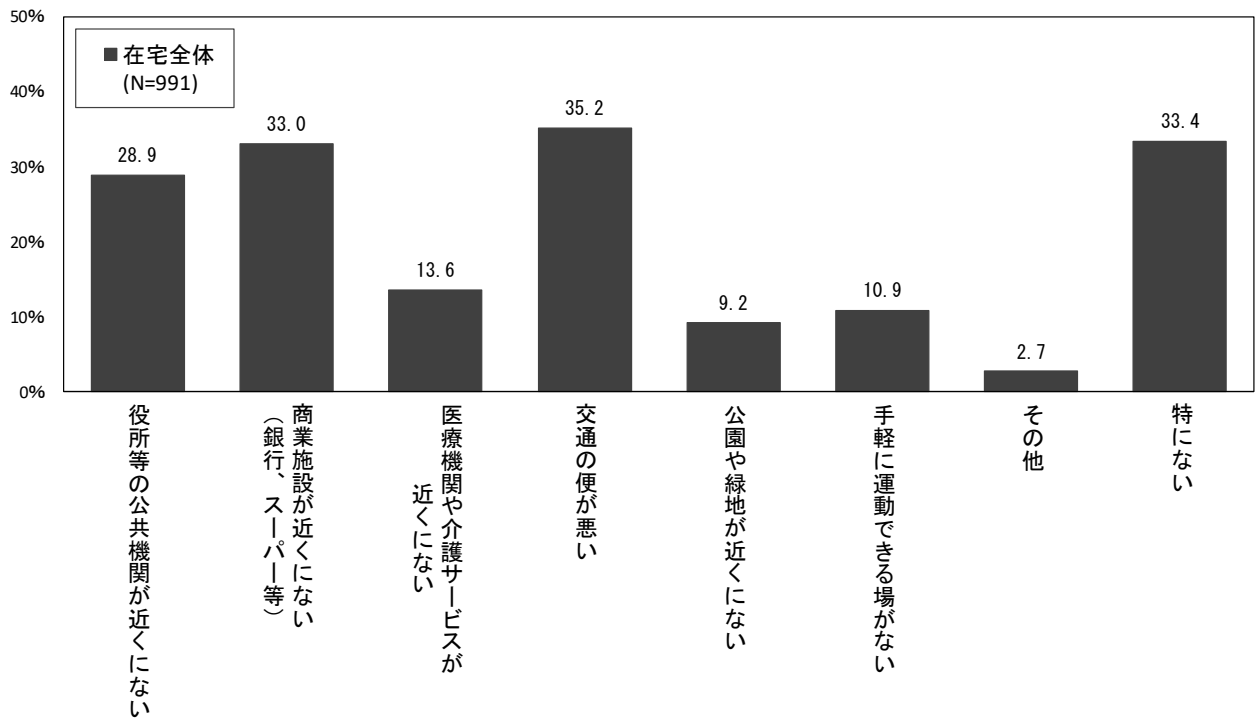
【住居で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	(維持管理がたいへん 掃除や家の修繕など)	(バリアフリーになつていない トイレ、ふろ、段差や階段など)	狭い	騒音がひどい	日当たりや風通しが悪い、	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	991	23.6	27.7	2.4	4.0	15.4	2.7	39.6	
要介護度別	要支援1	326	26.1	24.8	1.8	5.8	19.0	2.5	39.9
	要支援2	208	26.4	28.4	2.9	3.8	16.8	3.8	36.5
	要介護1	231	19.5	27.7	1.7	3.5	13.4	2.2	44.2
	要介護2	113	22.1	34.5	1.8	2.7	11.5	2.7	38.9
	要介護3	73	27.4	31.5	5.5	2.7	15.1	2.7	34.2
	要介護4	20	10.0	20.0	0.0	0.0	5.0	5.0	50.0
	要介護5	20	10.0	25.0	10.0	0.0	0.0	0.0	25.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	29.3	27.2	1.6	5.3	18.7	4.1	34.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	25.4	25.1	2.2	5.0	15.4	1.8	38.0
	その他の世帯	426	20.9	31.5	3.3	3.1	14.8	2.8	42.5
	無回答	40	5.0	10.0	0.0	0.0	2.5	0.0	50.0
小学校区別	行橋校区	112	21.4	25.9	0.0	4.5	14.3	8.0	38.4
	行橋北校区	107	24.3	25.2	3.7	3.7	15.0	2.8	43.0
	行橋南校区	19	15.8	21.1	0.0	5.3	26.3	0.0	52.6
	今元校区	49	32.7	16.3	2.0	0.0	22.4	4.1	40.8
	葦島校区	97	28.9	33.0	5.2	6.2	20.6	1.0	33.0
	仲津校区	64	23.4	26.6	1.6	6.3	15.6	3.1	26.6
	泉校区	129	24.8	31.8	3.9	3.9	17.1	0.0	41.9
	今川校区	107	23.4	27.1	3.7	2.8	15.0	2.8	40.2
	稗田校区	18	16.7	38.9	0.0	0.0	16.7	5.6	38.9
	樺市校区	189	23.3	28.6	2.1	5.8	9.0	0.5	41.3
	延永校区	100	18.0	27.0	0.0	1.0	17.0	5.0	42.0

(2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「特にない」が 33.4%を占め、困っていることがある人では「交通の便が悪い」(35.2%)、「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(33.0%)、「役所等の公共機関が近くにない」(28.9%)となっている。
- 要介護別にみると、「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」「交通の便が悪い」は、要介護認定者に比べて要支援認定者の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」「医療機関や介護サービスが近くにない」「交通の便が悪い」「公園や緑地が近くにない」の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、行橋南校区は「役所等の公共機関が近くにない」(57.9%)、「医療機関や介護サービスが近くにない」(47.4%)、「交通の便が悪い」(68.4)等の割合が高く、同じ圏域である行橋校区や行橋北校区とは差がみられる。

【環境・地域で困っていること】



【環境・地域で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

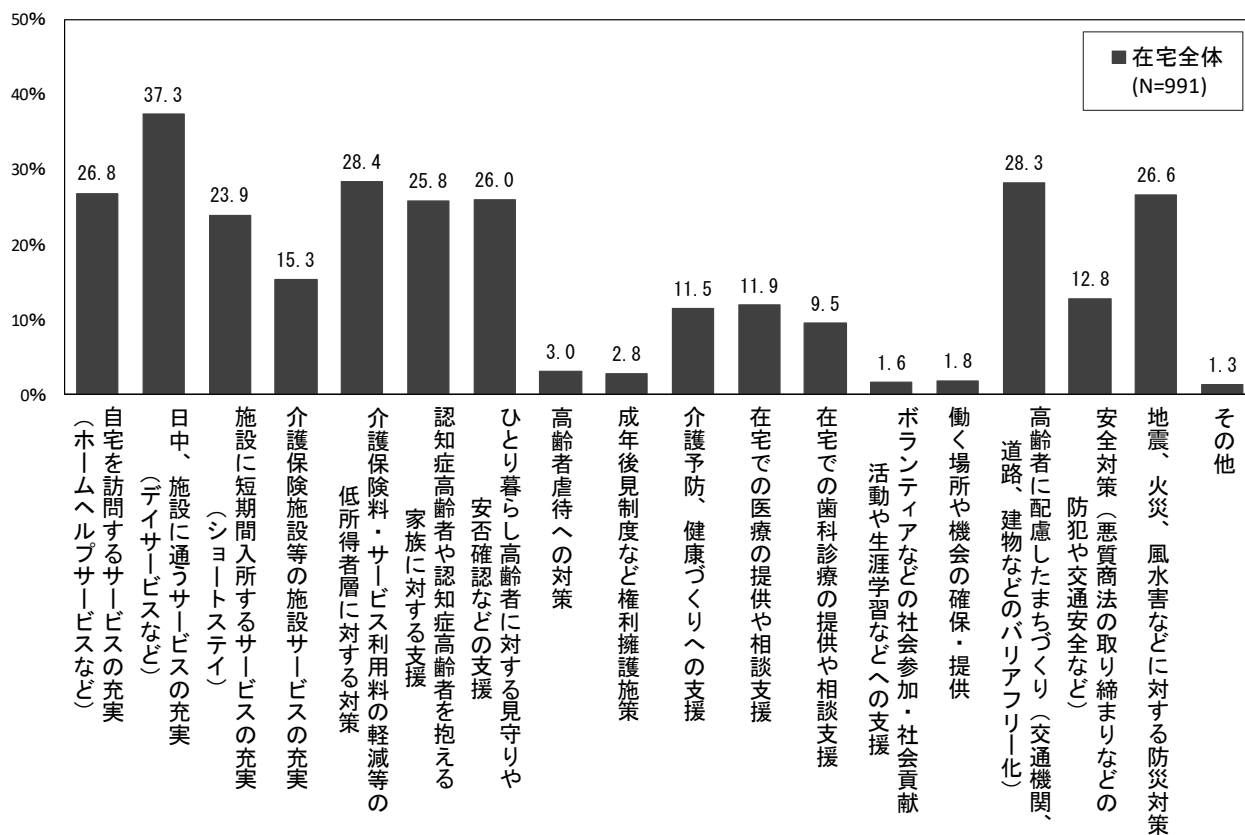
	調査数	役所等の公共機関が近くにない	(商業施設が近くにない (銀行、スーパー等))	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特 に ない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	991	28.9	33.0	13.6	35.2	9.2	10.9	2.7	33.4	
要介護度別	要支援1	326	35.6	40.2	18.1	42.9	9.5	13.2	1.8	27.6
	要支援2	208	31.7	33.2	15.9	35.1	11.1	10.6	4.3	31.3
	要介護1	231	25.1	32.9	10.0	32.5	8.2	10.4	1.3	33.8
	要介護2	113	23.9	25.7	7.1	33.6	7.1	8.0	4.4	39.8
	要介護3	73	20.5	19.2	12.3	23.3	11.0	9.6	5.5	54.8
	要介護4	20	10.0	25.0	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0	50.0
	要介護5	20	10.0	15.0	0.0	25.0	5.0	15.0	0.0	15.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	246	34.1	39.4	19.9	40.2	11.8	9.8	2.0	31.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	279	32.3	34.8	10.0	38.0	9.7	13.6	2.9	28.0
	その他の世帯	426	24.6	30.3	12.7	31.5	7.5	10.3	3.1	38.7
	無回答	40	17.5	10.0	10.0	25.0	7.5	5.0	2.5	27.5
小学校区別	行橋校区	112	16.1	13.4	3.6	11.6	7.1	7.1	1.8	51.8
	行橋北校区	107	8.4	23.4	10.3	25.2	7.5	11.2	1.9	36.4
	行橋南校区	19	57.9	63.2	47.4	68.4	5.3	26.3	0.0	26.3
	今元校区	49	46.9	51.0	28.6	67.3	14.3	14.3	0.0	16.3
	菟島校区	97	32.0	28.9	14.4	47.4	9.3	16.5	3.1	32.0
	仲津校区	64	34.4	25.0	9.4	42.2	7.8	7.8	3.1	25.0
	泉校区	129	27.9	20.9	13.2	21.7	6.2	7.0	2.3	48.8
	今川校区	107	28.0	43.0	20.6	45.8	9.3	12.1	0.0	29.0
	稗田校区	18	44.4	61.1	38.9	55.6	5.6	0.0	5.6	16.7
	樺市校区	189	34.4	51.3	8.5	37.0	10.1	11.6	2.6	23.3
	延永校区	100	33.0	25.0	15.0	33.0	15.0	11.0	9.0	33.0

7. 高齢者福祉施策全般について

(1) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「日中、施設に通うサービスの充実」が37.3%と最も高く、次いで「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(28.4%)、「高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)」(28.3%)、「自宅を訪問するサービスの充実(ホームヘルプサービスなど)」(26.8%)、「自身、火災、風水害などに対する防災対策」(26.6%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、「日中、施設に通うサービスの充実(デイサービスなど)」は要介護1・2が40%を超えて高い。要支援認定者は要介護認定者に比べて「介護予防、健康づくりへの支援」や「高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「自宅を訪問するサービスの充実(ホームヘルプサービスなど)」(39.4%)や「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(49.6%)が他の世帯構成に比べて高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】

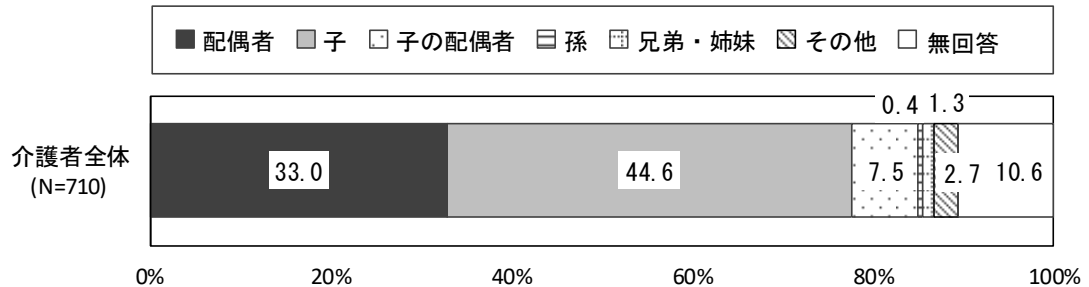


8. 主な介護者の基本属性

(1) 主な介護者の続柄

- 調査対象本人からみた主な介護者の続柄は「子」が44.6%と最も高く、次いで「配偶者」(33.0%)、「子の配偶者」(7.5%)となっている。

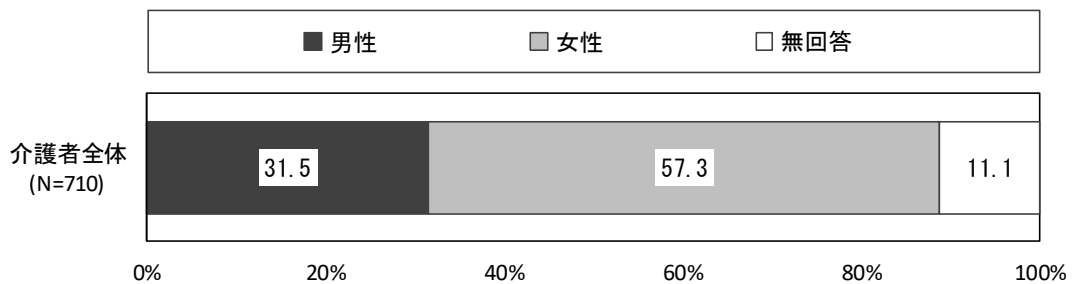
【主な介護者の続柄】



(2) 主な介護者の性別

- 主な介護者の性別は「女性」が57.3%と半数以上を占め、「男性」は31.5%となっている。

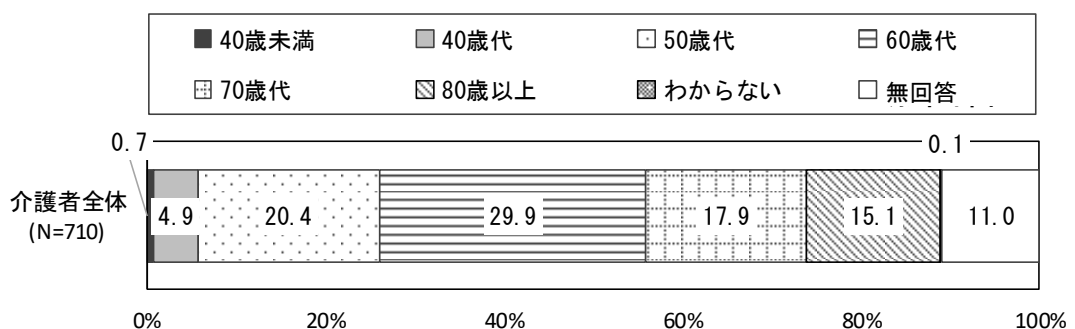
【主な介護者の性別】



(3) 主な介護者の年齢

- 主な介護者の年齢は「60歳代」が29.9%と最も高く、次いで「50歳代」(20.4%)、「70歳代」(17.9%)となっており、70歳以上が33.0%を占める。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「40歳代」(6.1%)、「50歳代」(24.3%)、「60歳代」(36.9%)の割合が高い。
- 要介護者の年齢別にみると、要介護者が70～74歳の場合「70歳代」が72.4%と非常に高い。また、要介護者が80～84歳の場合「50歳代」が35.1%と最も高いが、「80歳以上」の割合も25.9%みられる。

【主な介護者の年齢】



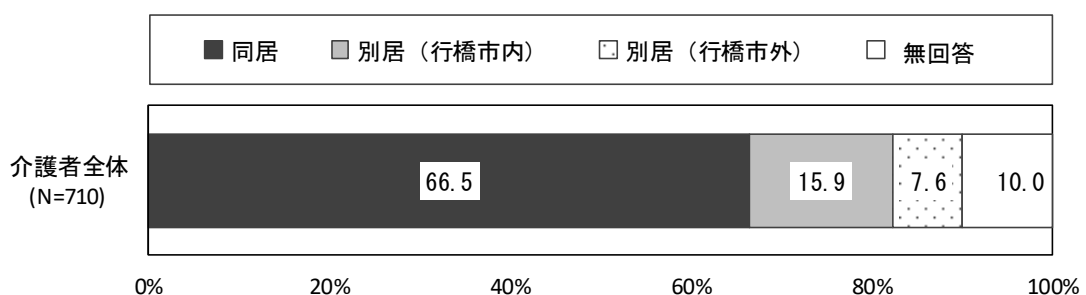
【主な介護者の年齢(主な介護者の性別・要介護者の年齢別・要介護度別)】

		調査数	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	0.7	4.9	20.4	29.9	17.9	15.1	0.1	11.0
性別	(主な介護者) 男性	224	1.8	4.0	20.1	26.3	21.9	25.0	0.0	0.9
	(主な介護者) 女性	407	0.2	6.1	24.3	36.9	18.7	11.8	0.0	2.0
	(主な介護者) 無回答	79	0.0	1.3	1.3	3.8	2.5	3.8	1.3	86.1
年齢別	(要介護者) 40～64歳	15	6.7	6.7	26.7	33.3	13.3	0.0	0.0	13.3
	(要介護者) 65～69歳	41	0.0	12.2	4.9	61.0	17.1	0.0	0.0	4.9
	(要介護者) 70～74歳	58	3.4	5.2	1.7	13.8	72.4	1.7	0.0	1.7
	(要介護者) 75～79歳	90	1.1	7.8	21.1	4.4	40.0	12.2	0.0	13.3
	(要介護者) 80～84歳	174	0.6	5.7	35.1	10.3	5.7	25.9	0.6	16.1
	(要介護者) 85歳以上	332	0.0	2.7	17.5	45.8	9.0	15.1	0.0	9.9
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	0.5	7.7	18.0	25.8	13.4	15.5	0.0	19.1
	(要介護者) 要支援2	138	2.9	6.5	20.3	34.1	13.8	15.9	0.0	6.5
	(要介護者) 要介護1	185	0.0	2.7	22.2	31.4	18.4	17.8	0.0	7.6
	(要介護者) 要介護2	100	0.0	3.0	23.0	28.0	22.0	14.0	0.0	10.0
	(要介護者) 要介護3	62	0.0	3.2	21.0	33.9	25.8	6.5	1.6	8.1
	(要介護者) 要介護4	17	0.0	5.9	17.6	29.4	23.5	17.6	0.0	5.9
	(要介護者) 要介護5	14	0.0	0.0	14.3	21.4	42.9	7.1	0.0	14.3

(4) 同居の状況

- 要介護者との同居の状況は「同居」が66.5%と最も高く、次いで「別居(行橋市内)」(15.9%)、「別居(行橋市外)」(7.6%)の順に続く。
- 主な介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(79.9%)の割合が高い。『別居』(「行橋市内」と「行橋市外」を合わせたもの)は、50歳代(43.5%)、60歳代(37.2%)が高い。
- 要介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(73.7%)の割合が高い。年齢が高くなるにつれて「同居」の割合が低く、『別居』の割合が高い。
- 要介護認定別にみると、要介護度が重くなるにつれて「同居」の割合が高く、要介護4は82.4%、要介護5は92.9%となっている。

【同居の状況】



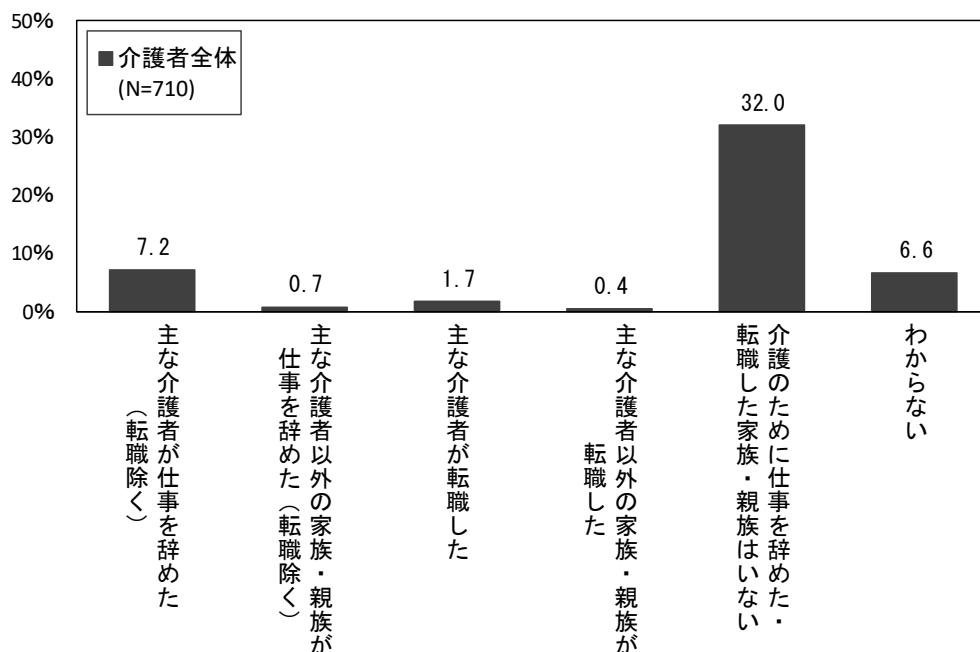
【同居の状況(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	同居	別居 (行橋市内)	別居 (行橋市外)	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	66.5	15.9	7.6	10.0
性別	(主な介護者) 男性	224	79.9	11.6	7.1	1.3
	(主な介護者) 女性	407	70.0	20.1	9.1	0.7
	(主な介護者) 無回答	79	10.1	6.3	1.3	82.3
	(要介護者) 男性	232	73.7	10.8	3.9	11.6
	(要介護者) 女性	478	63.0	18.4	9.4	9.2
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	80.0	0.0	0.0	20.0
	(主な介護者) 40歳代	35	80.0	20.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 50歳代	145	55.9	26.9	16.6	0.7
	(主な介護者) 60歳代	212	62.3	25.9	11.3	0.5
	(主な介護者) 70歳代	127	90.6	4.7	3.1	1.6
	(主な介護者) 80歳代	107	92.5	2.8	1.9	2.8
	(主な介護者) 不明	79	16.5	3.8	0.0	79.7
	(要介護者) 40～64歳	15	86.7	6.7	0.0	6.7
	(要介護者) 65～69歳	41	90.2	4.9	0.0	4.9
	(要介護者) 70～74歳	58	89.7	5.2	0.0	5.2
	(要介護者) 75～79歳	90	75.6	7.8	6.7	10.0
	(要介護者) 80～84歳	174	57.5	19.5	6.3	16.7
	(要介護者) 85歳以上	332	60.8	19.9	11.1	8.1
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	57.7	15.5	9.8	17.0
	(要介護者) 要支援2	138	58.7	23.2	11.6	6.5
	(要介護者) 要介護1	185	69.7	15.1	5.4	9.7
	(要介護者) 要介護2	100	77.0	12.0	6.0	5.0
	(要介護者) 要介護3	62	74.2	12.9	4.8	8.1
	(要介護者) 要介護4	17	82.4	17.6	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	14	92.9	0.0	0.0	7.1

(5) 仕事の離職・転職の状況

- 家族・親族等の中で、要介護者の介護を理由とした離職・転職の状況は「介護のために仕事を辞めた・転職した家族・親族はいない」が32.0%を占めて最も高い。「主な介護者が仕事を辞めた」と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」を合わせた7.9%が離職している。
- 主な介護者が男性は女性に比べて「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」(9.8%)が高い。
- 主な介護者が50歳代、60歳代は「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10%を超えて高い。

【仕事の離職・転職の状況】



【仕事の離職・転職の状況(主な介護者の性別・年齢別)】

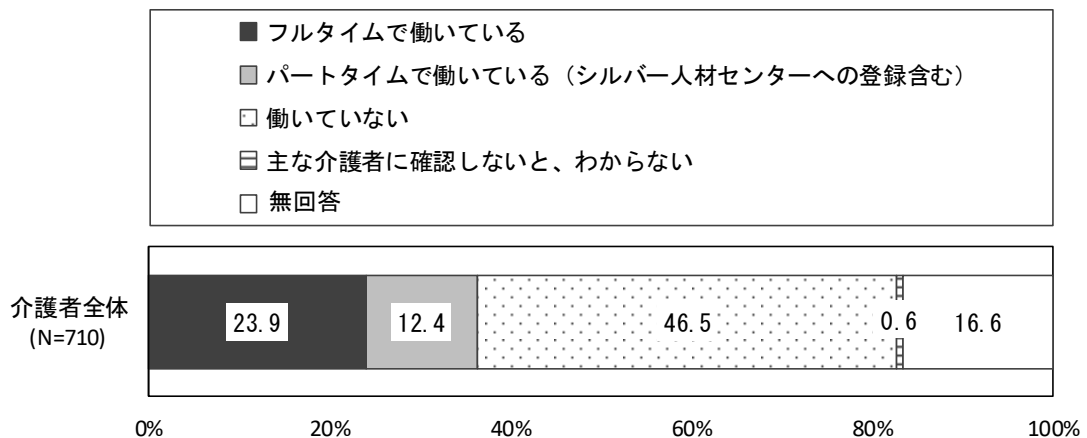
	調査数 (人)	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた・転職した家族・親族はいない	わからない	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	710	7.2	0.7	1.7	0.4	32.0	6.6	
性別	(主な介護者) 男性	224	9.8	0.9	3.1	0.4	28.6	8.5
	(主な介護者) 女性	407	6.9	0.7	1.2	0.2	39.3	6.6
	(主な介護者) 無回答	79	1.3	0.0	0.0	1.3	3.8	1.3
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	35	5.7	0.0	0.0	0.0	48.6	5.7
	(主な介護者) 50歳代	145	10.3	0.7	2.1	0.7	40.0	5.5
	(主な介護者) 60歳代	212	10.4	0.0	3.3	0.0	37.7	8.5
	(主な介護者) 70歳代	127	4.7	1.6	1.6	0.8	29.1	6.3
	(主な介護者) 80歳代	107	5.6	1.9	0.0	0.9	27.1	7.5
	(主な介護者) 不明	79	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8

9. 主な介護者の勤務形態について

(1) 主な介護者の勤務形態

- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が46.5%と最も高い。「フルタイムで働いている」(23.9%)と「パートタイムで働いている(シルバー人材センターへの登録含む)」(12.4%)を合わせると36.3%が働きながら介護を行っている。
- 主な介護者の性別にみると、男性は女性に比べて「フルタイムで働いている」(31.7%)、女性は男性に比べて「パートタイムで働いている」(16.2%)、「働いていない」(54.1%)がそれぞれ高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、「フルタイムで働いている」は40歳代(45.7%)と50歳代(47.6%)が高い。60歳以上になると「働いていない」が50%を超えて高い。

【主な介護者の勤務形態】



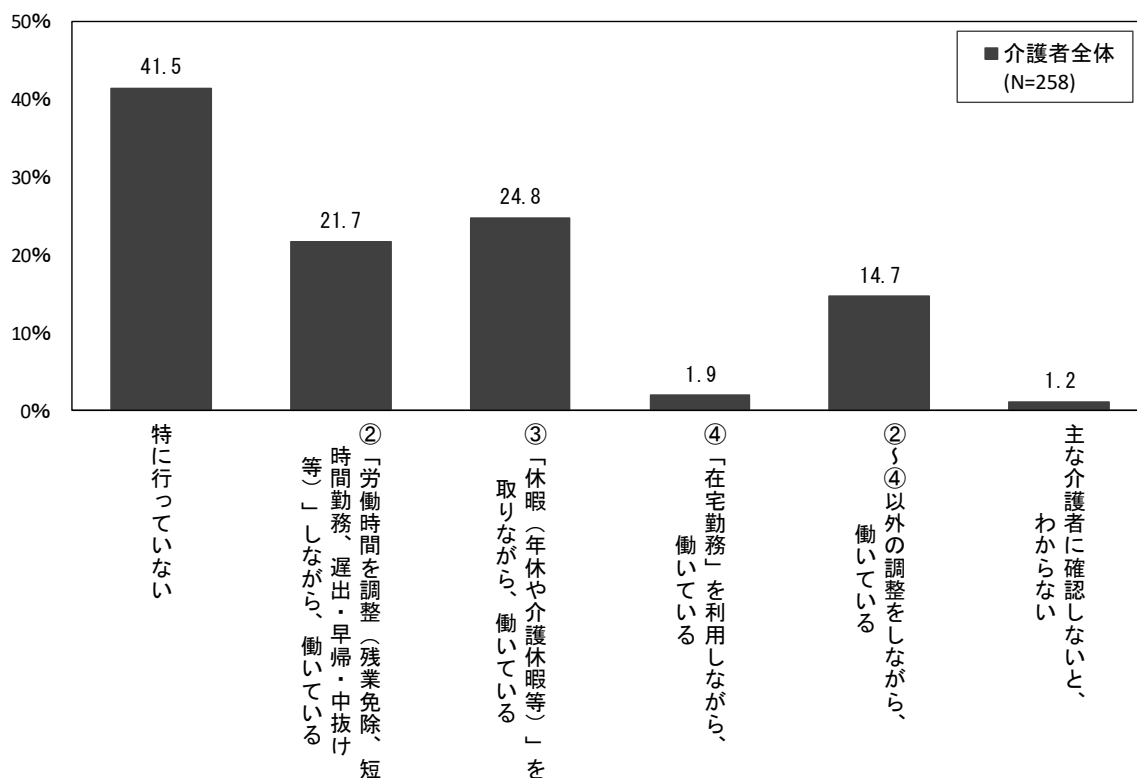
【主な介護者の勤務形態(主な介護者の性別・年齢別)】

	調査数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている (シルバー人材センターへの登録含む)	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	710	23.9	12.4	46.5	0.6	16.6	
性別	(主な介護者) 男性	224	31.7	9.4	44.6	0.0	14.3
	(主な介護者) 女性	407	22.9	16.2	54.1	1.0	5.9
	(主な介護者) 無回答	79	7.6	1.3	12.7	0.0	78.5
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	(主な介護者) 40歳代	35	45.7	25.7	22.9	0.0	5.7
	(主な介護者) 50歳代	145	47.6	19.3	24.8	1.4	6.9
	(主な介護者) 60歳代	212	26.9	15.1	50.9	0.5	6.6
	(主な介護者) 70歳代	127	9.4	9.4	71.7	0.8	8.7
	(主な介護者) 80歳代	107	7.5	1.9	71.0	0.0	19.6
	(主な介護者) 不明	79	7.6	3.8	13.9	0.0	74.7

(2) 働き方の調整等の有無

- 働いている主な介護者のうち、働き方の調整等は「特に行っていない」が41.5%と最も高く、何らかの調整等を行っている人は「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（24.8%）、「②労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」（21.7%）が高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「特に行っていない」（46.5%）、「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（27.1%）の割合が高い。

【働き方の調整等の有無】



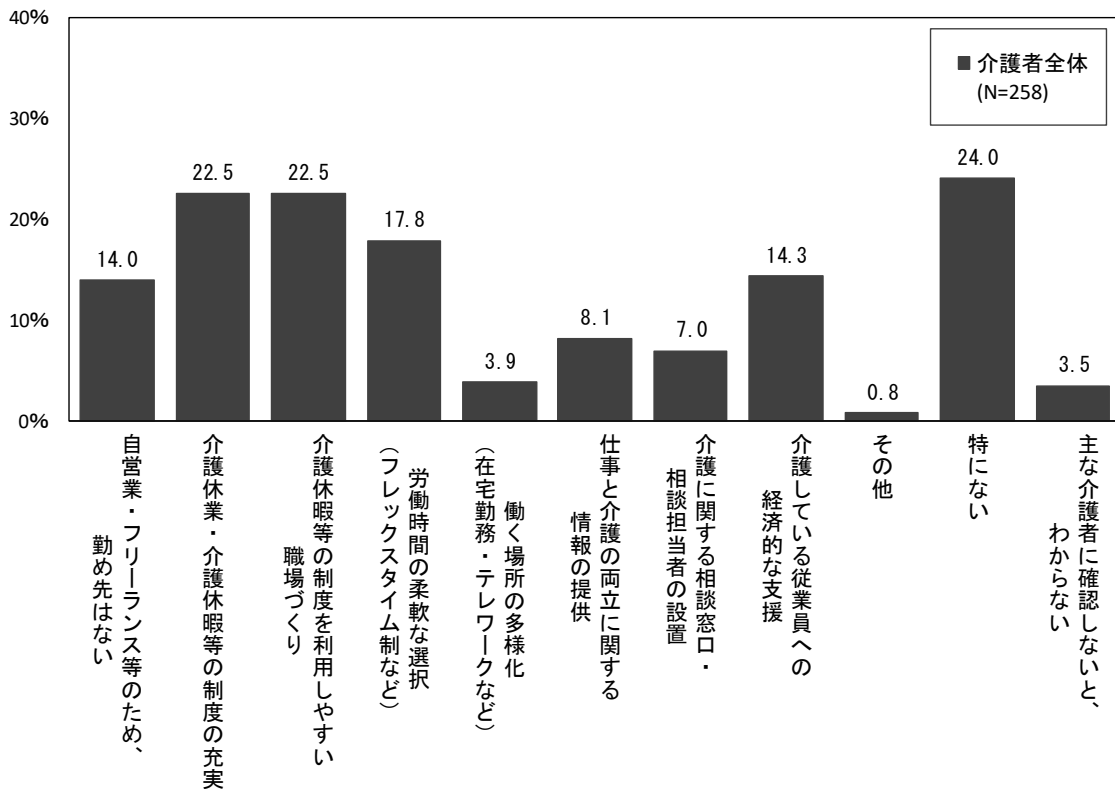
【働き方の調整等の有無（主な介護者の勤務形態別）】

勤務形態	調査数	特に行っていない	②「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	③「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	④「在宅勤務」を利用しながら、働いている	②④以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	258	41.5	21.7	24.8	1.9	14.7	1.2
(主な介護者)フルタイム勤務	170	46.5	15.9	27.1	1.8	11.2	1.2
(主な介護者)パートタイム勤務	88	31.8	33.0	20.5	2.3	21.6	1.1

(3) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援は、「特にない」が24.0%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(22.5%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(17.8%)、「介護している従業員への経済的な支援」(14.3%)の順に高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(28.8%)、「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(26.5%)の割合が10ポイント以上高い一方、パートタイム勤務はフルタイム勤務より「特にない」(39.8%)が顕著に高い。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援】



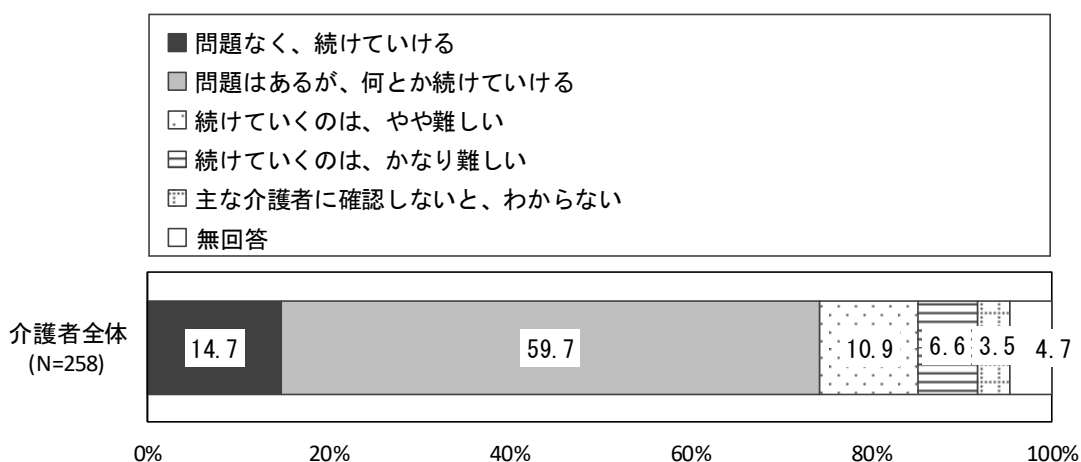
【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(主な介護者の勤務形態別)】

	調査数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護している従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	258	14.0	22.5	22.5	17.8	3.9	8.1	7.0	14.3	0.8	24.0	3.5	
勤務形態	(主な介護者)フルタイム勤務	170	17.1	28.8	26.5	18.2	5.3	8.2	6.5	15.3	0.6	15.9	3.5
	(主な介護者)パートタイム勤務	88	8.0	10.2	14.8	17.0	1.1	8.0	8.0	12.5	1.1	39.8	3.4

(4) 介護と就労の両立の見込み

- 今後も働きながら介護を続けていくことの見込みについて「問題があるが、何とか続けていける」が 59.7%と最も高く、「問題なく、続けていける」(14.7%)を合わせた『就労継続可能』の割合は 74.4%となっている。一方、「続けていくのは、やや難しい」(10.9%)と「続けていくのは、かなり難しい」(6.6%)を合わせた『就労継続困難』は 17.5%となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、『就労継続可能』は、フルタイム勤務が 72.9%、パートタイム勤務は 77.2%とパートタイム勤務の方が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、『就労継続困難』の割合は要介護2が 29.1%と他の要介護度別に比べて高く、要介護3以上になるとその割合は低くなる。

【介護と就労の両立の見込み】



【介護と就労の両立の見込み(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・要介護者の要介護度別)】

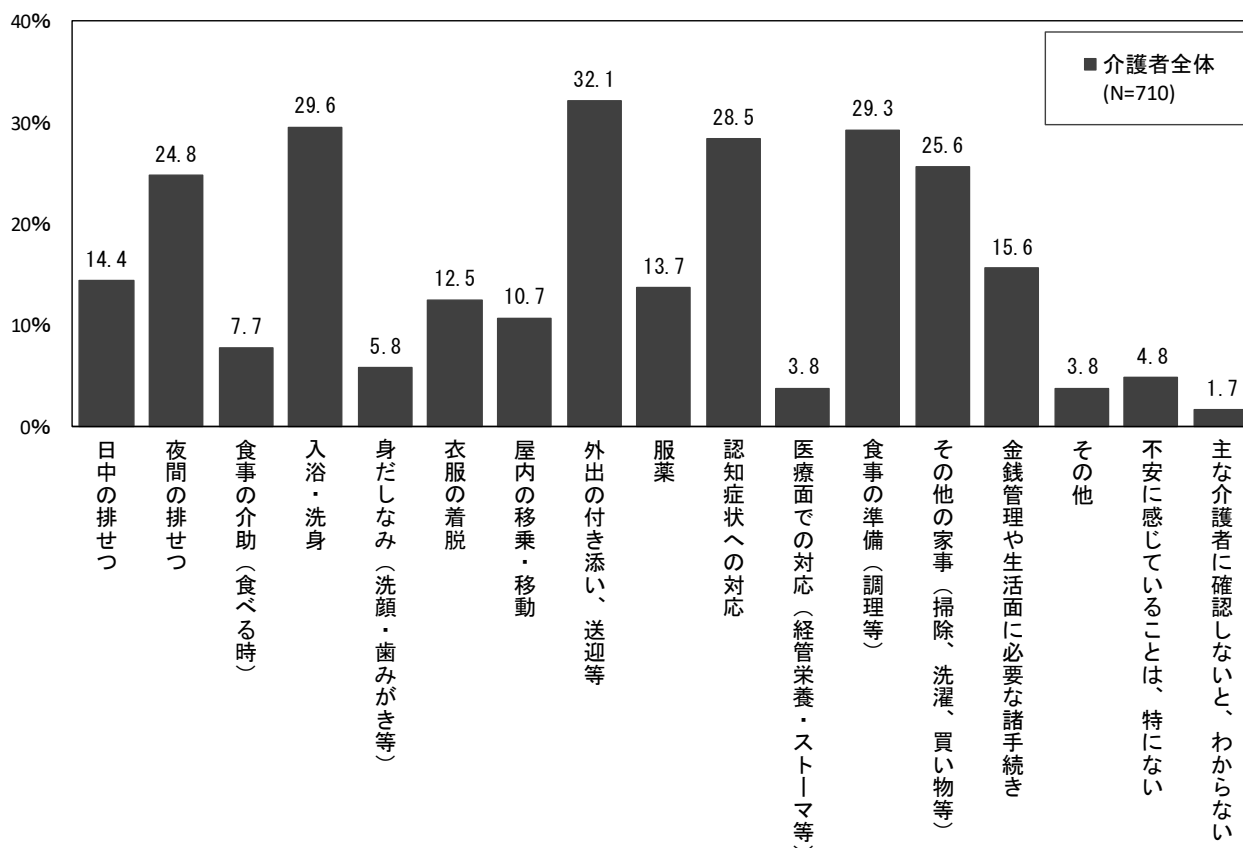
		調査数	問題なく、 続けていける	問題は あるが、 何とか 続けて いける	続け ていく のは、 やや 難し い	続け ていく のは、 かなり 難し い	主な 介護 者に 確認 しな いと、 わか らな い	無 回 答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		258	14.7	59.7	10.9	6.6	3.5	4.7
性別	(主な介護者) 男性	92	16.3	59.8	10.9	6.5	3.3	3.3
	(主な介護者) 女性	159	14.5	61.6	10.1	5.7	3.1	5.0
	(主な介護者) 無回答	7	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	25	28.0	56.0	4.0	8.0	0.0	4.0
	(主な介護者) 50歳代	97	14.4	64.9	5.2	6.2	3.1	6.2
	(主な介護者) 60歳代	89	13.5	58.4	13.5	4.5	5.6	4.5
	(主な介護者) 70歳代	24	0.0	66.7	16.7	12.5	4.2	0.0
	(主な介護者) 80歳代	10	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0
	(主な介護者) 不明	9	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0
形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	170	13.5	59.4	10.0	7.6	3.5	5.9
	(主な介護者) パートタイム勤務	88	17.0	60.2	12.5	4.5	3.4	2.3
要介護度別	(要介護者) 要支援1	77	16.9	63.6	3.9	5.2	3.9	6.5
	(要介護者) 要支援2	57	17.5	57.9	12.3	3.5	7.0	1.8
	(要介護者) 要介護1	66	12.1	59.1	13.6	9.1	1.5	4.5
	(要介護者) 要介護2	31	12.9	45.2	19.4	9.7	3.2	9.7
	(要介護者) 要介護3	20	5.0	75.0	15.0	5.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護4	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0

10. 介護について

(1) 介護者が不安に感じる介護等

- 主な介護者が不安に感じる介護等は「外出の付き添い」が32.1%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(29.6%)、「食事の準備(調理等)」(29.3%)、「認知症状への対応」(28.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(25.6%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務に比べて「不安に感じていることは、特にない」(8.0%)が高い。また、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」(35.9%)、「食事の準備(調理等)」(34.7%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(28.8%)が特に高い。無職の介護者は、就労者に比べて「夜間の排せつ」(29.4%)や「外出の付き添い、送迎等」(38.2%)、「服薬」(17.0%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(30.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(19.4%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』はほとんどの項目が『就労継続可能』の割合より高く、特に「日中の排せつ」(24.4%)、「夜間の排せつ」(33.3%)、「服薬」(22.2%)、「認知症状への対応」(42.2%)、「食事の準備(調理等)」(44.4%)が高い。これらの介護等の不安が、今後の就労継続見込に影響していると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、要介護認定者はほとんどの項目が要支援認定者の割合より高い。「認知症状への対応」は要介護1(41.6%)が40%を超えている。また、「服薬」は要介護度が軽い方が割合は高い。

【不安に感じる介護等】



【不安に感じる介護等(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)】

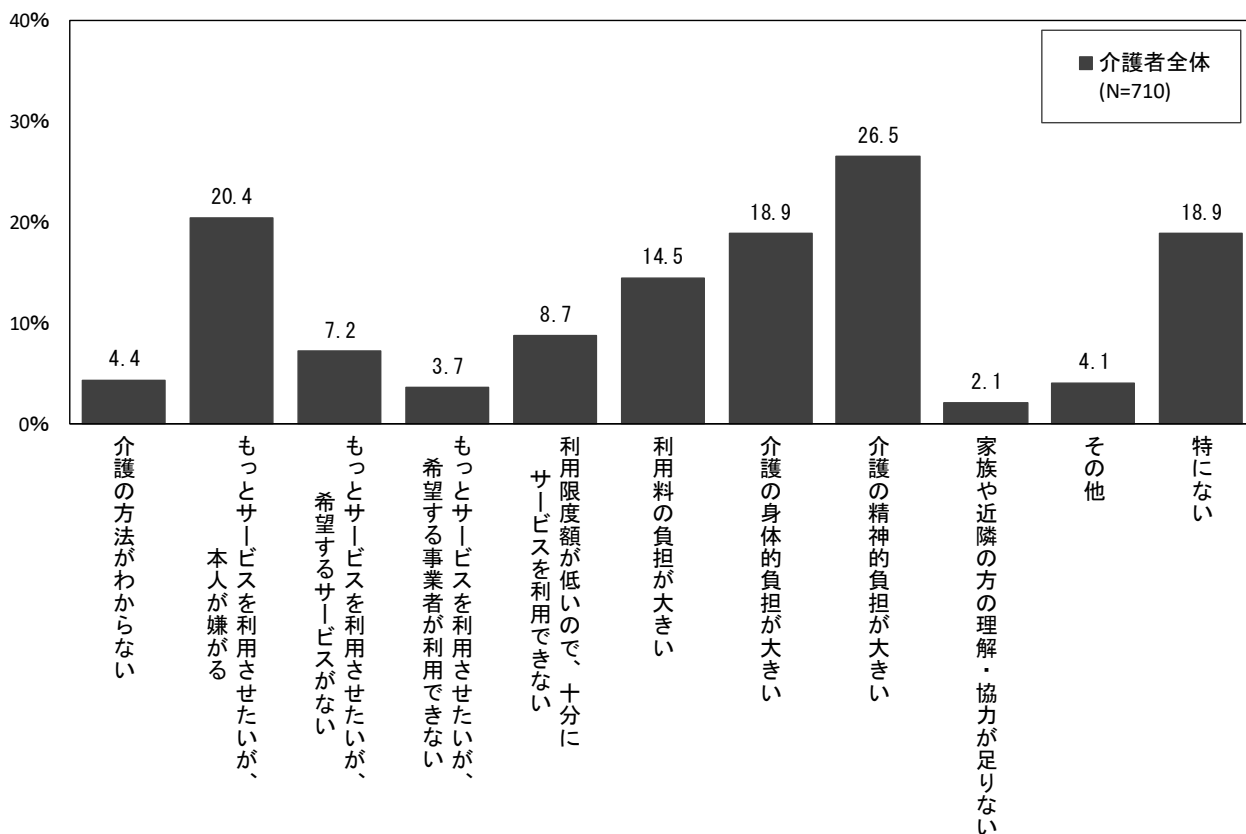
		調査数	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だしなみ(洗面・歯みがき等)	衣服の着脱	動屋内の移乗・移	外出の付き添い、送迎等	服薬
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	14.4	24.8	7.7	29.6	5.8	12.5	10.7	32.1	13.7
性別	(主な介護者) 男性	224	13.8	25.0	8.0	30.4	6.7	13.4	9.8	32.1	11.6
	(主な介護者) 女性	407	16.7	28.0	8.4	33.2	5.9	13.8	12.5	36.4	16.7
	(主な介護者) 無回答	79	3.8	7.6	3.8	8.9	2.5	3.8	3.8	10.1	3.8
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	35	22.9	25.7	0.0	25.7	2.9	2.9	11.4	22.9	5.7
	(主な介護者) 50歳代	145	20.0	25.5	8.3	30.3	8.3	10.3	15.2	33.1	15.9
	(主な介護者) 60歳代	212	16.5	30.7	7.1	34.9	3.3	8.5	11.8	35.8	12.7
	(主な介護者) 70歳代	127	15.0	28.3	9.4	33.9	8.7	24.4	12.6	44.1	15.7
	(主な介護者) 80歳代	107	6.5	18.7	10.3	29.0	7.5	20.6	7.5	33.6	19.6
	(主な介護者) 不明	79	5.1	10.1	6.3	8.9	2.5	2.5	1.3	5.1	5.1
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	170	17.1	24.7	10.6	35.9	6.5	8.8	12.4	35.9	15.3
	(主な介護者) パートタイム勤務	88	20.5	28.4	4.5	29.5	3.4	9.1	11.4	30.7	13.6
	(主な介護者) 無職	330	15.5	29.4	8.5	33.0	7.0	16.7	12.7	38.2	17.0
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	192	17.7	24.5	8.9	33.3	4.7	7.3	12.5	32.3	13.0
	(主な介護者) 就労継続困難	45	24.4	33.3	11.1	37.8	11.1	20.0	13.3	35.6	22.2
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	9.3	15.5	4.1	24.7	2.6	8.8	8.2	29.9	12.9
	(要介護者) 要支援2	138	10.1	15.9	5.1	30.4	3.6	6.5	13.8	39.9	13.0
	(要介護者) 要介護1	185	16.2	28.6	8.1	29.2	9.2	15.1	8.6	31.4	18.4
	(要介護者) 要介護2	100	20.0	36.0	14.0	42.0	8.0	21.0	9.0	29.0	15.0
	(要介護者) 要介護3	62	24.2	43.5	8.1	27.4	4.8	14.5	19.4	33.9	6.5
	(要介護者) 要介護4	17	23.5	23.5	23.5	29.4	11.8	23.5	17.6	11.8	5.9
(要介護者) 要介護5	14	7.1	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	35.7	0.0	

		調査数	認知症症状への対応	医療面での対応(経管栄養・スーパ等)	食事の準備(調理等)	買物(掃除、洗濯等)	その他の家事(掃除、洗濯等)	金銭管理や生活に必要な諸手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者に確認しないこと
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	28.5	3.8	29.3	25.6	15.6	3.8	4.8	1.7	
性別	(主な介護者) 男性	224	27.7	3.1	33.9	28.1	15.2	4.5	6.7	1.3	
	(主な介護者) 女性	407	33.4	4.9	30.7	27.0	18.4	4.2	3.7	2.2	
	(主な介護者) 無回答	79	5.1	0.0	8.9	11.4	2.5	0.0	5.1	0.0	
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	
	(主な介護者) 40歳代	35	31.4	2.9	25.7	14.3	17.1	5.7	14.3	2.9	
	(主な介護者) 50歳代	145	41.4	6.2	31.0	30.3	18.6	5.5	4.1	2.8	
	(主な介護者) 60歳代	212	33.5	1.9	27.4	23.1	17.0	3.8	4.7	1.4	
	(主な介護者) 70歳代	127	21.3	4.7	37.8	28.3	16.5	3.1	3.9	0.8	
	(主な介護者) 80歳代	107	26.2	6.5	37.4	33.6	15.9	3.7	3.7	1.9	
	(主な介護者) 不明	79	6.3	0.0	8.9	13.9	3.8	0.0	2.5	1.3	
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	170	34.1	3.5	34.7	28.8	15.3	2.9	4.1	2.9	
	(主な介護者) パートタイム勤務	88	36.4	5.7	28.4	18.2	18.2	3.4	8.0	0.0	
	(主な介護者) 無職	330	30.3	4.2	33.6	30.0	19.4	4.5	4.8	1.8	
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	192	35.9	4.7	29.7	25.0	16.1	3.6	6.3	1.6	
	(主な介護者) 就労継続困難	45	42.2	4.4	44.4	26.7	20.0	2.2	0.0	0.0	
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	18.0	3.1	27.3	28.4	15.5	2.1	6.7	4.1	
	(要介護者) 要支援2	138	21.0	4.3	34.1	31.9	17.4	2.2	7.2	0.7	
	(要介護者) 要介護1	185	41.6	2.2	32.4	23.8	14.6	4.3	3.2	0.5	
	(要介護者) 要介護2	100	36.0	3.0	22.0	25.0	19.0	5.0	2.0	1.0	
	(要介護者) 要介護3	62	33.9	6.5	30.6	19.4	16.1	6.5	3.2	0.0	
	(要介護者) 要介護4	17	23.5	11.8	23.5	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9	
(要介護者) 要介護5	14	0.0	14.3	21.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0		

(2) 介護を行う上で、困っていること

- 介護を行う上で、困っていることは「介護の精神的負担が大きい」が26.5%と最も高く、次いで「もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる」(20.4%)、「介護の身体的負担が大きい」「特にない」(18.9%)、「利用料の負担が大きい」(14.5%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「介護の精神的負担が大きい」(32.7%)が約10ポイント高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、若いほど「介護の精神的負担が大きい」の割合が高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、大きな差はみられないが、フルタイム勤務やパートタイム勤務は、無職に比べて「利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない」の割合が高い。一方、無職はフルタイム勤務やパートタイム勤務に比べて「介護の身体的負担が大きい」(25.5%)、「介護の精神的負担が大きい」(32.7%)が顕著に高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』はほとんどの項目が『就労継続可能』の割合より高く、特に「もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる」(31.1%)、「介護の身体的負担が大きい」(26.7%)、「介護の精神的負担が大きい」(46.7%)、「家族や近隣の方の理解・協力が足りない」(13.3%)に差がみられる。
- 要介護者の要介護度別にみると、「介護の身体的負担が大きい」は要介護2以上になると30%前後となり、要介護5では35.7%と高い。また、要介護3は「介護の精神的負担が大きい」(43.5%)が40%を超えて高い。

【介護を行う上で、困っていること】



【介護を行う上で、困っていること】

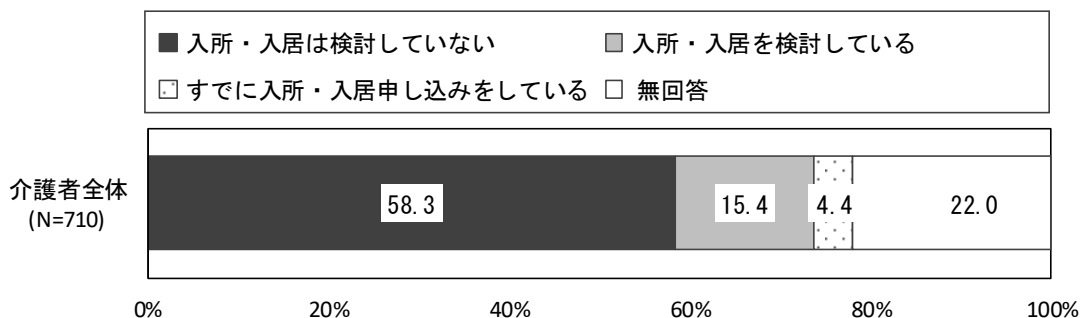
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

	調査数	介護の方法がわからない	もっと本人が嫌がる	もっとサービスを利用させたい	もっとサービスを利用させたい	もっとサービスを利用させたい	利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない	利用料の負担が大きい	介護の身体的負担が大きい	介護の精神的負担が大きい	家族や近隣の方の理解・協力が足りない	その他	特にない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	710	4.4	20.4	7.2	3.7	8.7	14.5	18.9	26.5	2.1	4.1	18.9	
性別	(主な介護者) 男性	224	5.4	19.2	6.3	4.5	10.7	19.2	17.9	22.8	2.7	3.6	20.5
	(主な介護者) 女性	407	4.7	23.3	8.8	3.9	8.8	13.8	21.6	32.7	2.2	4.9	20.6
	(主な介護者) 無回答	79	0.0	8.9	1.3	0.0	2.5	5.1	7.6	5.1	0.0	1.3	5.1
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
	(主な介護者) 40歳代	35	11.4	22.9	2.9	8.6	11.4	11.4	20.0	34.3	5.7	5.7	25.7
	(主な介護者) 50歳代	145	4.8	24.1	10.3	5.5	8.3	16.6	19.3	29.0	1.4	6.9	18.6
	(主な介護者) 60歳代	212	5.2	25.0	9.4	1.9	9.9	15.6	14.6	27.8	2.8	4.2	24.1
	(主な介護者) 70歳代	127	3.9	17.3	7.1	6.3	7.9	15.0	26.0	33.1	0.8	2.4	18.1
	(主な介護者) 80歳代	107	2.8	18.7	4.7	2.8	9.3	15.9	29.9	27.1	3.7	2.8	19.6
	(主な介護者) 不明	79	0.0	7.6	0.0	0.0	6.3	6.3	3.8	2.5	0.0	1.3	2.5
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	170	4.7	22.9	11.2	4.7	12.9	15.3	16.5	26.5	2.9	4.7	19.4
	(主な介護者) パートタイム勤務	88	5.7	18.2	6.8	5.7	12.5	14.8	12.5	28.4	2.3	6.8	23.9
	(主な介護者) 無職	330	4.5	24.2	6.7	3.9	8.2	15.2	25.5	32.7	1.8	4.2	21.8
就労見込	(主な介護者) 就労継続可能	192	4.7	20.3	9.4	5.2	14.1	15.6	13.5	25.5	0.5	4.7	23.4
	(主な介護者) 就労継続困難	45	6.7	31.1	13.3	6.7	8.9	15.6	26.7	46.7	13.3	8.9	2.2
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	4.6	12.9	6.7	3.6	13.4	7.2	9.3	12.9	1.0	2.6	23.7
	(要介護者) 要支援2	138	5.1	21.0	8.7	2.9	11.6	13.8	13.8	21.0	2.2	2.9	24.6
	(要介護者) 要介護1	185	2.7	26.5	6.5	3.2	6.5	18.9	18.4	33.5	2.7	5.4	13.5
	(要介護者) 要介護2	100	4.0	31.0	4.0	1.0	2.0	17.0	32.0	35.0	3.0	5.0	18.0
	(要介護者) 要介護3	62	6.5	16.1	11.3	9.7	4.8	14.5	33.9	43.5	3.2	6.5	12.9
	(要介護者) 要介護4	17	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8	35.3	29.4	35.3	0.0	5.9	5.9
	(要介護者) 要介護5	14	0.0	0.0	14.3	14.3	7.1	21.4	35.7	28.6	0.0	0.0	14.3

(3) 施設等への入所・入居の検討状況

- 施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が58.3%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(15.4%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(4.4%)となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務や無職に比べて「入所・入居を検討している」(22.4%)や「すでに入所・入居申し込みをしている」(13.5%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「入所・入居は検討していない」(44.4%)が低く、「入所・入居を検討している」(35.6%)が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」は要介護1・2では18%台となり、要介護3以上は20%を超えて高い。また、要介護3・4は「すでに入所・入居申し込みをしている」が10%を超えて高い。

【施設等への入所・入居の検討状況】



【施設等への入所・入居の検討状況】

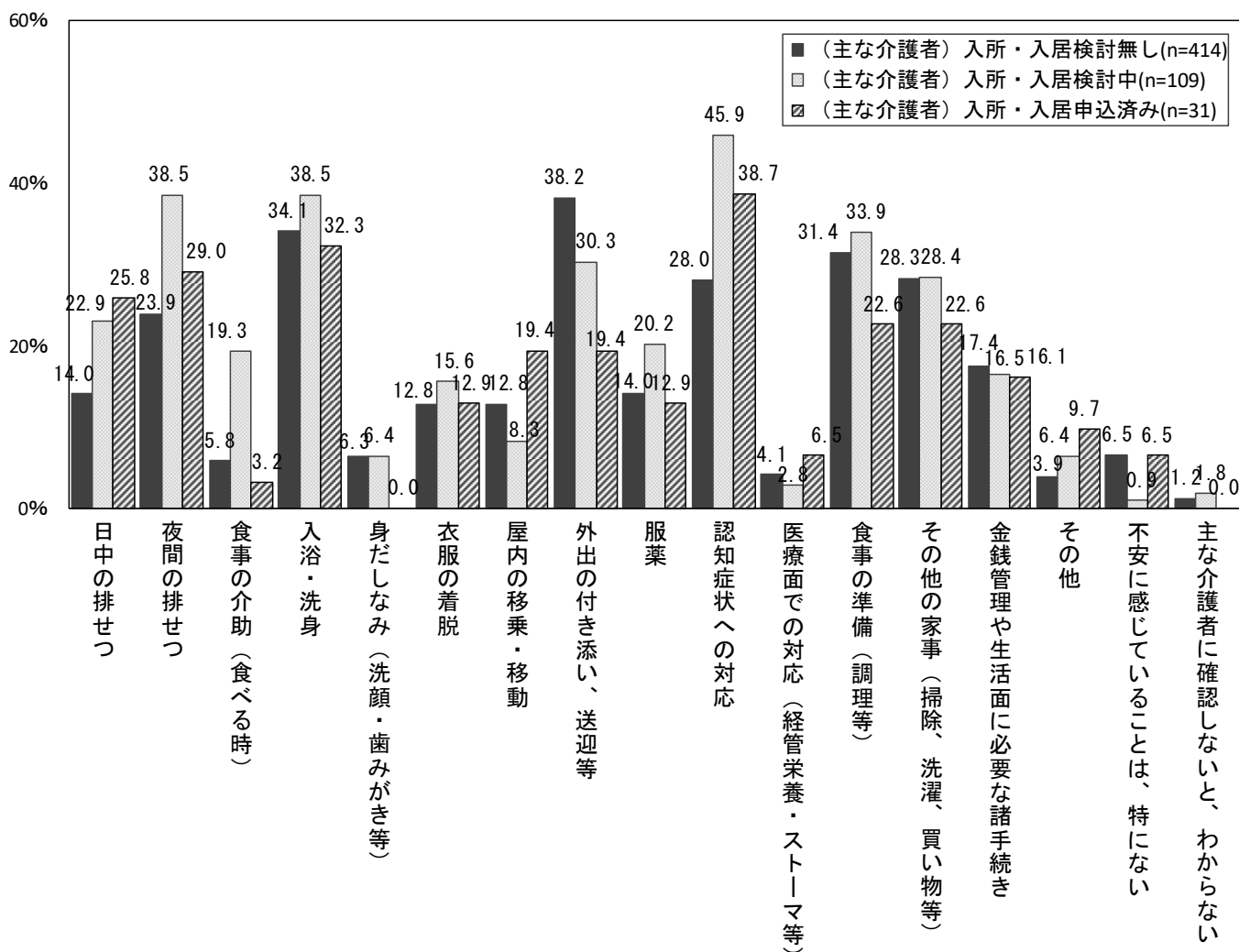
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	て入所・入居は検討し	て入所・入居を検討し	しすでに入所・入居申	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		710	58.3	15.4	4.4	22.0
性別	(主な介護者) 男性	224	57.6	18.3	4.0	20.1
	(主な介護者) 女性	407	67.6	15.7	4.9	11.8
	(主な介護者) 無回答	79	12.7	5.1	2.5	79.7
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	60.0	20.0	0.0	20.0
	(主な介護者) 40歳代	35	68.6	17.1	8.6	5.7
	(主な介護者) 50歳代	145	64.1	18.6	6.9	10.3
	(主な介護者) 60歳代	212	68.4	15.1	5.7	10.8
	(主な介護者) 70歳代	127	65.4	14.2	1.6	18.9
	(主な介護者) 80歳代	107	53.3	20.6	1.9	24.3
	(主な介護者) 不明	79	11.4	3.8	2.5	82.3
形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	170	57.6	22.4	6.5	13.5
	(主な介護者) パートタイム勤務	88	68.2	17.0	3.4	11.4
	(主な介護者) 無職	330	69.7	14.2	3.9	12.1
見就込労	(主な介護者) 就労継続可能	192	65.1	17.7	6.3	10.9
	(主な介護者) 就労継続困難	45	44.4	35.6	4.4	15.6
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	55.2	10.3	1.5	33.0
	(要介護者) 要支援2	138	67.4	11.6	3.6	17.4
	(要介護者) 要介護1	185	56.2	18.4	4.9	20.5
	(要介護者) 要介護2	100	62.0	18.0	2.0	18.0
	(要介護者) 要介護3	62	51.6	21.0	14.5	12.9
	(要介護者) 要介護4	17	47.1	23.5	17.6	11.8
	(要介護者) 要介護5	14	57.1	28.6	0.0	14.3

第4章 在宅要介護認定者用調査

- 施設等への入所・入居の検討状況別に不安を感じる介護等の内容をみると、入所・入居検討中の人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居申込済みの人より、ほとんどの項目の割合が高く、特に「夜間の排せつ」(38.5%)や「食事の介助(食べる時)」(19.3%)、「認知症状への対応」(45.9%)に大きく差がみられる。
- 入所・入居申込済みの人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居検討中の人より「日中の排せつ」(25.8%)、「屋内の移乗・移動」(19.4%)、「医療面での対応(経管栄養・ストーマ等)」(6.5%)の割合が高い。
- 入所・入居検討無しの方は「外出の付き添い、送迎等」(38.2%)への不安が高い。

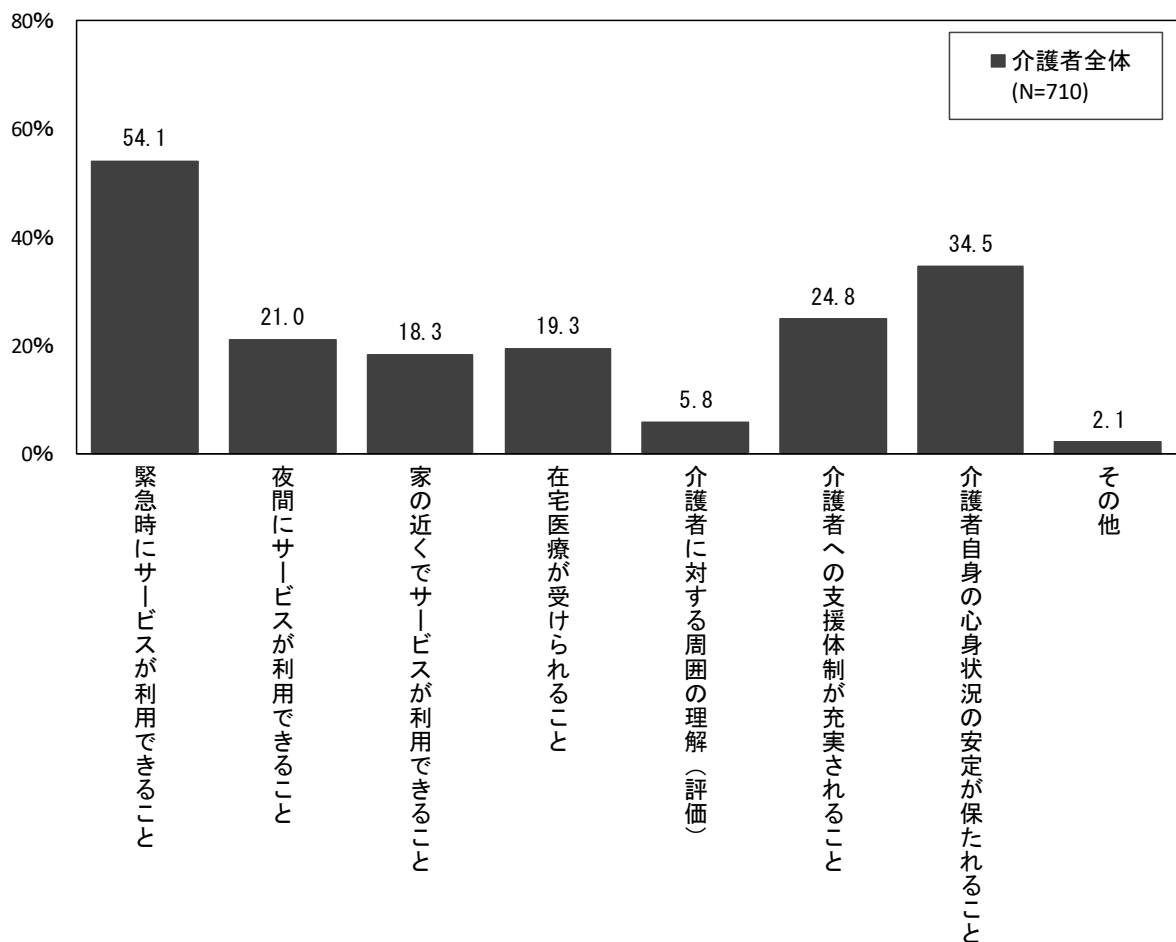
【不安を感じる介護等(主な介護者の施設等への入所・入居検討状況別)】



(4) 在宅介護を続けるために重要なこと

- 在宅介護を続けていくために重要なことは「緊急時にサービスが利用できること」が54.1%と最も高く半数を超えている。次いで、「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」(34.5%)、「介護者への支援体制が充実されること」(24.8%)、「夜間にサービスが利用できること」(21.0%)の順に続く。
- 主な介護者の年齢別にみると、若いほど「介護者に対する周囲の理解(評価)」や「介護者への支援体制が充実されること」の割合が高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務や無職に比べて「夜間にサービスが利用できること」「介護者への支援体制が充実されること」の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「介護者に対する周囲の理解(評価)」(13.3%)や「介護者への支援体制が充実されること」(46.7%)、「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」(55.6%)など、介護者に対する支援や理解の少なさが、就労継続を困難を生じていると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、「緊急時にサービスが利用できること」は要介護1～3で60%を超えて高い。また、要介護度が重くなるにつれて「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」の割合が高い。

【在宅介護を続けていくために重要なこと】



【在宅介護を続けていくために重要なこと】

(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

	調査数	緊急時にサービスが利用できること	夜間にサービスが利用できること	家の近くでサービスが利用できること	在宅医療が受けられること	介護者に対する周囲の理解(評価)	介護者への支援体制が充実されること	介護者自身の心身状況の安定が保たれること	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	710	54.1	21.0	18.3	19.3	5.8	24.8	34.5	2.1	
性別	(主な介護者) 男性	224	55.4	18.8	17.4	19.6	6.3	26.8	34.8	2.2
	(主な介護者) 女性	407	61.4	24.8	20.9	21.1	6.6	27.5	39.8	2.5
	(主な介護者) 無回答	79	12.7	7.6	7.6	8.9	0.0	5.1	6.3	0.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	5	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	35	57.1	22.9	25.7	11.4	8.6	25.7	37.1	0.0
	(主な介護者) 50歳代	145	62.1	30.3	15.9	20.0	8.3	33.1	36.6	0.0
	(主な介護者) 60歳代	212	64.2	24.1	16.0	22.6	5.7	31.1	37.3	0.0
	(主な介護者) 70歳代	127	56.7	19.7	30.7	23.6	7.1	22.0	43.3	0.0
	(主な介護者) 80歳代	107	53.3	14.0	19.6	17.8	4.7	18.7	33.6	0.0
	(主な介護者) 不明	79	8.9	7.6	5.1	7.6	0.0	5.1	8.9	1.3
	形態勤務	(主な介護者) フルタイム勤務	170	59.4	25.3	19.4	16.5	7.6	35.9	35.3
(主な介護者) パートタイム勤務		88	55.7	23.9	20.5	20.5	5.7	27.3	43.2	3.4
(主な介護者) 無職		330	62.4	22.7	21.5	22.7	6.7	24.8	39.1	2.1
見就込労	(主な介護者) 就労継続可能	192	61.5	25.5	21.9	17.2	5.2	30.7	35.4	2.6
	(主な介護者) 就労継続困難	45	53.3	24.4	17.8	20.0	13.3	46.7	55.6	0.0
要介護度別	(要介護者) 要支援1	194	42.3	17.0	18.6	20.1	4.6	21.6	24.2	2.1
	(要介護者) 要支援2	138	51.4	22.5	16.7	18.1	3.6	28.3	31.2	2.9
	(要介護者) 要介護1	185	62.2	25.4	21.1	14.6	4.9	27.0	35.1	0.0
	(要介護者) 要介護2	100	60.0	20.0	15.0	22.0	8.0	20.0	43.0	2.0
	(要介護者) 要介護3	62	69.4	24.2	16.1	30.6	12.9	32.3	48.4	3.2
	(要介護者) 要介護4	17	41.2	5.9	23.5	23.5	11.8	17.6	47.1	5.9
	(要介護者) 要介護5	14	42.9	14.3	21.4	7.1	0.0	14.3	64.3	14.3

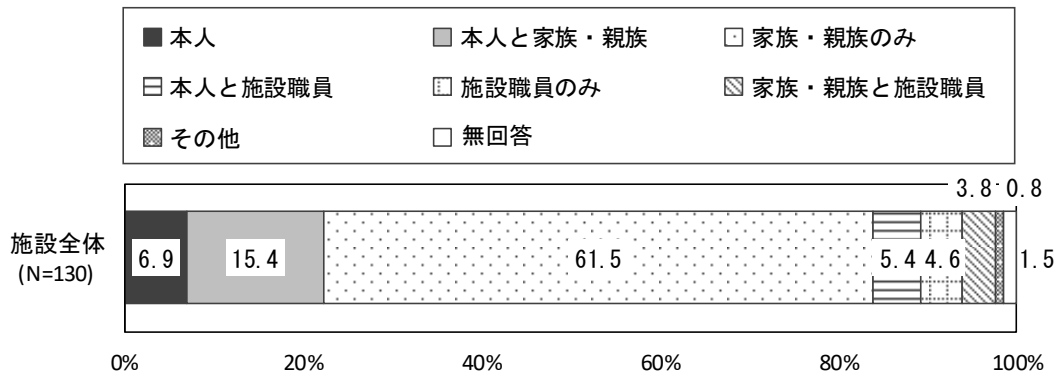
第5章 施設・居住系サービス利用者用調査

1. 回答者の基本属性

(1) 調査の回答者

- 「家族・親族のみ」が61.5%と最も高い。また、「本人」「本人と家族・親族」「本人と施設職員」を合わせた、本人を含む回答は27.7%となっている。

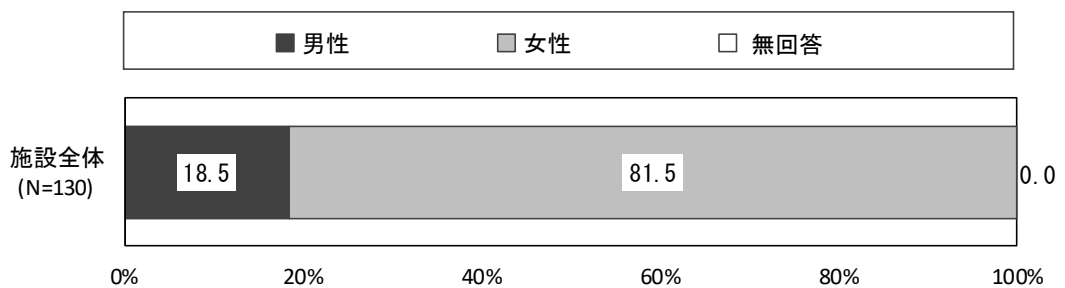
【調査の回答者】



(2) 性別

- 「女性」が81.5%と大多数を占めており、「男性」は18.5%となっている。

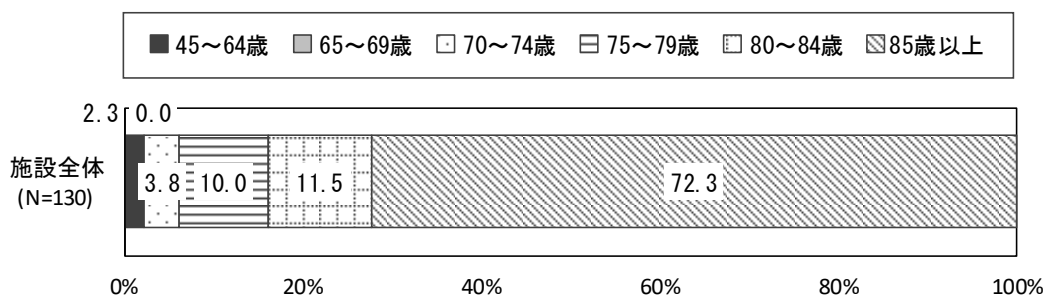
【性別】



(3) 年齢

- 「85歳以上」が72.3%と最も高く、次いで「80～84歳」(11.5%)、「75～79歳」(10.0%)と後期高齢者が93.8%を占めている。

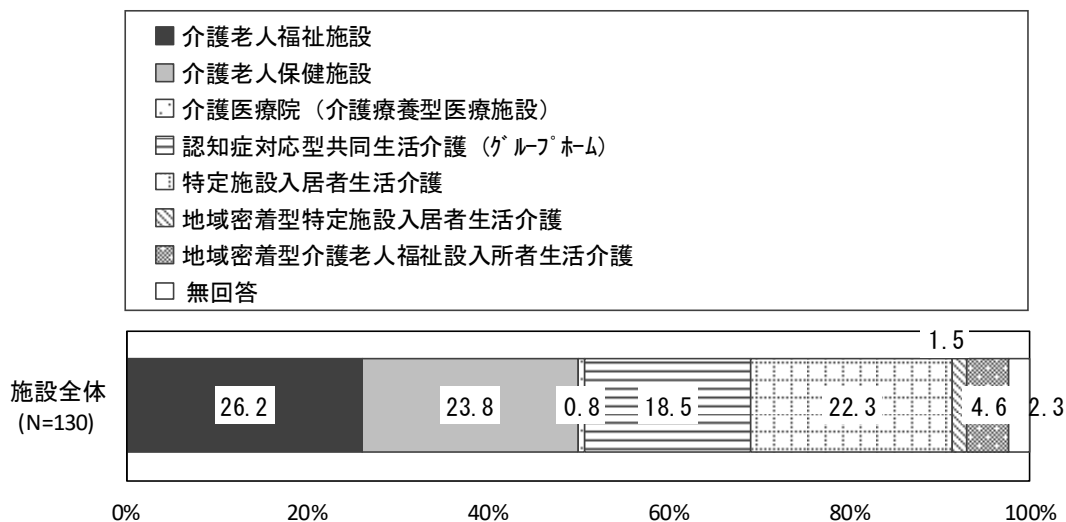
【年齢】



(4) 入所施設の種類の種類

- 「介護老人福祉施設」が26.2%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」(23.8%)、「特定施設入居者生活介護」(22.3%)の順に続く。

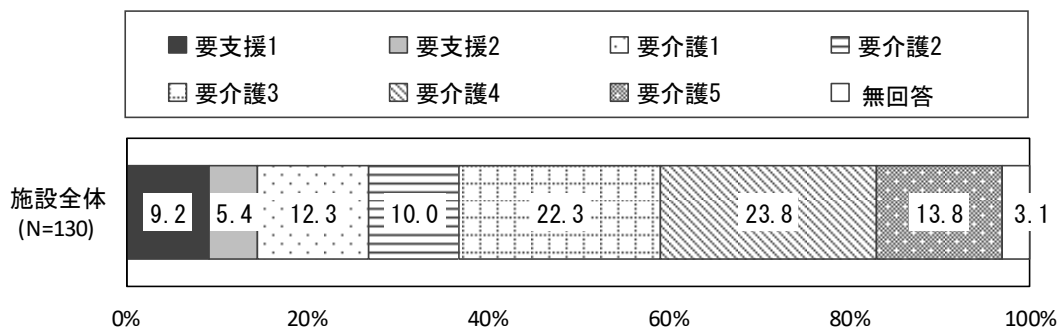
【入所施設の種類の種類】



(5) 要介護度

- 「要介護4」が23.8%と最も高く、次いで「要介護3」(22.3%)、「要介護5」(13.8%)となっており、要介護3以上が60%程度を占める。
- 入所施設別にみると、介護老人福祉施設では要介護3以上の割合が76.5%を占める。特定施設入居者生活介護では要支援認定者の割合が27.6%と他の入所施設に比べて高い。

【要介護度】



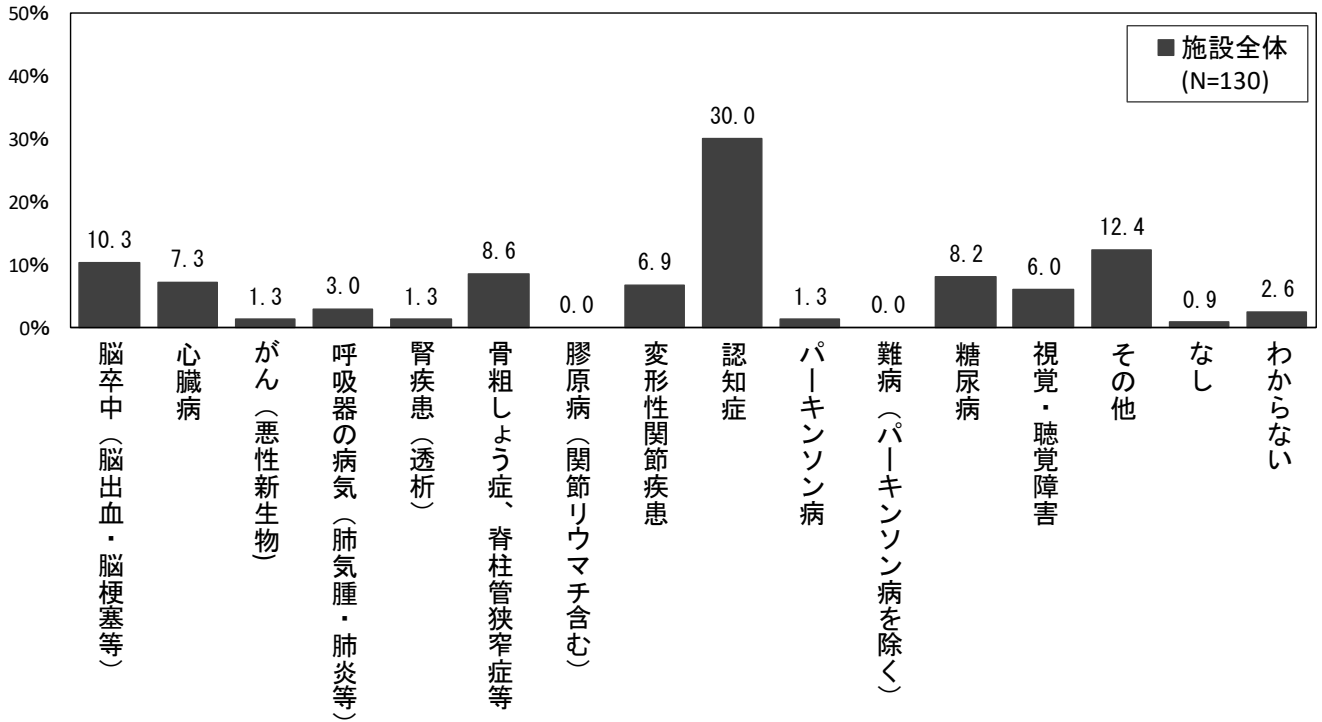
【要介護度(入所施設別)】

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	130	9.2	5.4	12.3	10.0	22.3	23.8	13.8	3.1	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	5.9	5.9	5.9	5.9	32.4	38.2	5.9	0.0
	介護老人保健施設	31	3.2	3.2	12.9	9.7	16.1	19.4	32.3	3.2
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24	4.2	4.2	12.5	20.8	29.2	12.5	12.5	4.2
	特定施設入居者生活介護	29	20.7	6.9	17.2	10.3	13.8	13.8	10.3	6.9
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0

(6) 現在、抱えている、怪我、病気

- 怪我、病気は「認知症」が30.0%と最も高く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(10.3%)、「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(8.6%)、「糖尿病」(8.2%)、「心臓病」(7.3%)の順に高い。

【現在抱えている怪我、病気】



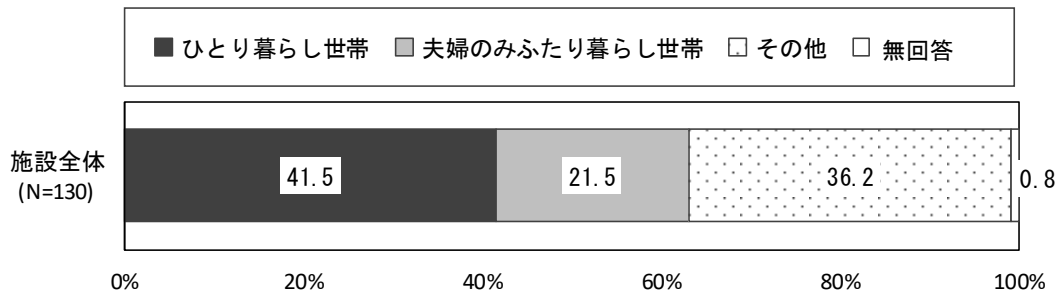
【現在抱えている怪我、病気(入所施設別)】

	調査数	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	腎疾患 (透析)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	233	10.3	7.3	1.3	3.0	1.3	8.6	0.0	6.9	30.0	1.3	0.0	8.2	6.0	12.4	0.9	2.6	
入所施設別	介護老人福祉施設	59	11.9	6.8	3.4	1.7	0.0	5.1	0.0	11.9	32.2	1.7	0.0	6.8	5.1	11.9	0.0	1.7
	介護老人保健施設	62	12.9	8.1	1.6	4.8	3.2	6.5	0.0	6.5	22.6	1.6	0.0	9.7	6.5	12.9	1.6	1.6
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	33	3.0	9.1	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	3.0	54.5	0.0	0.0	0.0	6.1	12.1	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	52	7.7	7.7	0.0	0.0	1.9	15.4	0.0	3.8	17.3	1.9	0.0	9.6	9.6	15.4	1.9	7.7
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	15.0	5.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	0.0	0.0	15.0	0.0	10.0	0.0	0.0

(7) 施設入所前の世帯構成

- 施設入所前の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 41.5%と最も高く、次いで「その他」(36.2%)、「夫婦のみふたり暮らし世帯」(21.5%)の順に続く。
- 現在の入所施設別にみると、介護老人福祉施設や介護老人保健施設は「その他」の割合が高く、認知症対応型共同生活介護や特定施設入居者生活介護は「ひとり暮らし世帯」の割合が高い。

【世帯構成】



【世帯構成(入所施設別)】

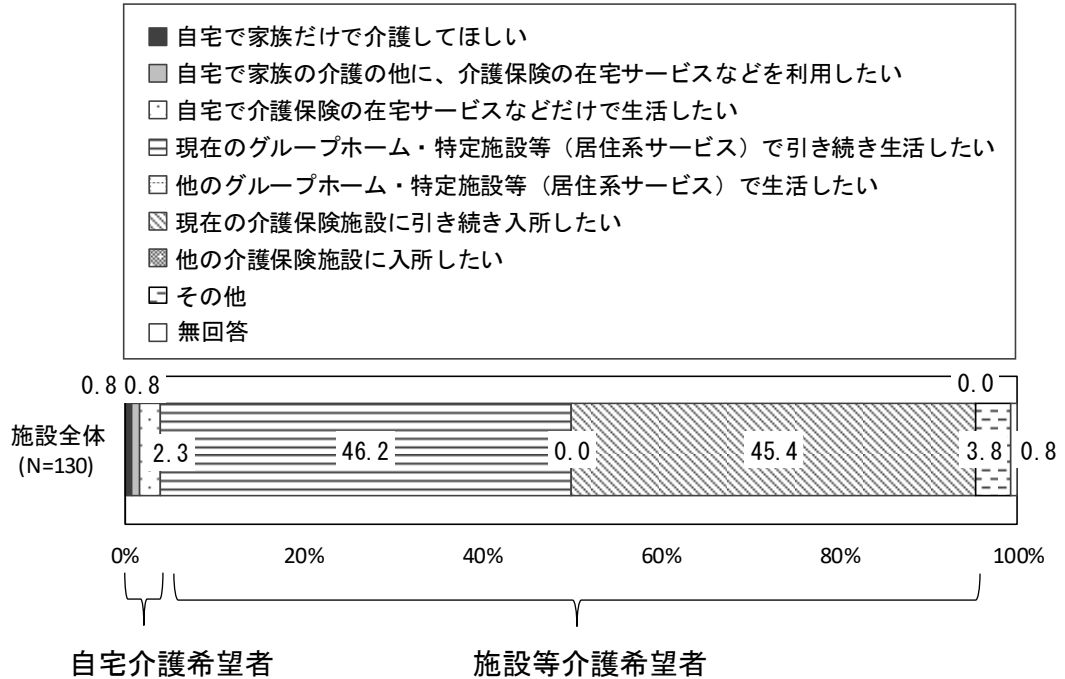
	調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	130	41.5	21.5	36.2	0.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	41.2	14.7	44.1	0.0
	介護老人保健施設	31	35.5	25.8	38.7	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	45.8	20.8	33.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	44.8	20.7	31.0	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	33.3	16.7	50.0	0.0

2. 今後の介護希望について

(1) 今後の介護希望

- 今後の介護希望は「現在のグループホーム・特定施設等（居住系サービス）で引き続き生活したい」が46.2%と最も高く、次いで「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」（45.4%）となっており、これらを合わせると現在の入所施設等での生活を継続したいと考える人が91.6%を占めている。『自宅での生活を希望』（「自宅で家族だけで介護してほしい」～「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」）は3.9%と僅かとなっている。

【今後の介護希望】



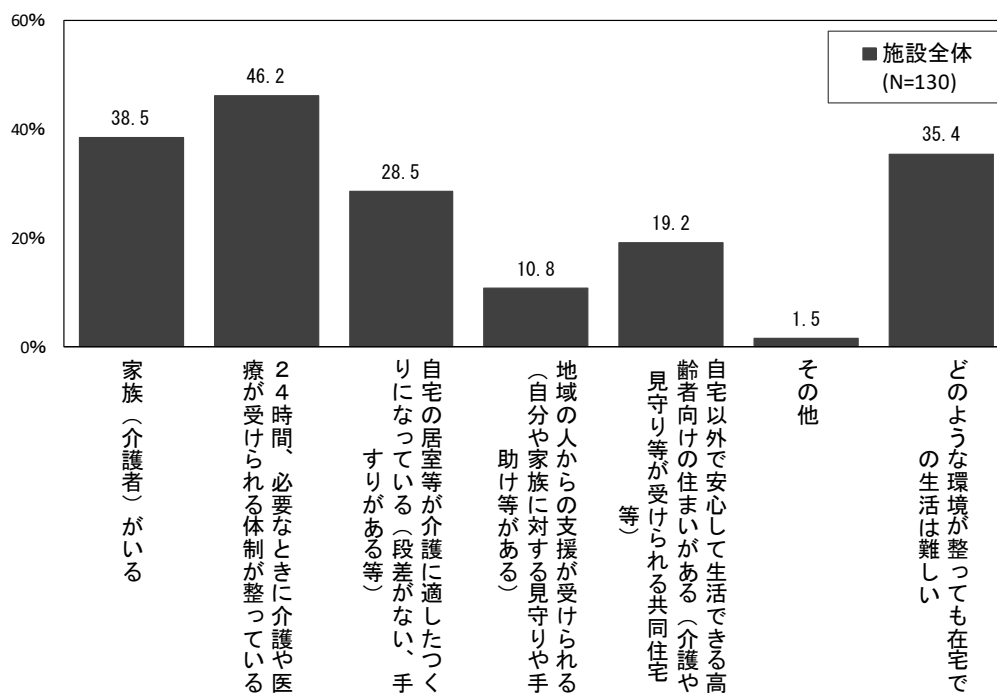
【今後の介護希望(入所施設別)】

	調査数	し	利	自	自	引	現	活	現	い	そ	無
		宅	用	宅	宅	き	在	し	在	の	他	回
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	130	0.8	0.8	2.3	46.2	0.0	45.4	0.0	3.8	0.8		
入所施設別	介護老人福祉施設	34	2.9	0.0	0.0	26.5	0.0	70.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護老人保健施設	31	0.0	0.0	3.2	9.7	0.0	83.9	0.0	3.2	0.0	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24	0.0	0.0	0.0	91.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	0.0	0.0	3.4	79.3	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0

(2) 在宅で生活するために必要なサービスや環境

- 在宅で生活するために必要なサービスや環境は「24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている」が46.2%と最も高く、次いで「家族（介護者）がいる」（38.5%）となっており、「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」が35.4%を占めている。
- 入所施設別にみると、介護老人保健施設は「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」（47.5%）が他の入所施設に比べて高い。

【在宅で生活するために必要なサービスや環境】



【在宅で生活するために必要なサービスや環境（入所施設別）】

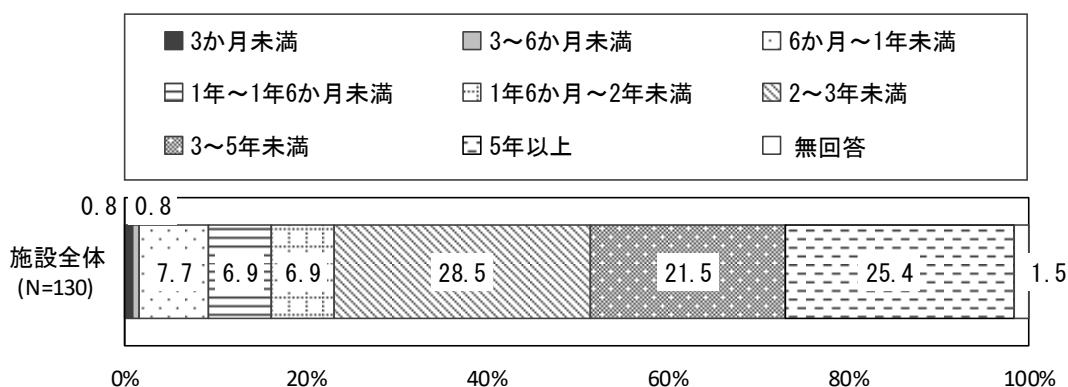
	調査数	在宅で生活するために必要なサービスや環境							
		家族（介護者）がいる	24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている	自宅の居室等が介護に適したつくりになっている（段差がない、手すりがある等）	地域の人からの支援が受けられる（自分や家族に対する見守りや手助け等がある）	自宅以外で安心して生活できる高齢者向けの住まいがある（介護や見守り等が受けられる共同住宅等）	その他	どのような環境が整っても在宅での生活は難しい	
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	130	38.5	46.2	28.5	10.8	19.2	1.5	35.4	
入所施設別	介護老人福祉施設	68	23.5	26.5	19.1	4.4	11.8	1.5	13.2
	介護老人保健施設	40	15.0	20.0	10.0	2.5	5.0	0.0	47.5
	介護医療院（介護療養型医療施設）	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	39	23.1	20.5	7.7	10.3	15.4	0.0	23.1
	特定施設入居者生活介護	57	21.1	28.1	19.3	7.0	12.3	0.0	12.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	18	27.8	27.8	33.3	0.0	0.0	5.6	5.6

3. 施設等でのサービスについて

(1) 施設等の入所期間

- 現在の入所施設等での入所期間は「2～3年未満」が28.5%と最も高く、次いで「5年以上」(25.4%)、「3～5年未満」(21.5%)となっており、これらを合わせた『2年以上』が75.4%を占める。
- 入所施設別にみると、『2年以上』の割合は、介護老人福祉施設(85.3%)や特定施設入居者生活介護(86.2%)が80%を超えて高い。また、介護老人保健施設は「6か月～1年未満」(19.4%)の割合が他の入所施設に比べて高い。

【施設等の入所期間】



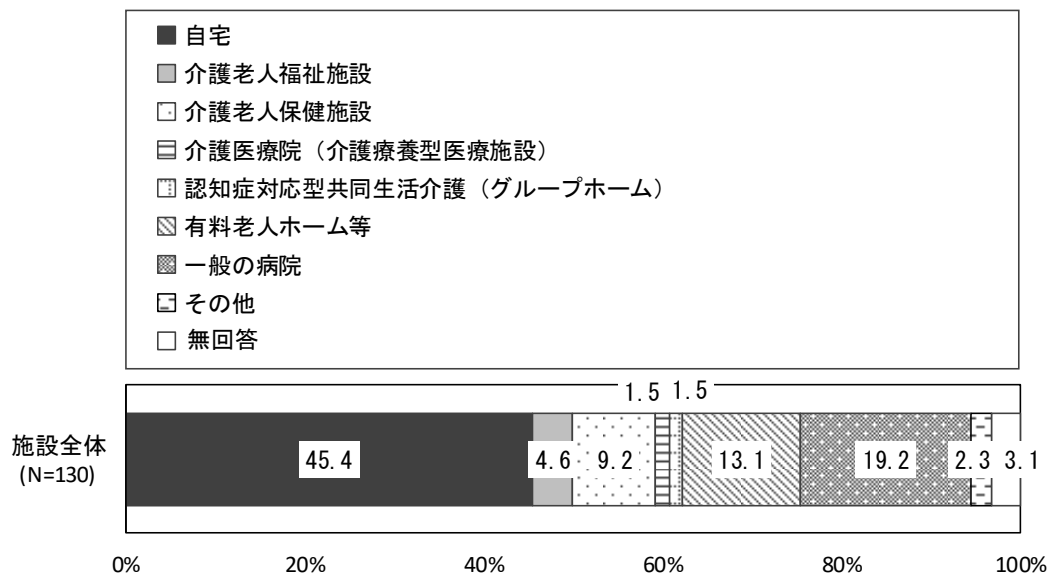
【施設等の入所期間(入所施設別)】

	調査数	3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1年～1年6か月未満	1年6か月～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5年以上	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	130	0.8	0.8	7.7	6.9	6.9	28.5	21.5	25.4	1.5	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	0.0	0.0	2.9	5.9	5.9	35.3	17.6	32.4	0.0
	介護老人保健施設	31	0.0	3.2	19.4	9.7	9.7	22.6	22.6	6.5	6.5
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	0.0	0.0	4.2	12.5	4.2	25.0	20.8	33.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	27.6	20.7	37.9	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0

(2) 現在の施設等に入所する前の所在

- 現在の施設等に入所する前の所在は「自宅」が45.4%と最も高く、次いで「一般の病院」(19.2%)、「有料老人ホーム等」(13.1%)となっている。
- 入所施設別にみると、介護老人福祉施設では「自宅」(55.9%)、介護老人保健施設では「一般の病院」が32.3%と最も高い。

【施設等に入所する前の所在】



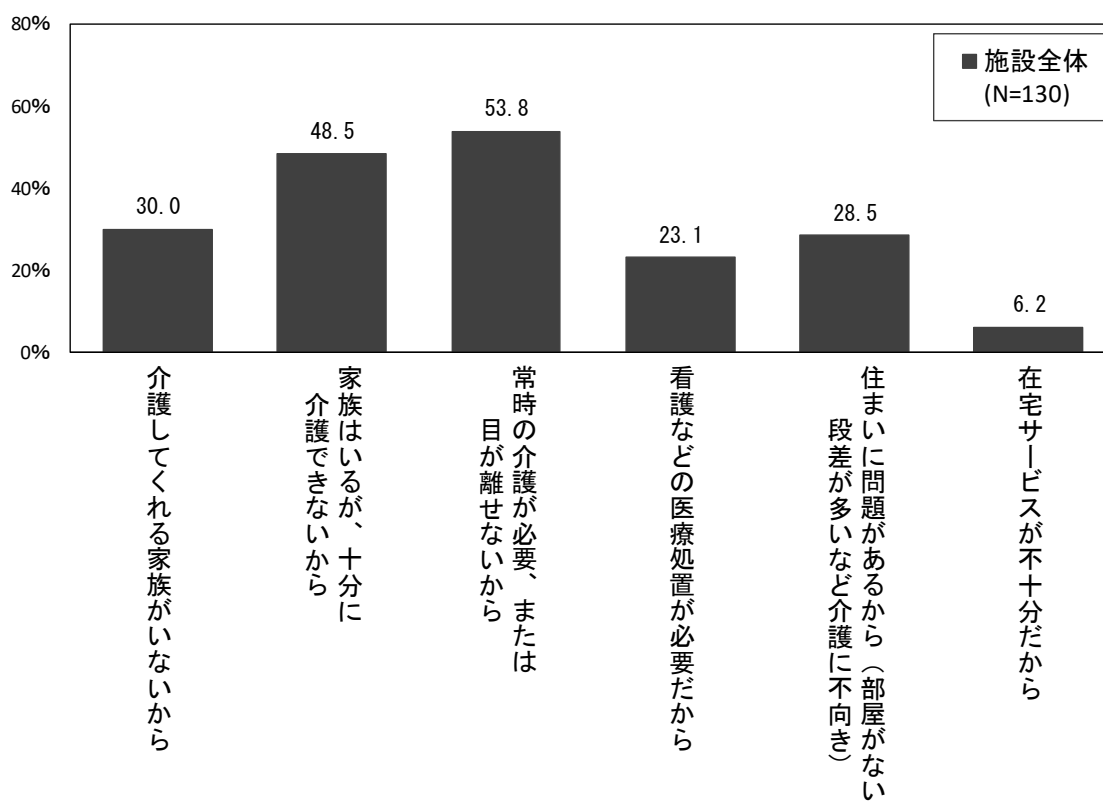
【施設等に入所する前の所在(入所施設別)】

	調査数	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院 (介護療養型医療施設)	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	有料老人ホーム等	一般の病院	その他	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	130	45.4	4.6	9.2	1.5	1.5	13.1	19.2	2.3	3.1
入所施設別	介護老人福祉施設	34	55.9	17.6	5.9	0.0	2.9	11.8	5.9	0.0
	介護老人保健施設	31	22.6	0.0	12.9	3.2	0.0	16.1	32.3	6.5
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24	66.7	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2	16.7	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	48.3	0.0	3.4	3.4	3.4	20.7	17.2	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7

(3) 施設等に入所している理由

- 施設等に入所している理由は「常時の介護が必要、または目が離せないから」が53.8%と最も高く、次いで「家族はいるが、十分に介護できないから」(48.5%)、「介護してくれる家族がいないから」(30.0%)の順に続く。
- 入所施設別にみると、介護老人福祉施設や特定施設入居者生活介護は「介護してくれる家族がいないから」が30%を超えている。また、認知症対応型共同生活介護では「常時の介護が必要、または目が離せないから」(70.8%)が他の入所施設に比べて高い。

【施設等に入所している理由】



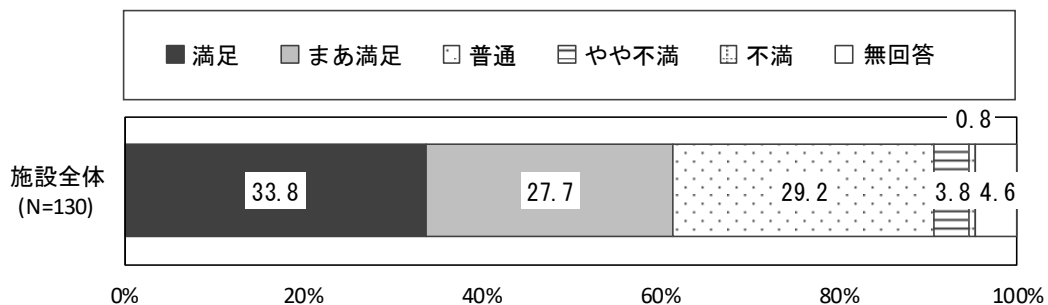
【施設等に入所している理由(入所施設別)】

	調査数	介護して くれる 家族が いない から	家族は いるが、 十分に 介護 できない から	常時の 介護が 必要、 また 目が 離せない から	看護 などの 医療 処置が 必要 だから	住まい に問題 がある から (部屋 がない、 段差が 多い など 介護に 不向き)	在宅 サー ビスが 不十分 だ から	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	130	30.0	48.5	53.8	23.1	28.5	6.2	3.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	35.3	52.9	67.6	20.6	41.2	5.9	2.9
	介護老人保健施設	31	29.0	32.3	41.9	38.7	19.4	0.0	9.7
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	29.2	62.5	70.8	12.5	16.7	8.3	4.2
	特定施設入居者生活介護	29	34.5	44.8	41.4	20.7	34.5	10.3	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	16.7	50.0	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0

(4) 施設等サービスの満足度

- 施設等サービスの満足度は「満足」が33.8%と最も高く、これに「まあ満足」(27.7%)を合わせると『満足』は61.5%となっている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合は4.6%に留まり、満足度は高くなっている。
- 入所施設別にみると、『満足』の割合は、介護老人保健施設(71.0%)や認知症対応型共同生活介護(75.0%)が70%を超えて高い。

【施設等サービスの満足度】



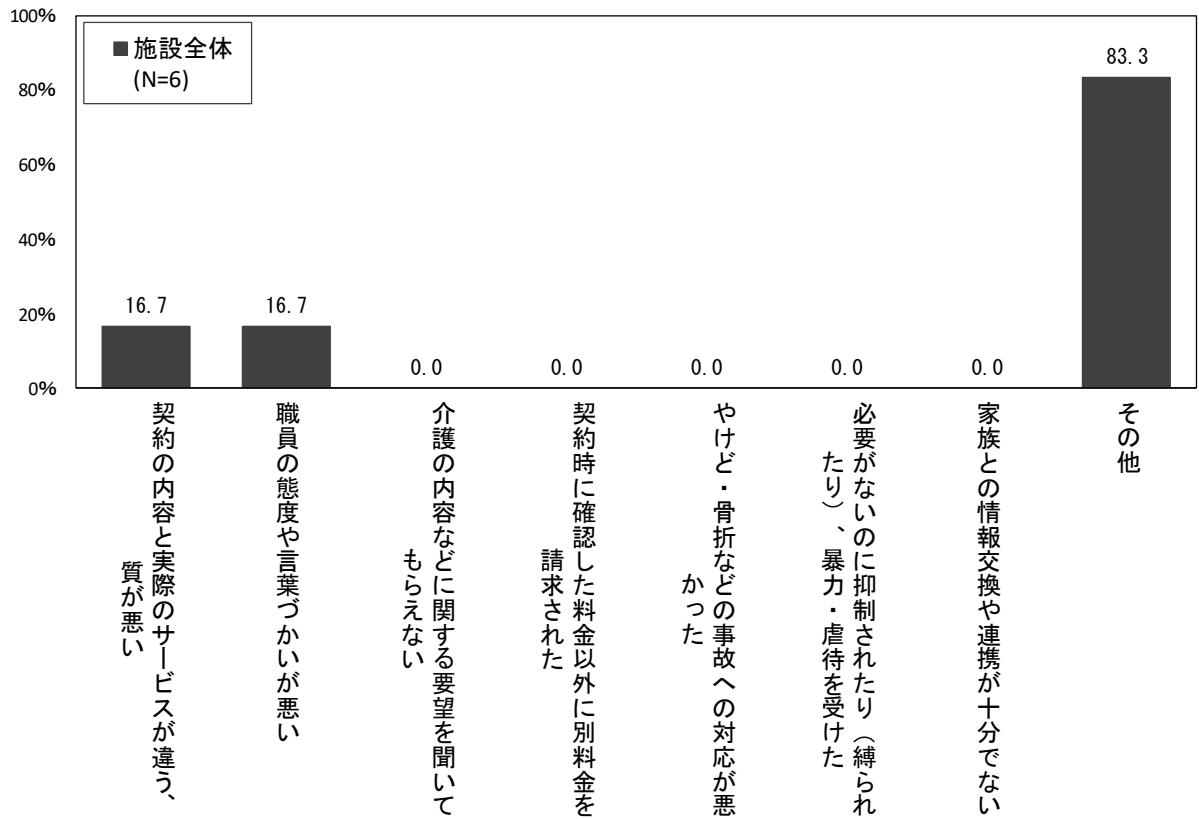
【施設等サービスの満足度(入所施設別)】

	調査数	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	130	33.8	27.7	29.2	3.8	0.8	4.6	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	23.5	41.2	32.4	2.9	0.0	0.0
	介護老人保健施設	31	45.2	25.8	19.4	3.2	0.0	6.5
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	41.7	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	31.0	17.2	31.0	6.9	0.0	13.8
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0

(5) 施設等サービスに不満な理由

- 施設等サービスに不満な人は6人と少なく、その理由は「その他」(83.3%)のほか、「契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い」「職員の態度や言葉づかいが悪い」(16.7%)となっている。

【施設等サービスに不満な理由】

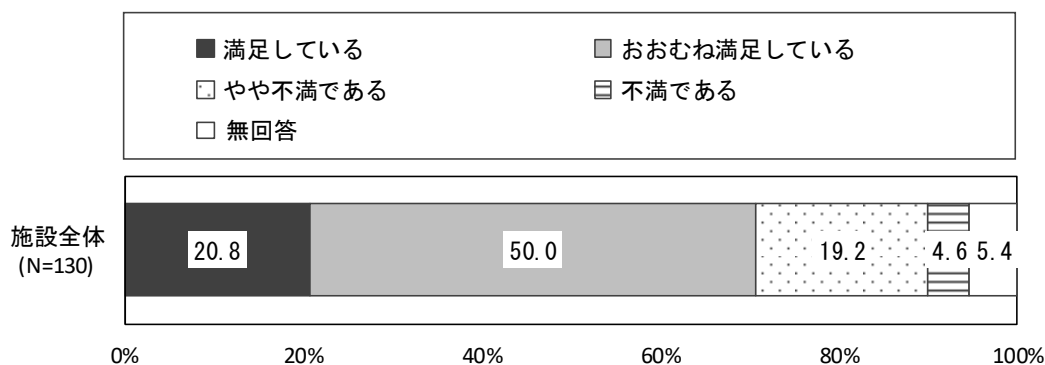


4. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が50.0%と最も高く、「満足している」(20.8%)を合わせると70.8%が『満足』と回答している。一方、「やや不満である」(19.2%)と「不満である」(4.6%)を合わせた『不満』の割合は23.8%となっている。
- 入所施設別にみると、認知症対応型共同生活介護は『満足』(62.5%)が他の入所施設に比べて低く、『不満』の割合が33.3%とやや高い。

【介護保険制度の満足度】



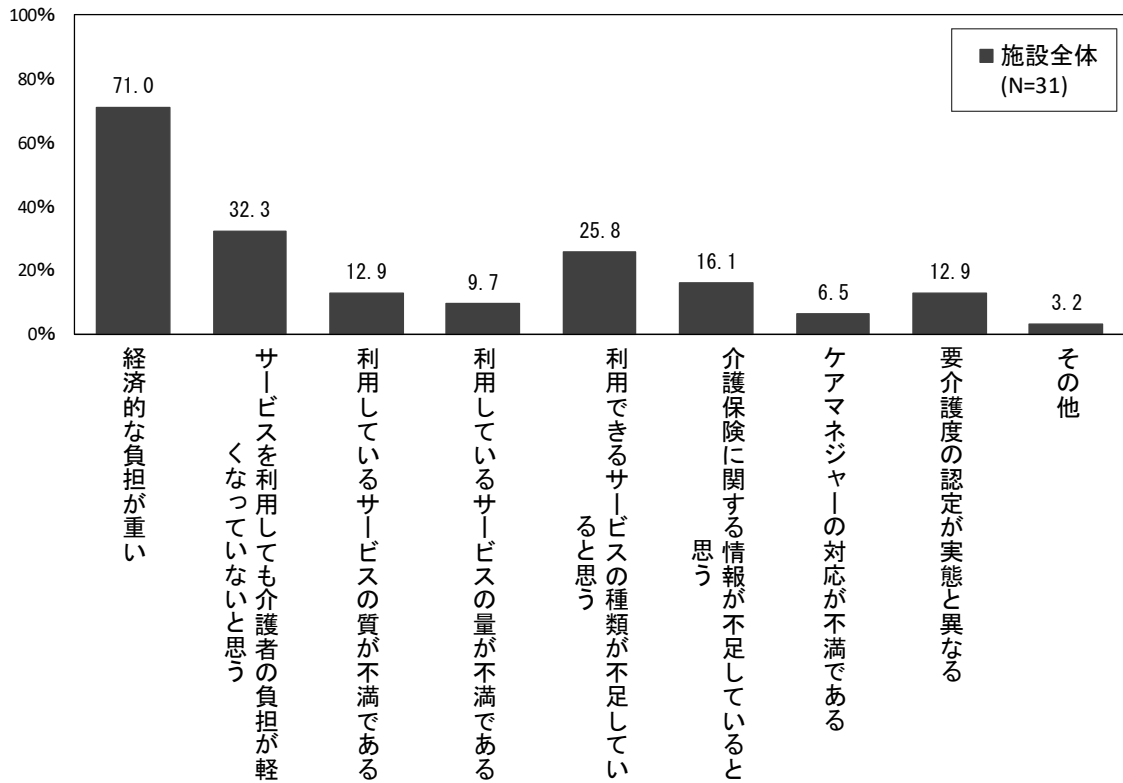
【介護保険制度の満足度(入所施設別)】

	調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	130	20.8	50.0	19.2	4.6	5.4	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	20.6	50.0	26.5	2.9	0.0
	介護老人保健施設	31	32.3	51.6	9.7	6.5	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	4.2	58.3	25.0	8.3	4.2
	特定施設入居者生活介護	29	24.1	34.5	20.7	0.0	20.7
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0

(2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が71.0%と最も高く、次いで「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」(32.3%)、「利用できるサービスの種類が不足していると思う」(25.8%)の順に高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



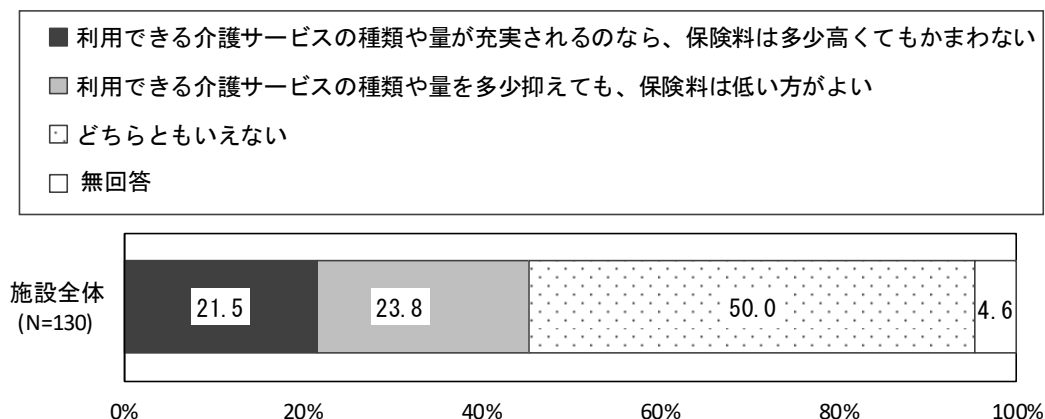
【介護保険制度に満足していない理由(入所施設別)】

	調査数	経済的な負担が重い	サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う	利用しているサービスの質が不満である	利用しているサービスの量が不満である	利用できるサービスの種類が不足していると思う	介護保険に関する情報が不足していると思う	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	31	71.0	32.3	12.9	9.7	25.8	16.1	6.5	12.9	3.2
入所施設別	介護老人福祉施設	10	70.0	40.0	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0
	介護老人保健施設	5	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	8	87.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	特定施設入居者生活介護	6	83.3	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が50.0%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(23.8%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(21.5%)の順に高い。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



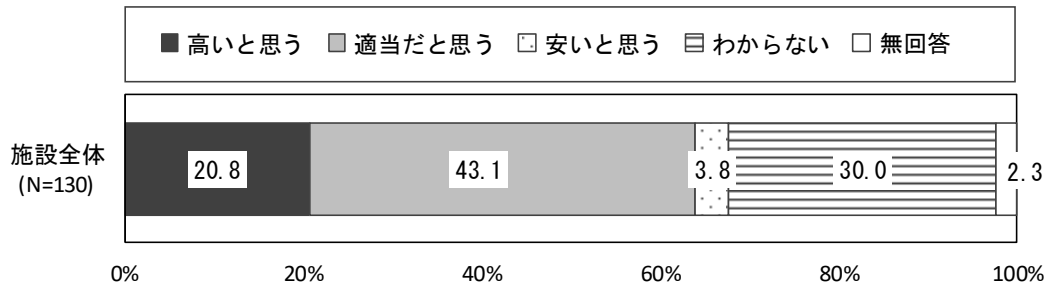
【介護保険料と介護サービスのあり方(入所施設別)】

	調査数	どちらともいえない			無回答	
		ても充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない (%)	利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい (%)	どちらともいえない (%)		
施設全体	130	21.5	23.8	50.0	4.6	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	32.4	26.5	41.2	0.0
	介護老人保健施設	31	32.3	29.0	35.5	3.2
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24	8.3	25.0	58.3	8.3
	特定施設入居者生活介護	29	13.8	13.8	62.1	10.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	0.0	16.7	83.3	0.0

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「適当だと思う」が43.1%と最も高く、次いで「わからない」(30.0%)、「高いと思う」(20.8%)の順に続く。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(入所施設別)】

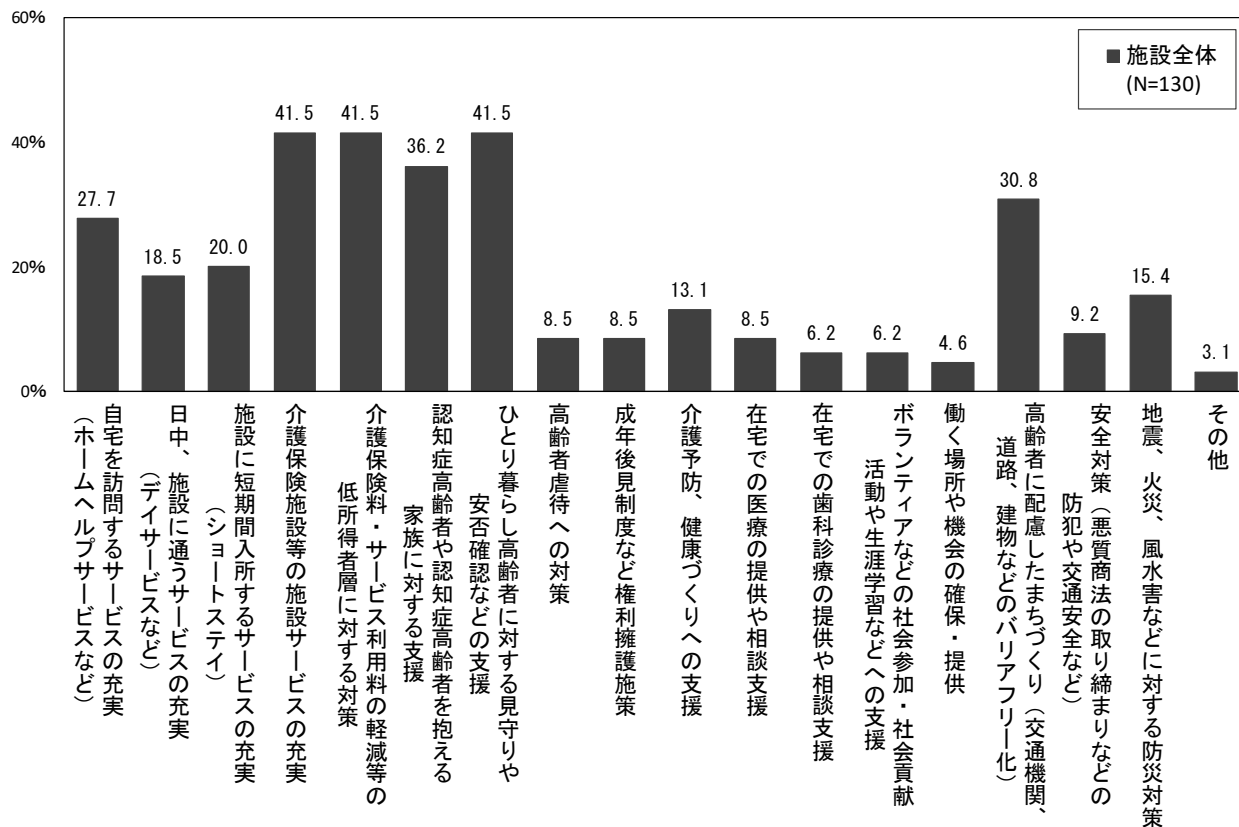
	調査数	高いと思う	適当だと思う	安いと思う	わからない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	130	20.8	43.1	3.8	30.0	2.3	
入所施設別	介護老人福祉施設	34	23.5	52.9	5.9	17.6	0.0
	介護老人保健施設	31	12.9	58.1	0.0	29.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	25.0	33.3	8.3	33.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	17.2	31.0	3.4	37.9	10.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0

5. 高齢者福祉施策全般について

(1) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「介護保険施設等の施設サービスの充実」「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が41.5%と最も高く、次いで「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」(36.2%)、「高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)」(30.8%)が上位5項目にあがっている。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(入所施設別)】

		調査数	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの充実 (ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの充実	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体		130	27.7	18.5	20.0	41.5	41.5	36.2	41.5	8.5	8.5
入所施設別	介護老人福祉施設	34	32.4	17.6	35.3	55.9	29.4	35.3	38.2	5.9	5.9
	介護老人保健施設	31	19.4	29.0	9.7	51.6	38.7	22.6	48.4	9.7	16.1
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	29.2	12.5	25.0	25.0	75.0	45.8	45.8	12.5	8.3
	特定施設入居者生活介護	29	37.9	13.8	10.3	27.6	34.5	34.5	44.8	10.3	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	0.0	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
		調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支援	ボランティアや生涯学習などの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり(交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する防災対策	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体		130	13.1	8.5	6.2	6.2	4.6	30.8	9.2	15.4	3.1
入所施設別	介護老人福祉施設	34	5.9	11.8	11.8	2.9	11.8	32.4	8.8	8.8	5.9
	介護老人保健施設	31	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	38.7	3.2	19.4	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	24	8.3	4.2	4.2	8.3	4.2	29.2	20.8	16.7	0.0
	特定施設入居者生活介護	29	17.2	6.9	3.4	10.3	3.4	20.7	3.4	20.7	6.9
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0

参考資料

1. 一般高齢者用調査票

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (一般高齢者用)

調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和2年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けていない65歳以上の市民の方から無作為に抽出した約1,500人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年1月

行橋市長 田中 純

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和2年1月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、令和2年1月31日(金)までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 認知症について ◆

問10 あなたは、「認知症」という病気を知っていますか。【〇は1つだけ】

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

問11 認知症のことについて、おたずねします。

次の(1)～(3)の項目ごとに、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

(1) 認知症は、ふだんから頭を使うことで予防できると思いますか。【〇は1つだけ】

1. 予防できると思う
2. 予防できるとは思わない
3. わからない

(2) 認知症は、ふだんから運動をすることで予防できると思いますか。【〇は1つだけ】

1. 予防できると思う
2. 予防できるとは思わない
3. わからない

(3) 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思いますか。【〇は1つだけ】

1. そう思う
2. そうは思わない
3. わからない

問12 あなたは認知症についてどのようなことに関心がありますか。【〇はいくつでも】

1. 認知症の介護のしかた
2. 認知症の医学的な情報
3. 認知症の予防
4. 認知症の人や家族を支えるボランティア活動
5. その他 ()
6. 特にない

➔ 問15-4 あなたが今後働く場合、どのような業種の仕事をしたいですか。【〇はいくつでも】

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 農林漁業 | 10. 不動産・レンタル業 |
| 2. 鉱業 | 11. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 3. 建設業 | 12. 宿泊・飲食サービス業 |
| 4. 製造業 | 13. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 14. 教育・学習支援業 |
| 6. 情報通信業 | 15. 介護・高齢者支援関連業 |
| 7. 運輸・郵便業 | 16. 保育・子ども子育て支援関連事業 |
| 8. 卸売・小売業 | 17. その他の医療・福祉関連業 |
| 9. 金融・保険業 | 18. その他 () |

◆ 日常生活上の不安や困りごとについて ◆

問16 あなたは、日常生活のどのような不安や困りごとがありますか。【〇はいくつでも】

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 健康や病気、介護 | 11. ペットの世話 |
| 2. ひとり暮らしの生活 | 12. 外出（手段、送迎、付き添い等） |
| 3. 高齢者のみの生活 | 13. 書類の理解や手続き |
| 4. 食事の確保や料理 | 14. 財産やお金の管理 |
| 5. 買い物 | 15. 定期的な声かけや見守り |
| 6. 家事（掃除・洗濯・ごみ出し等） | 16. 急病などの緊急時の対応 |
| 7. 家具等の移動 | 17. 災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等） |
| 8. 庭の手入れ | 18. 詐欺や悪質な訪問販売等 |
| 9. 衣類の出し入れ（季節の模様替え） | 19. 介護に適した住まいの環境 |
| 10. 電球の取り替えや電化製品の取り扱
いの手助け | 20. その他 () |
| | 21. 特にない |

《問16-1は、問16で「1.」～「20.」に回答された方のみお答えください》

➔ 問16-1 あなたは、その不安や困りごとを誰（どこ）に相談していますか。【〇はいくつでも】

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 家族や親族 | 7. 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター） |
| 2. 友人や近所の人 | 8. かかりつけの医師・看護師等 |
| 3. ケアマネジャー | 9. 弁護士等の専門家 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 10. その他 () |
| 5. 社会福祉協議会 | 11. 相談はしていない |
| 6. 市役所の窓口（介護保険課等） | |

◆ 住まいについて ◆

問19 住まいやその周りの環境のことで、不便を感じたり、困っていることがありますか。

①住居について【〇はいくつでも】

1. 維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）
2. バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）
3. 狭い
4. 日当たりや風通しが悪い、騒音がひどい
5. 古くなって安全性に不安がある
6. その他（)
7. 特にない

②環境・地域について【〇はいくつでも】

1. 役所等の公共機関が近くにない
2. 商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）
3. 医療機関や介護サービスが近くにない
4. 交通の便が悪い
5. 公園や緑地が近くにない
6. 手軽に運動できる場がない
7. その他（)
8. 特にない

◆ 在宅医療や介護等について ◆

問20 「在宅医療」とは、重度の要介護状態となってもできる限り住み慣れた地域で療養することができるように提供される医療サービスのことです。次のような在宅医療サービスで知っているものはありますか。【〇はいくつでも】

1. 訪問診療
2. 訪問看護
3. 訪問リハビリテーション
4. 通所リハビリテーション（デイケア）
5. 医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
6. 薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
7. 訪問栄養指導
8. 訪問歯科診療
9. どれも知らない

問21 将来、あなた自身に介護が必要になったとしたら、どのように介護してほしいと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい
4. グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい
5. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい
6. その他（ ）

問22 あなたは、どこで人生の最期を迎えたいですか。【〇は1つだけ】

1. 自宅
2. 子や孫などの親族の家
3. 特別養護老人ホーム等の施設
4. 病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）
5. その他（ ）

◆ 高齢者福祉制度全般について ◆

問23 介護保険制度では、介護サービスを利用する人が増えたり、利用できる介護サービスの種類や量が充実されれば、その費用をまかなうため、基本的には介護保険料が高くなることとなります。

介護保険料と介護サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

1. 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
2. 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
3. どちらともいえない

問24 ご自分の介護保険料について、どのように思いますか。【〇は1つだけ】

1. 高いと思う
2. 適当だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

2. 在宅要介護認定者用調査票

《在宅要介護認定者用》

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和2年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて在宅で生活されている市民の方 約2,500人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するとともに、「個人情報の取り扱いについて」（1ページの上段に記載）に基づき、適正に取り扱いますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年1月

行橋市長 田中 純

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和2年1月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、令和2年1月31日（金）までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください（切手は不要です）。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111（内線1172）

FAX 0930-26-3017

◆ 介護保険サービスについて ◆

問4 あなたは、現在、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用していますか。【〇は1つだけ】

1. 利用している

2. 利用していない ⇒問5へ

《問4-1、2は、問4で「1.利用している」に回答された方のみお答えください。》

→問4-1 介護保険サービスを利用したことにより、生活の中で良くなったと感じることはありますか。【〇は3つまで】

1. 自分でできることが増えた
2. 日々の生活に張りが出た
3. 健康が維持・向上した
4. 筋力が維持・向上した
5. 穏やかに毎日を過ごせている
6. 生活が維持できている
7. その他 ()
8. 特にない

→問4-2 あなたは利用しているサービスに満足していますか。【〇は1つだけ】

1. 満足

2. まあ満足

3. 普通

4. やや不満

5. 不満

《問4-3は、問4-2で「4.」「5.」に回答された方のみお答えください》

→問4-3 不満に思うことはどのようなことですか。【〇はいくつでも】

1. 契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い
2. サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い
3. 決められた日時にサービス担当者が来ない
4. サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない
5. 契約時に確認した料金以外に別料金を請求された
6. やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった
7. サービスの量（回数や時間）が足りない
8. 以前利用していたサービスが受けられなくなった
9. その他 ()

ここからは、調査対象のご本人を介護されているご家族やご親族等へお伺いします。
ご家族やご親族のご回答が難しい場合は、調査対象のご本人が回答をお願いします。

◆ **主な介護者について** ◆

問16 日頃、あて名の方を介護しているのは主にどなたですか。あて名の方からみた続柄を教えてください。【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 3. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 子 | 4. 孫 | 6. その他（ ） |

問17 主な介護者の性別を教えてください。【〇は1つだけ】

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問18 主な介護者の年齢を教えてください。【〇は1つだけ】

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 | |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問19 主な介護者は、あて名の方と同居していますか。【〇は1つだけ】

- | | | |
|-------|-------------|-------------|
| 1. 同居 | 2. 別居（行橋市内） | 3. 別居（行橋市外） |
|-------|-------------|-------------|

問20 ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在の就労状況や勤務形態は問いません）【〇はいくつでも】

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた・転職した家族・親族はいない |
| 6. わからない |

問23 介護を行う上で、困っていることはなんですか。【〇はいくつでも】

1. 介護の方法がわからない
2. もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる
3. もっとサービスを利用させたいが、希望するサービスがない
4. もっとサービスを利用させたいが、希望する事業者が利用できない
5. 利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない
6. 利用料の負担が大きい
7. 介護の身体的負担が大きい
8. 介護の精神的負担が大きい
9. 家族や近隣の方の理解・協力が足りない
10. その他 ()
11. 特にない

問24 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について教えてください。

【〇は1つだけ】

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

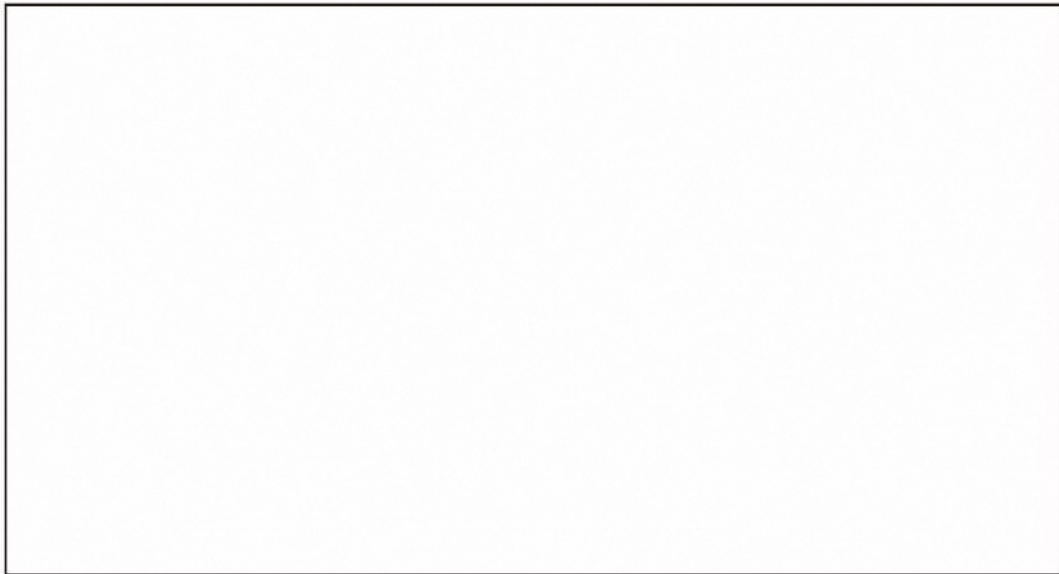
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームのことを指します。

問25 あて名のご本人を在宅で介護するためには、どのようなことが重要だと思いますか。

【〇は3つまで】

1. 緊急時にサービスが利用できること
2. 夜間にサービスが利用できること
3. 家の近くでサービスが利用できること
4. 在宅医療が受けられること
5. 介護者に対する周囲の理解（評価）
6. 介護者への支援体制が充実されること
7. 介護者自身の心身状況の安定が保たれること
8. その他 ()

問26 介護をされているご家族として、市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



**調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。**

3. 施設・居住系サービス利用者用調査票

行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (施設・居住系サービス利用者用)

調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和2年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて介護保険施設やグループホーム等の居住系サービスを利用されている市民の方 約500人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年1月

行橋市長 田中 純

記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や施設職員等の代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和2年1月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、令和2年1月31日(金)までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電 話 0930-25-1111 (内線1172)

F A X 0930-26-3017

問8 あなたが、在宅で生活するとしたら、どのようなサービスや環境が必要になると思いますか。【〇はいくつでも】

1. 家族（介護者）がいる
2. 24時間、必要ときに介護や医療が受けられる体制が整っている
3. 自宅の居室等が介護に適したつくりになっている（段差がない、手すりがある等）
4. 地域の人からの支援が受けられる（自分や家族に対する見守りや手助け等がある）
5. 自宅以外で安心して生活できる高齢者向けの住まいがある（介護や見守り等が受けられる共同住宅等）
6. その他（）
7. どのような環境が整っても在宅での生活は難しい
⇒（理由：）

◆ 施設等でのサービスについて ◆

問9 あなたは、現在の施設等にどのくらいの期間入所していますか。【〇は1つだけ】

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 5. 1年6か月～2年未満 |
| 2. 3～6か月未満 | 6. 2～3年未満 |
| 3. 6か月～1年未満 | 7. 3～5年未満 |
| 4. 1年～1年6か月未満 | 8. 5年以上 |

問10 あなたは現在の施設等に入所する前は、どちらにいらっしゃいましたか。【〇は1つだけ】

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 自宅 | 5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 2. 介護老人福祉施設 | 6. 有料老人ホーム等 |
| 3. 介護老人保健施設 | 7. 一般の病院 |
| 4. 介護医療院
（介護療養型医療施設） | 8. その他（ ） |

問11 あなたが施設等に入所しているのはなぜですか。【〇はいくつでも】

1. 介護してくれる家族がないから
2. 家族はいるが、十分に介護できないから
3. 常時の介護が必要、または目が離せないから
4. 看護などの医療処置が必要だから
5. 住まいに問題があるから（部屋がない、段差が多いなど介護に不向き）
6. 在宅サービスが不十分だから
7. その他（）

問14 介護保険制度では、介護サービスを利用する人が増えたり、利用できる介護サービスの種類や量が充実されれば、その費用をまかなうため、基本的には介護保険料が高くなることとなります。

介護保険料と介護サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

1. 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
2. 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
3. どちらともいえない

問15 ご自分の介護保険料について、どのように思いますか。【〇は1つだけ】

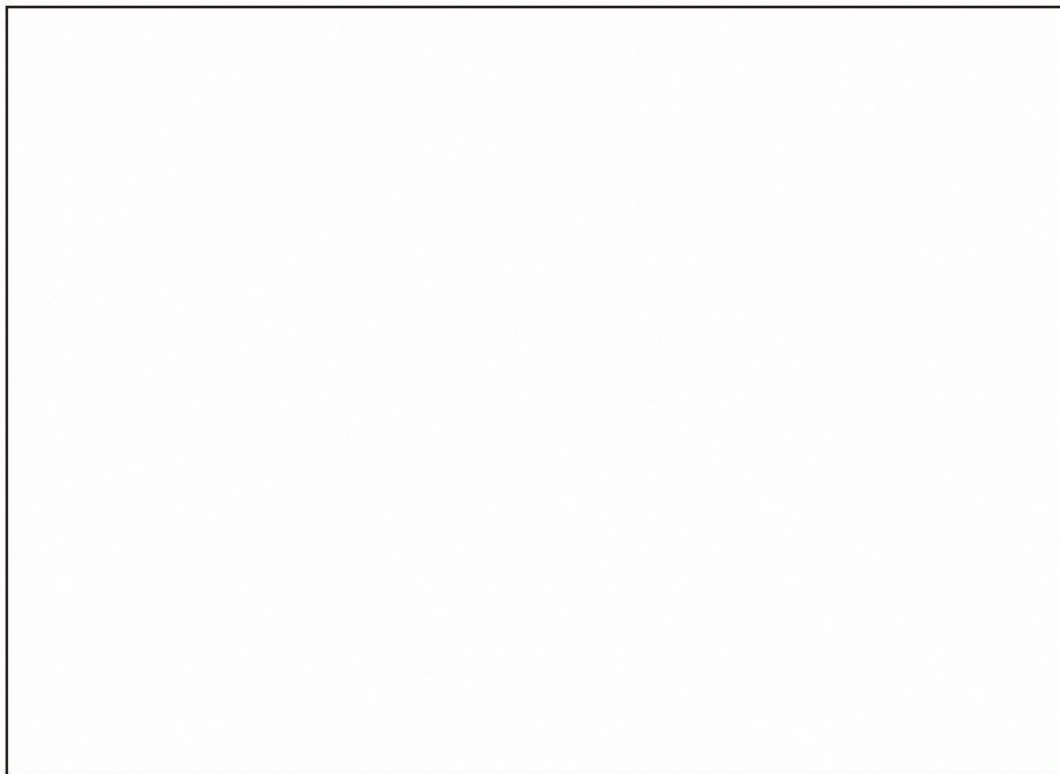
1. 高いと思う
2. 適当だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

◆ 高齢者施策全般について ◆

問16 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものは何ですか。【〇は5つまで】

1. 自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）
2. 日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）
3. 施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）
4. 介護保険施設等の施設サービスの充実
5. 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
6. 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
7. ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
8. 高齢者虐待への対策
9. 成年後見制度など権利擁護施策
10. 介護予防、健康づくりへの支援
11. 在宅での医療の提供や相談支援
12. 在宅での歯科診療の提供や相談支援
13. ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
14. 働く場所や機会の確保・提供
15. 高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）
16. 安全対策（悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など）
17. 地震、火災、風水害などに対する防災対策
18. その他（)

問17 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



**調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。**

